

調査資料

令和5年度

横浜市民意識調査

横浜市政策局

ま え が き

「横浜市民意識調査」は、市民の日常生活を意識と行動の両面からとらえ、市民の生活意識や生活構造を明らかにし、その結果を市政運営や政策立案の基礎資料として活用することを目的に、昭和 47（1972）年度から毎年実施しています。

本年度の調査では、市政への満足度、市政への要望、定住意識、生活の満足度、心配ごとや困っていること、地域への愛着、横浜の魅力、今後の横浜のまちなどについて尋ねました。

調査の結果は、市民ニーズを的確にとらえるための基礎的かつ客観的なデータとして活用していきます。

最後になりましたが、調査にご協力いただきました多くの市民の皆さまに心より厚くお礼申し上げます。

令和 6 年 3 月

横浜市政策局

目次

I. 調査の概要	1	3. 地域におけるつながり	60
1. 目的	1	(1) 隣近所とのつき合い方	60
2. 構成	1	(2) 隣近所とのつき合いの感じ方 ..	64
3. 仕様	1	4. 生活意識	67
4. 項目	1	(1) 生活満足度	67
5. 回収結果	1	(2) 項目別生活満足度	69
6. 集計方法	2	(3) 生活満足度のまとめ	77
7. 報告書の見方	2	(4) 心配ごとや困っていること	78
8. 回収標本構成	3	5. 新型コロナウイルス感染症の暮らしへの影響	85
9. 調査票と単純集計結果	9	(1) 新型コロナウイルス感染症の影響	85
II. 調査の結果	20	6. 横浜の魅力	94
1. 市政	20	(1) 横浜の魅力	94
(1) 市政への満足度	20	7. 地域への愛着	98
(2) 市政への要望	27	(1) 横浜に対して	98
(3) 市政全体への満足度	34	(2) 区に対して	100
(4) 満足度と要望のまとめ	38	(3) 周辺の地域に対して	102
2. 定住意識	42	8. 今後の横浜のまち	104
(1) 現住地居住年数	42	(1) 今後の横浜のまち	104
(2) 前住地	44	9. グローバルな人材の育成	109
(3) 居住地選択時の候補地	45	(1) 必要な能力	109
(4) 「横浜市」を住まいとして選んだ理由	48	10. 国際園芸博覧会	110
(5) 現住地定住意向	50	(1) 認知度	110
(6) 希望する転居先	54	11. 大都市制度	111
(7) 市内定住意向	54	(1) 認知度	111
(8) 横浜市に住み続ける理由	55		

I 調査の概要

1. 目的

市民の日常生活を意識と行動の両面からとらえ、横浜市民の生活意識や生活構造を明らかにし、その結果を市政運営や政策立案の基礎資料として活用することを目的とする。

2. 構成

ほぼ毎年継続して質問する項目と、行政課題などに応じて年度ごとに設定する項目から構成する。

3. 仕様

- (1) 調査地域 横浜市全域
- (2) 調査対象 横浜市内に居住する満18歳以上の男女個人
- (3) 抽出人数 5,000人
- (4) 抽出方法 日本人、外国籍市民ともに住民基本台帳から単純無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送法・インターネット回答方式併用（調査票を郵送、回答は郵送又はインターネットによる）
- (6) 調査期間 令和5年7月10日（月）～7月31日（月）
- (7) 調査実施、集計、分析 株式会社ジャンボ

4. 項目

- (1) 【市政】市政への満足度、市政への要望、市政全体への満足度
- (2) 【定住意識】現住地居住年数、前住地、居住地選択時の候補地、「横浜市」を住まいとして選んだ理由、現住地定住意向、希望する転居先、市内定住意向、横浜に住み続ける理由
- (3) 【地域におけるつながり】隣近所とのつき合い方、隣近所とのつき合いの感じ方
- (4) 【生活意識】生活満足度、心配ごとや困りごと
- (5) 【新型コロナウイルス感染症の暮らしへの影響】新型コロナウイルス感染症の影響
- (6) 【横浜市の魅力】横浜市の魅力
- (7) 【地域への愛着】横浜市に対して、区に対して、周辺の地域に対して
- (8) 【今後の横浜のまち】今後の横浜のまち
- (9) 【グローバルな人材の育成】必要な能力
- (10) 【国際園芸博覧会】認知度
- (11) 【大都市制度】認知度

5. 回収結果

- (1) 回収件数 2,203件（郵送回答1,452件／インターネット回答751件）
- (2) 回収率 44.1%
- (3) 未回収件数 2,797件（転居、住所不明82件を含む）

6. 集計方法

単純集計と以下の項目別クロス集計を行った。

区別（18 区別）、ブロック別（4 ブロック別）、年齢別、性・年齢別、ライフステージ別、世帯類型別、設問間クロス集計

7. 報告書の見方

- (1) n は質問に対する回答の対象者数で、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- (2) 百分比は少数第 2 位を四捨五入して少数第 1 位まで示している。このため、内訳の合計が 100.0%に満たない場合や、上回る場合がある。
- (3) 1 回答者が 2 つ以上の回答をしてもよい複数回答の設問では、百分比の合計は通常 100.0%を超える。
- (4) 本文や図表中の選択枝表記では、語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (5) 単純無作為抽出を用いた場合の標本誤差（サンプル誤差）は、信頼度を 95%としたとき、次の式によって得られる。標本誤差の幅は、比率算出の基数(n)、及び回答比率（P）によって異なる。

<標本誤差の計算式>

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P \times (1-P)}{n}}$$

N = 母集団数

n = 回答件数（比率算出の基数）

P = 回答比率

<標本誤差早見表>

回答比率(P) 基数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
2,203 人	±1.25	±1.67	±1.91	±2.05	±2.09
2,000 人	±1.31	±1.75	±2.01	±2.15	±2.19
1,000 人	±1.86	±2.48	±2.84	±3.04	±3.10
500 人	±2.63	±3.51	±4.02	±4.29	±4.38
100 人	±5.88	±7.84	±8.98	±9.60	±9.80

※ 母集団は横浜市全体の満 18 歳以上人口 3,222,960 人である。（令和 5 年 3 月 31 日）

<標本誤差の見方>

例えば、「ある設問の回答者数が 2,203 であり、その設問中の回答比率が 60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも 2.05 以内（57.95%～62.05%）である」とみることができる。

ただし、信頼度が 95%であるので、そのように判断することは 95%の確率で正しいことになる。

8. 回収標本構成

(1) 区別

	実数	割合 (%)
全体	2,203	100.0%
鶴見区	176	8.0%
神奈川区	134	6.1%
西区	58	2.6%
中区	83	3.8%
南区	105	4.8%
港南区	131	5.9%
保土ヶ谷区	109	4.9%
旭区	124	5.6%
磯子区	91	4.1%
金沢区	130	5.9%
港北区	184	8.4%
緑区	110	5.0%
青葉区	170	7.7%
都筑区	106	4.8%
戸塚区	183	8.3%
栄区	77	3.5%
泉区	95	4.3%
瀬谷区	83	3.8%
無回答	54	2.5%

(2) ブロック別

	実数	割合 (%)
全体	2,203	100.0%
東部	556	25.2%
西部	594	27.0%
南部	429	19.5%
北部	570	25.9%
無回答	54	2.5%

※ブロック別の構成は、以下のとおりである。
 東部：鶴見区、神奈川区、西区、中区、南区
 西部：保土ヶ谷区、旭区、戸塚区、泉区、瀬谷区
 南部：港南区、磯子区、金沢区、栄区
 北部：港北区、緑区、青葉区、都筑区

(3) 性・年齢別

	調査結果		市全体（令和5年3月31日現在）		
	実数	割合 (%)	人口 (人)	構成比 (%)	
全体（満18歳以上）	2,203	100.0%	3,222,960	100.0%	
18～29歳	171	7.8%	490,565	15.2%	
（18～19歳）	(23)	(1.0%)	(68,413)	(2.1%)	
30代	247	11.2%	431,141	13.4%	
40代	320	14.5%	545,488	16.9%	
50代	441	20.0%	602,103	18.7%	
60代	356	16.2%	407,897	12.7%	
70歳以上	612	27.8%	745,766	23.1%	
（80歳以上）	(212)	(9.6%)	(323,068)	(10.0%)	
男性計	977	44.3%	1,586,791	49.2%	
女性計	18～29歳	83	3.8%	250,494	7.8%
	（18～19歳）	(10)	(0.5%)	(35,092)	(1.1%)
	30代	129	5.9%	221,270	6.9%
	40代	129	5.9%	278,102	8.6%
	50代	181	8.2%	309,152	9.6%
	60代	168	7.6%	206,298	6.4%
	70歳以上	285	12.9%	321,475	10.0%
	（80歳以上）	(95)	(4.3%)	(124,006)	(3.8%)
女性計	1,143	51.9%	1,636,169	50.8%	
性別・年齢無回答	18～29歳	85	3.9%	240,071	7.4%
	（18～19歳）	(13)	(0.6%)	(33,321)	(1.0%)
	30代	117	5.3%	209,871	6.5%
	40代	186	8.4%	267,386	8.3%
	50代	253	11.5%	292,951	9.1%
	60代	185	8.4%	201,599	6.3%
	70歳以上	316	14.3%	424,291	13.2%
	（80歳以上）	(113)	(5.1%)	(199,062)	(6.2%)
性別・年齢無回答	56	2.5%	—	—	

（注）市全体の人口は、横浜市年齢別男女別人口（住民基本台帳登録者数）による。

(4) ライフステージ別

本調査においては各ライフステージとして、次のとおり属性を定めた。

属性	数値	実数	割合	内容
全 体		2,203	100.0%	
子どもなし (計)		606	27.5%	
1 単身 (1)		216	9.8%	配偶者なし・子どもなし・40歳未満
2 単身 (2)		136	6.2%	配偶者なし・子どもなし・40～64歳
3 夫婦だけ (1)		47	2.1%	配偶者あり・子どもなし・40歳未満
4 夫婦だけ (2)		116	5.3%	配偶者あり・子どもなし・40～64歳
5 高齢子どもなし		91	4.1%	65歳以上・子どもなし
子どもあり (計)		1,416	64.3%	
6 家族形成期		103	4.7%	子どもあり・第一子が小学校入学前
7 家族成長前期		120	5.4%	子どもあり・第一子が小学校在学中
8 家族成長中期		126	5.7%	子どもあり・第一子が中学校又は高校在学中
9 家族成長後期		116	5.3%	子どもあり・第一子が各種学校・専修・専門学校・短大・大学生・大学院生の子を持つ親
10 家族成熟前期		72	3.3%	子どもあり・第一子が学校教育終了・教育期*の子どもがいる
11 家族成熟中期		277	12.6%	子どもあり・子どもが全員学校教育を終了・65歳未満
12 家族成熟後期		602	27.3%	子どもあり・子どもが全員学校教育を終了・65歳以上
その他		181	8.2%	1～12以外、分類不能

※ 教育期・・小学校、中学校、高校、各種学校、専修、専門学校、短大、大学生又は大学院に在学中

<ライフステージとその構成条件>

質問、項目名 選択肢名		ライフ ステージ												そ の 他	
		1 単 身 (1)	2 単 身 (2)	3 夫 婦 だ け (1)	4 夫 婦 だ け (2)	5 高 齢 子 ど も な し	6 家 族 形 成 期	7 家 族 成 長 前 期	8 家 族 成 長 中 期	9 家 族 成 長 後 期	10 家 族 成 熟 前 期	11 家 族 成 熟 中 期	12 家 族 成 熟 後 期		
F6 子 ど も	なし あり	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
F2 年 齢	40歳未満 40歳～64歳 65歳以上	○		○			/	/	/	/	/	/	○		
F5 未 ・ 既 婚	既婚・有配偶者 既婚・配偶者離死別 未婚			○	○	○	/	/	/	/	/	/	/	/	/
F 6 子 ど も の 成 長 段 階	小学校入学前 小学校在学中 中学校在学中 高校在学中 各種・専修・専門学校在学中 短大・大学・大学院在学中 学校教育終了 未婚・同居 未婚・別居 既婚・同居 既婚・別居	/	/	/	/	/	○		○		○	○	○	○	○

(注1) ライフステージ間は重複しないものとする。

(注2) 子どもの成長段階の欄のうち、「6 家族形成期」、「7 家族成長前期」、「8 家族成長中期」、「9 家族成長後期」の○印は、子どもが複数いる場合、第一子の状況とする。

(注3) 子どもの成長段階の欄のうち、「10 家族成熟前期」は、◎印及び○印がそれぞれ1つ以上あることを条件とする。

(注4) ライフステージの「その他」は、1～12以外のもの及び分類不能なもの（構成条件の質問で「その他」もしくは「無回答」と回答したもの）である。

(5) 世帯類型別

本調査においては各世帯類型として、次のとおり属性を定めた。

属性	数値	実数	割合	内容
全 体		2,203	100.0%	
1 ひとり暮らし (1)		62	2.8%	ひとり暮らし・40歳未満
2 ひとり暮らし (2)		90	4.1%	ひとり暮らし・40～64歳
3 ひとり暮らし (3)		117	5.3%	ひとり暮らし・65歳以上
4 夫婦のみ (1)		194	8.8%	夫婦二人暮らし・子どもなし
5 夫婦のみ (2)		389	17.7%	夫婦二人暮らし・子どもあり
6 子と同居 (1)		467	21.2%	親子2世代で同居・教育期*の子どもがいる
7 子と同居 (2)		285	12.9%	親子2世代で同居・子どもが全員学校教育終了
8 親と同居 (1)		134	6.1%	親子2世代で同居・子どもなし・40歳未満
9 親と同居 (2)		65	3.0%	親子2世代で同居・子どもなし・40歳以上
10 祖父母と親と子		77	3.5%	祖父母と親子と子3世代で同居
その他		323	14.7%	1～10以外、分類不能

※ 教育期…小学校、中学校、高校、各種学校、専修、専門学校、短大、大学生又は大学院に在学中

<世帯類型とその構成条件>

世帯類型 質問、項目名 選択肢名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他
		ひとり暮らし(1)	ひとり暮らし(2)	ひとり暮らし(3)	夫婦のみ(1)	夫婦のみ(2)	子と同居(1)	子と同居(2)	親と同居(1)	親と同居(2)	祖父母と親と子	
F7 家族形態	一人暮らし	○	○	○								
	夫婦のみ				○	○						
	親と子(2世代)						○	○	○	○		
	祖父母と親と子(3世代)										○	
F6 子どもの成長段階	子どもはいない				○				○	○		
	小学校入学前					○	○					
	小学校在学中					○	○					
	中学校在学中					○	○					
	高校在学中					○	○					
	各種・専修・専門学校在学中					○	○					
	短大・大学・大学院在学中					○	○					
	学校教育終了							○	○	○		
F2 年齢	40歳未満	○							○			
	40歳～64歳		○							○		
	65歳以上			○						○		

(注1) 世帯類型間は重複しないものとする。

(注2) 子どもの成長段階の欄のうち、「6 子と同居(1)」は、○印が1つ以上あることを条件とし、学校教育を終了した子どもの有無は問わない。「7 子と同居(2)」は学校教育を終了した子どものみとする。((○)印は分類には影響しない)

(注3) 世帯類型の「その他」は、1～10以外のもの及び分類不能なもの(構成条件の質問で「その他」もしくは「無回答」と回答したもの)である。

(6) 出生地別

属性	数値	実数	割合
全体		2,203	100.0%
横浜生まれ		648	29.4%
横浜以外		1,500	68.1%
無回答		55	2.5%

(7) 未・既婚別

属性	数値	実数	割合
全体		2,203	100.0%
既婚(計)		1,712	77.7%
有配偶者		1,462	66.4%
離死別		250	11.3%
未婚		425	19.3%
無回答		66	3.0%

(8) 共働き状況別 n=既婚(有配偶者)

属性	数値	実数	割合
全体		1,462	100.0%
共働きしている		680	46.5%
共働きしていない		777	53.1%
無回答		5	0.3%

(9) 職業別

属性	数値	実数	割合
全体		2,203	100.0%
有職者(計)		1,335	60.6%
自営業		124	5.6%
管理職		140	6.4%
専門技能職		227	10.3%
事務職		422	19.2%
現業職		422	19.2%
無職者(計)		813	36.9%
専業主婦・主夫		282	12.8%
学生		51	2.3%
無職		480	21.8%
無回答		55	2.5%

(10) 就業形態別 n=自営業を除く有職者

属性	数値	実数	割合
全体		1,211	100.0%
会社役員		76	6.3%
正社員・正規職員		654	54.0%
アルバイト・パート		284	23.5%
派遣社員		39	3.2%
契約社員・嘱託社員		127	10.5%
その他		20	1.7%
無回答		11	0.9%

(11) 勤務地別 n=自営業を除く有職者

属性	数値	実数	割合
全体		1,211	100.0%
居住区内		295	24.4%
市内他区		384	31.7%
川崎市		83	6.9%
川崎市を除く県内の他市町村		63	5.2%
東京都区部		314	25.9%
東京都区部を除く東京都		18	1.5%
千葉県		4	0.3%
埼玉県		2	0.2%
その他		37	3.1%
無回答		11	0.9%

(12) 住居形態別

属性	数値	実数	割合
全体		2,203	100.0%
持家(一戸建て)		1,021	46.3%
持家(マンション・共同住宅)		655	29.7%
借家(一戸建て)		22	1.0%
借家(県営・市営の共同住宅)		45	2.0%
借家(都市再生機構(旧公団)・公社の共同住宅)		60	2.7%
借家(社宅、公務員住宅)		35	1.6%
借家(民間アパート、民間賃貸マンション)		316	14.3%
その他		18	0.8%
無回答		31	1.4%

(13) 鉄道路線別

属性	数値	実数	割合
全体		2,203	100.0%
横浜線		165	7.5%
東横線・みなとみらい線		188	8.5%
田園都市線・こどもの国線		177	8.0%
根岸線		179	8.1%
相鉄線		328	14.9%
東海道線北部		155	7.0%
東海道線南部		212	9.6%
京浜急行線		277	12.6%
市営地下鉄北部		235	10.7%
市営地下鉄南部		146	6.6%
その他・不明		141	6.4%

(注)・東海道線北部:「東海道・横須賀線」のうちの鶴見区・神奈川区、「京浜東北線」、「京浜急行線」のうちの鶴見区、「南武線」、「鶴見線」
 ・東海道線南部:「東海道・横須賀線」のうちの鶴見区・神奈川区以外
 ・京浜急行線:「京浜急行線」のうちの鶴見区以外、「金沢シーサイドライン」
 ・市営地下鉄線北部:「市営地下鉄線」のうちの神奈川区・港北区・緑区・青葉区・都筑区
 ・市営地下鉄線南部:「市営地下鉄線」のうちの神奈川区・港北区・緑区・青葉区・都筑区以外

9. 調査票と単純集計結果

『横浜市民意識調査』 調査票

[%の基数表示の無いものは、n=2,203]

【定住意識】 お住まいのご様子についてお尋ねします。

問1 あなたは、今のお住まいにいつごろから住んでいますか。(○は1つ)

2.4	65年以上前〔昭和33年(1958年)以前〕	
3.3	55～64年前〔昭和34～43年(1959～1968年)〕	
7.4	45～54年前〔昭和44～53年(1969～1978年)〕	
9.4	35～44年前〔昭和54～63年(1979～1988年)〕	
15.5	25～34年前〔平成元年(昭和64年)～平成10年(1989～1998年)〕	
22.7	15～24年前〔平成11～20年(1999～2008年)〕	
11.3	10～14年前〔平成21～25年(2009～2013年)〕	
10.7	5～9年前〔平成26～30年(2014～2018年)〕	
16.6	5年未満〔平成31年(2019年)以降〕	0.7 (無回答)

問2 あなたが現住所の直前に住んでいたところはどちらですか。(○は1つ)

3ページ
問3へ

4.8	生まれてからずっと現住所に住んでいる	4.5	川崎市を除く県内の他市町村
31.0	今住んでいるのと同じ区内	8.1	東京都区部
29.3	横浜市内の別の区	2.1	東京都区部を除く東京都内
6.6	川崎市	12.7	そのほかの道府県・国外

0.8 (無回答)

(問2で「2」～「8」と答えた方に)

問2-1 現在のお住まいを決める際に、お住まいが「横浜市」であることを意識していましたか。(○は1つ) (n=2,079)

53.6	当初から「横浜市」に住むつもりだった。
11.6	いくつかの候補地の中で、最も「横浜市」に住みたいと思っていた。
1.7	「横浜市」は候補地の1つだったが、できれば「横浜市」以外に住みたいと思っていた。
12.0	「横浜市」を含めた候補地のうち、どこに住んでもよいと思っていた。
1.4	「横浜市」は、候補地として考えていなかった。
13.7	候補地は決めていなかった。
	6.0 (無回答)

問2-2 「横浜市」をお住まいとして選んだ理由は何ですか。(○はいくつでも) (n=2,079)

22.0	生まれ育った場所だから	8.3	街ににぎわいや活気があるから
17.5	自分や家族の持家だから	13.3	街並みや景観がよいから
9.9	家賃や住宅の価格が手ごろだから	13.8	自然が身近にあるから
24.8	親や子、親族、友人などがいるから	16.2	街のイメージがよいから
42.7	通勤・通学に便利だから	14.8	愛着を感じているから
21.2	買い物、医療などの生活環境が整っているから	24.0	横浜が好きだから
7.1	子育ての環境が整っているから	9.9	その他(具体的に)
11.1	余暇や休日を楽しく過ごせる場所があるから	4.0	特に理由はない
			2.4 (無回答)

問3 あなたは、これからもずっと今のお住まいに住み続けますか。(〇は1つ)

35.5 住み続ける	9.6 たぶん転居する	12.5 わからない	1.1 (無回答)
37.3 たぶん住み続ける	4.0 転居する		

問4へ

問5へ

(問3で「3」または「4」と答えた方に)

→ 問3-1 現実の問題は別として、次の転居先としては、同じ区内、横浜市内、横浜市以外のいずれを希望されますか。(〇は1つ)

12.0 同じ区内	23.1 横浜市内	31.1 横浜市以外	32.8 具体的にはわからない	(n=299)
-----------	-----------	------------	-----------------	---------

問4へ

問5へ

1.0 (無回答)

(問3で「1」または「2」と答えた方、問3-1で「1」または「2」と答えた方に)

→ 問4 あなたが横浜に住み続けようと思うのは、どのような理由からですか。(〇はいくつでも) (n=1,710)

25.6 生まれ育った場所だから	10.4 街ににぎわいや活気があるから
50.9 自分や家族の持家だから	16.7 街並みや景観がよいから
2.9 家賃や住宅の価格が手ごろだから	18.8 自然が身近にあるから
29.2 親や子、親族、友人などがいるから	15.3 街のイメージがよいから
27.9 通勤・通学に便利だから	40.1 長年住んでいて愛着があるから
34.0 買い物、医療などの生活環境が整っているから	32.6 横浜が好きだから
4.0 子育ての環境が整っているから	1.4 その他(具体的に)
17.0 余暇や休日を楽しく過ごせる場所があるから	2.5 特に理由はない
	1.3 (無回答)

【地域におけるつながり】隣近所とのつき合い方についてお尋ねします。

問5 あなたは、隣近所と普段どのようなつき合い方をしていますか。(〇は1つ)

14.1 顔もよく知らない	0.7 (無回答)
48.2 道で会えば挨拶ぐらいする	
27.9 たまに立ち話をする	
4.7 一緒に買い物に行ったり、気の合った人と親しくしている	
4.4 困ったとき、相談したり助け合ったりする	

問6 あなたは、隣近所とのつき合いをどのように感じていますか。(〇は1つ)

78.8 互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい	0.9 (無回答)
8.7 人間関係が薄く、みながばらばらな感じでさびしい	
10.6 親密な人間関係があって、暮らしやすい	
1.1 人間関係が濃密で、わずらわしい	

【生活意識】生活の満足度や心配ごとなどについてお尋ねします。

問7 あなたは、今のご自分の生活に満足しているほうですか。それとも、不満があるほうですか。
(○は1つ)

26.9 満足しているほう	6.6 やや不満があるほう
48.8 まあ満足しているほう	3.4 不満があるほう
12.6 どちらともいえない	1.7 (無回答)

問8 今のご自分の生活について、次の項目別にみると、満足しているほうですか。それとも、不満があるほうですか。(○はそれぞれ1つ)

	ほ満足している	いまある満足している	いどちえらなど	あやるや不満がある	ほ不満がある	無回答
(ア) 住まい	32.1	48.3	9.4	6.7	2.5	1.0
(イ) 自由に過ごせる時間	30.8	44.7	12.6	7.7	3.1	1.2
(ウ) 仕事・学業	14.9	36.7	26.1	6.6	4.1	11.5
(エ) 収入	10.1	32.4	28.4	17.4	9.0	2.7
(オ) 健康	15.3	43.7	22.6	11.8	5.0	1.6
(カ) 家族との関係	37.4	43.3	12.2	3.4	2.0	1.8
(キ) 友人や近隣とのつき合い	16.5	48.9	28.4	3.4	1.5	1.4

問9 あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。
(○は3つまで)

53.7 自分の病気や健康、老後のこと	3.8 近隣からの悪臭・騒音
39.2 家族の病気や健康、生活上の問題	4.3 環境問題
6.1 失業・倒産や収入が減ること	7.7 事故や災害のこと
13.1 仕事や職場のこと	8.4 犯罪や防犯のこと
29.4 景気や生活費のこと	9.7 住宅のこと
11.5 子どもの保育や教育のこと	4.0 その他(具体的に)
6.9 子どもの結婚や就職のこと	10.6 心配ごとや困っていることはない

2.5 (無回答)

【市 政】市の行政などについてお尋ねします。

問 10 あなたが、(ア) 満足している公共サービス、(イ) 今後、充実すべきだと思う公共サービスは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。(○はいくつでも)

選択肢	(ア)満足している	(イ)充実すべき
1 バス・地下鉄などの便	54.1	20.7
2 幹線道路や高速道路の整備	29.9	10.0
3 通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	25.2	27.5
4 違法駐車防止や交通安全対策	10.6	24.5
5 最寄り駅周辺の整備	22.9	24.2
6 魅力的な郊外部まちづくり	11.9	18.5
7 都心部の整備や魅力づくり	16.4	9.7
8 街並みや景観の形成や保全	19.5	15.5
9 港湾機能と市民が親しめる港づくり	14.0	9.4
10 観光やコンベンション(国際会議やイベント)の振興	14.4	7.4
11 身近な住民窓口サービス	15.2	19.4
12 役所等に出向かずにインターネットで手続等ができるオンライン化	13.3	24.1
13 中小企業振興や雇用の創出	4.1	16.3
14 商店街の振興	5.9	25.5
15 スタートアップ支援、企業誘致等による市内経済活性化	4.9	11.9
16 野菜栽培や市民農園などの都市農業の振興	6.8	15.1
17 公園・動物園の整備	20.6	16.8
18 緑の保全と緑化の推進	17.8	20.2
19 河川改修と水辺環境の整備	11.2	17.2
20 下水道施設整備による身近な川や海などの水質改善	9.9	17.0
21 良質な水の確保や安定供給	20.8	13.3
22 ごみの分別収集、リサイクル	31.6	14.5
23 ごみの不法投棄対策や街の美化	8.4	24.6
24 脱炭素社会に向けた取組	4.7	17.9
25 地震や台風などの災害対策	6.2	30.2
26 防犯対策	5.8	29.8
27 妊娠・出産・子育て期における支援	6.4	26.6
28 保育サービスや放課後の居場所づくり	5.9	22.5
29 保護や支援を必要とする子ども・家庭への援助	4.6	22.7
30 学校教育の充実	6.7	21.8
31 青少年の健全育成	4.7	16.1
32 病院や救急医療など医療提供体制の充実	12.8	29.0
33 ライフステージに応じた心身の健康づくり	6.2	14.5
34 高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など)	8.9	25.8
35 高齢者福祉	7.3	28.8
36 障害者福祉	6.0	20.2
37 生活に困難を抱えている人への自立支援	4.6	20.5
38 良好な住まい・住環境の確保	10.4	15.2
39 地域コミュニティの活性化や支えあい	7.5	12.7
40 市内大学と連携した地域づくり	6.2	9.3
41 市民の文化芸術活動への支援と環境整備	7.4	8.2
42 スポーツの振興と環境整備	9.4	9.0
43 橋梁や上下水道などの都市インフラの老朽化対策	4.8	26.3
44 国際交流・協力、多文化共生の推進	7.7	8.8
45 ジェンダー平等の推進、人権問題への対応	5.0	13.6
46 わからない	6.1	1.7
無回答	12.8	8.5

問 11 あなたは、全体として市の行政サービスや業務に満足しているほうですか。それとも、不満があるほうですか。（○は1つ）

6.7	満足しているほう	9.9	やや不満があるほう
37.3	まあ満足しているほう	5.0	不満があるほう
31.8	どちらともいえない	2.7	わからない
			2.7（無回答）

【新型コロナウイルス感染症の暮らしへの影響】

問 12 新型コロナウイルス感染症の取扱いが変更されましたが、一年前の今ごろとくらべて、あなたの生活で次のことが増えましたか。それとも減りましたか。なお、ご自身に関連しない項目については「変わらない」に○をしてください。（○はそれぞれ1つ）

	増えた	変わらない	減った	無回答
(ア) 世帯の収入	5.9	73.3	18.8	2.1
(イ) 世帯の支出	49.8	44.2	3.7	2.3
(ウ) しごと・労働時間（学業を含む）	14.0	69.3	9.0	7.7
(エ) 一人で過ごす時間	19.1	65.0	13.5	2.4
(オ) 家族と過ごす時間	16.7	69.5	10.8	3.0
(カ) 友人・知人と過ごす時間	14.9	43.4	39.2	2.5
(キ) 地域の人とのつながり	5.4	70.4	21.7	2.6
(ク) 運動する時間	12.0	61.2	23.4	3.4
(ケ) 店舗に出向いて買い物をする機会	20.2	51.9	25.8	2.1
(コ) インターネットショッピングや通販の利用	29.5	60.0	5.8	4.8
(サ) 外出する機会	26.4	38.9	32.7	2.0
(シ) インターネットの利用	29.6	60.6	4.6	5.2

【横浜の魅力】

問 13 「横浜」について魅力を感じる点はどんなところですか。（〇は3つまで）

12.9	経済的に活力があり、働く場に恵まれている	
23.3	国際的な雰囲気がある	
1.7	物価や地価が安定している	
49.9	ショッピング施設が充実しており買い物が便利である	
29.8	道路鉄道網が発達しており買い物が便利である	
9.5	文化・スポーツ・娯楽施設が充実している	
39.9	海や港が身近にある	
26.7	まとまった緑地などの自然が残っている	
5.0	情報が豊富で、新しい文化が生まれ、街が個性的である	
12.2	伝統が息づき、古い街並みや建物が残るなど街に落ち着きがある	
1.8	人情味が豊かで人と人との触れあいがある	
3.5	地域社会が開放的でさばさばしている	
2.1	防災対策が充実しており、安心して暮らせる	
7.1	風紀が良く犯罪が少ない	
4.7	特に魅力を感じる点はない	3.9（無回答）

【地域への愛着】

問 14 あなたは、横浜やお住まいの区、周辺地域に対して、愛着や誇りを感じていますか。

（〇はそれぞれ1つ）

	感 じ て い る	や や 感 じ て い る	い ど ち え ら な い も	て あ ま い り な 感 い じ	て ま っ た い た く な 感 い じ	無 回 答
(ア) 横浜に対して	38.5	37.3	16.0	5.0	1.9	1.3
(イ) お住まいの区に対して	24.7	40.2	23.2	7.9	2.6	1.4
(ウ) お住まいの周辺の地域に対して	22.9	39.6	25.1	8.4	2.5	1.5

【今後の横浜のまち】

問 15 横浜市では横浜市中期計画 2022～2025 において、「2040 年頃の横浜のありたい姿」として共にめざす都市像「明日をひらく都市 OPEN×PIONEER 2040 YOKOHAMA」を掲げています。今後の横浜のまちについて、あなたはどのようなまちになるとよいと思いますか。最も優先したいものを5つまでお選びください。（○は5つまで）

44.0	子どもを安心して育てられる	
9.7	住民同士の協力や助け合いが盛んである	
44.7	高齢者や障害のある人も暮らしやすい	
49.7	医療体制が充実している	
10.8	国籍をはじめ、文化の違いや多様性を認め合う風土がある	
25.7	バスやタクシーなど地域での移動の手段が充実している	
24.0	鉄道・道路など交通ネットワークが整備されている	
15.7	多くの企業が集まり、安定した雇用がある	
6.9	様々な分野で先端技術を活かした取組が進んでいる	
10.3	国内外から多くの観光客が訪れ、にぎわいがある	
22.3	歴史のある建造物、美しい景観や街並みが多くある	
12.7	魅力的な商業施設が多い	
12.7	文化・芸術に触れる機会が多くある	
8.4	スポーツに親しむ機会（観戦や応援を含む）が身近にある	
28.8	豊かな自然がある	
6.4	脱炭素社会の実現に向けた取組が進んでいる	
33.0	災害に強い	
37.1	犯罪が起きにくい	
20.3	市民の声が市政に十分反映されている	
1.3	その他（具体的に	）
2.1	特にな	2.1（無回答）

【グローバルな人材の育成】

問 16 横浜市ではグローバルな視点をもって活躍できる人材の育成を進めています。グローバルに活躍するために必要だと考える能力は何ですか。（○はいくつでも）

72.0	語学力やコミュニケーション能力	
40.8	外国人との交流や社会参画を受け入れる積極性	
52.1	多様性や異文化への理解	
29.4	横浜に対する愛着と魅力の発信力	
43.1	国際社会の動向などについての幅広い教養	
21.2	脱炭素社会の実現に向けた地球規模の問題に対する当事者意識	3.7（無回答）

【国際園芸博覧会】国際園芸博覧会についてお尋ねします。

問17 あなたは、本市で開催される予定の2027年国際園芸博覧会（正式略称「GREEN×EXPO 2027」）について、どの程度知っていますか。（○は一つ）

2.5	よく知っている	
8.3	聞いたことがあり、内容もある程度知っている	
37.3	聞いたことはあるが、内容はよく知らない	
50.8	まったく知らない	1.1（無回答）

2027年、横浜で万博が開催されます！

GREEN × EXPO 2027

2027年国際園芸博覧会

【開催期間】 2027年3月19日（金）～9月26日（日）

【開催場所】 旧上瀬谷通信施設（旭区・瀬谷区）

【開催者】 公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

＼詳細はこちら／



公式ウェブサイト↑

2027年、国際園芸博覧会「GREEN×EXPO 2027」が、横浜・旧上瀬谷通信施設で開催されます。

国内で7回目、1都3県では初の万博です。「幸せを創る明日の風景」をテーマに、自然・人・社会が「ともに持続するための最適解」を横浜の地で描いていきます。

地球温暖化をはじめとする人類共通の課題に対してグリーンの力を活用した解決策を提示し、それをショーケースとして世界に力強く発信します。



※（公社）2027年国際園芸博覧会協会より提供

【大都市制度】横浜市が目指す大都市制度についてお尋ねします。

問 18 あなたは、横浜市が目指す「特別市（以前使用していた名称の「特別自治市」を含む）」について、どの程度知っていますか。（〇は1つ）

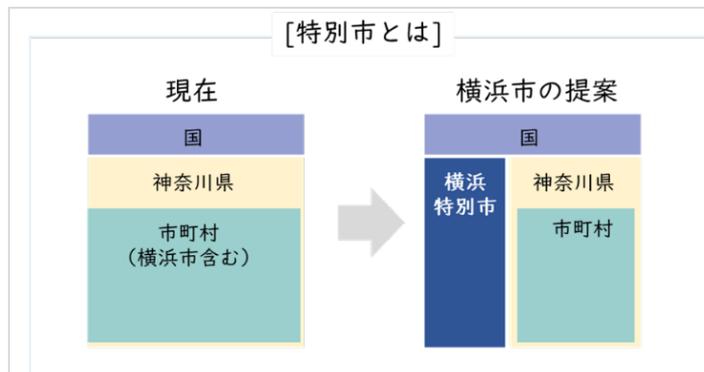
- | | |
|---------------------------|----------|
| 1.1 よく知っている | |
| 6.4 聞いたことがあり、内容もある程度知っている | |
| 28.7 聞いたことはあるが、内容はよく知らない | |
| 61.2 まったく知らない | 2.6（無回答） |

「特別市」～横浜市が目指す新たな地方自治の仕組み～

政令市である横浜市は、370万人を超える人口と、14.5兆円もの経済規模を持つ、四国4県とほぼ同じ規模の大都市ですが、神奈川県下の市町村の一つです。現在、県と市が分担あるいは重複して、それぞれの仕事を行っています。

市民に身近な横浜市が地方自治体の仕事を一括して担うことができるようになると、地域の声が届きやすく、素早い対応もでき、市民サービスの向上や地域経済の一層の活性化が期待できます。そのための新たな地方自治の仕組みが「特別市」です。

横浜市は他の政令市と共に、法律で「特別市」の制度をつくることを国に提案しています。



詳細はこちら



市ウェブサイト↑

【あなたのこと】

最後に、あなたご自身やご家族のことについてお尋ねします。統計上、必要なものですので、ご記入を
よろしく願いいたします。

F 1 あなたの性別は。(○は1つ) ※選択することに違和感のある場合は回答不要です。

44.3 男性 51.9 女性 3.8 (無回答)

F 2 あなたのお年は何歳ですか。(○は1つ)

1.0 18～19 歳	5.9 35～39 歳	9.2 55～59 歳	9.6 75～79 歳
3.3 20～24 歳	6.3 40～44 歳	8.9 60～64 歳	2.5 80 歳以上
3.4 25～29 歳	8.2 45～49 歳	7.3 65～69 歳	
5.3 30～34 歳	10.8 50～54 歳	9.3 70～74 歳	2.5 (無回答)

F 3 あなたのお住まいの区はどちらですか。(○は1つ)

7.7 青葉区	4.1 磯子区	5.9 港南区	3.8 瀬谷区	8.3 戸塚区	4.9 保土ヶ谷区
5.6 旭区	6.1 神奈川区	8.4 港北区	4.8 都筑区	3.8 中区	5.0 緑区
4.3 泉区	5.9 金沢区	3.5 栄区	8.0 鶴見区	2.6 西区	4.8 南区
2.5 (無回答)					

F 4 あなたは横浜生まれですか。(○は1つ)

29.4 はい 68.1 いいえ 2.5 (無回答)

F 5 あなたは、結婚なさっていますか。配偶者の方はご健在ですか。(○は1つ)

66.4 既婚(配偶者あり) 11.3 既婚(離別・死別) 19.3 未婚 3.0 (無回答)

(F 5で「1」と答えた方に)

→ F 5-1 あなたは共働きをしていますか。(○は1つ)

(n=1,462)

46.5 している 53.1 していない 0.3 (無回答)

F 6 あなたにお子さんはいますか。いらっしゃる場合、お子さんは次のどの段階にあたりますか。別居しているお子さんも含め全員について、それぞれお答えください。(○はいくつでも)

27.6 子どもはいない	6.6 短大・大学・大学院在学中
7.3 小学校入学前	16.1 学校教育終了-未婚-同居
7.9 小学校在学中	13.1 学校教育終了-未婚-別居
5.1 中学校在学中	3.4 学校教育終了-既婚-同居
5.5 高校在学中	26.8 学校教育終了-既婚-別居
1.4 各種学校、専修・専門学校在学中	2.7 その他(具体的に)
5.3 (無回答)	

F 7 お宅の家族形態は、次の中のどれにあたりますか。同居している方のみを対象に当てはまるものをお答えください。(○は1つ)

12.2 一人暮らし	3.5 祖父母と親と子(3世代)
27.9 夫婦のみ	5.1 その他
44.9 親と子(2世代)	(具体的に)
6.4 (無回答)	

F 8 あなたのお住まいは、次の中のどれにあたりますか。(○は1つ)

46.3 持家(一戸建て)	2.7 借家(都市再生機構(旧公団)・公社の共同住宅)
29.7 持家(マンション・共同住宅)	1.6 借家(社宅、公務員住宅)
1.0 借家(一戸建て)	14.3 借家(民間アパート、民間賃貸マンション)
2.0 借家(県営・市営の共同住宅)	0.8 その他(具体的に)
	1.4 (無回答)

F 9 あなたの現在のご職業は何ですか。アルバイト・パートなども含めてお答えください。複数ある場合は、主なものをお答えください。(○は1つ)

5.6 自営業 (農林漁業、商・工・サービス業、自由業の自営業主および家族従業者)	
6.4 管理職 (会社の部長級以上、官公庁の課長級以上など)	
10.3 専門技術職 (勤務医師、研究所研究員、技師など)	
19.2 事務職 (事務職、営業職、教員など)	
19.2 現業職 (生産工程、販売・サービス、運転手、保安職などの従事者)	
12.8 専業主婦・主夫	
2.3 学 生	
21.8 無 職	2.5 (無回答)

(F 9で「2」～「5」と答えた方に)

→ F 9-1 あなたの現在のご職業の雇用形態や従業上の地位は何ですか。(○は1つ) (n=1,211)

6.3 会社役員	23.5 アルバイト・パート	10.5 契約社員・嘱託社員
54.0 正社員・正規職員	3.2 派遣社員	1.7 その他(具体的に)
		0.9 (無回答)

→ F 9-2 あなたの勤務地(複数ある場合は主な勤務地)はどこですか。(○は1つ) (n=1,211)

24.4 居住区内	5.2 川崎市を除く県内の他市町村	0.3 千葉県
31.7 市内他区	25.9 東京都区部	0.2 埼玉県
6.9 川崎市	1.5 東京都区部を除く東京都	3.1 その他()
		0.9 (無回答)

→ F 9-3 あなたの普段の通勤時間(片道)はどのくらいですか。勤務地が複数ある場合は、主な勤務地についてお答えください。(○は1つ) (n=1,211)

34.1 30分未満	25.8 1時間～1時間30分未満	1.2 2時間以上
33.4 30分～1時間未満	5.3 1時間30分～2時間未満	0.2 (無回答)

F 10 お宅の最寄りの鉄道駅の路線は、次の中のどれにあたりますか。2つ以上の路線駅が近くにある場合は、最も近いほうをお答えください。(○は1つ)

〔注：複数の鉄道路線が乗り入れるターミナル駅など(例えば横浜、戸塚、大船、桜木町、上大岡など)が最寄り駅の場合は、普段利用している路線名を答えてください。普段利用している路線が定かでない場合は、「14 その他・駅名」に具体的な駅名を記入してください。〕

10.3 東海道線・横須賀線	17.3 市営地下鉄線[ブルーライン・グリーンライン]
7.5 横浜線	1.1 南武線
7.4 東横線	1.1 金沢シーサイドライン
8.0 田園都市線・こどもの国線	0.4 鶴見線
4.5 京浜東北線[横浜～鶴見]	1.1 みなとみらい線
8.1 根岸線[横浜～大船]	1.0 その他・駅名
13.9 京浜急行線	(具体的に)
14.9 相鉄線[本線・いずみ野線・新横浜線]	0.5 わからない
	2.7 (無回答)

ご協力ありがとうございました

II 調査の結果

1. 市政

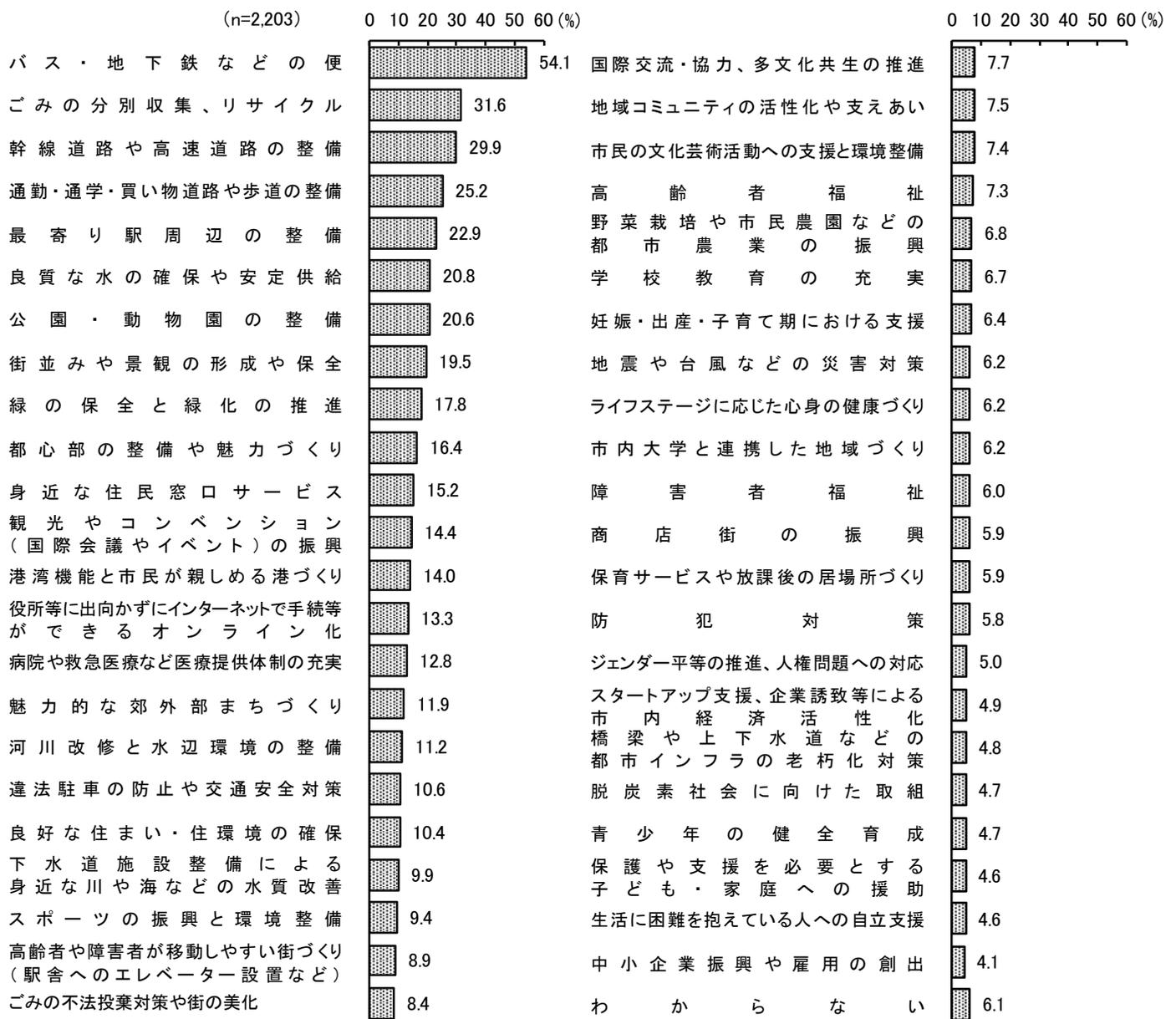
(1) 市政への満足度

問10(ア) あなたが、満足している公共サービスは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。(〇はいくつでも)

「バス・地下鉄などの便」が1位

市政への満足度について最も満足度が高いのは、「バス・地下鉄などの便」(54.1%)で、次いで「ごみの分別収集、リサイクル」(31.6%)、「幹線道路や高速道路の整備」(29.9%)、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」(25.2%)の順となっている。

図1-1-1 市政への満足度 [全体] (複数回答)



① 市政への満足度〔経年変化〕

「バス・地下鉄などの便」は16年連続1位

経年変化について単純な比較はできないが、平成15年からの上位5項目をみると、「バス・地下鉄などの便」、「ごみの分別収集、リサイクル」は、安定して上位に挙げられる項目といえる。「バス・地下鉄などの便」は、前回から0.7ポイント増加して、16年連続して1位となっている。2位の「ごみの分別収集、リサイクル」も16年連続で同じ順位となっている。

② 市政への満足度〔ブロック別〕（注）ブロック別の構成は回収標本構成（P3）参照。

「バス・地下鉄などの便」は全ブロックで1位

ブロック別にみると、全ブロックで「バス・地下鉄などの便」が1位となっている。また、全体では上位5位に含まれない項目として、東部では「街並みや景観の形成や保全」（「最寄り駅周辺の整備」と同率）、北部では「緑の保全と緑化の推進」が5位、南部では「良質な水の確保や安定供給」が4位となっている。

③ 市政への満足度〔区別〕

「バス・地下鉄などの便」はすべての区で1位

区別にみると、すべての区で「バス・地下鉄などの便」が1位となっている。また、金沢区では「公園・動物園の整備」が2位、都筑区では「緑の保全と緑化の推進」が3位、神奈川区では「都心部の整備や魅力づくり」が5位となっている。

表 1-1-1 市政への満足度 [上位5位の経年変化] (複数回答)

(%)

年度	順位	1位	2位	3位	4位	5位
平成15年		バス・地下鉄などの便 30.5	ごみの分別収集、リサイクル 20.2	公園・動物園の整備 18.4	地区センターやコミュニティハウスなどの市民利用施設の整備や市民活動の振興 14.2	美術館・図書館などの整備 13.2
16年		バス・地下鉄などの便 43.7	公園・動物園の整備 22.5	幹線道路や高速道路の整備 21.8	ごみの分別収集、リサイクル 20.6	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 19.9
17年		バス・地下鉄などの便 35.5	ごみの分別収集、リサイクル 32.3	公園・動物園の整備 19.6	良質な水の確保や安定供給 17.5	地区センターやコミュニティハウスなどの市民利用施設の整備や市民活動の振興 16.5
18年		ごみの分別収集、リサイクル 34.6	バス・地下鉄などの便 31.2	公園・動物園の整備 19.2	良質な水の確保や安定供給 16.8	最寄駅の周辺の整備 15.7
19年		ごみの分別収集、リサイクル 37.1	バス・地下鉄などの便 32.9	良質な水の確保や安定供給 16.6	公園・動物園の整備 15.8	最寄駅の周辺の整備 14.6
20年		バス・地下鉄などの便 39.5	ごみの分別収集、リサイクル 34.0	良質な水の確保や安定供給 20.1	最寄駅の周辺の整備 18.2	公園・動物園の整備 16.7
21年		バス・地下鉄などの便 43.2	ごみの分別収集、リサイクル 33.8	良質な水の確保や安定供給 21.4	公園・動物園の整備 19.4	最寄駅の周辺の整備 19.0
22年		バス・地下鉄などの便 43.3	ごみの分別収集、リサイクル 35.3	最寄り駅周辺の整備 21.1	公園・動物園の整備 19.3	良質な水の確保や安定供給 18.3
23年		バス・地下鉄などの便 44.6	ごみの分別収集、リサイクル 34.1	良質な水の確保や安定供給 20.8	最寄り駅周辺の整備 20.5	公園・動物園の整備 16.4
24年		バス・地下鉄などの便 43.2	ごみの分別収集、リサイクル 33.8	最寄り駅周辺の整備 20.7	良質な水の確保や安定供給 20.2	公園・動物園の整備 18.7
25年		バス・地下鉄などの便 45.2	ごみの分別収集、リサイクル 37.2	良質な水の確保や安定供給 22.2	最寄り駅周辺の整備 19.3	公園・動物園の整備 18.0
26年		バス・地下鉄などの便 44.6	ごみの分別収集、リサイクル 35.5	良質な水の確保や安定供給 18.8	最寄り駅周辺の整備 16.5	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 15.7
27年		バス・地下鉄などの便 48.1	ごみの分別収集、リサイクル 35.3	良質な水の確保や安定供給 22.8	最寄り駅周辺の整備 18.8	幹線道路や高速道路の整備 17.0
28年		バス・地下鉄などの便 50.1	ごみの分別収集、リサイクル 37.2	良質な水の確保や安定供給 22.7	最寄り駅周辺の整備 19.9	公園・動物園の整備 18.4
29年		バス・地下鉄などの便 50.7	ごみの分別収集、リサイクル 34.3	良質な水の確保や安定供給 22.8	最寄り駅周辺の整備 21.3	公園・動物園の整備 19.3
30年		バス・地下鉄などの便 47.1	ごみの分別収集、リサイクル 35.8	良質な水の確保や安定供給 21.5	最寄り駅周辺の整備 20.4	公園・動物園の整備 18.7
令和元年		バス・地下鉄などの便 49.0	ごみの分別収集、リサイクル 35.5	良質な水の確保や安定供給 24.9	最寄り駅周辺の整備 20.4	緑の保全と緑化の推進 17.1
2年		バス・地下鉄などの便 52.2	ごみの分別収集、リサイクル 34.7	良質な水の確保や安定供給 25.2	最寄り駅周辺の整備 22.7	公園・動物園の整備 21.7
3年		バス・地下鉄などの便 52.4	ごみの分別収集、リサイクル 33.5	良質な水の確保や安定供給 23.4	公園・動物園の整備 22.2	最寄り駅周辺の整備 21.3
4年		バス・地下鉄などの便 53.4	ごみの分別収集、リサイクル 34.8	良質な水の確保や安定供給 24.5	最寄り駅周辺の整備/公園・動物園の整備	
5年		バス・地下鉄などの便 54.1	ごみの分別収集、リサイクル 31.6	幹線道路や高速道路の整備 29.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 25.2	最寄り駅周辺の整備 22.9

表 1-1-2 市政への満足度 [ブロック別、区別] (複数回答)

(%)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体	(n=2,203)	バス・地下鉄などの便 54.1	ごみの分別収集、リサイクル 31.6	幹線道路や高速道路の整備 29.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 25.2	最寄り駅周辺の整備 22.9
ブロック別	東部	(n=556) バス・地下鉄などの便 59.0	幹線道路や高速道路の整備 32.9	ごみの分別収集、リサイクル 32.2	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 28.8	最寄り駅周辺の整備／街並みや景観の形成や保全 22.5
	西部	(n=594) バス・地下鉄などの便 48.3	ごみの分別収集、リサイクル 32.7	幹線道路や高速道路の整備 24.9	最寄り駅周辺の整備 23.1	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 20.4
	南部	(n=429) バス・地下鉄などの便 54.3	ごみの分別収集、リサイクル 31.5	幹線道路や高速道路の整備 28.0	良質な水の確保や安定供給 25.6	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備／最寄り駅周辺の整備 24.2
	北部	(n=570) バス・地下鉄などの便 55.8	幹線道路や高速道路の整備 33.2	ごみの分別収集、リサイクル 29.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 28.4	緑の保全と緑化の推進 24.0
区別	鶴見区	(n=176) バス・地下鉄などの便 58.0	幹線道路や高速道路の整備／ごみの分別収集、リサイクル 34.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 29.0	最寄り駅周辺の整備 21.0	
	神奈川区	(n=134) バス・地下鉄などの便 53.0	ごみの分別収集、リサイクル 29.1	幹線道路や高速道路の整備 27.6	街並みや景観の形成や保全 23.9	都心部の整備や魅力づくり 21.6
	西区	(n=58) バス・地下鉄などの便 65.5	幹線道路や高速道路の整備 39.7	ごみの分別収集、リサイクル 36.2	最寄り駅周辺の整備 32.8	公園・動物園の整備 27.6
	中区	(n=83) バス・地下鉄などの便 54.2	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 41.0	幹線道路や高速道路の整備 39.8	街並みや景観の形成や保全 33.7	ごみの分別収集、リサイクル 28.9
	南区	(n=105) バス・地下鉄などの便 68.6	ごみの分別収集、リサイクル 32.4	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 30.5	幹線道路や高速道路の整備 27.6	良質な水の確保や安定供給 25.7
	港南区	(n=131) バス・地下鉄などの便 68.7	幹線道路や高速道路の整備／ごみの分別収集、リサイクル 32.1	最寄り駅周辺の整備 31.3	良質な水の確保や安定供給 27.5	
	保土ヶ谷区	(n=109) バス・地下鉄などの便 49.5	ごみの分別収集、リサイクル 28.4	幹線道路や高速道路の整備 27.5	最寄り駅周辺の整備 26.6	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備／公園・動物園の整備 21.1
	旭区	(n=124) バス・地下鉄などの便 38.7	ごみの分別収集、リサイクル 31.5	幹線道路や高速道路の整備 23.4	公園・動物園の整備 22.6	良質な水の確保や安定供給 20.2
	磯子区	(n=91) バス・地下鉄などの便 59.3	ごみの分別収集、リサイクル 36.3	幹線道路や高速道路の整備 30.8	良質な水の確保や安定供給 26.4	最寄り駅周辺の整備 18.7
	金沢区	(n=130) バス・地下鉄などの便 46.9	公園・動物園の整備 33.1	ごみの分別収集、リサイクル 30.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 29.2	幹線道路や高速道路の整備 27.7
	港北区	(n=184) バス・地下鉄などの便 60.3	幹線道路や高速道路の整備 32.1	ごみの分別収集、リサイクル 28.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 19.6	街並みや景観の形成や保全 19.0
	緑区	(n=110) バス・地下鉄などの便 51.8	ごみの分別収集、リサイクル 31.8	幹線道路や高速道路の整備 30.0	緑の保全と緑化の推進 28.2	公園・動物園の整備 23.6
	青葉区	(n=170) バス・地下鉄などの便 57.1	幹線道路や高速道路の整備 35.3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 34.1	ごみの分別収集、リサイクル 30.6	最寄り駅周辺の整備 30.0
	都筑区	(n=106) バス・地下鉄などの便 50.0	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 42.5	緑の保全と緑化の推進 35.8	幹線道路や高速道路の整備 34.9	街並みや景観の形成や保全 34.0
	戸塚区	(n=183) バス・地下鉄などの便 55.7	ごみの分別収集、リサイクル 36.6	幹線道路や高速道路の整備 29.5	最寄り駅周辺の整備 26.2	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 20.8
	栄区	(n=77) バス・地下鉄などの便 36.4	ごみの分別収集、リサイクル／最寄り駅周辺の整備 26.0	良質な水の確保や安定供給 20.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備／街並みや景観の形成や保全 19.5	
	泉区	(n=95) バス・地下鉄などの便 51.6	ごみの分別収集、リサイクル 30.5	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 25.3	良質な水の確保や安定供給 22.1	最寄り駅周辺の整備 20.0
	瀬谷区	(n=83) バス・地下鉄などの便 41.0	ごみの分別収集、リサイクル 33.7	最寄り駅周辺の整備 26.5	幹線道路や高速道路の整備 25.3	良質な水の確保や安定供給 24.1

④ 市政への満足度 [年齢別]

「バス・地下鉄などの便」は、全ての年齢で1位

年齢別にみると、全ての年齢で「バス・地下鉄などの便」が1位となっている。また、40代、50代では「幹線道路や高速道路の整備」が2位となっている。

⑤ 市政への満足度 [性・年齢別]

「バス・地下鉄などの便」は、全ての年齢で1位

性・年齢別にみると、全ての性・年齢で「バス・地下鉄などの便」が1位となっている。また、男女ともに18～29歳で「都心部の整備や魅力づくり」が4位となっている。

表1-1-3 市政への満足度 [年齢別、性・年齢別] (複数回答)

属性		順位	1位	2位	3位	4位	5位
年齢別	全体 (n=2,203)		バス・地下鉄などの便 54.1	ごみの分別収集、リサイクル 31.6	幹線道路や高速道路の整備 29.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 25.2	最寄り駅周辺の整備 22.9
	18～29歳 (n=171)		バス・地下鉄などの便 50.3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 33.9	街並みや景観の形成や保全 26.3	ごみの分別収集、リサイクル 24.6	幹線道路や高速道路の整備／都心部の整備や魅力づくり 24.0
	30代 (n=247)		バス・地下鉄などの便 50.2	最寄り駅周辺の整備 26.3	幹線道路や高速道路の整備／通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 25.9	ごみの分別収集、リサイクル 25.5	公園・動物園の整備 26.2
	40代 (n=320)		バス・地下鉄などの便 50.6	幹線道路や高速道路の整備 30.0	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備／ごみの分別収集、リサイクル 27.5	公園・動物園の整備 26.2	
	50代 (n=441)		バス・地下鉄などの便 51.9	幹線道路や高速道路の整備 31.5	ごみの分別収集、リサイクル 28.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 25.4	最寄り駅周辺の整備 24.7
	60代 (n=356)		バス・地下鉄などの便 56.2	ごみの分別収集、リサイクル 33.1	幹線道路や高速道路の整備 32.6	最寄り駅周辺の整備 22.5	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 22.2
	70歳以上 (n=612)		バス・地下鉄などの便 59.5	ごみの分別収集、リサイクル 39.1	幹線道路や高速道路の整備 29.9	良質な水の確保や安定供給 27.5	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 24.0
	男性計 (n=977)		バス・地下鉄などの便 56.2	幹線道路や高速道路の整備 33.8	ごみの分別収集、リサイクル 32.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 26.4	最寄り駅周辺の整備 25.1
性・年齢別	18～29歳 (n=83)		バス・地下鉄などの便 54.2	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 36.1	幹線道路や高速道路の整備 31.3	都心部の整備や魅力づくり／街並みや景観の形成や保全／公園・動物園の整備／ごみの分別収集、リサイクル 26.5	
	30代 (n=129)		バス・地下鉄などの便 48.8	最寄り駅周辺の整備 31.0	幹線道路や高速道路の整備 27.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備／公園・動物園の整備 25.6	
	40代 (n=129)		バス・地下鉄などの便 59.7	幹線道路や高速道路の整備 33.3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 31.0	ごみの分別収集、リサイクル 30.2	公園・動物園の整備 27.1
	50代 (n=181)		バス・地下鉄などの便 49.7	幹線道路や高速道路の整備 32.6	ごみの分別収集、リサイクル 32.0	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備／最寄り駅周辺の整備 24.9	
	60代 (n=168)		バス・地下鉄などの便 58.3	幹線道路や高速道路の整備 37.5	ごみの分別収集、リサイクル 34.5	良質な水の確保や安定供給 25.6	最寄り駅周辺の整備 23.2
	70歳以上 (n=285)		バス・地下鉄などの便 61.4	ごみの分別収集、リサイクル 38.9	幹線道路や高速道路の整備 35.8	良質な水の確保や安定供給 30.2	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 25.3
	女性計 (n=1,143)		バス・地下鉄などの便 52.8	ごみの分別収集、リサイクル 30.4	幹線道路や高速道路の整備 26.5	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 24.8	最寄り駅周辺の整備 21.6
	18～29歳 (n=85)		バス・地下鉄などの便 45.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 32.9	街並みや景観の形成や保全 27.1	最寄り駅周辺の整備／都心部の整備や魅力づくり 22.4	
30代 (n=117)		バス・地下鉄などの便 52.1	ごみの分別収集、リサイクル 28.2	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 26.5	幹線道路や高速道路の整備／公園・動物園の整備 23.9		
40代 (n=186)		バス・地下鉄などの便 44.6	幹線道路や高速道路の整備 28.0	ごみの分別収集、リサイクル 25.8	公園・動物園の整備 25.3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 24.7	
50代 (n=253)		バス・地下鉄などの便 53.4	幹線道路や高速道路の整備 30.4	ごみの分別収集、リサイクル 26.1	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 25.7	最寄り駅周辺の整備 24.5	
60代 (n=185)		バス・地下鉄などの便 54.1	ごみの分別収集、リサイクル 31.9	幹線道路や高速道路の整備 28.1	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備／最寄り駅周辺の整備 24.7		
70歳以上 (n=316)		バス・地下鉄などの便 58.5	ごみの分別収集、リサイクル 38.9	良質な水の確保や安定供給 25.3	幹線道路や高速道路の整備 24.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 22.8	

⑥ 市政への満足度 [ライフステージ別]

夫婦だけ(2)、家族成長後期、家族成熟中期で「幹線道路や高速道路の整備」が2位

ライフステージ別にみると、全てのステージで「バス・地下鉄などの便」が1位となっている。また、単身(1)と(2)、家族成長中期で「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」、夫婦だけ(1)で「最寄り駅周辺の整備」、夫婦だけ(2)、家族成長後期、家族成熟中期で「幹線道路や高速道路の整備」、家族形成期、家族成長前期で「公園・動物園の整備」が2位となっている。

表1-1-4 市政への満足度 [ライフステージ別] (複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,203)		バス・地下鉄などの便 54.1	ごみの分別収集、リサイクル 31.6	幹線道路や高速道路の整備 29.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 25.2	最寄り駅周辺の整備 22.9
子どもなし計 (n=606)		バス・地下鉄などの便 55.0	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 30.2	幹線道路や高速道路の整備／ごみの分別収集、リサイクル 27.4	最寄り駅周辺の整備 25.4	
単身(1) 40歳未満 (n=216)		バス・地下鉄などの便 50.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 34.3	街並みや景観の形成や保全 25.9	幹線道路や高速道路の整備／ごみの分別収集、リサイクル 25.0	
単身(2) 40～64歳 (n=136)		バス・地下鉄などの便 58.1	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 30.1	最寄り駅周辺の整備 28.7	幹線道路や高速道路の整備 27.9	ごみの分別収集、リサイクル 25.7
夫婦だけ(1) 40歳未満 (n=47)		バス・地下鉄などの便 40.4	最寄り駅周辺の整備 29.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備／街並みや景観の形成や保全 25.5	ごみの分別収集、リサイクル 23.4	
夫婦だけ(2) 40～64歳 (n=116)		バス・地下鉄などの便 56.9	幹線道路や高速道路の整備 32.8	街並みや景観の形成や保全 28.4	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 27.6	ごみの分別収集、リサイクル 26.7
高齢子どもなし (n=91)		バス・地下鉄などの便 64.8	ごみの分別収集、リサイクル 38.5	幹線道路や高速道路の整備 34.1	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備／最寄り駅周辺の整備 26.4	
子どもあり計 (n=1,416)		バス・地下鉄などの便 53.8	ごみの分別収集、リサイクル 33.4	幹線道路や高速道路の整備 30.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 23.1	最寄り駅周辺の整備 22.0
家族形成期 第一子が小学校入学前 (n=103)		バス・地下鉄などの便 53.4	公園・動物園の整備 36.9	幹線道路や高速道路の整備／ごみの分別収集、リサイクル 28.2	最寄り駅周辺の整備 26.2	
家族成長前期 第一子が小学生 (n=120)		バス・地下鉄などの便 47.5	公園・動物園の整備 33.3	幹線道路や高速道路の整備／ごみの分別収集、リサイクル 30.0	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 27.5	
家族成長中期 第一子が中・高生 (n=126)		バス・地下鉄などの便 46.0	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 29.4	幹線道路や高速道路の整備／ごみの分別収集、リサイクル 28.6	緑の保全と緑化の推進 23.8	
家族成長後期 第一子が大学生等 (n=116)		バス・地下鉄などの便 46.6	幹線道路や高速道路の整備 31.9	ごみの分別収集、リサイクル 26.7	最寄り駅周辺の整備 24.1	良質な水の確保や安定供給 23.3
家族成熟前期 第一子が学校教育終了 (n=72)		バス・地下鉄などの便 51.4	ごみの分別収集、リサイクル 40.3	幹線道路や高速道路の整備 38.9	身近な住民窓口サービス／公園・動物園の整備 25.0	
家族成熟中期 子が全員独立・65歳未満 (n=277)		バス・地下鉄などの便 55.2	幹線道路や高速道路の整備 30.7	ごみの分別収集、リサイクル 30.3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 23.5	最寄り駅周辺の整備 21.3
家族成熟後期 子が全員独立・65歳以上 (n=602)		バス・地下鉄などの便 57.8	ごみの分別収集、リサイクル 37.9	幹線道路や高速道路の整備 31.1	良質な水の確保や安定供給 26.4	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 22.8

⑦ 市政への満足度〔世帯類型別〕

ひとり暮らし（２）で「最寄り駅周辺の整備」が２位

世帯類型別にみると、全ての世帯類型で「バス・地下鉄などの便」が１位となっている。また、ひとり暮らし（１）、親と同居（１）と（２）で「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」、ひとり暮らし（２）で「最寄り駅周辺の整備」、夫婦のみ（１）、子と同居（１）で「幹線道路や高速道路の整備」が２位となっている。

表 1-1-5 市政への満足度〔世帯類型別〕（複数回答）

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,203)		バス・地下鉄などの便 54.1	ごみの分別収集、リサイクル 31.6	幹線道路や高速道路の整備 29.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 25.2	最寄り駅周辺の整備 22.9
ひとり暮らし(1) 40歳未満 (n=62)		バス・地下鉄などの便 58.1	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 38.7	街並みや景観の形成や保全 35.5	都心部の整備や魅力づくり 30.6	ごみの分別収集、リサイクル 27.4
ひとり暮らし(2) 40～64歳 (n=90)		バス・地下鉄などの便 54.4	最寄り駅周辺の整備 25.6	幹線道路や高速道路の整備 23.3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 23.3	ごみの分別収集、リサイクル 23.3
ひとり暮らし(3) 65歳以上 (n=117)		バス・地下鉄などの便 62.4	ごみの分別収集、リサイクル 30.8	幹線道路や高速道路の整備 24.8	良質な水の確保や安定供給 23.1	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 22.2
夫婦のみ(1) 子なし (n=194)		バス・地下鉄などの便 53.1	幹線道路や高速道路の整備 29.4	ごみの分別収集、リサイクル 28.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 27.8	最寄り駅周辺の整備 27.3
夫婦のみ(2) 子あり (n=389)		バス・地下鉄などの便 61.4	ごみの分別収集、リサイクル 34.7	幹線道路や高速道路の整備 33.9	最寄り駅周辺の整備 25.2	良質な水の確保や安定供給 23.9
子と同居(1) 2世代／教育期の子あり (n=467)		バス・地下鉄などの便 48.0	幹線道路や高速道路の整備 30.2	ごみの分別収集、リサイクル 29.8	公園・動物園の整備 26.1	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 22.7
子と同居(2) 2世代／教育終了後の子のみ (n=285)		バス・地下鉄などの便 51.2	ごみの分別収集、リサイクル 33.7	幹線道路や高速道路の整備 28.4	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 23.5	良質な水の確保や安定供給 21.8
親と同居(1) 2世代／子なし・40歳未満 (n=134)		バス・地下鉄などの便 50.0	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 32.8	ごみの分別収集、リサイクル 26.9	幹線道路や高速道路の整備 24.6	公園・動物園の整備 23.9
親と同居(2) 2世代／子なし・40歳以上 (n=65)		バス・地下鉄などの便 53.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 29.2	幹線道路や高速道路の整備 27.7	ごみの分別収集、リサイクル 27.7	最寄り駅周辺の整備 24.6
祖父母と親子 3世代 (n=77)		バス・地下鉄などの便 50.6	ごみの分別収集、リサイクル 28.6	幹線道路や高速道路の整備 27.3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 22.1	良質な水の確保や安定供給 20.8

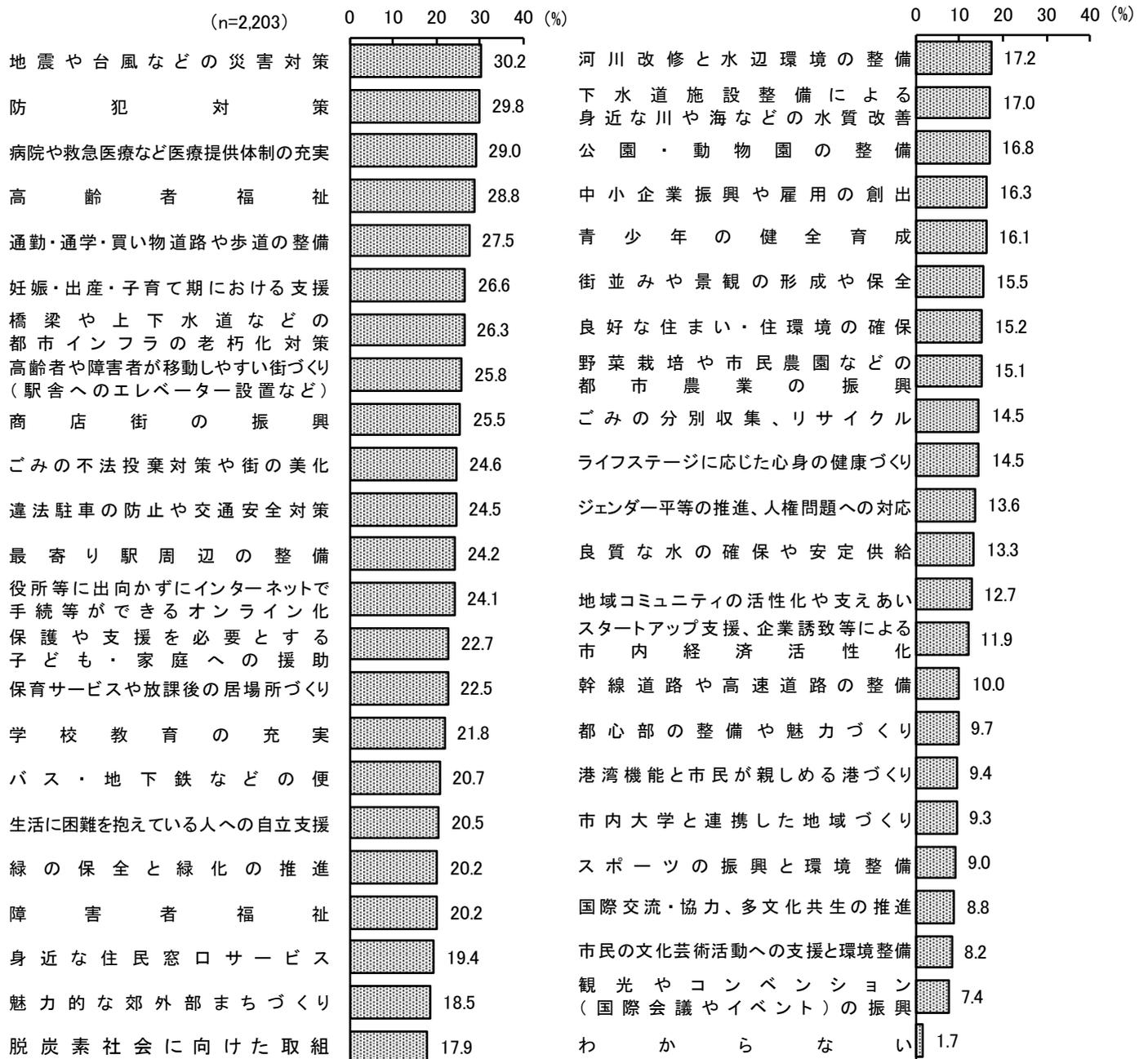
(2) 市政への要望

問10(イ) あなたが、今後、充実すべきだと思う公共サービスは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。(〇はいくつでも)

「地震や台風などの災害対策」が1位

市政への要望については、「地震や台風などの災害対策」が最も多く、次いで「防犯対策」、「病院や救急医療など医療提供体制の充実」の順となっている。

図1-2-1 市政への要望 [全体] (複数回答)



① 市政への要望 [経年変化]

「地震や台風などの災害対策」は13年連続の1位

経年変化をみると、「地震や台風などの災害対策」（令和2年度まで「地震などの災害対策」）は東日本大震災のあった平成23年以降、13年連続で1位となっている。

表1-2-1 市政への要望 [上位5位の経年変化] (複数回答)

年度	順位	1位	2位	3位	4位	5位
平成15年		防犯対策 36.2	違法駐車防止や交通安全対策 33.3	高齢者福祉 31.0	地震などの災害対策 29.5	ごみの不法投棄対策や街の美化 28.0
16年		防犯対策 51.7	違法駐車防止や交通安全対策 49.0	ごみの不法投棄対策や街の美化 45.7	高齢者福祉 41.2	地震などの災害対策 41.1
17年		防犯対策 42.6	地震などの災害対策 37.1	違法駐車防止や交通安全対策 33.0	ごみの不法投棄対策や街の美化 32.0	高齢者福祉 31.6
18年		防犯対策 37.2	地震などの災害対策 33.2	病院や救急医療など地域医療 31.5	高齢者福祉 29.3	駐車場の整備／ごみの不法投棄対策や街の美化 26.1
19年		防犯対策 36.9	病院や救急医療など地域医療 33.2	高齢者福祉 33.1	地震などの災害対策 31.6	ごみの不法投棄対策や街の美化 28.7
20年		病院や救急医療など地域医療 41.0	地震などの災害対策 39.8	高齢者福祉 38.2	防犯対策 34.5	ごみの不法投棄対策や街の美化 29.5
21年		高齢者福祉 35.5	病院や救急医療など地域医療 35.1	防犯対策 29.8	地震などの災害対策 28.0	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 25.9
22年		病院や救急医療など地域医療 34.8	高齢者福祉 31.3	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 25.8	地震などの災害対策 25.4	ごみの不法投棄対策や街の美化／防犯対策 25.2
23年		地震などの災害対策 44.9	病院や救急医療など地域医療 34.5	高齢者福祉 31.9	防犯対策 30.6	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 25.2
24年		地震などの災害対策 43.9	病院や救急医療など地域医療 31.2	防犯対策 28.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 27.1	高齢者福祉 26.9
25年		地震などの災害対策 37.5	病院や救急医療など地域医療 31.4	防犯対策 28.8	高齢者福祉 27.5	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 25.0
26年		地震などの災害対策 33.3	病院や救急医療など地域医療 25.2	防犯対策 24.2	バス・地下鉄などの便 23.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 23.7
27年		地震などの災害対策 32.9	高齢者福祉 26.8	病院や救急医療など地域医療 26.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 26.0	防犯対策 25.9
28年		地震などの災害対策 36.6	高齢者福祉 28.1	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 25.8	病院や救急医療など地域医療 25.4	防犯対策 25.1
29年		地震などの災害対策 30.7	高齢者福祉 27.6	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 27.5	防犯対策 25.0	病院や救急医療など地域医療 24.5
30年		地震などの災害対策 30.6	防犯対策 26.5	高齢者福祉 26.2	病院や救急医療など地域医療 25.6	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 24.7
令和元年		地震などの災害対策 31.0	病院や救急医療など地域医療 28.8	防犯対策／高齢者福祉		高齢者や障害者が移動しやすい街づくり 27.1
2年		地震などの災害対策 35.8	病院や救急医療など地域医療 30.6	高齢者福祉 29.9	防犯対策 28.5	地球温暖化への対策 25.7
3年		地震や台風などの災害対策 31.7	病院や救急医療など地域医療 30.4	高齢者福祉 28.8	防犯対策 27.4	地球温暖化への対策 23.9
4年		地震や台風などの災害対策 31.1	高齢者福祉 28.9	病院や救急医療など地域医療 28.5	防犯対策 25.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 23.4
5年		地震や台風などの災害対策 30.2	防犯対策 29.8	病院や救急医療など医療提供体制の充実 29.0	高齢者福祉 28.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 27.5

② 市政への要望 [ブロック別]

東部、南部で「地震や台風などの災害対策」が1位

ブロック別にみると、東部、南部では「地震や台風などの災害対策」が1位、「防犯対策」が2位となっている。西部では、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」が1位、「地震や台風などの災害対策」が2位、北部では「高齢者福祉」が1位、「妊娠・出産・子育て期における支援」と「病院や救急医療など医療提供体制の充実」が同率2位となっている。

③ 市政への要望 [区別]

「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」は18区中の5区で1位

区別にみると、18区中5区で「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」が1位となっている。その他の区では、鶴見区、金沢区、青葉区では「地震や台風などの災害対策」、中区、港南区、磯子区では「防犯対策」、神奈川区、泉区では「病院や救急医療など医療提供体制の充実」、南区では「商店街の振興」、緑区では「最寄り駅周辺の整備」、都筑区では「バス・地下鉄などの便」、栄区では「橋梁や上下水道などの都市インフラの老朽化対策」がそれぞれ1位となっている。西区では「商店街の振興」と「妊娠・出産・子育て期における支援」と「橋梁や上下水道などの都市インフラの老朽化対策」、保土ケ谷区では「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」と「商店街の振興」が同率で1位となっている。

④ 市政への要望 [年齢別]

30代以下では「妊娠・出産・子育て期における支援」が1位

年齢別にみると、18～29歳と30代では「妊娠・出産・子育て期における支援」、60代と70歳以上では「高齢者福祉」がそれぞれ1位となっている。

⑤ 市政への要望 [性・年齢別]

男女ともに30代以下では「妊娠・出産・子育て期における支援」が1位

性・年齢別にみると、男女ともに18～29歳と30代では「妊娠・出産・子育て期における支援」、60代と70歳以上では「高齢者福祉」がそれぞれ1位となっている。

表 1-2-2 市政への要望 [ブロック別、区別] (複数回答)

(%)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体	(n=2,203)	地震や台風などの災害対策 30.2	防犯対策 29.8	病院や救急医療など医療提供体制の充実 29.0	高齢者福祉 28.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 27.5
ブロック別	東部	(n=556) 地震や台風などの災害対策 34.0	防犯対策 33.6	高齢者福祉 30.2	商店街の振興 30.0	病院や救急医療など医療提供体制の充実 29.7
	西部	(n=594) 通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 32.8	地震や台風などの災害対策 31.3	防犯対策 30.6	病院や救急医療など医療提供体制の充実 30.5	高齢者福祉 29.3
	南部	(n=429) 地震や台風などの災害対策 31.2	防犯対策 30.5	病院や救急医療など医療提供体制の充実 30.1	高齢者福祉 28.7	橋梁や上下水道などの都市インフラの老朽化対策 27.5
	北部	(n=570) 高齢者福祉 27.0	妊娠・出産・子育て期における支援／病院や救急医療など医療提供体制の充実 26.8	防犯対策 26.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 26.0	
鶴見区	(n=176) 地震や台風などの災害対策 35.8	高齢者福祉 35.2	防犯対策 34.7	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 33.0	ごみの不法投棄対策や街の美化 30.7	
神奈川区	(n=134) 病院や救急医療など医療提供体制の充実 36.6	地震や台風などの災害対策／防犯対策 33.6	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 31.3	最寄り駅周辺の整備／高齢者福祉 29.9		
西区	(n=58) 商店街の振興／妊娠・出産・子育て期における支援／橋梁や上下水道などの都市インフラの老朽化対策 36.2	役所等に向かずインターネットで手続き等ができるオンライン化／地震や台風などの災害対策／保育サービスや放課後の居場所づくり 34.5				
中区	(n=83) 防犯対策 31.3	地震や台風などの災害対策 30.1	妊娠・出産・子育て期における支援 28.9	違法駐車防止や交通安全対策／商店街の振興 25.3		
南区	(n=105) 商店街の振興 36.2	防犯対策／高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 35.2	地震や台風などの災害対策／高齢者福祉 34.3			
港南区	(n=131) 防犯対策 36.6	地震や台風などの災害対策 33.6	病院や救急医療など医療提供体制の充実 30.5	高齢者福祉 27.5	違法駐車防止や交通安全対策／妊娠・出産・子育て期における支援 26.7	
保土ヶ谷区	(n=109) 通勤・通学・買い物道路や歩道の整備／商店街の振興 36.7	高齢者福祉 30.3	防犯対策 29.4	病院や救急医療など医療提供体制の充実／高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 28.4		
旭区	(n=124) 通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 37.1	バス・地下鉄などの便／違法駐車防止や交通安全対策／地震や台風などの災害対策／病院や救急医療など医療提供体制の充実 32.3				
区別	磯子区	(n=91) 防犯対策 34.1	病院や救急医療など医療提供体制の充実 31.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備／最寄り駅周辺の整備／地震や台風などの災害対策 27.5		
	金沢区	(n=130) 地震や台風などの災害対策 38.5	最寄り駅周辺の整備 34.6	病院や救急医療など医療提供体制の充実 34.6	橋梁や上下水道などの都市インフラの老朽化対策 33.1	高齢者福祉 32.3
	港北区	(n=184) 通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 35.9	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 29.9	妊娠・出産・子育て期における支援／高齢者福祉 28.8	役所等に向かずインターネットで手続き等ができるオンライン化 27.7	
	緑区	(n=110) 最寄り駅周辺の整備 42.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 31.8	防犯対策／妊娠・出産・子育て期における支援／病院や救急医療など医療提供体制の充実 27.3		
	青葉区	(n=170) 地震や台風などの災害対策 31.8	高齢者福祉 30.0	防犯対策 29.4	病院や救急医療など医療提供体制の充実 28.8	妊娠・出産・子育て期における支援 28.2
	都筑区	(n=106) バス・地下鉄などの便 28.3	地震や台風などの災害対策／防犯対策／病院や救急医療など医療提供体制の充実／橋梁や上下水道などの都市インフラの老朽化対策 22.6			
	戸塚区	(n=183) 通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 33.3	地震や台風などの災害対策 32.2	防犯対策 31.1	高齢者福祉 29.5	違法駐車防止や交通安全対策 28.4
	栄区	(n=77) 橋梁や上下水道などの都市インフラの老朽化対策 31.2	バス・地下鉄などの便／高齢者福祉 27.3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 26.0	商店街の振興／保護や支援を必要とする子ども・家庭への援助 23.4	
	泉区	(n=95) 病院や救急医療など医療提供体制の充実 42.1	地震や台風などの災害対策／防犯対策 35.8	役所等に向かずインターネットで手続き等ができるオンライン化 34.7	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 32.6	
	瀬谷区	(n=83) 通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 33.7	商店街の振興 32.5	病院や救急医療など医療提供体制の充実 31.3	妊娠・出産・子育て期における支援／橋梁や上下水道などの都市インフラの老朽化対策 30.1	

表 1-2-3 市政への要望 [年齢別、性・年齢別] (複数回答)

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
年齢別	全体 (n=2,203)	地震や台風などの災害対策 30.2	防犯対策 29.8	病院や救急医療など医療提供体制の充実 29.0	高齢者福祉 28.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 27.5
	18～29歳 (n=171)	妊娠・出産・子育て期における支援 42.1	役所等に向かずインターネットで手続き等ができるオンライン化／保護や支援を必要とする子ども・家庭への援助 30.4	30.4	保育サービスや放課後の居場所づくり 28.7	最寄り駅周辺の整備／学校教育の充実 26.9
	30代 (n=247)	妊娠・出産・子育て期における支援 53.8	保育サービスや放課後の居場所づくり 45.7	学校教育の充実 36.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備／保護や支援を必要とする子ども・家庭への援助 28.7	31.2
	40代 (n=320)	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備／防犯対策 29.4	29.4	役所等に向かずインターネットで手続き等ができるオンライン化／妊娠・出産・子育て期における支援 29.1	29.1	学校教育の充実 28.4
	50代 (n=441)	地震や台風などの災害対策 35.1	防犯対策 31.7	高齢者福祉 29.7	病院や救急医療など医療提供体制の充実 27.2	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 27.0
	60代 (n=356)	高齢者福祉 38.8	橋梁や上下水道などの都市インフラの老朽化対策 34.6	防犯対策／病院や救急医療など医療提供体制の充実 34.0	34.0	地震や台風などの災害対策 33.4
	70歳以上 (n=612)	高齢者福祉 37.9	橋梁や上下水道などの都市インフラの老朽化対策 35.8	病院や救急医療など医療提供体制の充実 34.3	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 32.4	地震や台風などの災害対策 32.0
	男性計 (n=977)	防犯対策 30.3	商店街の振興 29.1	地震や台風などの災害対策 28.7	妊娠・出産・子育て期における支援 28.0	役所等に向かずインターネットで手続き等ができるオンライン化 27.8
性・年齢別	18～29歳 (n=83)	妊娠・出産・子育て期における支援 34.9	バス・地下鉄などの便／最寄り駅周辺の整備 26.5	26.5	役所等に向かずインターネットで手続き等ができるオンライン化／保育サービスや放課後の居場所づくり／学校教育の充実 25.3	25.3
	30代 (n=129)	妊娠・出産・子育て期における支援 51.9	保育サービスや放課後の居場所づくり 41.9	学校教育の充実 34.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 34.1	役所等に向かずインターネットで手続き等ができるオンライン化／保護や支援を必要とする子ども・家庭への援助 28.7
	40代 (n=129)	役所等に向かずインターネットで手続き等ができるオンライン化 31.8	防犯対策／妊娠・出産・子育て期における支援 27.9	27.9	商店街の振興／学校教育の充実 27.1	27.1
	50代 (n=181)	地震や台風などの災害対策 34.8	商店街の振興／防犯対策 30.4	30.4	役所等に向かずインターネットで手続き等ができるオンライン化 29.3	違法駐車防止や交通安全対策 28.7
	60代 (n=168)	高齢者福祉 41.1	防犯対策 37.5	橋梁や上下水道などの都市インフラの老朽化対策 34.5	違法駐車防止や交通安全対策／役所等に向かずインターネットで手続き等ができるオンライン化 33.9	33.9
	70歳以上 (n=285)	高齢者福祉 38.6	橋梁や上下水道などの都市インフラの老朽化対策 37.9	病院や救急医療など医療提供体制の充実 36.8	商店街の振興 35.4	ごみの不法投棄対策や街の美化 34.4
	女性計 (n=1,143)	地震や台風などの災害対策 31.9	病院や救急医療など医療提供体制の充実 30.6	防犯対策 30.4	高齢者福祉 29.7	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 28.3
	18～29歳 (n=85)	妊娠・出産・子育て期における支援 50.6	保護や支援を必要とする子ども・家庭への援助 38.8	役所等に向かずインターネットで手続き等ができるオンライン化 34.1	保育サービスや放課後の居場所づくり 32.9	学校教育の充実 28.2
	30代 (n=117)	妊娠・出産・子育て期における支援 56.4	保育サービスや放課後の居場所づくり 50.4	学校教育の充実 39.3	保護や支援を必要とする子ども・家庭への援助 34.2	病院や救急医療など医療提供体制の充実 32.5
	40代 (n=186)	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 32.8	最寄り駅周辺の整備 31.2	防犯対策 30.6	妊娠・出産・子育て期における支援 29.6	学校教育の充実 29.0
50代 (n=253)	地震や台風などの災害対策 36.0	防犯対策 32.8	高齢者福祉 30.4	病院や救急医療など医療提供体制の充実 28.9	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 28.1	
60代 (n=185)	高齢者福祉 37.3	病院や救急医療など医療提供体制の充実 36.8	地震や台風などの災害対策 36.2	橋梁や上下水道などの都市インフラの老朽化対策 35.1	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 33.0	
70歳以上 (n=316)	高齢者福祉 37.0	橋梁や上下水道などの都市インフラの老朽化対策 33.5	地震や台風などの災害対策 32.0	病院や救急医療など医療提供体制の充実／高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 31.6	31.6	

⑥ 市政への要望 [ライフステージ別]

単身(1)、夫婦だけ(1)、家族形成期、家族成長前期で「妊娠・出産・子育て期における支援」が1位

ライフステージ別にみると、単身(1)、夫婦だけ(1)、家族形成期、家族成長前期(「学校教育の充実」と同率)で「妊娠・出産・子育て期における支援」が1位となっている。また、家族成長中期で「学校教育の充実」が1位となっている。

表1-2-4 市政への要望 [ライフステージ別] (複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,203)		地震や台風などの災害対策 30.2	防犯対策 29.8	病院や救急医療など医療提供体制の充実 29.0	高齢者福祉 28.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 27.5
子どもなし計 (n=606)		防犯対策 31.2	地震や台風などの災害対策 30.0	役所等に向かずインターネットで手続等ができるオンライン化 28.1	妊娠・出産・子育て期における支援 24.6	違法駐車防止や交通安全対策/橋梁や上下水道などの都市インフラの老朽化対策 24.1
単身(1) 40歳未満 (n=216)		妊娠・出産・子育て期における支援 34.7	防犯対策 29.2	役所等に向かずインターネットで手続等ができるオンライン化/地震や台風などの災害対策 27.3		バス・地下鉄などの便 26.9
単身(2) 40~64歳 (n=136)		地震や台風などの災害対策 38.2	防犯対策 37.5	橋梁や上下水道などの都市インフラの老朽化対策 36.8	病院や救急医療など医療提供体制の充実 33.8	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など)/高齢者福祉 30.9
夫婦だけ(1) 40歳未満 (n=47)		妊娠・出産・子育て期における支援 61.7	保育サービスや放課後の居場所づくり 40.4	保護や支援を必要とする子ども・家庭への援助 36.2	学校教育の充実 34.0	魅力的な郊外部まちづくり/役所等に向かずインターネットで手続等ができるオンライン化 27.7
夫婦だけ(2) 40~64歳 (n=116)		地震や台風などの災害対策/防犯対策 34.5		商店街の振興 31.9	最寄り駅周辺の整備/役所等に向かずインターネットで手続等ができるオンライン化 31.0	
高齢子どもなし (n=91)		高齢者福祉 35.2	防犯対策/橋梁や上下水道などの都市インフラの老朽化対策 29.7		違法駐車防止や交通安全対策/ごみの不法投棄対策や街の美化 27.5	
子どもあり計 (n=1,416)		病院や救急医療など医療提供体制の充実 32.1	高齢者福祉 31.1	地震や台風などの災害対策 30.9	防犯対策 30.6	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 29.9
家族形成期 第一子が小学校入学前 (n=103)		妊娠・出産・子育て期における支援 73.8	保育サービスや放課後の居場所づくり 66.0	学校教育の充実 45.6	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備/保護や支援を必要とする子ども・家庭への援助 43.7	
家族成長前期 第一子が小学生 (n=120)		妊娠・出産・子育て期における支援/学校教育の充実 47.5	保育サービスや放課後の居場所づくり 41.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備/地震や台風などの災害対策 27.8	保護や支援を必要とする子ども・家庭への援助 31.7	バス・地下鉄などの便/防犯対策 27.0
家族成長中期 第一子が中・高生 (n=126)		学校教育の充実 43.7	妊娠・出産・子育て期における支援 34.1	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備/地震や台風などの災害対策 28.4	違法駐車防止や交通安全対策 26.7	防犯対策 25.9
家族成長後期 第一子が大学生等 (n=116)		地震や台風などの災害対策 32.8	役所等に向かずインターネットで手続等ができる 30.2	病院や救急医療など医療提供体制の充実 28.4	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 26.7	
家族成熟前期 第一子が学校教育終了 (n=72)		高齢者福祉 36.1	最寄り駅周辺の整備 34.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 33.3	違法駐車防止や交通安全対策 27.8	防犯対策/病院や救急医療など医療提供体制の充実 26.4
家族成熟中期 子が全員独立・65歳未満 (n=277)		地震や台風などの災害対策 34.7	高齢者福祉 32.9	防犯対策 32.1	商店街の振興 30.7	病院や救急医療など医療提供体制の充実 30.0
家族成熟後期 子が全員独立・65歳以上 (n=602)		高齢者福祉 40.2	病院や救急医療など医療提供体制の充実/橋梁や上下水道などの都市インフラの老朽化対策 38.2		地震や台風などの災害対策/防犯対策 34.6	

⑦ 市政への要望〔世帯類型別〕

ひとり暮らし（１）、夫婦のみ（１）、親と同居（２）で「防犯対策」が１位

世帯類型別にみると、ひとり暮らし（１）、夫婦のみ（１）、親と同居（２）で「防犯対策」が１位となっている。また、ひとり暮らし（２）で「橋梁や上下水道などの都市インフラの老朽化対策」、祖父母と親と子で「最寄り駅周辺の整備」が１位となっている。

表 1-2-5 市政への要望〔世帯類型別〕（複数回答）

属性	順位				
	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,203)	地震や台風などの災害対策 30.2	防犯対策 29.8	病院や救急医療など医療提供体制の充実 29.0	高齢者福祉 28.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 27.5
ひとり暮らし(1) 40歳未満 (n=62)	防犯対策 35.5	地震や台風などの災害対策／妊娠・出産・子育て期における支援 27.4		最寄り駅周辺の整備 21.0	バス・地下鉄などの便／通勤・通学・買い物道路や歩道の整備／役所等に出向かずにインターネットで手続等ができるオンライン化／保育サービスや放課後の居場所づくり 19.4
ひとり暮らし(2) 40～64歳 (n=90)	橋梁や上下水道などの都市インフラの老朽化対策 33.3	地震や台風などの災害対策／高齢者福祉 31.1		緑の保全と緑化の推進／防犯対策／病院や救急医療など医療提供体制の充実 26.7	
ひとり暮らし(3) 65歳以上 (n=117)	高齢者福祉 35.0	地震や台風などの災害対策 29.9	防犯対策／病院や救急医療など医療提供体制の充実／橋梁や上下水道などの都市インフラの老朽化対策 28.2		
夫婦のみ(1) 子なし (n=194)	防犯対策 30.9	役所等に出向かずにインターネットで手続等ができるオンライン化 29.9	地震や台風などの災害対策 29.4	違法駐車等の防止や交通安全対策 28.4	高齢者福祉 27.8
夫婦のみ(2) 子あり (n=389)	高齢者福祉 38.3	防犯対策／病院や救急医療など医療提供体制の充実 37.8		地震や台風などの災害対策 36.5	橋梁や上下水道などの都市インフラの老朽化対策 34.7
子と同居(1) 2世代／教育期の子あり (n=467)	妊娠・出産・子育て期における支援 41.5	学校教育の充実 39.0	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 33.4	保育サービスや放課後の居場所づくり 32.8	保護や支援を必要とする子ども・家庭への援助 28.1
子と同居(2) 2世代／教育終了後の子のみ (n=285)	高齢者福祉 36.5	橋梁や上下水道などの都市インフラの老朽化対策 34.4	病院や救急医療など医療提供体制の充実 33.3	商店街の振興／地震や台風などの災害対策 30.9	
親と同居(1) 2世代／子なし・40歳未満 (n=134)	妊娠・出産・子育て期における支援 39.6	保護や支援を必要とする子ども・家庭への援助 29.1	役所等に出向かずにインターネットで手続等ができるオンライン化／保育サービスや放課後の居場所づくり 28.4		バス・地下鉄などの便／地震や台風などの災害対策 27.6
親と同居(2) 2世代／子なし・40歳以上 (n=65)	防犯対策 43.1	役所等に出向かずにインターネットで手続等ができるオンライン化／地震や台風などの災害対策 40.0		高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 38.5	病院や救急医療など医療提供体制の充実 36.9
祖父母と親と子 3世代 (n=77)	最寄り駅周辺の整備 33.8	緑の保全と緑化の推進 32.5	地震や台風などの災害対策／病院や救急医療など医療提供体制の充実 29.9		バス・地下鉄などの便 28.6

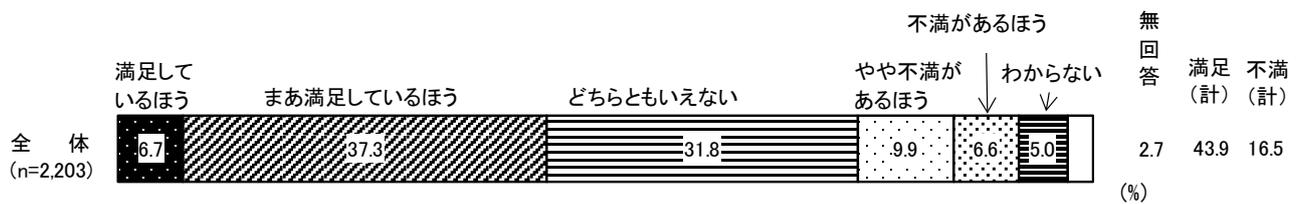
(3) 市政全体への満足度

問11 あなたは、全体として市の行政サービスや業務に満足しているほうですか。それとも、不満があるほうですか。(〇は1つ)

『満足(計)』は4割半ば

市政全体への満足度については、「満足しているほう」(6.7%)と「まあ満足しているほう」(37.3%)を合わせた『満足(計)』は4割半ばである。一方、「不満があるほう」(6.6%)と「やや不満があるほう」(9.9%)を合わせた『不満(計)』は1割半ばとなっている。

図1-3-1 市政全体への満足度 [全体]

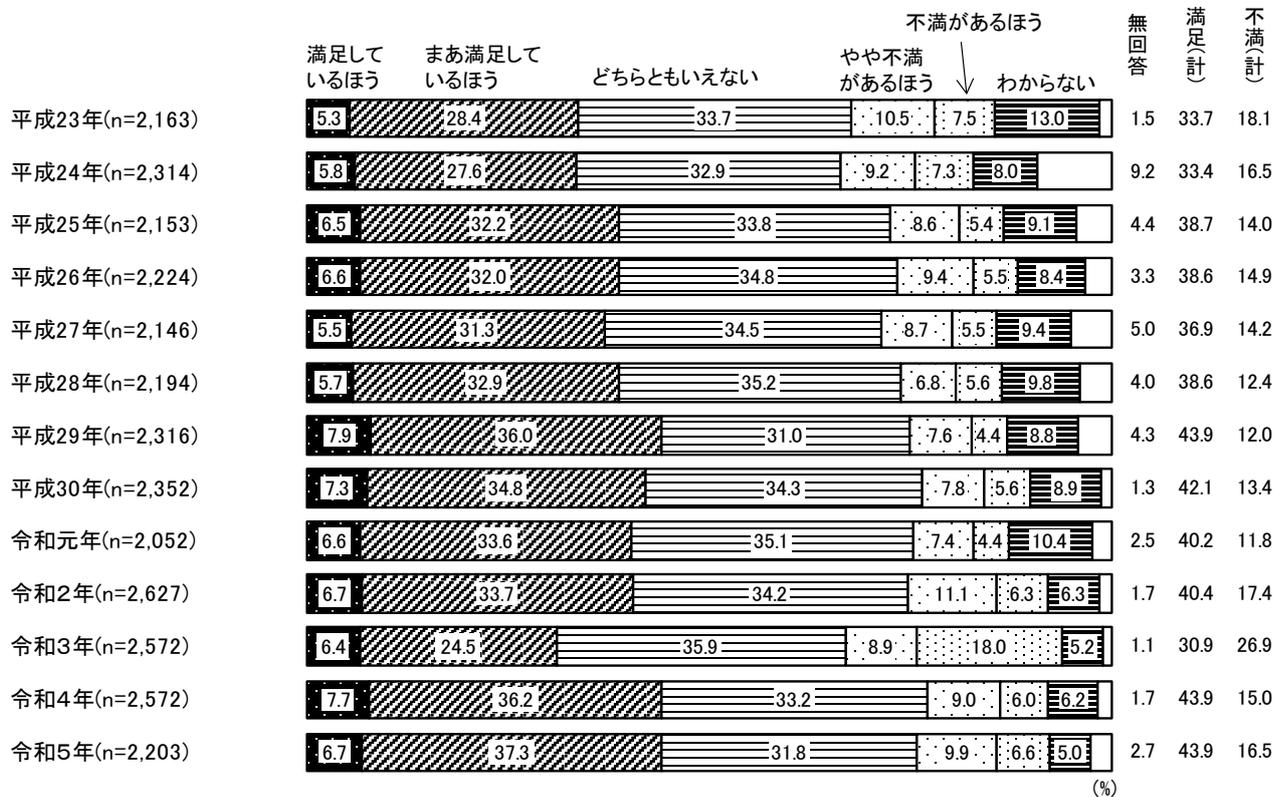


① 市政全体への満足度 [経年変化]

『満足(計)』は変わらず、『不満(計)』が増加

経年変化をみると、前回調査から『満足(計)』は変わらず、『不満(計)』が1.5ポイント増加した。

図1-3-2 市政全体への満足度 [経年変化]



② 市政全体への満足度 [ブロック別]

『満足(計)』は南部で4割半ば

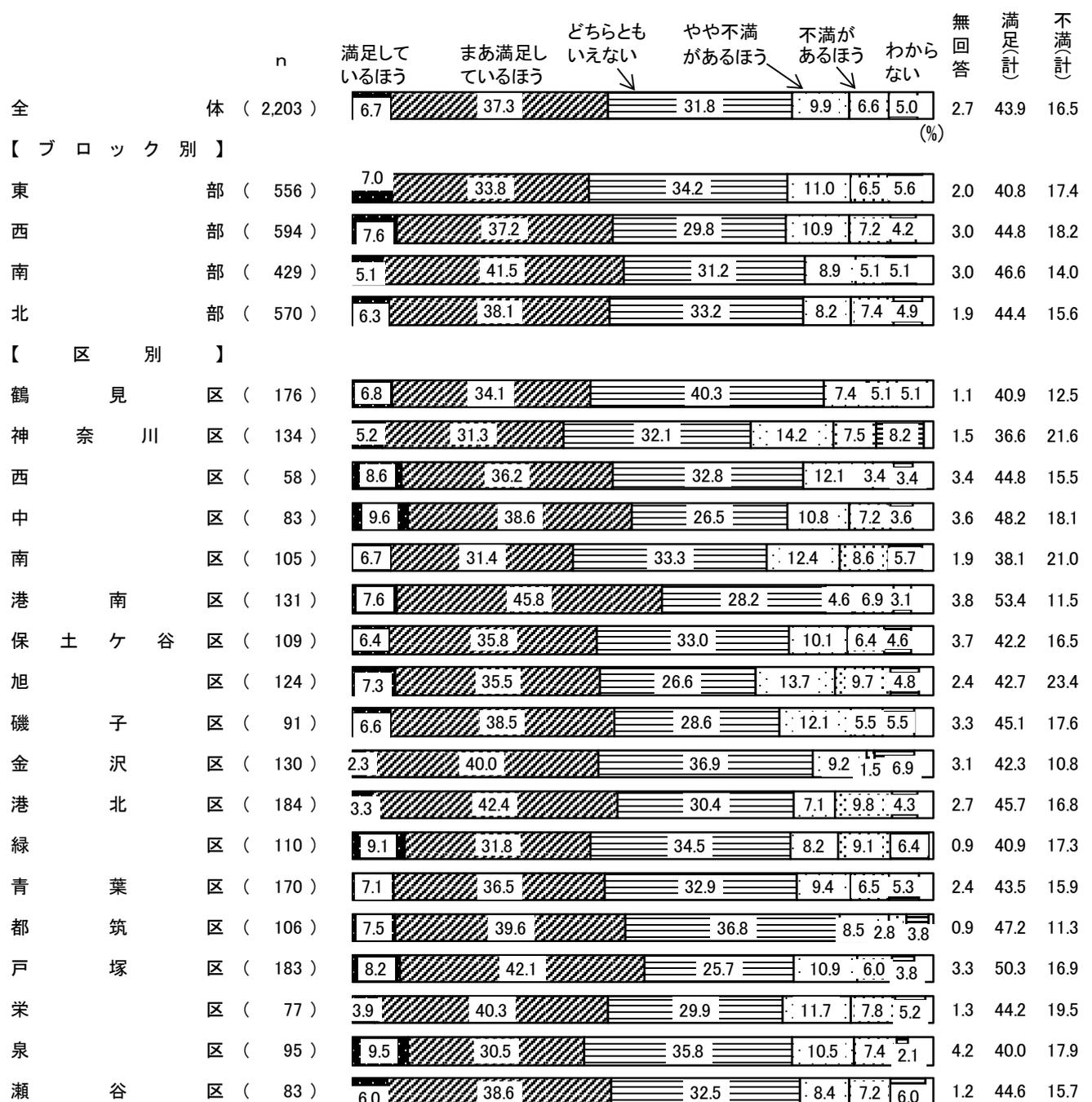
ブロック別にみると、『満足(計)』は南部(46.6%)で4割半ばと最も多くなっている。一方、『不満(計)』は西部(18.2%)で2割近くと最も多くなっている。

③ 市政全体への満足度 [区別]

『満足(計)』は港南区で5割半ば

区別にみると、『満足(計)』は港南区(53.4%)で5割半ばと最も多くなっている。一方、『不満(計)』は旭区(23.4%)で2割半ばと最も多くなっている。

図1-3-3 市政全体への満足度 [ブロック別、区別]



④ 市政全体への満足度〔年齢別〕

『満足（計）』は70歳以上で5割を超える

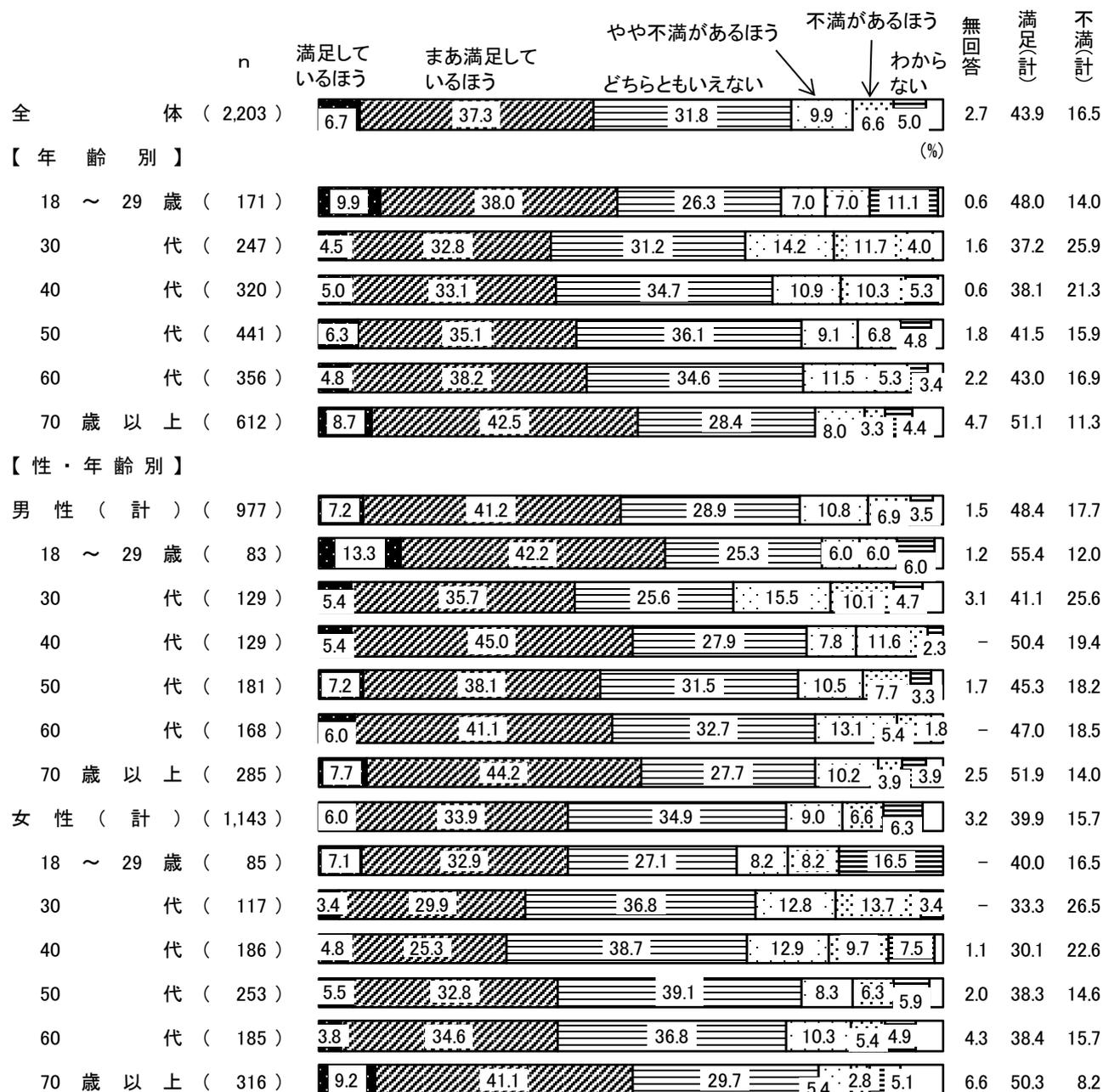
年齢別にみると、『満足（計）』は70歳以上（51.1%）で5割を超えて最も多くなっている。一方、『不満（計）』は30代（25.9%）で2割半ばと最も多くなっている。

⑤ 市政全体への満足度〔性・年齢別〕

『満足（計）』は男女ともに70歳以上で5割を超える

性・年齢別にみると、『満足（計）』は男性18～29歳（55.4%）が5割半ばと最も多くなっている。また、男女ともに70歳以上で5割を超えている。一方、『不満（計）』は男女ともに30代で2割半ばととなっている。

図1-3-4 市政全体への満足度〔年齢別、性・年齢別〕

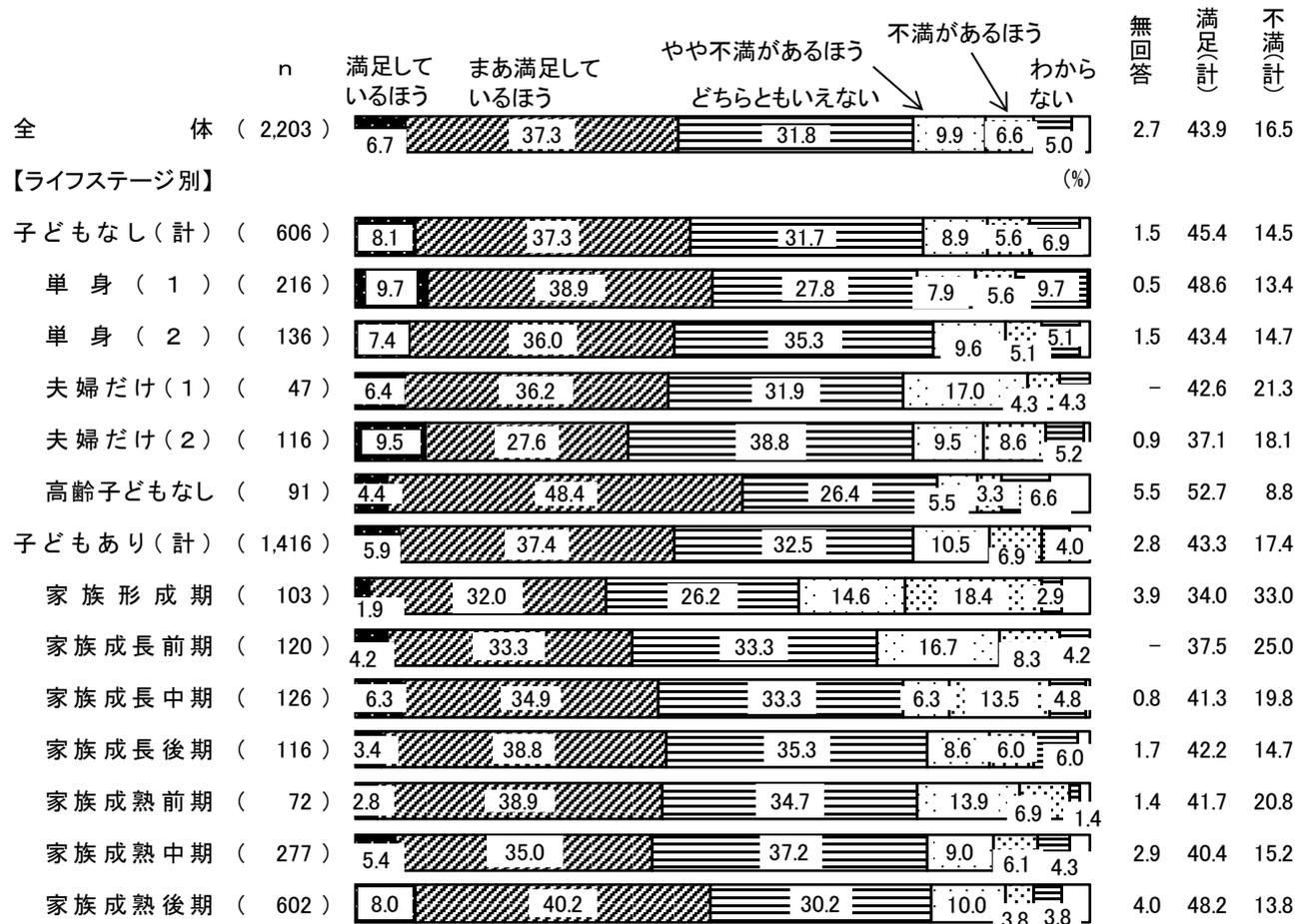


⑥ 市政全体への満足度 [ライフステージ別]

『満足 (計)』は高齢子どもなしで5割を超える

ライフステージ別にみると、『満足 (計)』は高齢子どもなし (52.7%) で5割を超えて最も多くなっている。一方、『不満 (計)』は家族形成期 (33.0%) で3割を超えて最も多くなっている。

図 1-3-5 市政全体への満足度 [ライフステージ別]

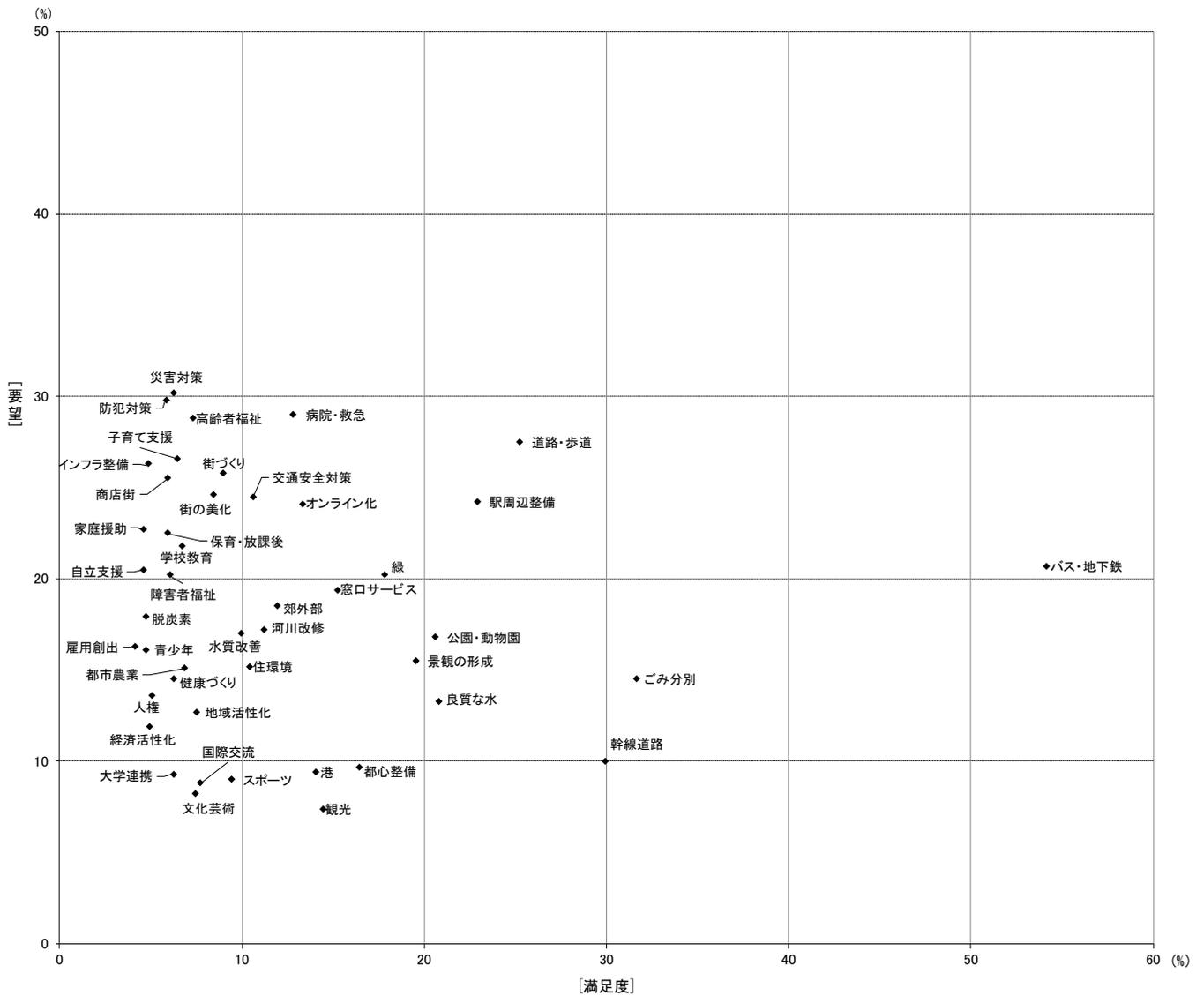


(4) 満足度と要望のまとめ

43 項目について、満足度を横軸に、要望を縦軸にして同一平面にプロットすると、両者の相関をみることが出来る（図中に表わすため、実際の選択肢を一部省略した表現で表記している）。

満足度が低く要望の多い項目としては、「地震や台風などの災害対策」（略称：災害対策）、「高齢者福祉」、「防犯対策」などが挙げられる。一方、満足度が高く要望が少ない項目としては、「ごみの分別収集、リサイクル」（略称：ごみ分別）、「良質な水の確保や安定供給」（略称：良質な水）、「幹線道路や高速道路の整備」（略称：幹線道路）などが挙げられる。

図 1-4-1 満足度と要望



① 満足度と要望の差（要望のほうが多い10項目）

「地震や台風などの災害対策」、「防犯対策」でギャップが最も大きい

45項目について、満足度と要望の差を求め、要望のほうが多い10項目を表にまとめた。「地震や台風などの災害対策」と「防犯対策」では満足度が要望を24ポイント下回っている。次いで、「高齢者福祉」と「橋梁や上下水道などの都市インフラの老朽化対策」では満足度が要望を21.5ポイント下回っている。

表1-4-1 満足度と要望の差（要望のほうが多い10項目）

順位	項目	市政への満足度 (%)	市政への要望 (%)	(満足度－要望)
1位	地震や台風などの災害対策	6.2	30.2	▲ 24.0
1位	防犯対策	5.8	29.8	▲ 24.0
3位	高齢者福祉	7.3	28.8	▲ 21.5
3位	橋梁や上下水道などの都市インフラの老朽化対策	4.8	26.3	▲ 21.5
5位	妊娠・出産・子育て期における支援	6.4	26.6	▲ 20.2
6位	商店街の振興	5.9	25.5	▲ 19.6
7位	保護や支援を必要とする子ども・家庭への援助	4.6	22.7	▲ 18.1
8位	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり (駅舎へのエレベーター設置など)	8.9	25.8	▲ 16.9
9位	保育サービスや放課後の居場所づくり	5.9	22.5	▲ 16.6
10位	ごみの不法投棄対策や街の美化	8.4	24.6	▲ 16.2
10位	病院や救急医療など医療提供体制の充実	12.8	29.0	▲ 16.2

② 満足度と要望の差（満足度のほうが多い10項目）

「バス・地下鉄などの便」、「幹線道路や高速道路の整備」で高い充足度

45項目について、満足度と要望の差を求め、満足度のほうが多い10項目を表にまとめた。「バス・地下鉄などの便」は満足度（54.1%）が要望（20.7%）を33.4ポイント上回っている。次いで「幹線道路や高速道路の整備」は満足度（29.9%）が要望（10.0%）を19.9ポイント、「ごみの分別収集、リサイクル」は満足度（31.6%）が要望（14.5%）を17.1ポイント上回っている。

表1-4-2 満足度と要望の差（満足度のほうが多い10項目）

順位	項目	市政への満足度 (%)	市政への要望 (%)	(満足度－要望)
1位	バス・地下鉄などの便	54.1	20.7	33.4
2位	幹線道路や高速道路の整備	29.9	10.0	19.9
3位	ごみの分別収集、リサイクル	31.6	14.5	17.1
4位	良質な水の確保や安定供給	20.8	13.3	7.5
5位	観光やコンベンション(国際会議やイベント)の振興	14.4	7.4	7.0
6位	都心部の整備や魅力づくり	16.4	9.7	6.7
7位	港湾機能と市民が親しめる港づくり	14.0	9.4	4.6
8位	街並みや景観の形成や保全	19.5	15.5	4.0
9位	公園・動物園の整備	20.6	16.8	3.8
10位	スポーツの振興と環境整備	9.4	9.0	0.4

③ 市政への満足度 [市政全体満足度別]

全ての満足度で「バス・地下鉄などの便」が1位

市政全体満足度別にみると、全ての満足度で「バス・地下鉄などの便」が1位となった。

表1-4-3 市政への満足度 [市政全体満足度別] (複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,527)		バス・地下鉄などの便 54.1	ごみの分別収集、リサイクル 31.6	幹線道路や高速道路の整備 29.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 25.2	最寄り駅周辺の整備 22.9
満足しているほう (n=198)		バス・地下鉄などの便 68.7	ごみの分別収集、リサイクル 51.7	幹線道路や高速道路の整備 46.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 40.8	最寄り駅周辺の整備／街並みや景観の形成や保全 39.5
まあ満足しているほう (n=932)		バス・地下鉄などの便 65.5	ごみの分別収集、リサイクル 38.6	幹線道路や高速道路の整備 36.1	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 31.4	最寄り駅周辺の整備 29.4
どちらともいえない (n=854)		バス・地下鉄などの便 49.8	ごみの分別収集、リサイクル 26.0	幹線道路や高速道路の整備 25.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 21.5	最寄り駅周辺の整備 18.1
やや不満があるほう (n=231)		バス・地下鉄などの便 44.0	ごみの分別収集、リサイクル 26.6	幹線道路や高速道路の整備 24.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 20.6	最寄り駅周辺の整備 18.8
不満があるほう (n=155)		バス・地下鉄などの便 28.1	幹線道路や高速道路の整備 19.9	ごみの分別収集、リサイクル 18.5	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備／観光やコンベンション(国際会議やイベント)の振興 13.0	

④ 市政への要望 [市政全体満足度別]

「不満があるほう」、「やや不満があるほう」で「病院や救急医療など医療提供体制の充実」が1位

市政全体満足度別にみると、「不満があるほう」、「やや不満があるほう」で「病院や救急医療など医療提供体制の充実」がそれぞれ1位となっている。「不満があるほう」では「妊娠・出産・子育て期における支援」が2位となっている。

表1-4-4 市政への要望 [市政全体満足度別] (複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,572)		地震や台風などの災害対策 30.2	防犯対策 29.8	病院や救急医療など医療提供体制の充実 29.0	高齢者福祉 28.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 27.5
満足しているほう (n=198)		商店街の振興 25.2	橋梁や上下水道などの都市インフラの老朽化対策 23.1	防犯対策／妊娠・出産・子育て期における支援 21.8	ごみの不法投棄対策や街の美化 21.1	
まあ満足しているほう (n=932)		地震や台風などの災害対策／防犯対策 28.6	橋梁や上下水道などの都市インフラの老朽化対策 28.3	高齢者福祉 25.8	妊娠・出産・子育て期における支援 24.7	
どちらともいえない (n=854)		地震や台風などの災害対策 31.7	病院や救急医療など医療提供体制の充実 31.5	高齢者福祉 31.0	防犯対策 29.2	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 28.0
やや不満があるほう (n=231)		病院や救急医療など医療提供体制の充実 43.6	防犯対策 41.3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 40.8	地震や台風などの災害対策 38.1	高齢者福祉 37.6
不満があるほう (n=155)		病院や救急医療など医療提供体制の充実 51.4	妊娠・出産・子育て期における支援 49.3	保育サービスや放課後の居場所づくり 45.2	バス・地下鉄などの便 43.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 41.1

2. 定住意識

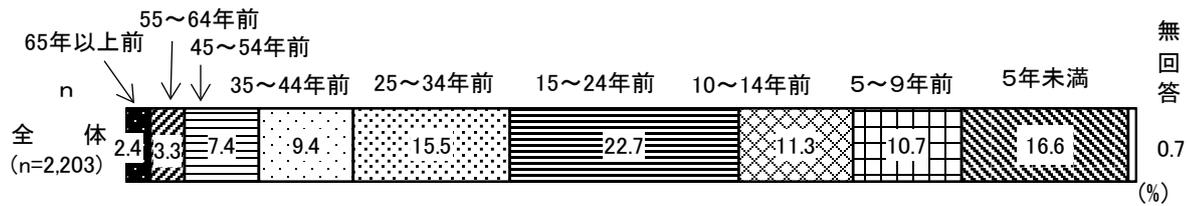
(1) 現住地居住年数

問1 あなたは、今のお住まいにいつごろから住んでいらっしゃいますか。(〇は1つ)

「5年未満」の居住者が1割半ば

現住地居住年数については、「5年未満」(16.6%)が1割半ばとなっている。

図2-1-1 現住地居住年数 [全体]



① 現住地居住年数 [区別]

「5年未満」の居住者は西区、都筑区で2割半ば

区別にみると、居住年数「5年未満」は西区(24.1%)、都筑区(23.6%)で2割半ばとなっている。一方、「45~54年前」、「55~64年前」、「65年以上前」を合わせた『45年以上前』は栄区(23.4%)で2割半ばと最も多くなっている。

図2-1-2 現住地居住年数 [区別]

(注) 45年以上の区分は、本図では『45年以上前』にまとめている。



② 現住地居住年数 [ライフステージ別]

「5年未満」の居住者は夫婦だけ(1)で8割近く

ライフステージ別にみると、居住年数「5年未満」は夫婦だけ(1)(78.7%)で8割近くと最も多く、次いで家族形成期(68.9%)で7割近くとなっている。

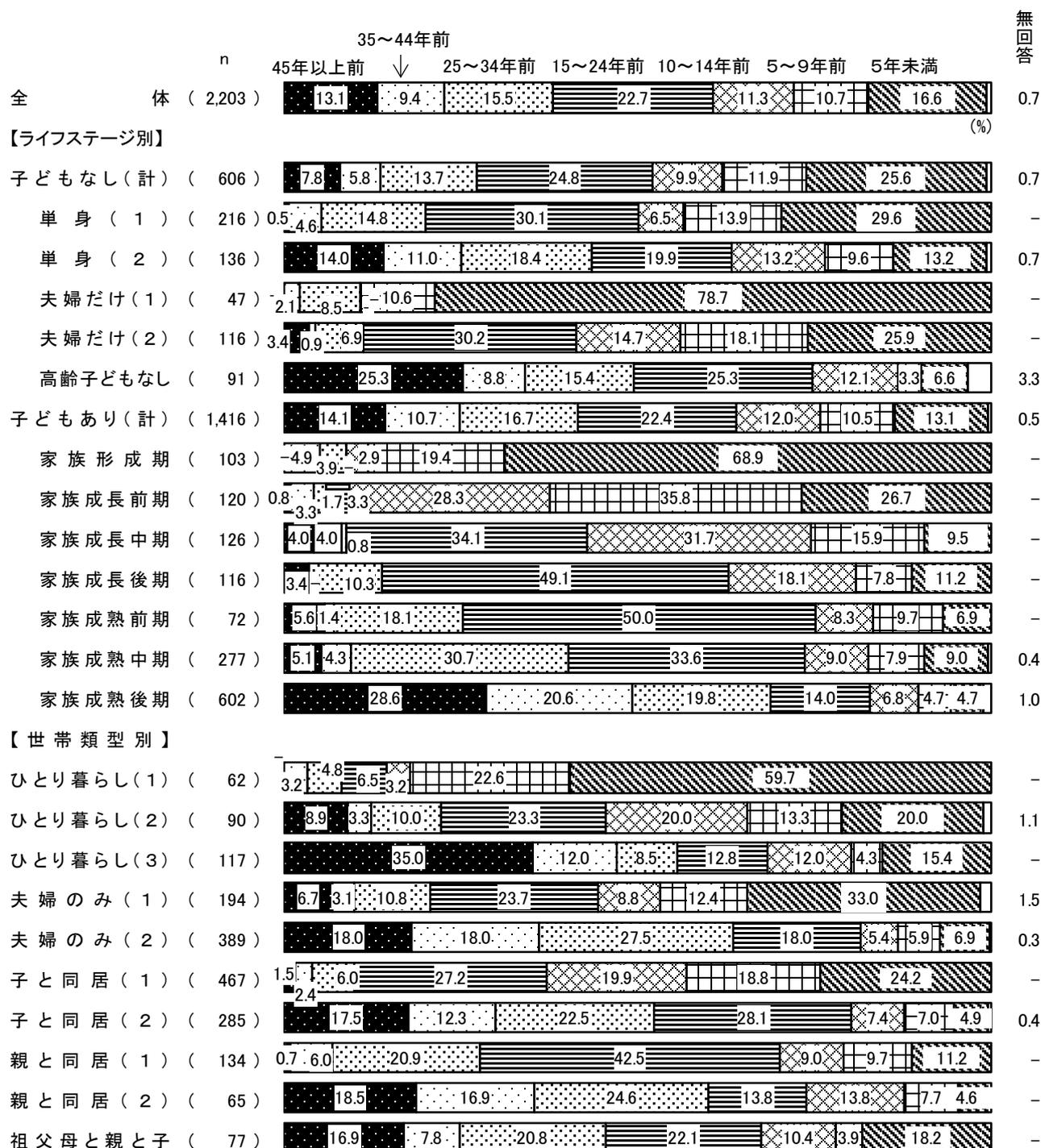
③ 現住地居住年数 [世帯類型別]

「5年未満」の居住者はひとり暮らし(1)で6割近く

世帯類型別にみると、居住年数「5年未満」はひとり暮らし(1)(59.7%)で6割近くと最も多くなっている。『45年以上前』はひとり暮らし(3)(35.0%)で3割半ばと最も多くなっている。

図2-1-3 現住地居住年数 [ライフステージ別、世帯類型別]

(注) 45年以上の区分は、本図では『45年以上前』にまとめている。



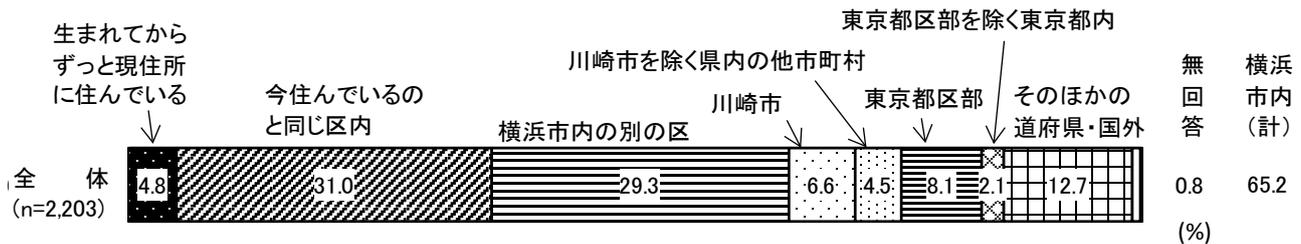
(2) 前住地

問2 あなたが現住所の直前に住んでいたところはどちらですか。(〇は1つ)

『横浜市内(計)』は6割半ば

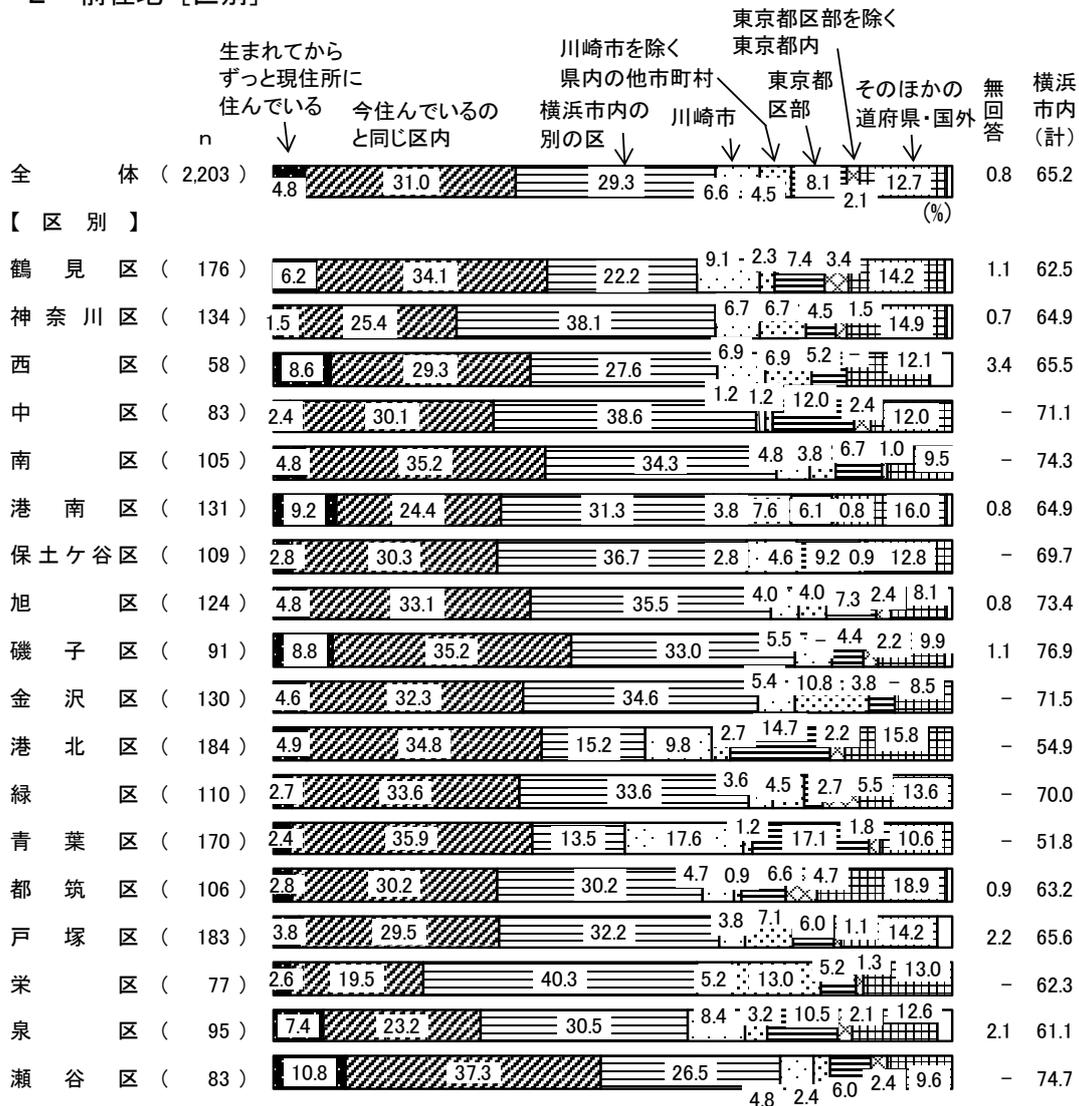
現住所の直前に住んでいたところについては、「今住んでいるのと同じ区内」(31.0%)が3割を超えて最も多く、次いで「横浜市内の別の区」(29.3%)となっている。これらと「生まれてからずっと現住所に住んでいる」(4.8%)を合わせた『横浜市内(計)』は6割半ばとなっている。

図2-2-1 前住地[全体]



区別にみると、『横浜市内(計)』は、磯子区(76.9%)で7割半ばと最も多くなっている。一方、青葉区(51.8%)は5割を超えるが最も少なくなっている。

図2-2-2 前住地[区別]



(3) 居住地選択時の候補地

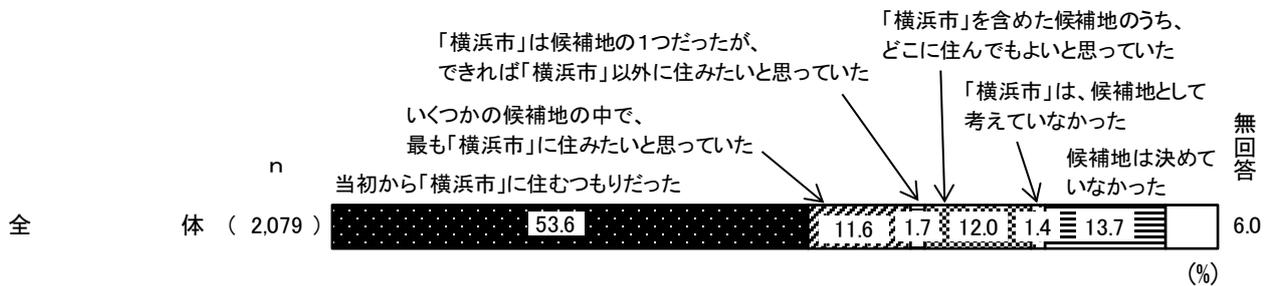
(問2で「2」～「8」と答えた方に)

問2-1 現在のお住まいを決める際に、お住まいが「横浜市」であることを意識していましたか。
(〇は1つ)

「当初から「横浜市」に住むつもりだった」は5割を超える

居住地選択時の候補地について、「当初から「横浜市」に住むつもりだった」(53.6%)が5割を超えて最も多くなっている。

図2-3-1 居住地選択時の候補地 [全体]

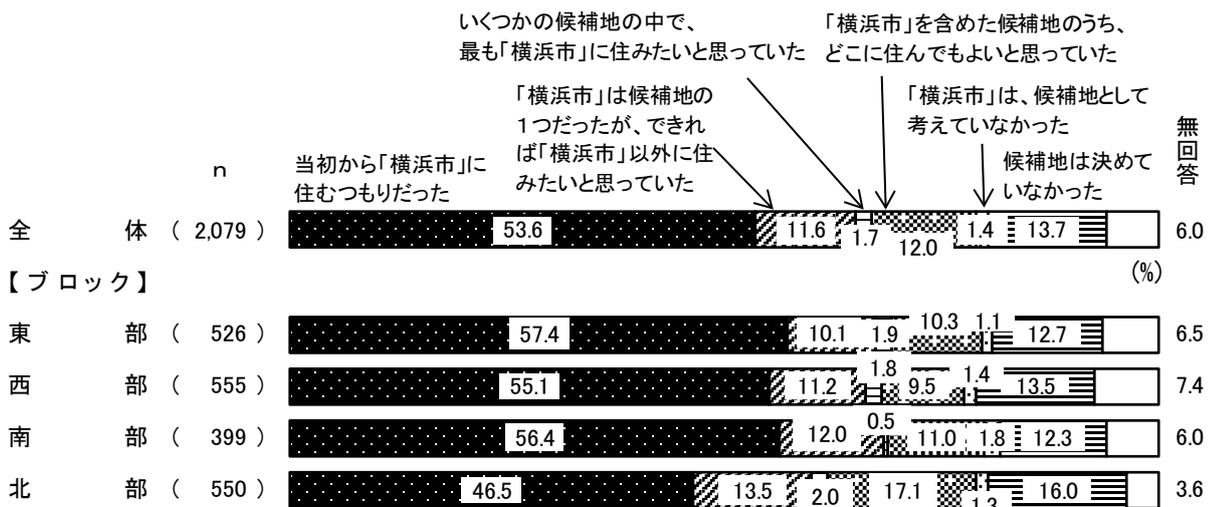


① 居住地選択時の候補地 [ブロック別]

東部・西部・南部で「当初から「横浜市」に住むつもりだった」が5割半ば

ブロック別にみると、「当初から「横浜市」に住むつもりだった」は東部(57.4%)、西部(55.1%)、南部(56.4%)で5割半ばとなっている。一方、北部(46.5%)で4割半ばと最も少なくなっている。

図2-3-2 居住地選択時の候補地 [ブロック別]



② 居住地選択時の候補地 [年齢別]

「当初から「横浜市」に住むつもりだった」は50代が6割を超える

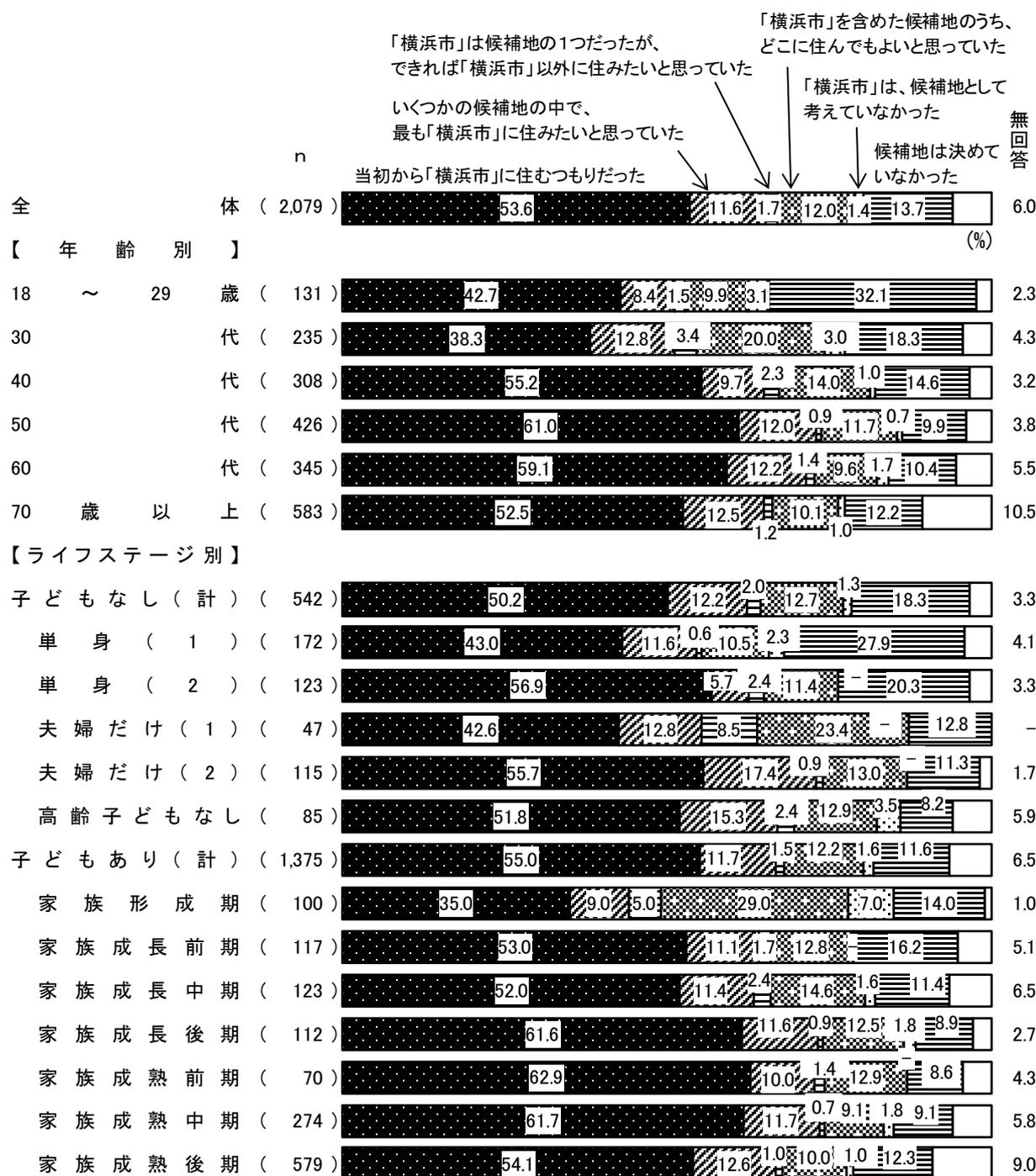
年齢別にみると、「当初から「横浜市」に住むつもりだった」は50代（61.0%）で6割を超えて最も多くなっている。一方、30代（38.3%）で4割を下回っている。

③ 居住地選択時の候補地 [ライフステージ別]

「当初から「横浜市」に住むつもりだった」は家族成長後期、家族成熟前期・中期が6割を超える

ライフステージ別にみると、「当初から「横浜市」に住むつもりだった。」は家族成長後期（61.6%）、家族成熟前期（62.9%）、家族成熟中期（61.7%）で6割を超えている。一方、家族形成期（35.0%）で3割半ばと最も少なくなっている。

図2-3-3 居住地選択時の候補地 [年齢別、ライフステージ別]



④ 居住地選択時の候補地〔居住年数別〕

「当初から「横浜市」に住むつもりだった」は10～14年前が6割を超える

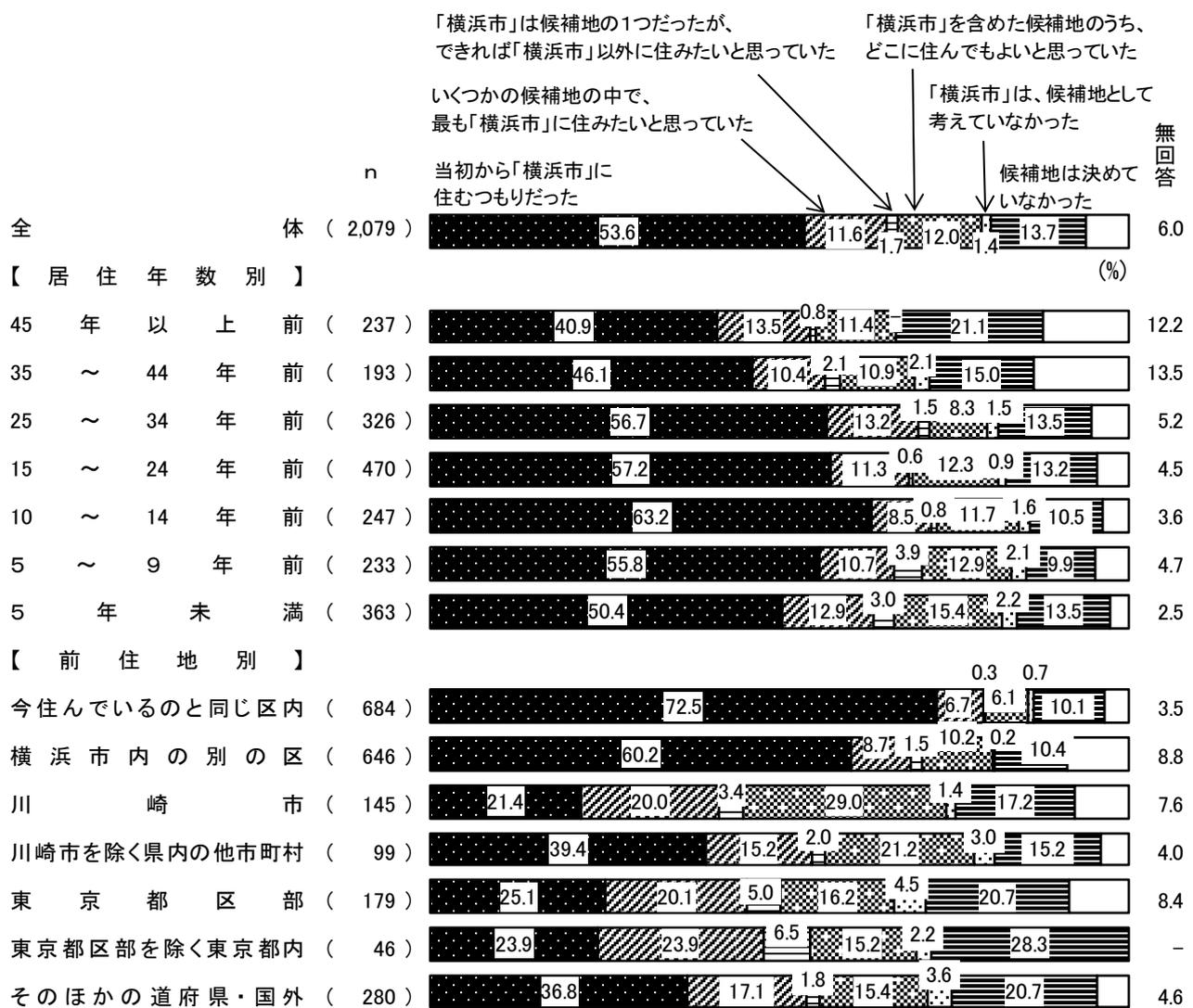
居住年数別にみると、「当初から「横浜市」に住むつもりだった」は10～14年前（63.2%）で6割を超えて最も多くなっている。一方で、45年以上前（40.9%）で約4割と最も少なくなっている。

⑤ 居住地選択時の候補地〔前住地別〕

「当初から「横浜市」に住むつもりだった」は今住んでいるのと同じ区内が7割を超える

前住地別にみると、「当初から「横浜市」に住むつもりだった」は今住んでいるのと同じ区内（72.5%）で7割を超えて最も多くなっている。一方、川崎市（21.4%）で約2割と最も少なくなっている。

図2-3-4 居住地選択時の候補地〔居住年数別、前住地別〕



(4) 「横浜市」を住まいとして選んだ理由

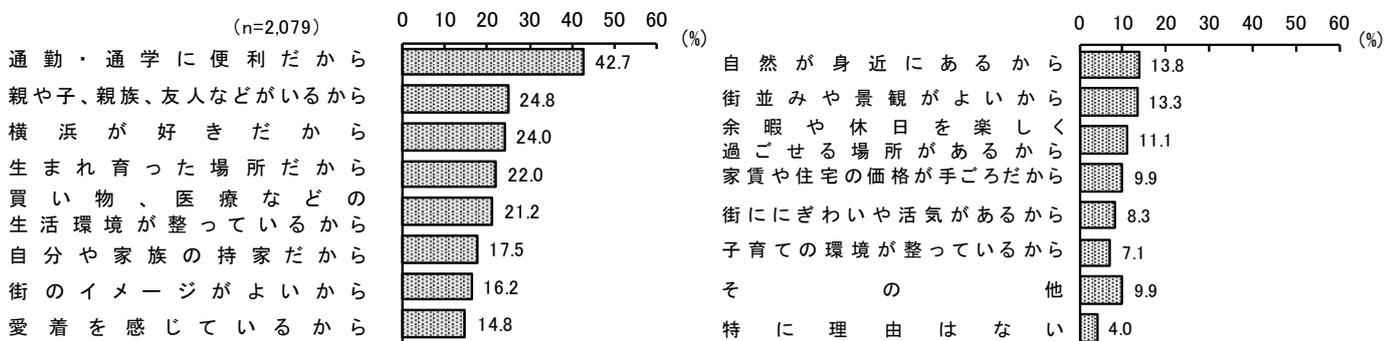
(問2で「2」～「8」と答えた方に)

問2-2 「横浜市」をお住まいとして選んだ理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「通勤・通学に便利だから」は4割を超える

「『横浜市』を住まいに選んだ理由」については、「通勤・通学に便利だから」(42.7%)が4割を超えて最も多く、次いで「親や子、親族、友人などがあるから」(24.8%)、「横浜が好きだから」(24.0%)となっている。

図2-4-1 「横浜市」を住まいとして選んだ理由 [全体]



① 「横浜市」を住まいとして選んだ理由 [ブロック別]

「通勤・通学に便利だから」は全てのブロックで1位

ブロック別にみると、北部では「街のイメージがよいから」(21.3%)が3位となっている。

② 「横浜市」を住まいとして選んだ理由 [年齢別]

「通勤・通学に便利だから」は全ての年齢で1位

年代別にみると、70歳以上では「自然が身近にあるから」(22.5%)が3位となっている。

③ 「横浜市」を住まいとして選んだ理由 [ライフステージ別]

「通勤・通学に便利だから」は全てのステージで1位

ライフステージ別にみると、家族成熟後期では「買い物、医療などの生活環境が整っているから」(24.9%)が2位となっている。

④ 「横浜市」を住まいとして選んだ理由 [前住地別]

「通勤・通学に便利だから」は全ての前住地で1位

前住地別にみると、東京都区部では「街のイメージがよいから」(19.0%)が2位、川崎市では「家賃や住宅の価格が手ごろだから」と「街のイメージがよいから」(17.2%)が同率で3位となっている。

表 2-4-2 「横浜市」を住まいとして選んだ理由〔ブロック別、年齢別、ライフステージ、前住地別〕

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
ブロック別	全体 (n=2,079)	通勤・通学に便利だから 42.7	親や子、親族、友人などがいるから 24.8	横浜が好きだから 24.0	生まれ育った場所だから 22.0	買い物、医療などの生活環境が整っているから 21.2
	東部 (n=526)	通勤・通学に便利だから 45.6	横浜が好きだから 30.6	生まれ育った場所だから 26.2	親や子、親族、友人などがいるから 24.3	買い物、医療などの生活環境が整っているから 22.8
	西部 (n=555)	通勤・通学に便利だから 38.2	親や子、親族、友人などがいるから 26.5	生まれ育った場所だから 25.0	横浜が好きだから 23.6	買い物、医療などの生活環境が整っているから 20.9
	南部 (n=399)	通勤・通学に便利だから 41.1	親や子、親族、友人などがいるから 28.1	横浜が好きだから 25.8	生まれ育った場所だから 25.3	買い物、医療などの生活環境が整っているから 22.6
	北部 (n=550)	通勤・通学に便利だから 46.7	親や子、親族、友人などがいるから 21.5	街のイメージがよいから 21.3	買い物、医療などの生活環境が整っているから 19.3	横浜が好きだから 17.3
年齢別	18～29歳 (n=131)	通勤・通学に便利だから 36.6	自分や家族の持家だから 26.7	生まれ育った場所だから 23.7	親や子、親族、友人などがいるから 22.9	横浜が好きだから 16.8
	30代 (n=235)	通勤・通学に便利だから 51.5	生まれ育った場所だから 29.8	親や子、親族、友人などがいるから 27.2	買い物、医療などの生活環境が整っているから 25.5	横浜が好きだから 19.1
	40代 (n=308)	通勤・通学に便利だから 49.4	親や子、親族、友人などがいるから 26.3	生まれ育った場所だから 24.7	横浜が好きだから 23.7	買い物、医療などの生活環境が整っているから 16.2
	50代 (n=426)	通勤・通学に便利だから 48.1	親や子、親族、友人などがいるから 29.6	横浜が好きだから 28.9	生まれ育った場所だから 27.2	街のイメージがよいから 20.2
	60代 (n=345)	通勤・通学に便利だから 40.9	横浜が好きだから 28.7	親や子、親族、友人などがいるから 25.8	自分や家族の持家だから 24.1	生まれ育った場所だから 23.2
	70歳以上 (n=583)	通勤・通学に便利だから 35.5	買い物、医療などの生活環境が整っているから 25.7	自然が身近にあるから 22.5	横浜が好きだから 21.6	親や子、親族、友人などがいるから 19.6
	ライフステージ別	子どもなし計 (n=542)	通勤・通学に便利だから 45.4	生まれ育った場所だから 25.8	親や子、親族、友人などがいるから 25.1	横浜が好きだから 22.7
単身(1) 40歳未満 (n=172)		通勤・通学に便利だから 41.3	生まれ育った場所だから 27.9	自分や家族の持家だから 27.3	親や子、親族、友人などがいるから 25.6	横浜が好きだから 17.4
単身(2) 40～64歳 (n=123)		通勤・通学に便利だから 44.7	生まれ育った場所だから 28.5	横浜が好きだから 27.6	自分や家族の持家だから 25.6	愛着を感じているから 22.8
夫婦だけ(1) 40歳未満 (n=47)		通勤・通学に便利だから 72.3	生まれ育った場所だから 34.0	買い物、医療などの生活環境が整っているから 31.9	親や子、親族、友人などがいるから 25.5	横浜が好きだから 21.3
夫婦だけ(2) 40～64歳 (n=115)		通勤・通学に便利だから 49.6	親や子、親族、友人などがいるから 25.2	横浜が好きだから 24.3	生まれ育った場所だから 22.6	街のイメージがよいから 21.7
高齢子どもなし (n=85)		通勤・通学に便利だから 34.1	親や子、親族、友人などがいるから 30.6	横浜が好きだから 24.7	買い物、医療などの生活環境が整っているから 24.7	自然が身近にあるから 21.2
子どもあり計 (n=1,375)		通勤・通学に便利だから 43.3	親や子、親族、友人などがいるから 25.0	横浜が好きだから 24.7	買い物、医療などの生活環境が整っているから 22.0	生まれ育った場所だから 21.3
家族形成期 第一子が小学校入学前 (n=100)		通勤・通学に便利だから 47.0	親や子、親族、友人などがいるから 22.0	生まれ育った場所だから 20.0	横浜が好きだから 20.0	買い物、医療などの生活環境が整っているから 17.0
家族成長前期 第一子が小学生 (n=117)		通勤・通学に便利だから 47.9	親や子、親族、友人などがいるから 35.0	生まれ育った場所だから 27.4	横浜が好きだから 25.6	街のイメージがよいから 19.7
家族成長中期 第一子が中・高生 (n=123)		通勤・通学に便利だから 52.8	親や子、親族、友人などがいるから 30.9	生まれ育った場所だから 25.2	横浜が好きだから 22.8	買い物、医療などの生活環境が整っているから 愛着を感じているから 19.5
家族成長後期 第一子が大学生等 (n=112)		通勤・通学に便利だから 50.0	親や子、親族、友人などがいるから 29.5	生まれ育った場所だから 27.7	横浜が好きだから 26.8	買い物、医療などの生活環境が整っているから 25.0
家族成熟前期 第一子が学校教育終了 (n=70)		通勤・通学に便利だから 41.4	横浜が好きだから 25.7	生まれ育った場所だから 24.3	自分や家族の持家だから 24.3	街並みや景観がよいから 街のイメージがよいから 17.1
家族成熟中期 子が全員独立・65歳未満 (n=274)		通勤・通学に便利だから 45.3	横浜が好きだから 30.7	親や子、親族、友人などがいるから 30.3	生まれ育った場所だから 24.8	買い物、医療などの生活環境が整っているから 21.2
家族成熟後期 子が全員独立・65歳以上 (n=579)		通勤・通学に便利だから 37.7	買い物、医療などの生活環境が整っているから 24.9	横浜が好きだから 22.3	自然が身近にあるから 20.9	親や子、親族、友人などがいるから 20.0
前住地別	今住んでいるのと同じ区内 (n=684)	通勤・通学に便利だから 41.8	親や子、親族、友人などがいるから 32.0	横浜が好きだから 30.4	生まれ育った場所だから 30.0	買い物、医療などの生活環境が整っているから 23.7
	横浜市内の別の区 (n=646)	通勤・通学に便利だから 43.7	生まれ育った場所だから 29.4	横浜が好きだから 28.9	親や子、親族、友人などがいるから 25.4	買い物、医療などの生活環境が整っているから 23.2
	川崎市 (n=145)	通勤・通学に便利だから 42.8	買い物、医療などの生活環境が整っているから 20.7	家賃や住宅の価格が手ごろだから 17.2	街のイメージがよいから 17.2	親や子、親族、友人などがいるから 15.2
	川崎市を除く県内の他市町村 (n=99)	通勤・通学に便利だから 58.6	親や子、親族、友人などがいるから 25.3	買い物、医療などの生活環境が整っているから 24.2	自分や家族の持家だから 24.2	横浜が好きだから 19.2
	東京都区部 (n=179)	通勤・通学に便利だから 36.9	街のイメージがよいから 19.0	自然が身近にあるから 16.8	自分や家族の持家だから 16.2	横浜が好きだから 15.6
	東京都区部を除く東京都内 (n=46)	通勤・通学に便利だから 41.3	自分や家族の持家だから 28.1	買い物、医療などの生活環境が整っているから 21.7	自然が身近にあるから 21.7	街並みや景観がよいから 19.6
	そのほかの道府県・国外 (n=369)	通勤・通学に便利だから 40.7	親や子、親族、友人などがいるから 18.9	自分や家族の持家だから 15.7	街のイメージがよいから 15.0	買い物、医療などの生活環境が整っているから 13.9

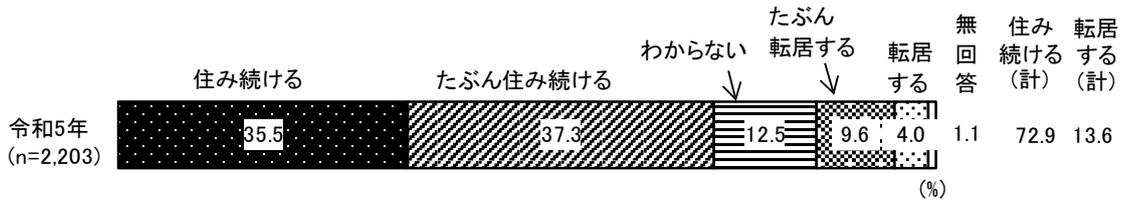
(5) 現住地定住意向

問3 あなたは、これからもずっと今のお住まいに住み続けるお気持ちですか。(〇は1つ)

『住み続ける(計)』は7割を超える

現住地定住意向については、「住み続ける」(35.5%)と「たぶん住み続ける」(37.3%)を合わせた『住み続ける(計)』は7割を超えている。

図2-5-1 現住地定住意向[全体]

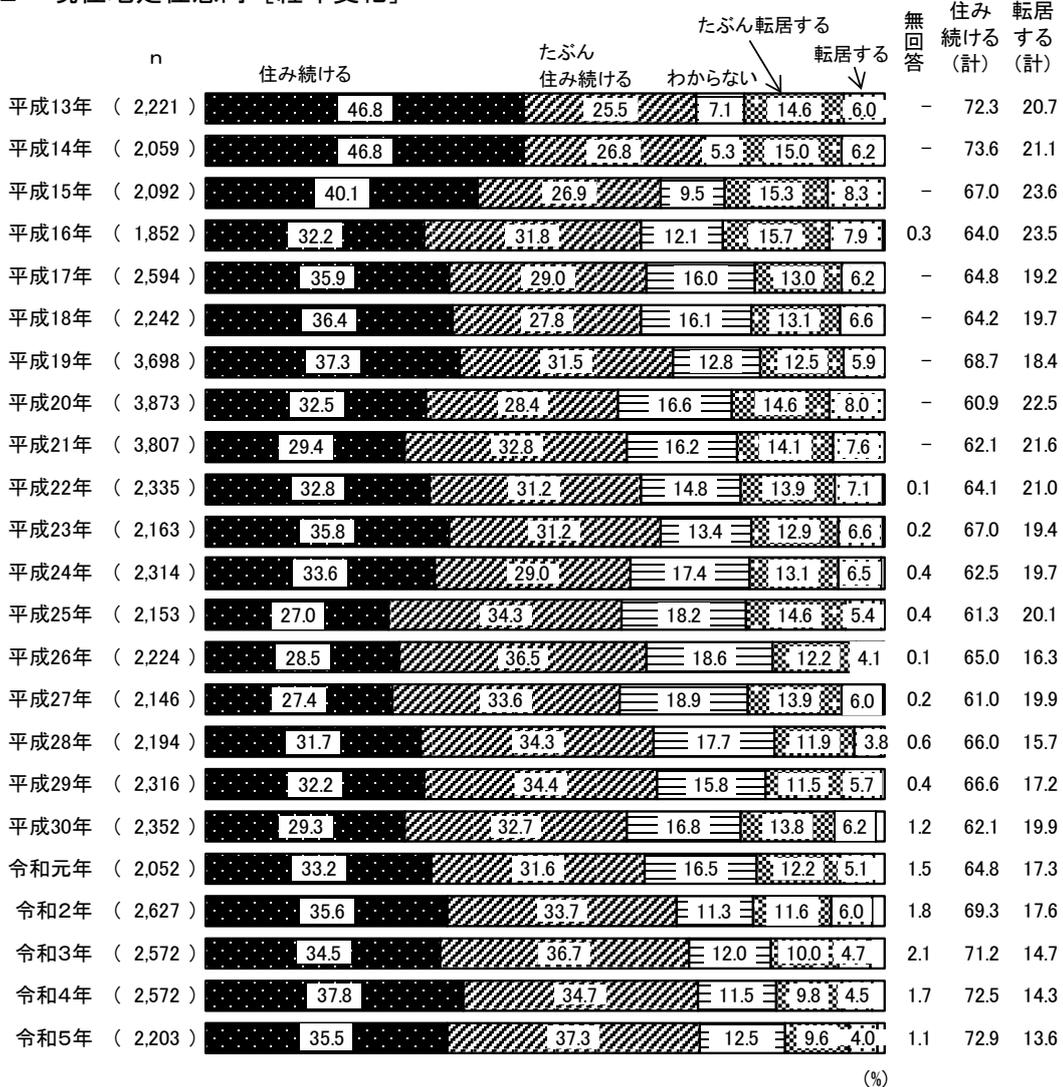


① 現住地定住意向 [経年変化]

『住み続ける(計)』は0.4ポイント増加

経年変化をみると、前回調査から『住み続ける(計)』は0.4ポイント増加し、令和元年以降増加している。「転居する」と「たぶん転居する」を合わせた『転居する(計)』は0.7ポイント減少している。

図2-5-2 現住地定住意向 [経年変化]



② 現住地定住意向〔ブロック別〕

『住み続ける（計）』は西部と南部で7割半ば

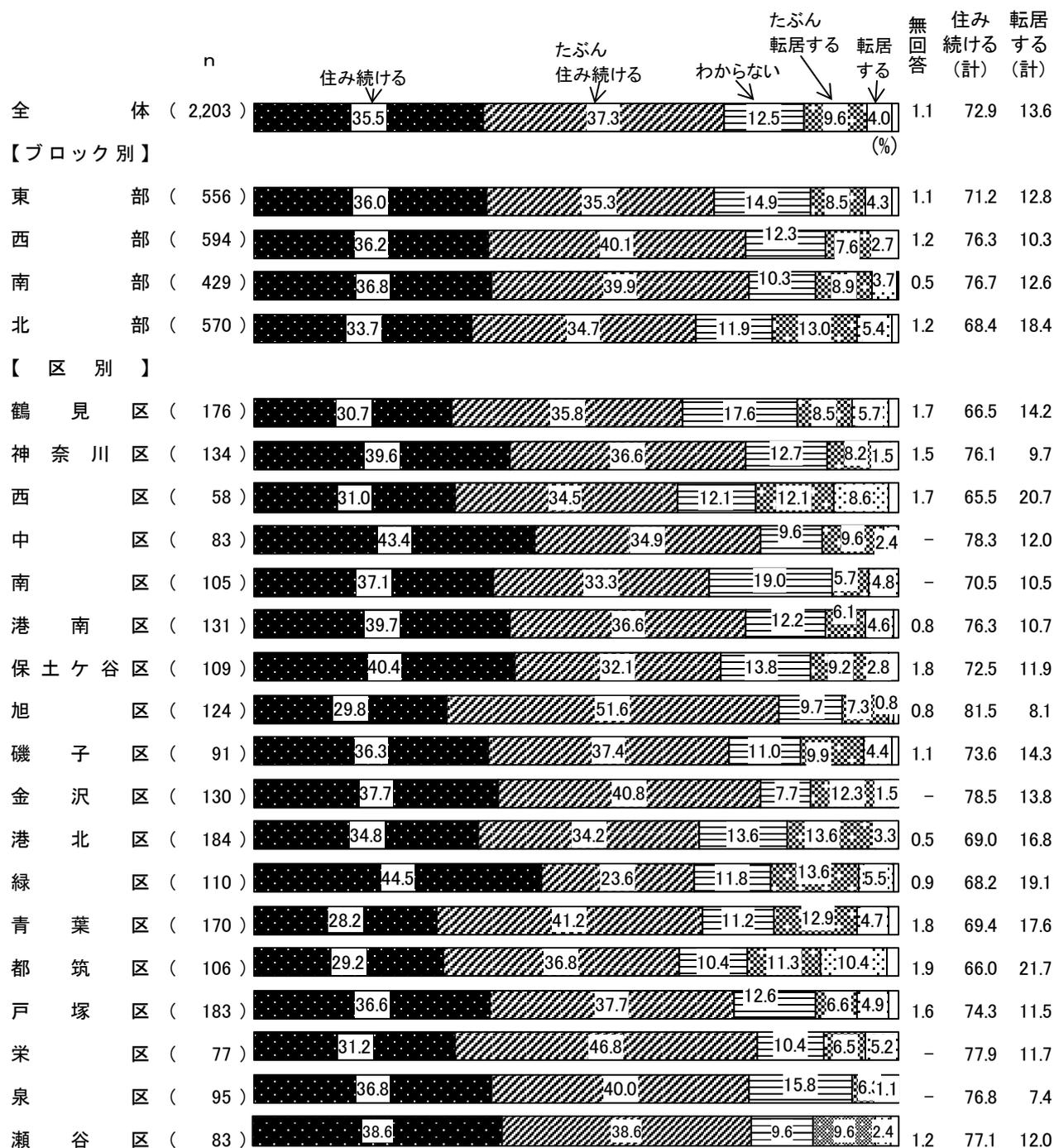
ブロック別にみると、『住み続ける（計）』は西部（76.3%）と南部（76.7%）で7割半ばとなっている。一方、『転居する（計）』は北部（18.4%）で2割近くと最も多くなっている。

③ 現住地定住意向〔区別〕

『住み続ける（計）』は旭区で8割を超える

区別にみると、『住み続ける（計）』は旭区（81.5%）で8割を超えて最も多くなっている。一方、『転居する（計）』は西区（20.7%）、都築区（21.7%）で2割を超えている。

図2-5-3 現住地定住意向〔ブロック別、区別〕



④ 現住地定住意向〔年齢別〕

『住み続ける（計）』は年齢が高いほど多い

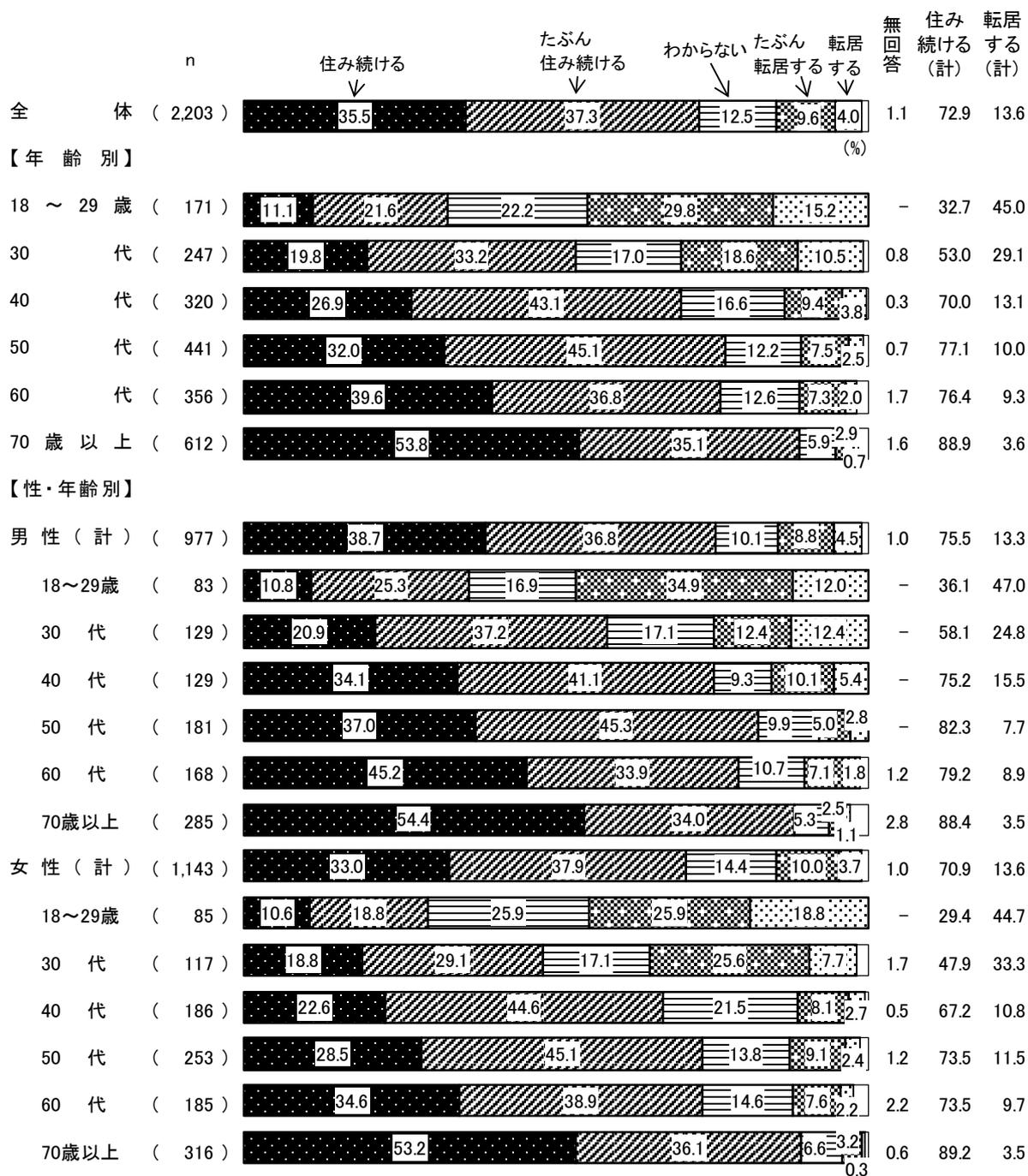
年齢別にみると、『住み続ける（計）』は年齢が高いほど多い傾向にあり、70歳以上（88.9%）で9割近くと最も多くなっている。

⑤ 現住地定住意向〔性・年齢別〕

『転居する（計）』は男女ともに18～29歳で4割半ば

性・年齢別にみると、『住み続ける（計）』は男女ともに年齢が高いほど多い傾向にあり、70歳以上で男女ともに9割近くとなっている。一方、『転居する（計）』は男性18～29歳（47.0%）と女性18～29歳（44.7%）で4割半ばとなっている。

図2-5-4 現住地定住意向〔年齢別、性・年齢別〕



⑥ 現住地定住意向 [ライフステージ別]

『住み続ける (計)』は家族成熟後期で8割半ば

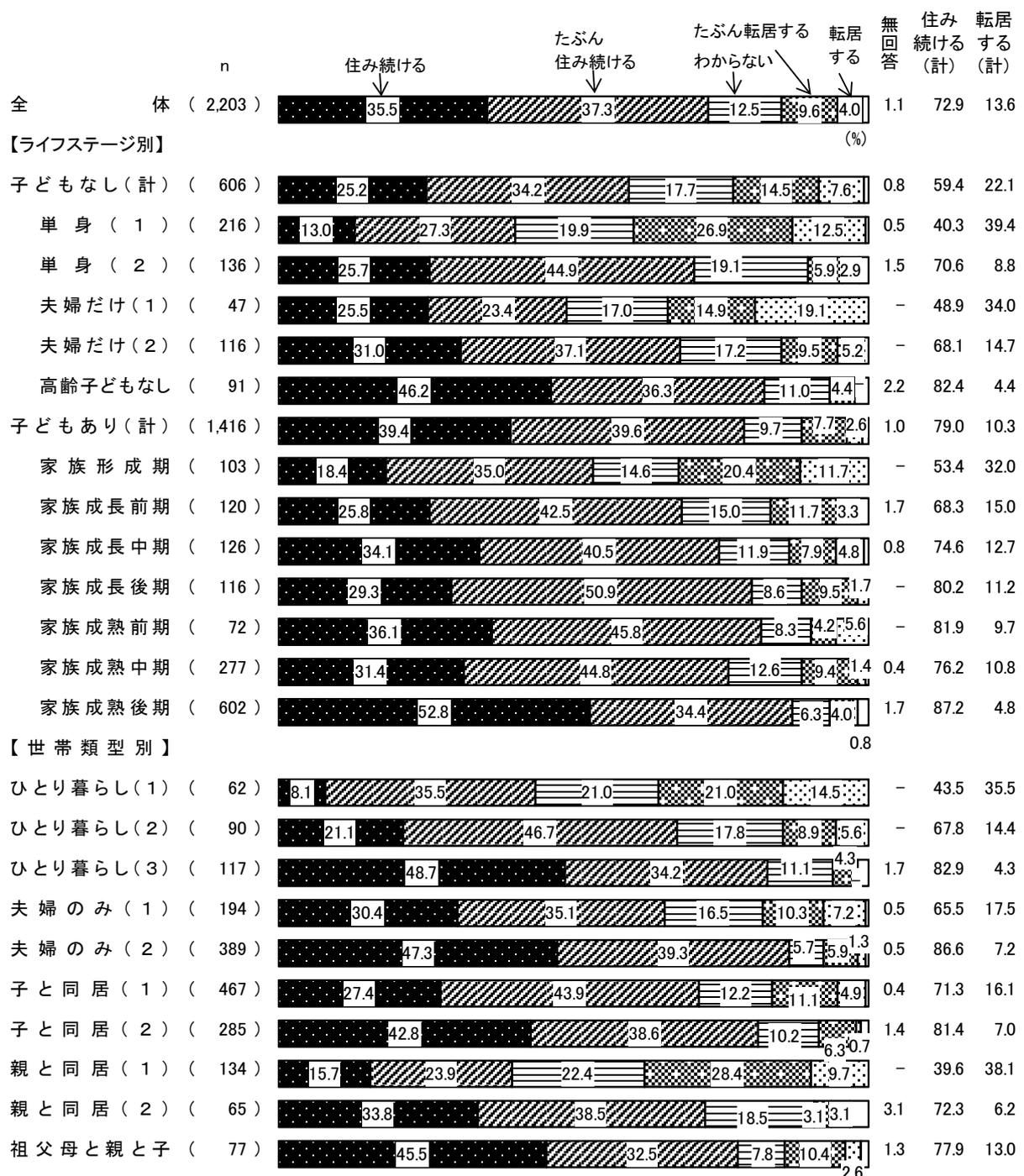
ライフステージ別にみると、『住み続ける (計)』は家族成熟後期 (87.2%) で8割半ばと最も多くなっている。一方、『転居する (計)』は、単身 (1) (39.4%) で4割近くと最も多くなっている。

⑦ 現住地定住意向 [世帯類型別]

『住み続ける (計)』は夫婦のみ (2) で8割半ば

世帯類型別にみると、『住み続ける (計)』は夫婦のみ (2) (86.6%) で8割半ばと最も多くなっている。一方、『転居する (計)』は、親と同居 (1) (38.1%) で4割近くと最も多くなっている。

図 2-5-5 現住地定住意向 [ライフステージ別、世帯類型別]



(6) 希望する転居先

(問3で「3」または「4」と答えた方に)

問3-1 現実の問題は別として、次の転居先としては、同じ区内、横浜市内、横浜市以外のいずれを希望されますか。(〇は1つ)

『横浜市内(計)』への転居意向は3割

現住地から「転居する」または「たぶん転居する」と回答した人(299人)に、希望する転居先を尋ねたところ、「同じ区内」(12.0%)と「横浜市内」(23.1%)を合わせた『横浜市内(計)』(35.1%)は3割半ばとなり、「横浜市以外」(31.1%)を上回っている。

図2-6-1 希望する転居先[全体]

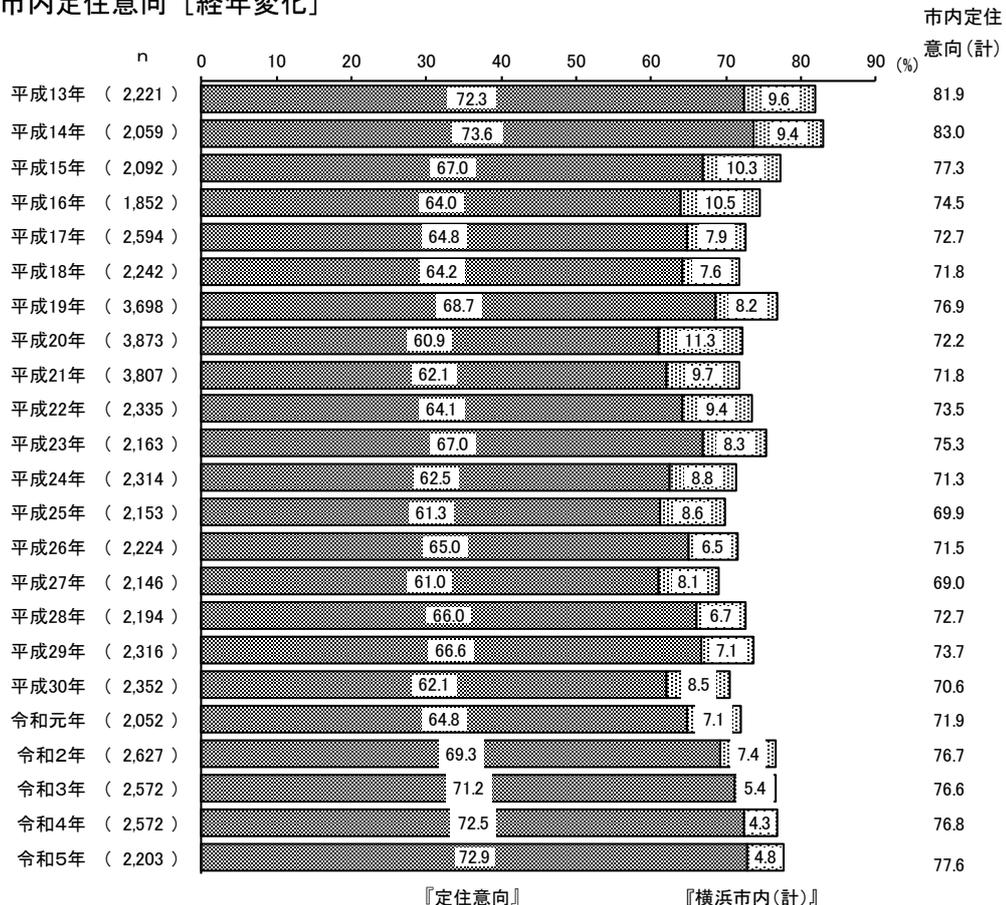


(7) 市内定住意向

『市内定住意向(計)』は8年連続7割を超える

現住地での『定住意向』に、現住地から「転居する」または「たぶん転居する」と答えた人のうち希望する転居先が「同じ区内」、「横浜市内」である『横浜市内(計)』を合わせた『市内定住意向(計)』は、前回調査からほぼ変わらず、8年連続で7割を超えている。

図2-7-1 市内定住意向[経年変化]



(8) 横浜市に住み続ける理由

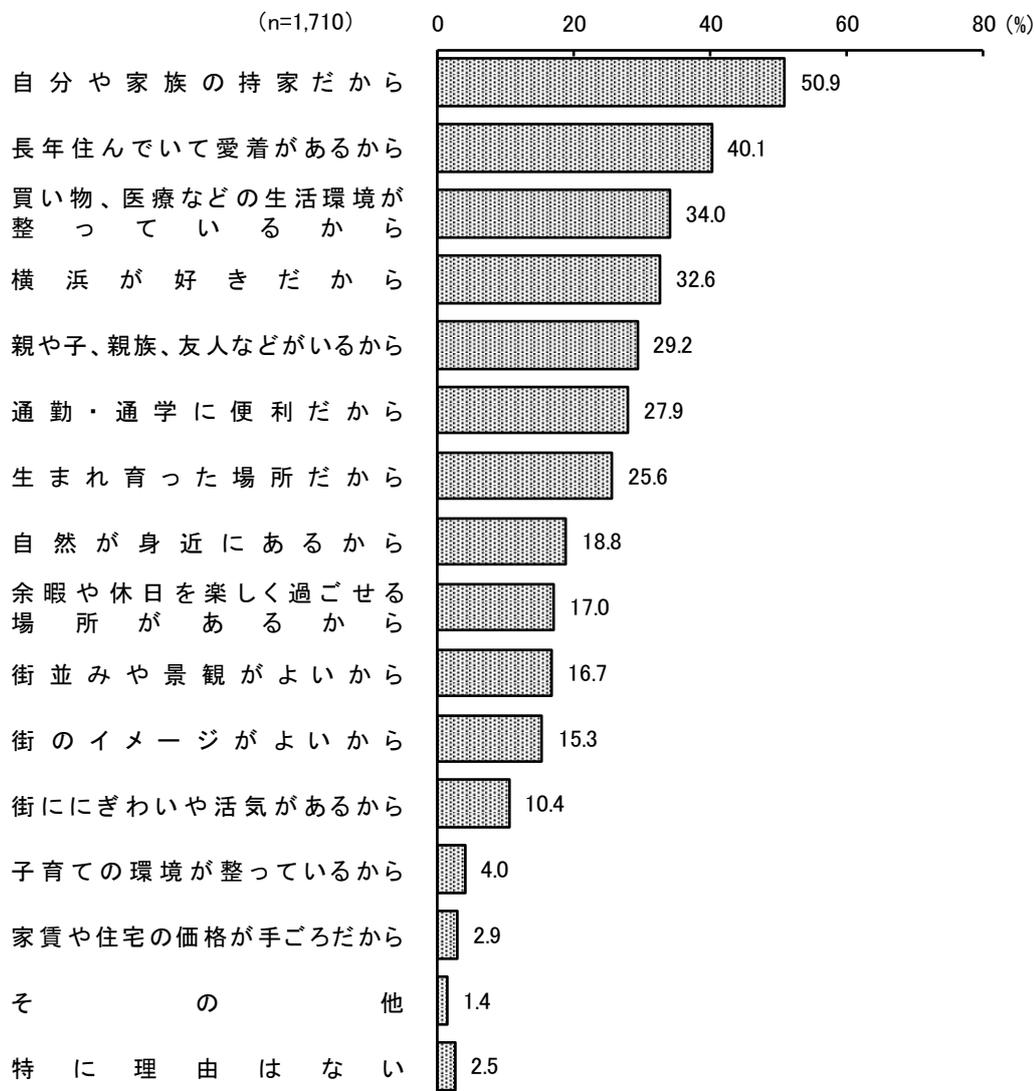
(問3で「1」または「2」と答えた方、問3-1で「1」または「2」と答えた方に)

問4 あなたが横浜に住み続けるご意向があるのは、どのような理由からですか。(〇はいくつでも)

横浜に住み続ける理由は「自分や家族の持家だから」が5割を超える

現住地での『定住意向』または希望する転居地が「同じ区内」、「横浜市内」である『横浜市内(計)』を合わせた『市内定住意向』の理由は、「自分や家族の持家だから」(50.9%)が5割を超えて最も多くなっている。次いで「長年住んでいて愛着があるから」(40.1%)、「買い物、医療などの生活環境が整っているから」(34.0%)、「横浜が好きだから」(32.6%)の順となっている。

図2-8-1 横浜に住み続ける理由〔全体〕(複数回答)



① 横浜に住み続ける理由〔区別〕

「自分や家族の持家だから」が18区中16区で1位

区別に見ると、「自分や家族の持家だから」が18区中16区で1位となっている。また、西区、中区、南区で「横浜が好きだから」がそれぞれ1位となっている。

表2-8-1 横浜に住み続ける理由〔区別〕（複数回答）

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
全体	(n=1,710)	自分や家族の持家だから 50.9	長年住んでいて愛着があるから 40.1	買い物、医療などの生活環境が整っているから 34.0	横浜が好きだから 32.6	親や子、親族、友人などがあるから 29.2
鶴見区	(n=124)	自分や家族の持家だから 54.0	長年住んでいて愛着があるから 40.3	通勤・通学に便利だから 37.9	生まれ育った場所だから 33.1	横浜が好きだから 32.3
神奈川区	(n=106)	自分や家族の持家だから 50.0	長年住んでいて愛着があるから 47.2	横浜が好きだから 35.8	通勤・通学に便利だから 34.9	買い物、医療などの生活環境が整っているから 34.0
西区	(n=42)	横浜が好きだから 52.4	買い物、医療などの生活環境が整っているから 50.0	生まれ育った場所だから／自分や家族の持家だから／余暇や休日を楽しみ過ごせる場所があるから 40.5		
中区	(n=70)	横浜が好きだから 47.1	自分や家族の持家だから 38.6	長年住んでいて愛着があるから 38.6	買い物、医療などの生活環境が整っているから 37.1	街並みや景観がよいから 34.3
南区	(n=76)	自分や家族の持家だから／横浜が好きだから 39.5		長年住んでいて愛着があるから 36.8	生まれ育った場所だから／買い物、医療などの生活環境が整っているから 35.5	
港南区	(n=102)	自分や家族の持家だから 49.0	長年住んでいて愛着があるから 48.0	横浜が好きだから 43.1	買い物、医療などの生活環境が整っているから 40.2	通勤・通学に便利だから 38.2
保土ヶ谷区	(n=83)	自分や家族の持家だから 49.4	長年住んでいて愛着があるから 43.4	横浜が好きだから 37.3	生まれ育った場所だから 33.7	親や子、親族、友人などがあるから 28.9
旭区	(n=106)	自分や家族の持家だから 58.5	長年住んでいて愛着があるから 32.1	親や子、親族、友人などがあるから 31.1	横浜が好きだから 25.5	買い物、医療などの生活環境が整っているから 24.5
磯子区	(n=74)	自分や家族の持家だから 56.8	長年住んでいて愛着があるから 48.6	生まれ育った場所だから 39.2	横浜が好きだから 36.5	親や子、親族、友人などがあるから 33.8
金沢区	(n=112)	自分や家族の持家だから 57.1	自然が身近にあるから 39.3	買い物、医療などの生活環境が整っているから 38.4	長年住んでいて愛着があるから 37.5	親や子、親族、友人などがあるから／横浜が好きだから 33.9
港北区	(n=137)	自分や家族の持家だから 57.7	長年住んでいて愛着があるから 37.2	買い物、医療などの生活環境が整っているから 34.3	通勤・通学に便利だから 33.6	横浜が好きだから 29.2
緑区	(n=77)	自分や家族の持家だから 53.2	長年住んでいて愛着があるから 41.6	通勤・通学に便利だから 39.0	買い物、医療などの生活環境が整っているから 27.3	自然が身近にあるから／横浜が好きだから 26.0
青葉区	(n=127)	自分や家族の持家だから 51.2	長年住んでいて愛着があるから 43.3	買い物、医療などの生活環境が整っているから 41.7	親や子、親族、友人などがあるから 34.6	街並みや景観がよいから 28.3
都筑区	(n=79)	自分や家族の持家だから 49.4	買い物、医療などの生活環境が整っているから 43.0	通勤・通学に便利だから／自然が身近にあるから／横浜が好きだから 29.1		
戸塚区	(n=146)	自分や家族の持家だから 52.1	長年住んでいて愛着があるから 47.9	買い物、医療などの生活環境が整っているから 35.6	横浜が好きだから 32.9	親や子、親族、友人などがあるから 32.2
栄区	(n=63)	自分や家族の持家だから 46.0	長年住んでいて愛着があるから 39.7	親や子、親族、友人などがあるから 30.2	横浜が好きだから 28.6	生まれ育った場所だから／買い物、医療などの生活環境が整っているから／自然が身近にあるから 27.0
泉区	(n=75)	自分や家族の持家だから 50.7	買い物、医療などの生活環境が整っているから 38.7	長年住んでいて愛着があるから 32.0	親や子、親族、友人などがあるから／横浜が好きだから 30.7	
瀬谷区	(n=69)	自分や家族の持家だから 44.9	長年住んでいて愛着があるから 42.0	横浜が好きだから 37.7	生まれ育った場所だから 34.8	親や子、親族、友人などがあるから 27.5

② 横浜に住み続ける理由〔年齢別〕

30代以下で「通勤・通学に便利だから」が1位

年齢別にみると、18～29歳と30代で「通勤・通学に便利だから」が1位となっている。それ以外の年代は「自分や家族の持家だから」が1位となっている。

③ 横浜に住み続ける理由〔性・年齢別〕

男女ともに30代で「通勤・通学に便利だから」が1位

性・年齢別にみると、男女ともに30代で「通勤・通学に便利だから」が1位となっている。

表2-8-2 横浜に住み続ける理由〔年齢別、性・年齢別〕（複数回答）

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
年齢別	全体 (n=1,710)	自分や家族の持家だから 50.9	長年住んでいて愛着があるから 40.1	買い物、医療などの生活環境が整っているから 34.0	横浜が好きだから 32.6	親や子、親族、友人などがあるから 29.2
	18～29歳 (n=75)	通勤・通学に便利だから 42.7	生まれ育った場所だから 40.0	自分や家族の持家だから 33.3	横浜が好きだから 32.0	親や子、親族、友人などがあるから 30.7
	30代 (n=158)	通勤・通学に便利だから 48.7	自分や家族の持家だから 40.5	親や子、親族、友人などがあるから 36.7	生まれ育った場所だから 35.4	買い物、医療などの生活環境が整っているから 34.2
	40代 (n=236)	自分や家族の持家だから 44.9	通勤・通学に便利だから 42.8	横浜が好きだから 31.4	長年住んでいて愛着があるから 30.9	親や子、親族、友人などがあるから 29.2
	50代 (n=354)	自分や家族の持家だから 52.3	長年住んでいて愛着があるから 43.5	横浜が好きだから 40.1	通勤・通学に便利だから 36.7	親や子、親族、友人などがあるから 32.2
	60代 (n=287)	自分や家族の持家だから 58.5	長年住んでいて愛着があるから 45.3	買い物、医療などの生活環境が整っているから 34.5	横浜が好きだから 30.3	生まれ育った場所だから 27.5
	70歳以上 (n=557)	自分や家族の持家だから 54.2	長年住んでいて愛着があるから 45.6	買い物、医療などの生活環境が整っているから 40.6	横浜が好きだから 32.1	親や子、親族、友人などがあるから 26.4
性・年齢別	男性計 (n=781)	自分や家族の持家だから 49.7	長年住んでいて愛着があるから 39.9	横浜が好きだから 32.8	買い物、医療などの生活環境が整っているから 31.9	通勤・通学に便利だから 31.5
	18～29歳 (n=40)	通勤・通学に便利だから 50.0	生まれ育った場所だから 40.0	横浜が好きだから 32.5	長年住んでいて愛着があるから 30.0	自分や家族の持家だから 27.5
	30代 (n=86)	通勤・通学に便利だから 48.8	自分や家族の持家だから 40.7	生まれ育った場所だから／親や子、親族、友人などがあるから 34.9	買い物、医療などの生活環境が整っているから／余暇や休日を楽しみ過ごせる場所があるから 33.7	33.7
	40代 (n=104)	通勤・通学に便利だから 46.2	自分や家族の持家だから 39.4	長年住んでいて愛着があるから 37.5	横浜が好きだから 36.5	生まれ育った場所だから／買い物、医療などの生活環境が整っているから 33.7
	50代 (n=152)	自分や家族の持家だから 52.0	長年住んでいて愛着があるから／横浜が好きだから 39.5	通勤・通学に便利だから 38.8	生まれ育った場所だから 33.6	33.6
	60代 (n=139)	自分や家族の持家だから 58.3	長年住んでいて愛着があるから 46.8	生まれ育った場所だから 33.1	横浜が好きだから 31.7	買い物、医療などの生活環境が整っているから 30.9
	70歳以上 (n=258)	自分や家族の持家だから 54.3	長年住んでいて愛着があるから 45.0	買い物、医療などの生活環境が整っているから 39.9	横浜が好きだから 31.8	自然が身近にあるから 25.6
女性計	女性計 (n=867)	自分や家族の持家だから 52.5	長年住んでいて愛着があるから 41.3	買い物、医療などの生活環境が整っているから 36.2	親や子、親族、友人などがあるから 33.7	横浜が好きだから 33.6
	18～29歳 (n=34)	親や子、親族、友人などがあるから 44.1	自分や家族の持家だから 41.2	生まれ育った場所だから 38.2	通勤・通学に便利だから 35.3	横浜が好きだから 32.4
	30代 (n=72)	通勤・通学に便利だから 48.6	自分や家族の持家だから 40.3	親や子、親族、友人などがあるから 38.9	横浜が好きだから 37.5	生まれ育った場所だから 36.1
	40代 (n=130)	自分や家族の持家だから 50.0	通勤・通学に便利だから 40.0	親や子、親族、友人などがあるから 31.5	横浜が好きだから 26.9	長年住んでいて愛着があるから 26.2
	50代 (n=197)	自分や家族の持家だから 53.3	長年住んでいて愛着があるから 46.7	横浜が好きだから 41.1	買い物、医療などの生活環境が整っているから 39.6	親や子、親族、友人などがあるから 37.1
	60代 (n=145)	自分や家族の持家だから 59.3	長年住んでいて愛着があるから 44.1	買い物、医療などの生活環境が整っているから 37.2	親や子、親族、友人などがあるから 31.0	横浜が好きだから 29.0
	70歳以上 (n=289)	自分や家族の持家だから 54.0	長年住んでいて愛着があるから 47.1	買い物、医療などの生活環境が整っているから 41.5	横浜が好きだから 32.9	親や子、親族、友人などがあるから 31.1

④ 横浜に住み続ける理由 [ライフステージ別]

単身(1)、夫婦だけ(1)、家族形成期で「通勤・通学に便利だから」が1位

ライフステージ別にみると、単身(1)、夫婦だけ(1)、家族形成期で「通勤・通学に便利だから」が1位となっている。また、単身(1)以外のライフステージでは「横浜が好きだから」が上位に入っている。

表2-8-3 横浜に住み続ける理由 [ライフステージ別] (複数回答)

		(%)				
属	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体	(n=1,710)	自分や家族の持家だから 50.9	長年住んでいて愛着があるから 40.1	買い物、医療などの生活環境が整っているから 34.0	横浜が好きだから 32.6	親や子、親族、友人などがあるから 29.2
子どもなし計	(n=403)	自分や家族の持家だから 38.7	長年住んでいて愛着があるから 38.5	通勤・通学に便利だから 37.0	生まれ育った場所だから 34.7	横浜が好きだから 33.3
単身(1) 40歳未満	(n=112)	通勤・通学に便利だから 50.9	生まれ育った場所だから 42.0	長年住んでいて愛着があるから 36.6	自分や家族の持家だから 33.0	親や子、親族、友人などがあるから 33.0
単身(2) 40～64歳	(n=101)	長年住んでいて愛着があるから 42.6	自分や家族の持家だから 40.6	通勤・通学に便利だから 37.6	生まれ育った場所だから 36.6	横浜が好きだから 36.6
夫婦だけ(1) 40歳未満	(n=30)	通勤・通学に便利だから 50.0	生まれ育った場所だから 36.7	自分や家族の持家だから 33.3	買い物、医療などの生活環境が整っているから 30.0	親や子、親族、友人などがあるから 26.7
夫婦だけ(2) 40～64歳	(n=82)	自分や家族の持家だから 43.9	長年住んでいて愛着があるから 41.5	通勤・通学に便利だから 37.8	横浜が好きだから 34.1	親や子、親族、友人などがあるから 28.0
高齢子どもなし	(n=78)	買い物、医療などの生活環境が整っているから 47.4	長年住んでいて愛着があるから 42.3	自分や家族の持家だから 41.0	親や子、親族、友人などがあるから 34.6	横浜が好きだから 33.3
子どもあり計	(n=1,172)	自分や家族の持家だから 55.3	長年住んでいて愛着があるから 40.3	買い物、医療などの生活環境が整っているから 35.0	横浜が好きだから 32.9	親や子、親族、友人などがあるから 29.7
家族形成期 第一子が小学校入学前	(n=64)	通勤・通学に便利だから 40.6	自分や家族の持家だから 39.1	親や子、親族、友人などがあるから 34.4	横浜が好きだから 31.2	余暇や休日を楽しみ過ごせる場所があるから 29.7
家族成長前期 第一子が小学生	(n=89)	自分や家族の持家だから 49.4	通勤・通学に便利だから 41.6	親や子、親族、友人などがあるから 40.4	横浜が好きだから 30.3	長年住んでいて愛着があるから 27.0
家族成長中期 第一子が中・高生	(n=97)	自分や家族の持家だから 58.8	通勤・通学に便利だから 43.3	親や子、親族、友人などがあるから 34.0	買い物、医療などの生活環境が整っているから 34.0	横浜が好きだから 34.0
家族成長後期 第一子が大学生等	(n=94)	自分や家族の持家だから 47.9	通勤・通学に便利だから 39.4	横浜が好きだから 37.2	長年住んでいて愛着があるから 36.2	親や子、親族、友人などがあるから 33.0
家族成熟前期 第一子が学校教育終了	(n=64)	自分や家族の持家だから 57.8	通勤・通学に便利だから 39.1	長年住んでいて愛着があるから 39.1	買い物、医療などの生活環境が整っているから 31.2	横浜が好きだから 31.2
家族成熟中期 子が全員独立・65歳未満	(n=225)	自分や家族の持家だから 56.9	長年住んでいて愛着があるから 46.7	横浜が好きだから 37.3	買い物、医療などの生活環境が整っているから 33.8	親や子、親族、友人などがあるから 31.1
家族成熟後期 子が全員独立・65歳以上	(n=539)	自分や家族の持家だから 57.9	長年住んでいて愛着があるから 44.7	買い物、医療などの生活環境が整っているから 39.3	横浜が好きだから 31.0	親や子、親族、友人などがあるから 26.7

⑤ 横浜に住み続ける理由〔世帯類型別〕

ひとり暮らし（１）と（２）で「通勤・通学に便利だから」が１位

世帯類型別にみると、ひとり暮らし（１）と（２）で「通勤・通学に便利だから」が１位となっている。また、ひとり暮らし（２）と祖父母と親と子で「横浜が好きだから」が２位となっている。

⑥ 横浜に住み続ける理由〔住居形態別〕

借家（民間アパート、民間賃貸マンション）で「通勤・通学に便利だから」が１位

住居形態別にみると、借家（民間アパート、民間賃貸マンション）で「横浜が好きだから」が２位となっている。また、借家（一戸建て）で「通勤・通学に便利だから」と「買い物、医療などの生活環境が整っているから」が同率で３位となっている。

表 2-8-4 横浜に住み続ける理由〔世帯類型別、住居形態別〕（複数回答）

属性		順位					
		1位	2位	3位	4位	5位	
世帯類型別	全体 (n=1,710)	自分や家族の持家だから 50.9	長年住んでいて愛着があるから 40.1	買い物、医療などの生活環境が整っているから 34.0	横浜が好きだから 32.6	親や子、親族、友人などがあるから 29.2	
	ひとり暮らし(1) 40歳未満 (n=33)	通勤・通学に便利だから 60.6	生まれ育った場所だから／長年住んでいて愛着があるから 33.3	買い物、医療などの生活環境が整っているから 27.3	親や子、親族、友人などがあるから 25.4	買い物、医療などの生活環境が整っているから／余暇や休日を楽しく過ごせる場所があるから 25.4	
	ひとり暮らし(2) 40～64歳 (n=67)	通勤・通学に便利だから 40.3	長年住んでいて愛着があるから／横浜が好きだから 38.8	生まれ育った場所だから 26.9	親や子、親族、友人などがあるから 25.4	買い物、医療などの生活環境が整っているから 33.7	
	ひとり暮らし(3) 65歳以上 (n=101)	自分や家族の持家だから 40.6	長年住んでいて愛着があるから 39.6	親や子、親族、友人などがあるから 37.6	横浜が好きだから 36.6	買い物、医療などの生活環境が整っているから 33.7	
	夫婦のみ(1) 子なし (n=139)	自分や家族の持家だから 41.0	長年住んでいて愛着があるから 38.1	通勤・通学に便利だから 34.5	買い物、医療などの生活環境が整っているから／横浜が好きだから 33.8	親や子、親族、友人などがあるから 27.2	
	夫婦のみ(2) 子あり (n=349)	自分や家族の持家だから 58.2	長年住んでいて愛着があるから 43.0	買い物、医療などの生活環境が整っているから 38.1	横浜が好きだから 30.1	親や子、親族、友人などがあるから 27.2	
	子と同居(1) 2世代／教育期の子あり (n=353)	自分や家族の持家だから 51.3	通勤・通学に便利だから 40.5	親や子、親族、友人などがあるから 33.1	横浜が好きだから 32.3	長年住んでいて愛着があるから 31.4	
	子と同居(2) 2世代／教育終了後の子のみ (n=240)	自分や家族の持家だから 57.5	長年住んでいて愛着があるから 49.6	買い物、医療などの生活環境が整っているから 40.0	横浜が好きだから 32.5	親や子、親族、友人などがあるから 27.5	
	親と同居(1) 2世代／子なし・40歳未満 (n=66)	自分や家族の持家だから 53.0	生まれ育った場所だから 51.5	通勤・通学に便利だから 40.9	親や子、親族、友人などがあるから／長年住んでいて愛着があるから 36.4	生まれ育った場所だから 36.9	
	親と同居(2) 2世代／子なし・40歳以上 (n=47)	自分や家族の持家だから 63.8	生まれ育った場所だから／長年住んでいて愛着があるから 44.7	通勤・通学に便利だから／買い物、医療などの生活環境が整っているから／横浜が好きだから 31.9	親や子、親族、友人などがあるから 38.5	生まれ育った場所だから 36.9	
	祖父母と親と子 3世代 (n=65)	自分や家族の持家だから 61.5	横浜が好きだから 46.2	長年住んでいて愛着があるから 41.5	親や子、親族、友人などがあるから 38.5	生まれ育った場所だから 36.9	
	住居形態別	持家（一戸建て） (n=865)	自分や家族の持家だから 67.4	長年住んでいて愛着があるから 40.8	横浜が好きだから 31.6	親や子、親族、友人などがあるから 31.3	買い物、医療などの生活環境が整っているから 30.1
		持家（マンション・共同住宅） (n=542)	自分や家族の持家だから 48.7	長年住んでいて愛着があるから 41.0	買い物、医療などの生活環境が整っているから 40.2	横浜が好きだから 33.9	通勤・通学に便利だから 31.2
借家（一戸建て） (n=13)		長年住んでいて愛着があるから 46.2	親や子、親族、友人などがあるから 38.5	通勤・通学に便利だから／買い物、医療などの生活環境が整っているから 30.8	生まれ育った場所だから／街並みや景観がよいから／自然が身近にあるから／横浜が好きだから 23.1	通勤・通学に便利だから 20.7	
借家（民間アパート、民間賃貸マンション） (n=163)		通勤・通学に便利だから 47.2	横浜が好きだから 38.7	長年住んでいて愛着があるから 36.8	親や子、親族、友人などがあるから／買い物、医療などの生活環境が整っているから 33.1	通勤・通学に便利だから 20.7	
借家（その他の共同住宅等） (n=92)		長年住んでいて愛着があるから 39.1	買い物、医療などの生活環境が整っているから 34.8	横浜が好きだから 29.3	親や子、親族、友人などがあるから 26.1	通勤・通学に便利だから／街並みや景観がよいから 20.7	

※その他の共同住宅等は「借家（県営・市営の共同住宅）、借家（都市再生機構（旧公団）・公社の共同住宅）、借家（社宅、公務員住宅）」を合計したもの

3. 地域におけるつながり

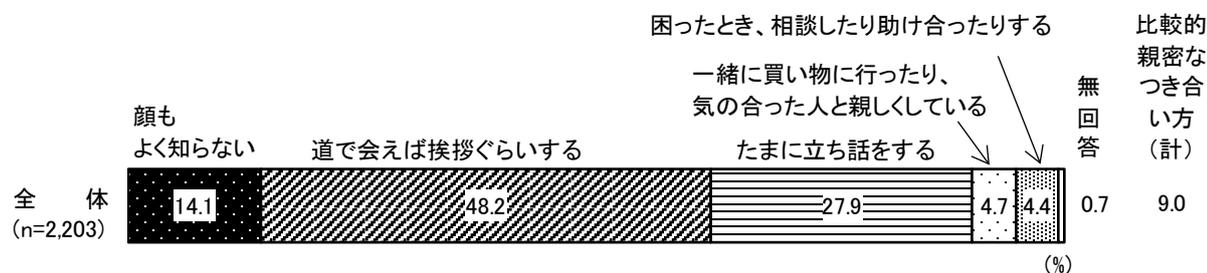
(1) 隣近所とのつき合い方

問5 あなたは、隣近所と普段どのようなつき合い方をしていますか。(〇は1つ)

「道で会えば挨拶ぐらいする」が5割近く

隣近所とのつき合い方は、「道で会えば挨拶ぐらいする」(48.2%)が5割近くと最も多く、次いで「たまに立ち話をする」(27.9%)となっている。「一緒に買い物に行ったり、気の合った人と親しくしている」(4.7%)と「困ったとき、相談したり助け合ったりする」(4.4%)の2つを合わせた、『比較的親密なつき合い方』をしている人は1割近くとなっている。

図3-1-1 隣近所とのつき合い方 [全体]

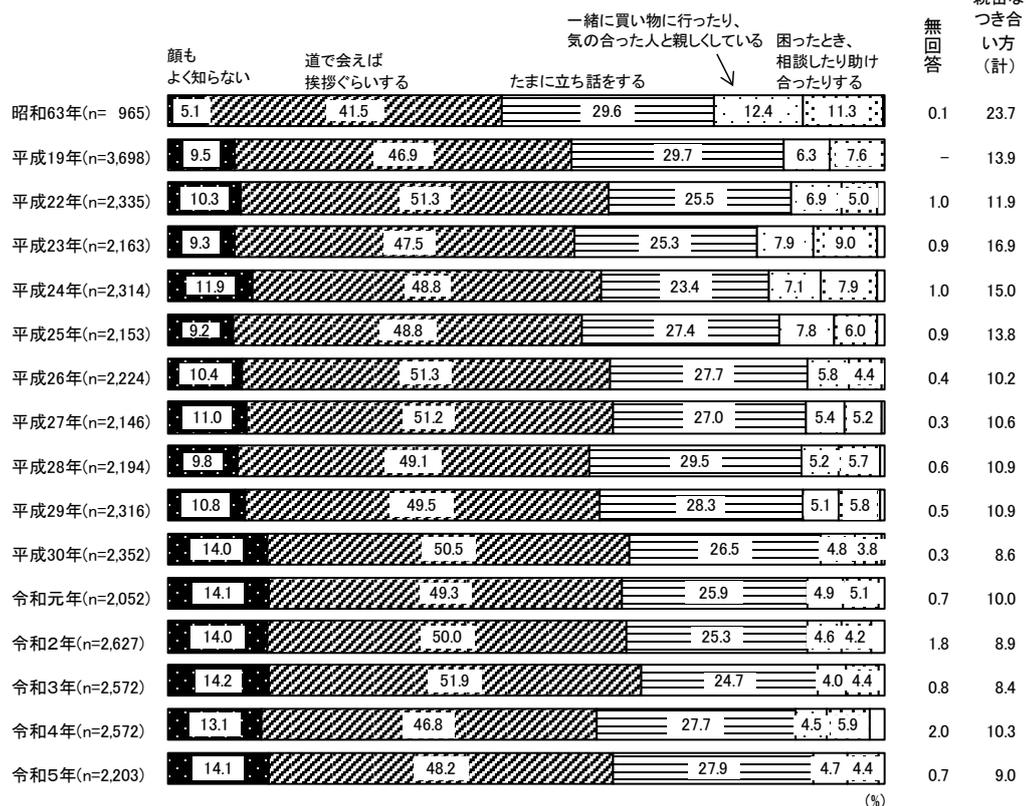


① 隣近所とのつき合い方 [経年変化]

『比較的親密なつき合い方』をしている人の割合は横ばい傾向

経年変化をみると、『比較的親密なつき合い方』をしている人の割合は、長期的にみると減少傾向であり、平成26年以降は約1割となっている。

図3-1-2 隣近所とのつき合い方 [経年変化]



② 隣近所とのつき合い方 [ブロック別]

全ブロックで「道で会えば挨拶ぐらいする」が5割近く

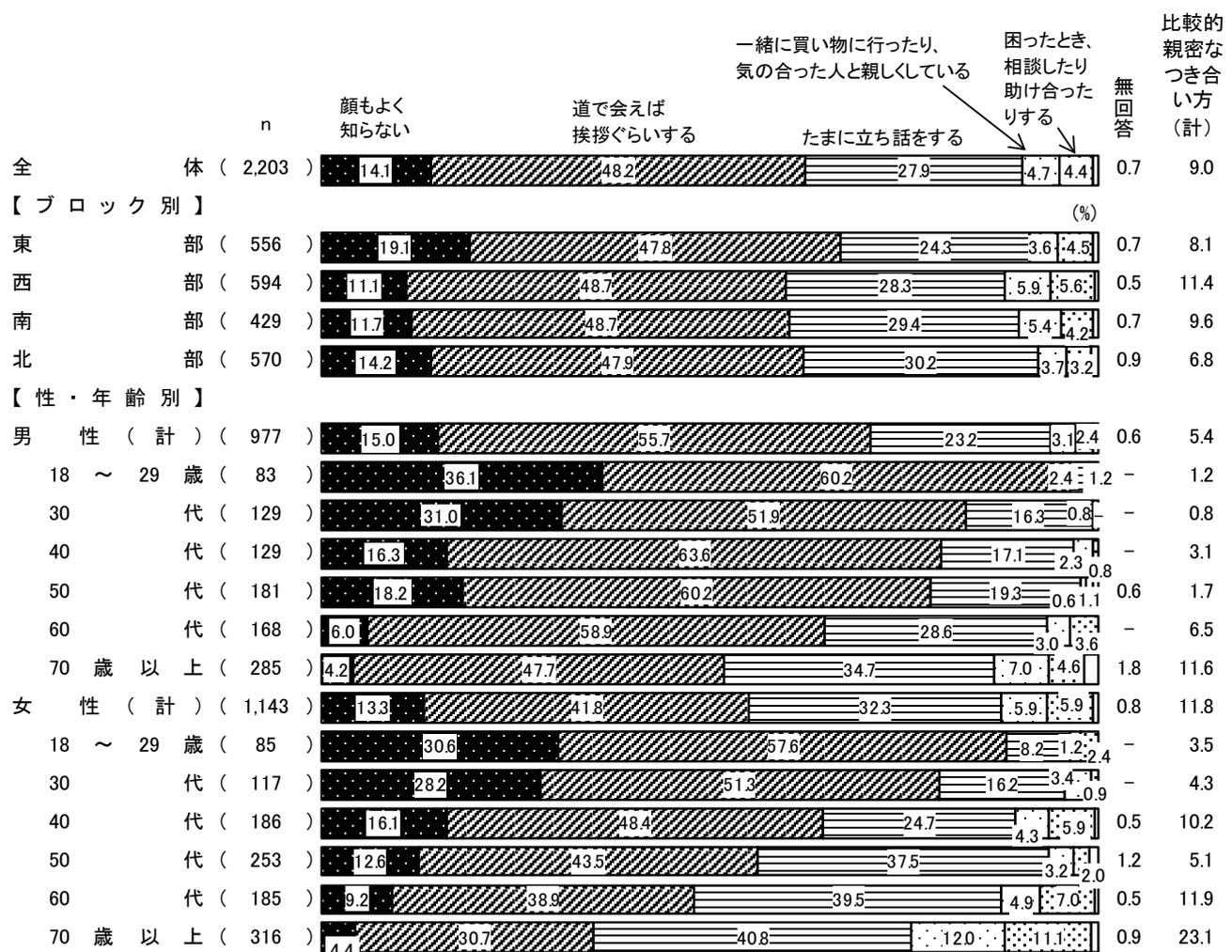
ブロック別にみると、全ブロックで「道で会えば挨拶ぐらいする」が5割近くとなっている。

③ 隣近所とのつき合い方 [性・年齢別]

『比較的親密なつき合い方』をしている人は女性70歳以上で2割を超える

性・年齢別にみると、『比較的親密なつき合い方』をしている人は、女性70歳以上（23.1%）で2割を超えて最も多くなっている。一方、「顔もよく知らない」は、男女とも18～29歳で3割を超えて最も多くなっている。

図3-1-3 隣近所とのつき合い方 [ブロック別、性・年齢別]



④ 隣近所とのつき合い方 [ライフステージ別]

『比較的親密なつき合い方』をしている人は家族成熟後期で1割半ば

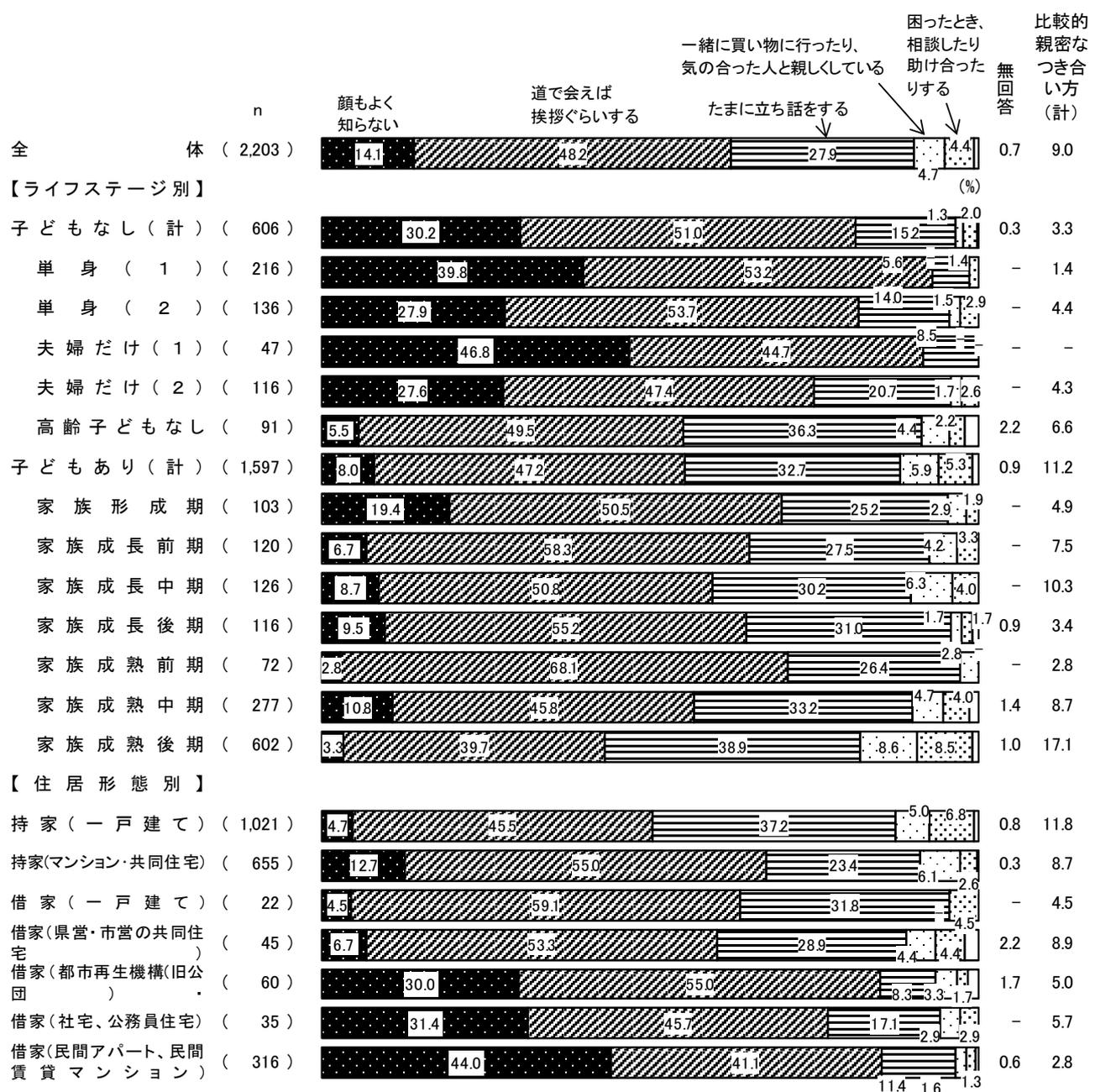
ライフステージ別にみると、『比較的親密なつき合い方』をしている人は、家族成熟後期（17.1%）で1割半ばと最も多くなっている。一方、「顔もよく知らない」は夫婦だけ（1）（46.8%）で4割半ばと最も多くなっている。

⑤ 隣近所とのつき合い方 [住居形態別]

「顔もよく知らない」は借家（民間アパート、民間賃貸マンション）で4割半ば

住居形態別にみると、「顔もよく知らない」は借家（民間アパート・民間賃貸マンション）（44.0%）で4割半ばと最も多くなっている。

図3-1-4 隣近所とのつき合い方 [ライフステージ別、住居形態別]



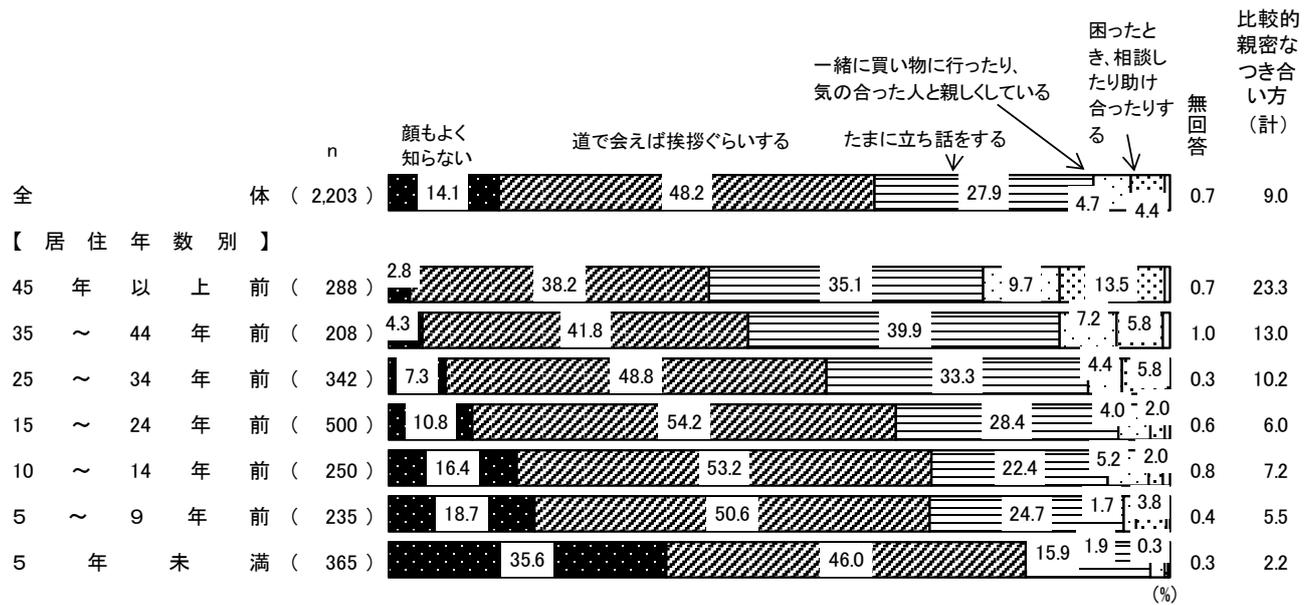
⑥ 隣近所とのつき合い方 [居住年数別]

「顔もよく知らない」は居住年数が短いほど多い

居住年数別にみると、「顔もよく知らない」は居住年数が短いほど多く、「5年未満」(35.6%)で3割半ばとなっている。一方、『比較的親密な付き合い方』をしている人は「45年以上前」(23.3%)で2割を超えている。

図3-1-5 隣近所とのつき合い方 [居住年数別]

(注) 45年以上の区分は、本図では『45年以上前』にまとめている。



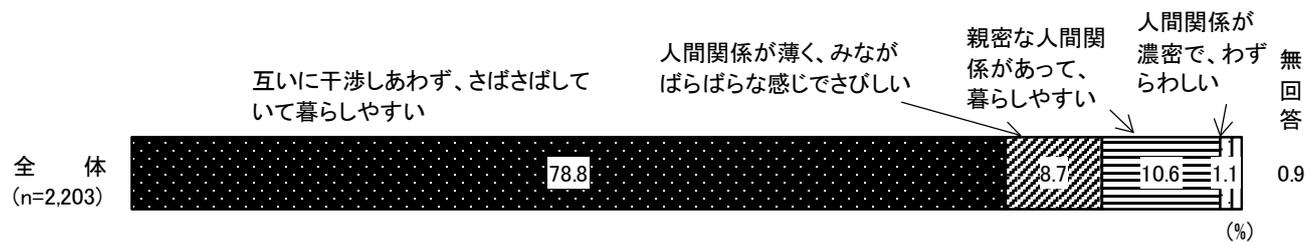
(2) 隣近所とのつき合いの感じ方

問6 あなたは、隣近所とのつき合いをどのように感じていますか。(〇は1つ)

「互いに干渉しあわず、さばさばしていて暮らしやすい」は8割近く

隣近所とのつき合いの感じ方については、「互いに干渉しあわず、さばさばしていて暮らしやすい」(78.8%)が8割近くと最も多く、次いで「親密な人間関係があって、暮らしやすい」(10.6%)、「人間関係が薄く、みながばらばらな感じでさびしい」(8.7%)となっている。

図3-2-1 隣近所とのつき合いの感じ方 [全体]

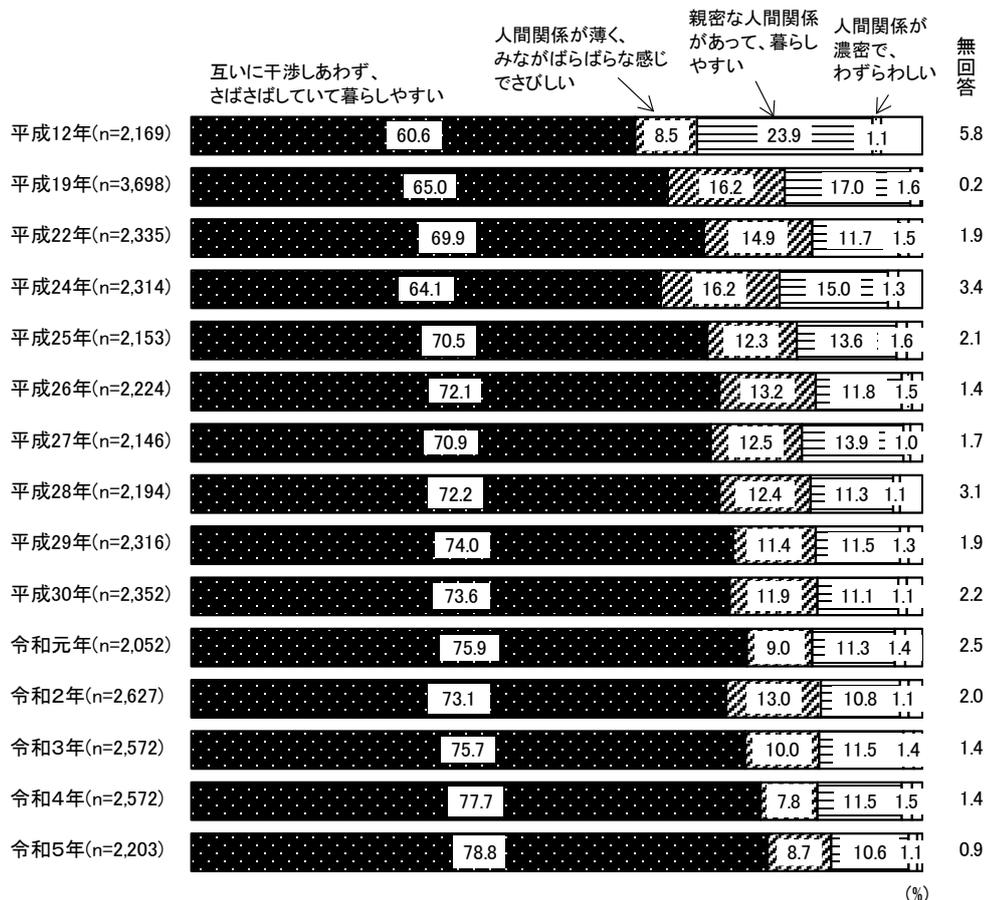


① 隣近所とのつき合いの感じ方 [経年変化]

「互いに干渉しあわず、さばさばしていて暮らしやすい」は1.1ポイント増加

経年変化をみると、「互いに干渉しあわず、さばさばしていて暮らしやすい」は前回調査から1.1ポイントの増加となっており、平成25年以降、70%台で推移している。

図3-2-2 隣近所とのつき合いの感じ方 [経年変化]



② 隣近所とのつき合いの感じ方 [性・年齢別]

「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は男性 18～29 歳で 9 割近く

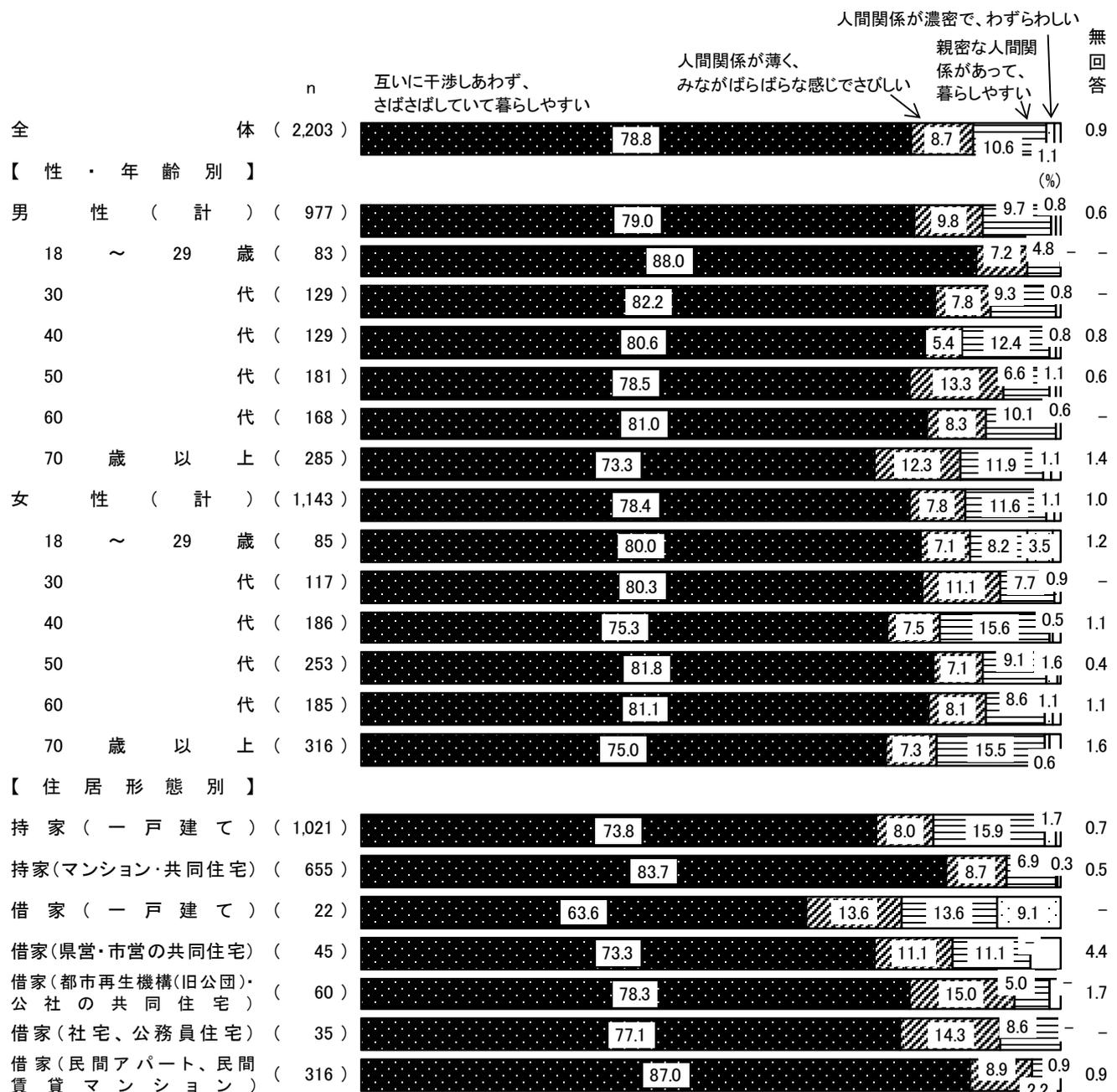
性・年齢別にみると、「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は男性 18～29 歳 (88.0%) で最も多く、男性 70 歳以上 (73.3%) で最も少なくなっている。一方、「親密な人間関係があって、暮らしやすい」は女性 40 代 (15.6%)、70 歳以上 (15.5%) で 1 割半ばとなっている。

③ 隣近所とのつき合いの感じ方 [住居形態別]

「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は借家(民間アパート、民間賃貸マンション)で 8 割半ば

住居形態別にみると、「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は借家(民間アパート、民間賃貸マンション) (87.0%) で 8 割半ばと最も多くなっている。

図 3-2-3 隣近所とのつき合いの感じ方 [性・年齢別、住居形態別]



④ 隣近所とのつき合いの感じ方〔居住年数別〕

「親密な人間関係があって、暮らしやすい」は「45年以上前」で2割近く

居住年数別にみると、「親密な人間関係があって、暮らしやすい」は『45年以上前』（18.8%）で2割近くと最も多くなっている。一方、「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は、「25～34年前」（80.7%）、「15～24年前」（81.6%）、「5～9年前」（81.3%）、「5年未満」（81.9%）で8割を超えている。

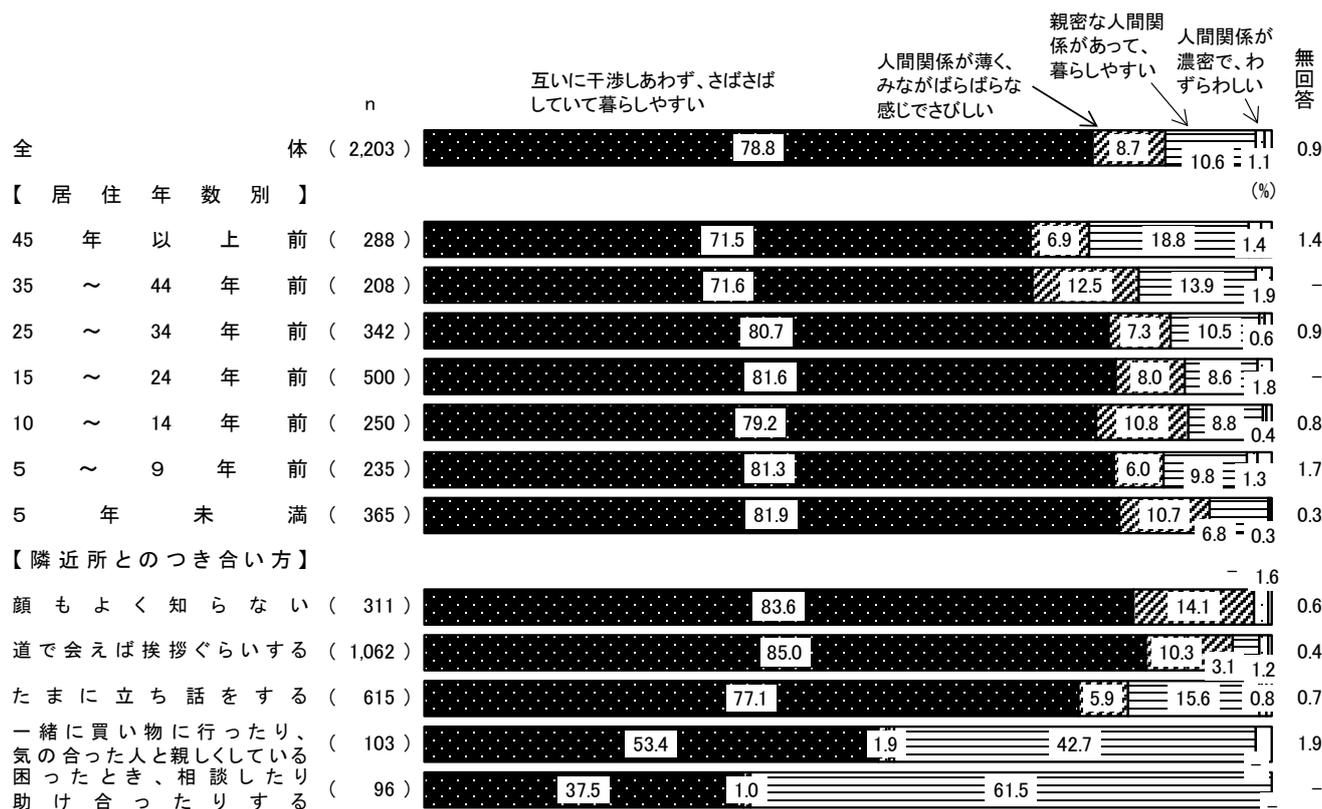
⑤ 隣近所とのつき合いの感じ方〔隣近所とのつき合い方別〕

「親密な人間関係があって、暮らしやすい」は「困ったとき、相談したり助け合ったりする」で6割を超える

隣近所とのつき合い方別にみると、「親密な人間関係があって、暮らしやすい」は、「困ったとき、相談したり助け合ったりする」（61.5%）で6割を超えて最も多くなっている。一方、「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は、「道で会えば挨拶ぐらいする」（85.0%）で8割半ばと最も多くなっている。

図3-2-4 隣近所とのつき合いの感じ方〔居住年数別、隣近所とのつき合い方別〕

（注）45年以上の区分は、本図では『45年以上前』にまとめている。



4. 生活意識

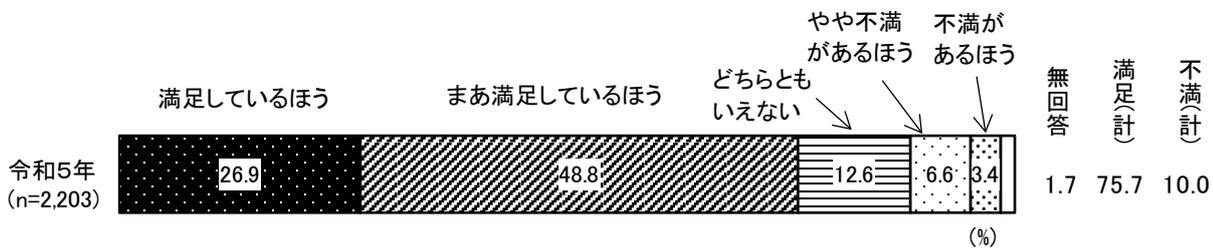
(1) 生活満足度

問7 あなたは、今のご自分の生活に満足しているほうですか、それとも、不満があるほうですか。
(○は1つ)

『満足(計)』は7割半ば

生活満足度については、「満足しているほう」(26.9%)と「まあ満足しているほう」(48.8%)を合わせた『満足(計)』(75.7%)は7割半ばとなっている。一方、「不満があるほう」(3.4%)と「やや不満があるほう」(6.6%)を合わせた『不満(計)』(10.0%)は1割となっている。

図4-1-1 生活満足度 [全体]

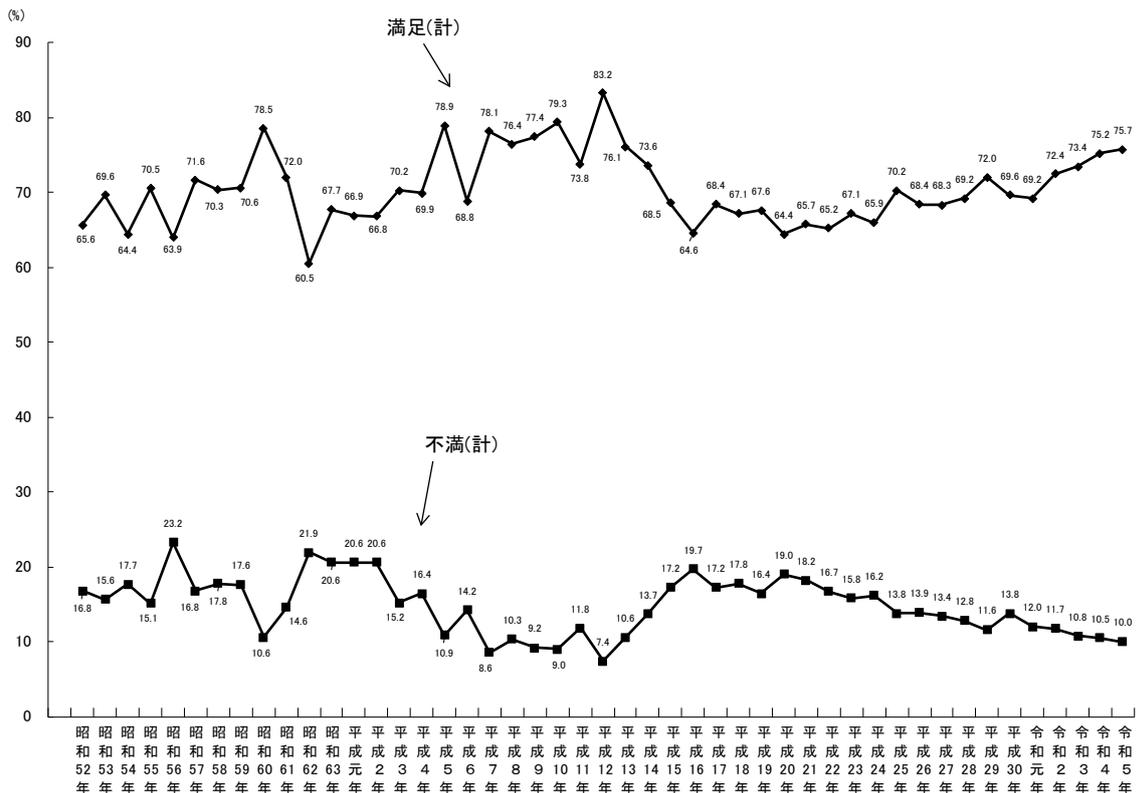


① 生活満足度 [経年変化]

生活満足度は前回調査から0.5ポイント増加

経年変化をみると、前回調査に比べ『満足(計)』は0.5ポイントの増加、『不満(計)』は0.5ポイントの減少となっている。

図4-1-2 生活満足度 [経年変化]



② 生活満足度〔年齢別〕

『満足（計）』は70歳以上で8割近く

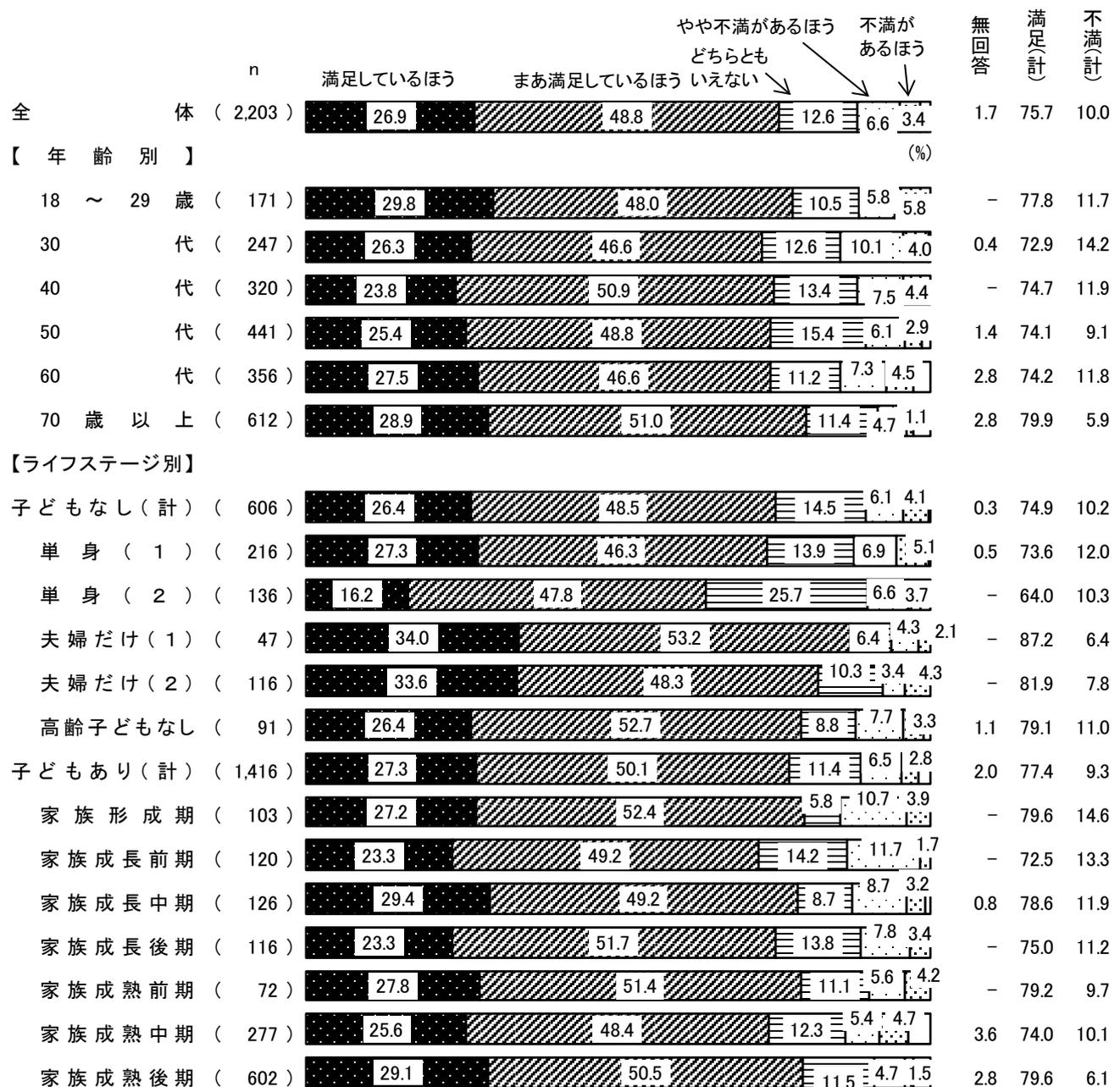
年齢別にみると、『満足（計）』は70歳以上（79.9%）で8割近くと最も多く、全ての年代で7割を超えている。

③ 生活満足度〔ライフステージ別〕

『満足（計）』は夫婦だけ（1）で8割半ば

ライフステージ別にみると、『満足（計）』は夫婦だけ（1）（87.2%）で8割半ばと最も多くなっている。一方、『不満（計）』は家族形成期で（14.6%）で1割半ばと最も多くなっている。

図4-1-3 生活満足度〔年齢別、ライフステージ別〕



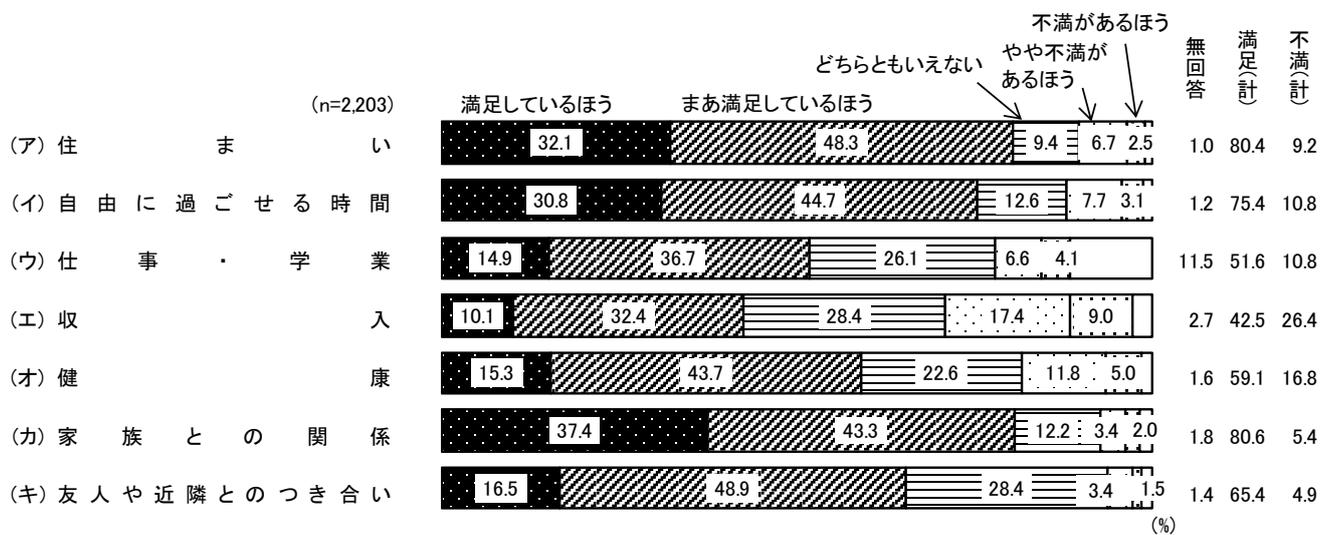
(2) 項目別生活満足度

問8 今のご自分の生活について、次の項目別にみると、満足しているほうですか。それとも、不満があるほうですか。(〇はそれぞれ1つ)

『満足(計)』は「住まい」と「家族との関係」で8割を超える

項目別生活満足度について、「満足しているほう」と「まあ満足しているほう」を合わせた『満足(計)』は、「住まい」と「家族との関係」で8割を超えている。

図4-2-1 項目別生活満足度[全体]



① 項目別生活満足度（ア）住まい〔年齢別〕

『満足（計）』は18～29歳、50代、70歳以上で8割を超える

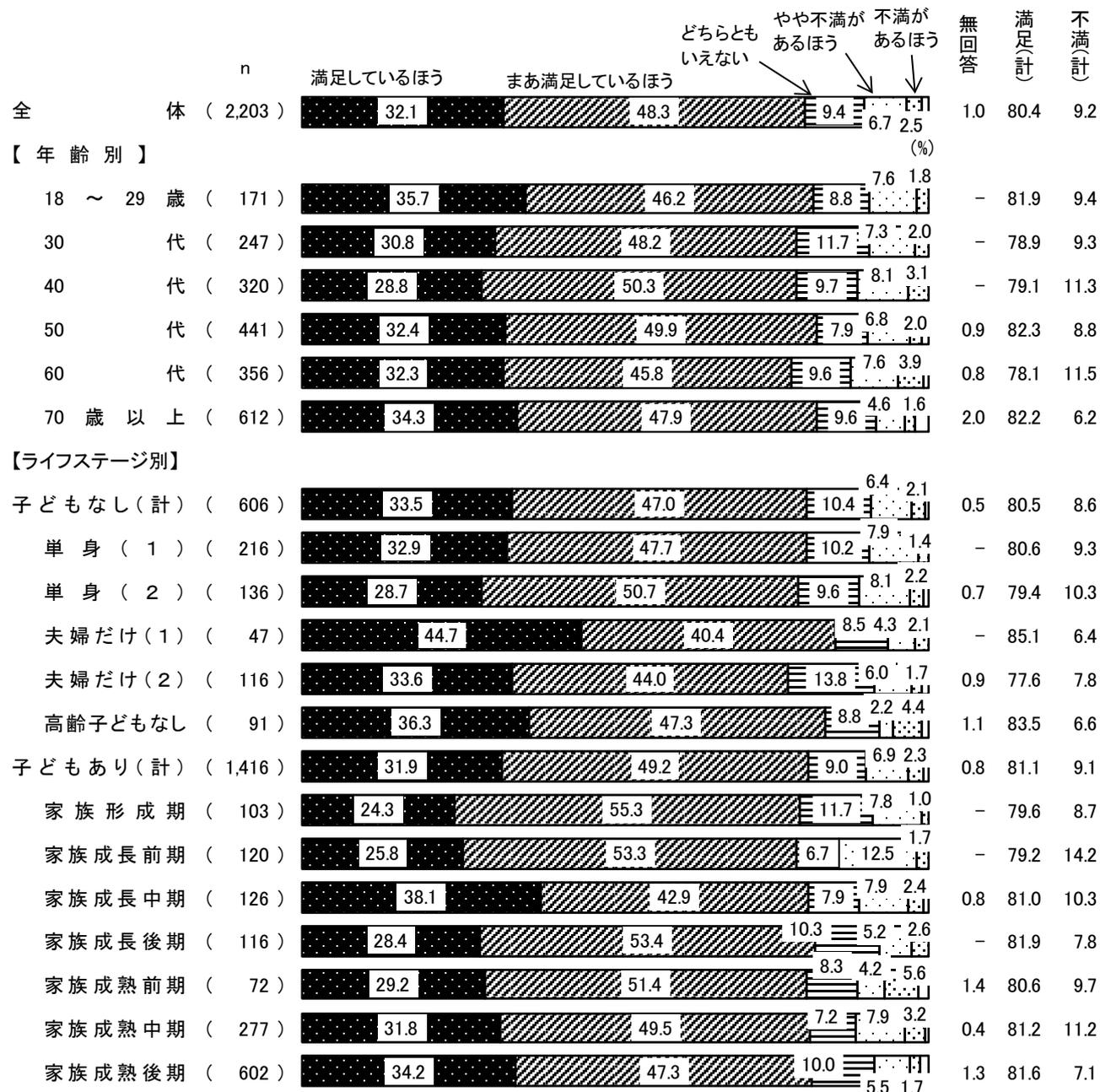
年齢別にみると、『満足（計）』は18～29歳（81.9%）、50代（82.3%）、70歳以上（82.2%）で8割を超えている。一方、『不満（計）』は40代（11.3%）、60代（11.5%）で1割を超えている。

② 項目別生活満足度（ア）住まい〔ライフステージ別〕

『満足（計）』は夫婦だけ（1）で8割半ばと最も多い

ライフステージ別にみると、『満足（計）』は夫婦だけ（1）（85.1%）で8割半ばと最も多く、次いで高齢子どもなし（83.5%）となっている。一方、『不満（計）』は、家族成長前期（14.2%）で1割半ばと最も多くなっている。

図4-2-2 項目別生活満足度（ア）住まい〔年齢別、ライフステージ別〕



③ 項目別生活満足度（イ）自由に過ごせる時間 [年齢別]

『満足（計）』は70歳以上で8割半ば

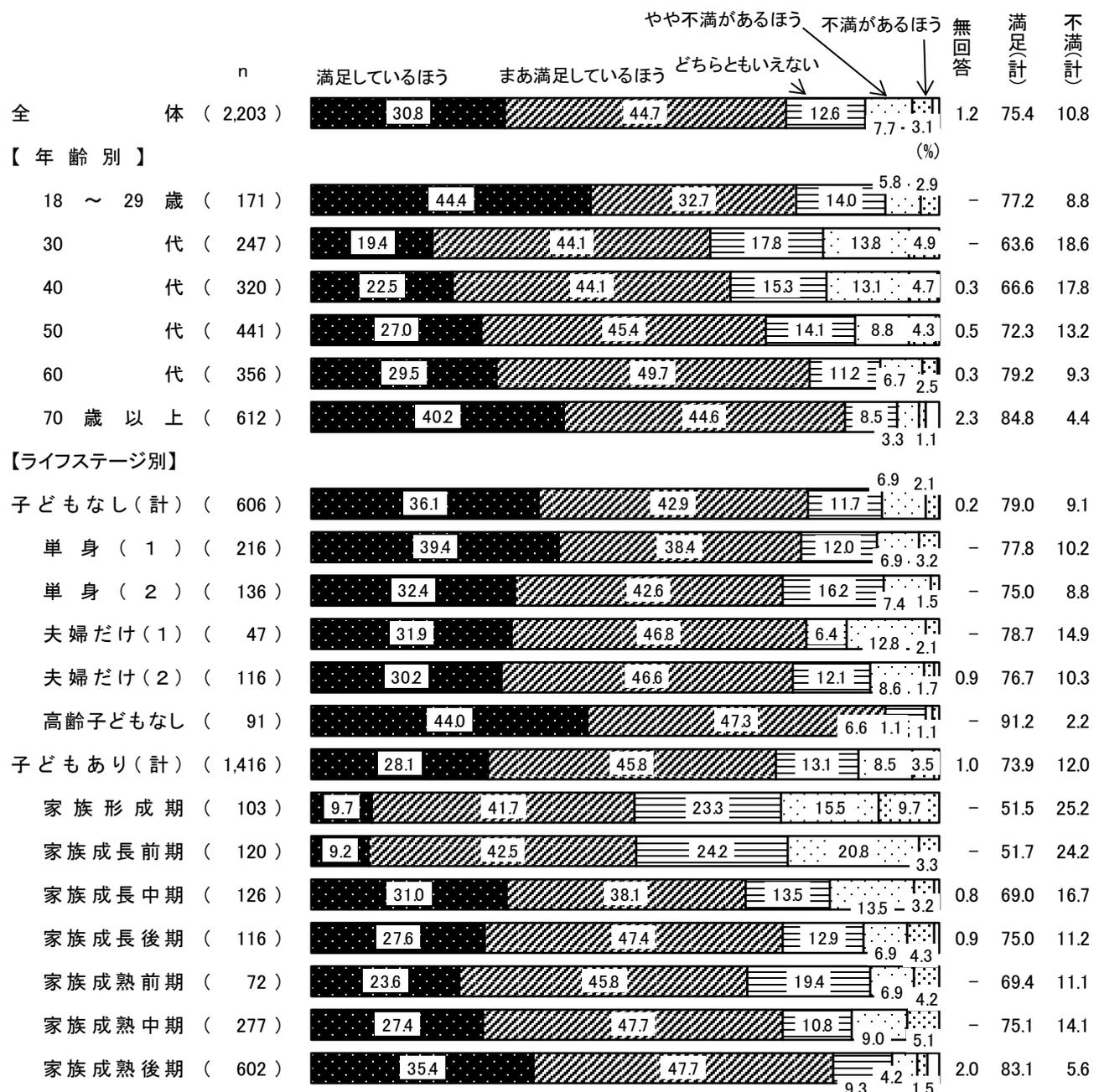
年齢別にみると、『満足（計）』は70歳以上（84.8%）で8割半ばと最も多くなっている。一方、『不満（計）』は30代（18.6%）で2割近くと最も多くなっている。

④ 項目別生活満足度（イ）自由に過ごせる時間 [ライフステージ別]

『不満（計）』は家族形成期、家族成長前期で2割半ば

ライフステージ別にみると、『満足（計）』は高齢子どもなし（91.2%）で9割を超えて最も多くなっている。一方、『不満（計）』は家族形成期（25.2%）、家族成長前期（24.2%）で2割半ばとなっている。

図4-2-3 項目別生活満足度（イ）自由に過ごせる時間 [年齢別、ライフステージ別]



⑤ 項目別生活満足度（ウ）仕事・学業 [年齢別]

『満足（計）』は18～29歳で6割を超える

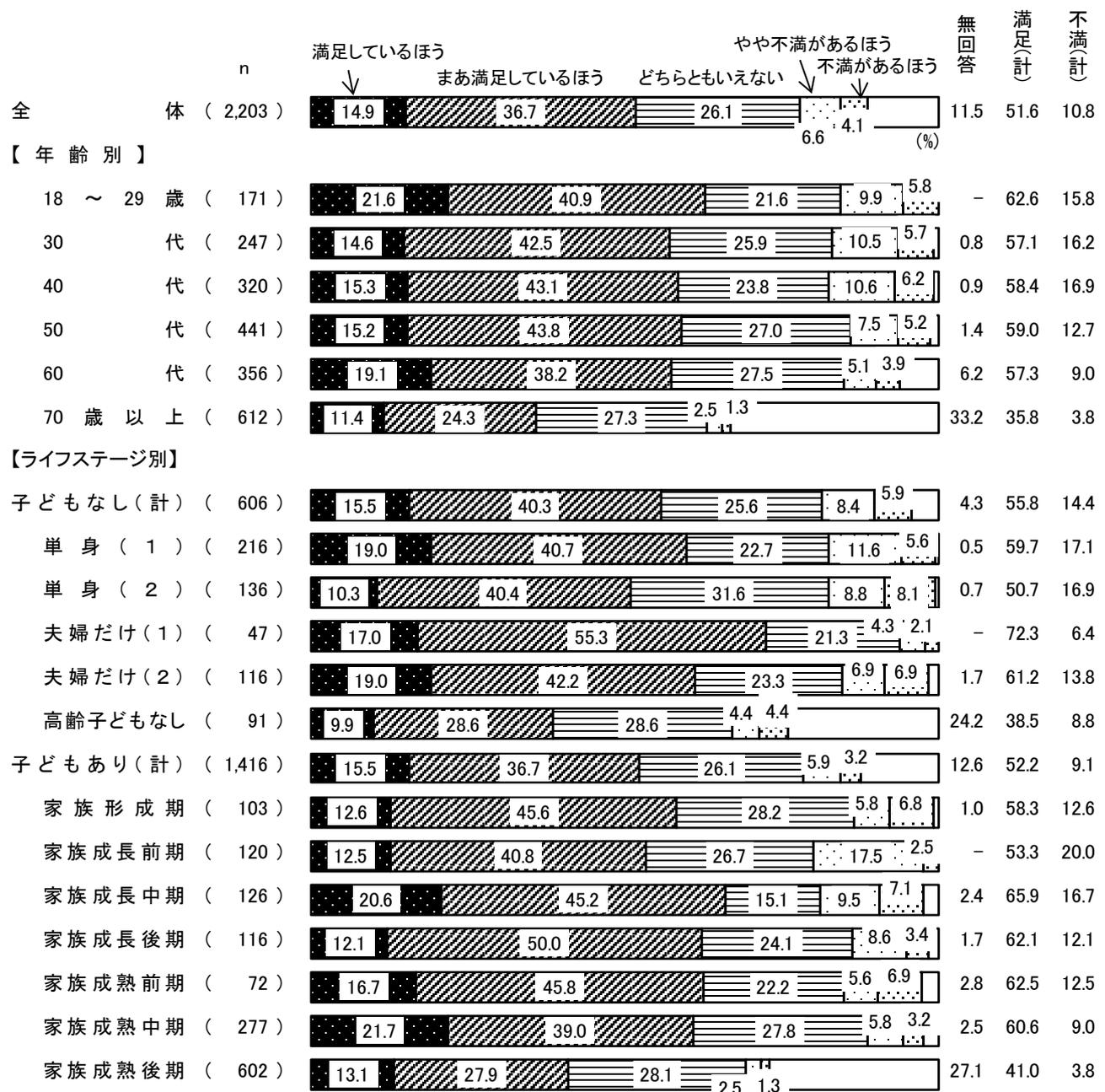
年齢別にみると、『満足（計）』は18～29歳（62.6%）で6割を超えて最も多くなっている。一方、『不満（計）』は40代以下で1割半ばとなっている。

⑥ 項目別生活満足度（ウ）仕事・学業 [ライフステージ別]

『不満（計）』は家族成長前期で2割

ライフステージ別にみると、『満足（計）』は夫婦だけ（1）（72.3%）で7割を超えて最も多くなっている。一方、『不満（計）』は家族成長前期（20.0%）で2割と最も多くなっている。

図4-2-4 項目別生活満足度（ウ）仕事・学業 [年齢別、ライフステージ別]



⑦ 項目別生活満足度（エ）収入〔年齢別〕

『満足（計）』は50代、60代で4割半ば

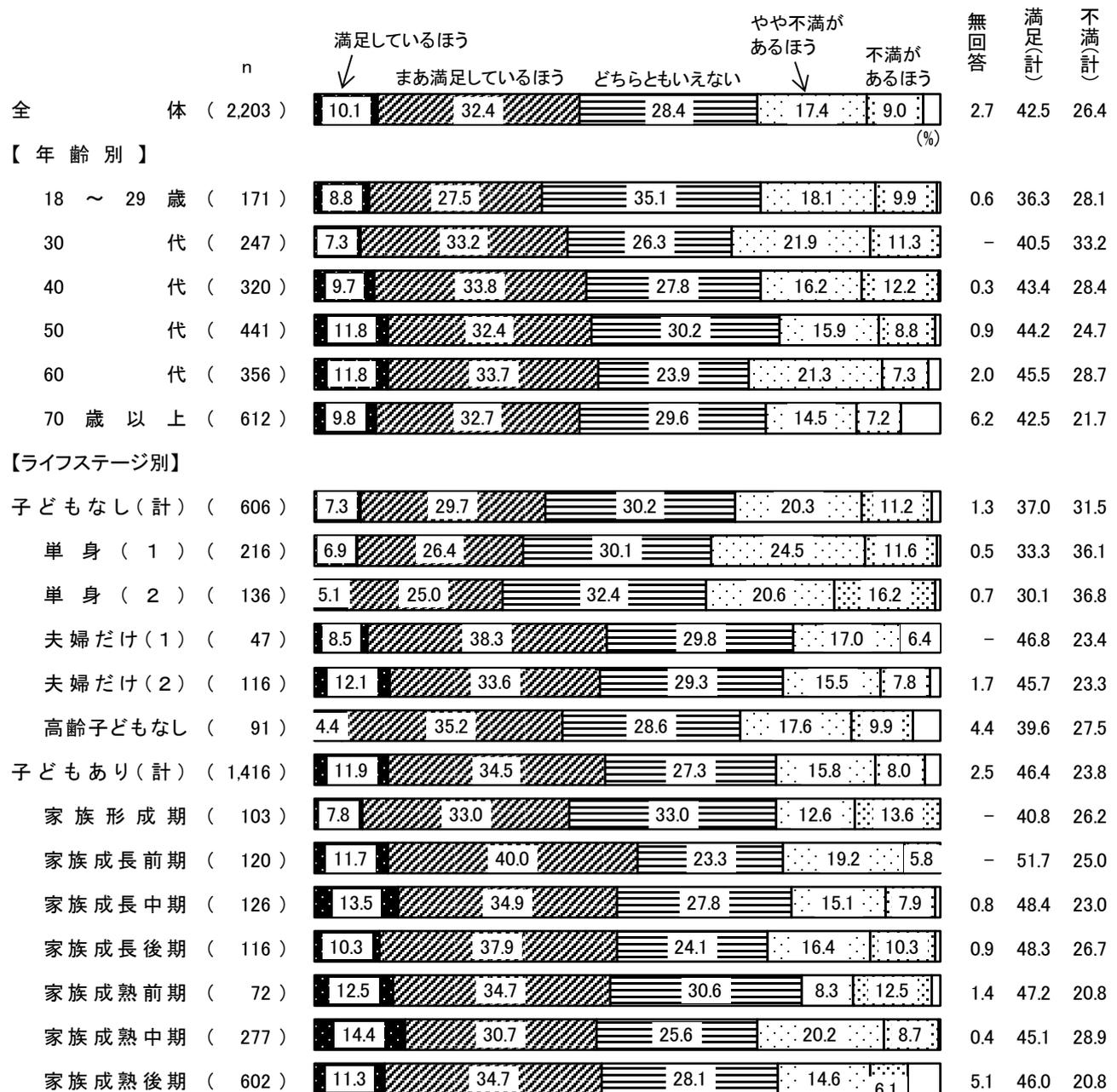
年齢別にみると、『満足（計）』は50代（44.2%）、60代（45.5%）で4割半ばとなっている。一方、『不満（計）』は30代（33.2%）で3割を超えて最も多くなっている。

⑧ 項目別生活満足度（エ）収入〔ライフステージ別〕

『不満（計）』は単身（1）と（2）で3割半ば

ライフステージ別にみると、『満足（計）』は家族成長前期（51.7%）で5割を超えて最も多くなっている。一方、『不満（計）』は単身（1）（36.1%）と単身（2）（36.8%）で3割半ばとなっている。

図4-2-5 項目別生活満足度（エ）収入〔年齢別、ライフステージ別〕



⑨ 項目別生活満足度（オ）健康〔年齢別〕

『満足（計）』は18～29歳で6割半ば

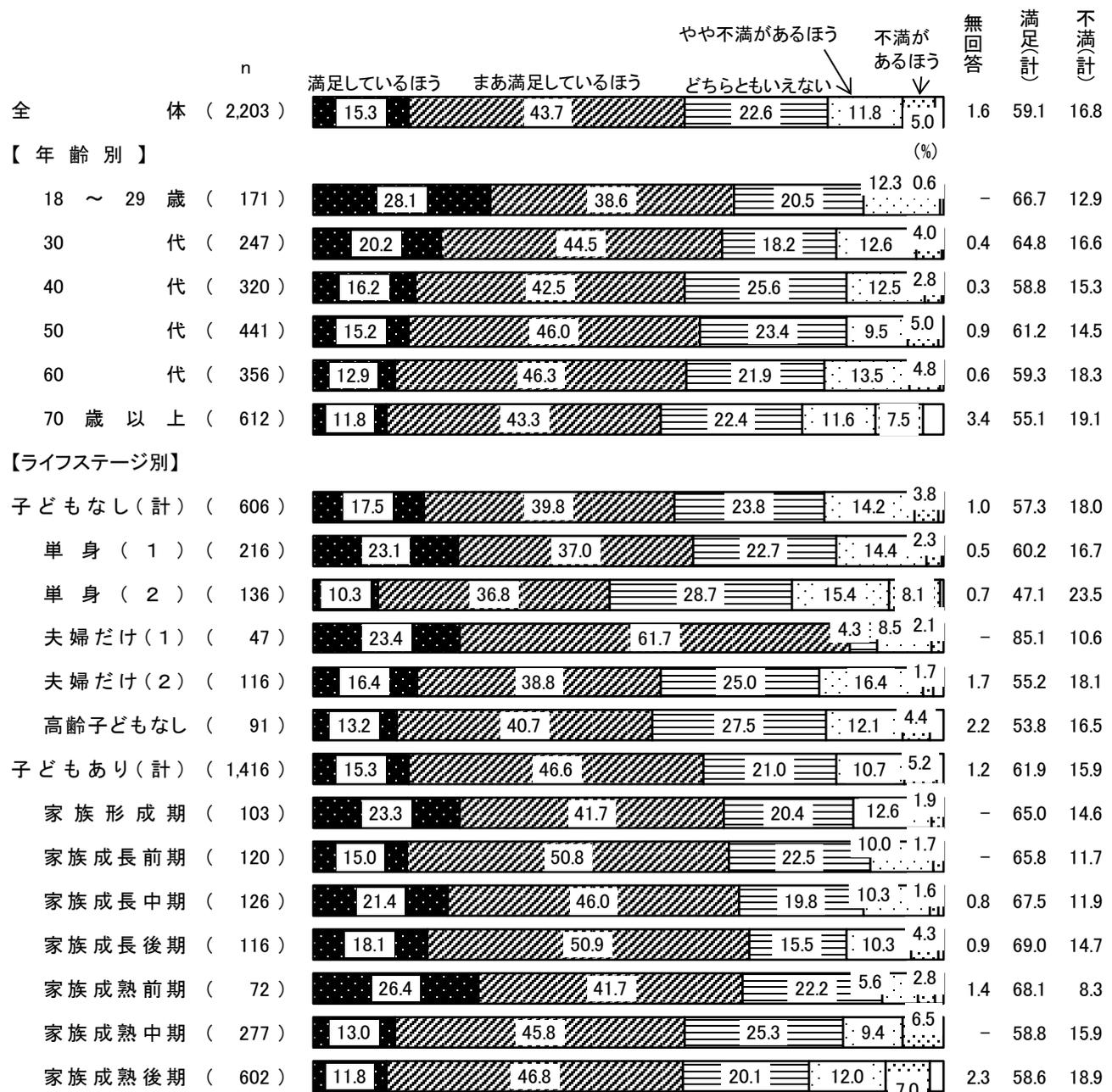
年齢別にみると、『満足（計）』は18～29歳（66.7%）で6割半ばと最も多くなっている。一方、『不満（計）』は70歳以上（19.1%）で2割近くと最も多くなっている。

⑩ 項目別生活満足度（オ）健康〔ライフステージ別〕

『不満（計）』は単身（2）で2割半ば

ライフステージ別にみると、『満足（計）』は夫婦だけ（1）（85.1%）で8割半ばと最も多くなっている。一方、『不満（計）』は単身（2）（23.5%）で2割半ばと最も多くなっている。

図4-2-6 項目別生活満足度（オ）健康〔年齢別、ライフステージ別〕



⑪ 項目別生活満足度（カ） 家族との関係 [年齢別]

『満足（計）』は30代以下で8割半ば

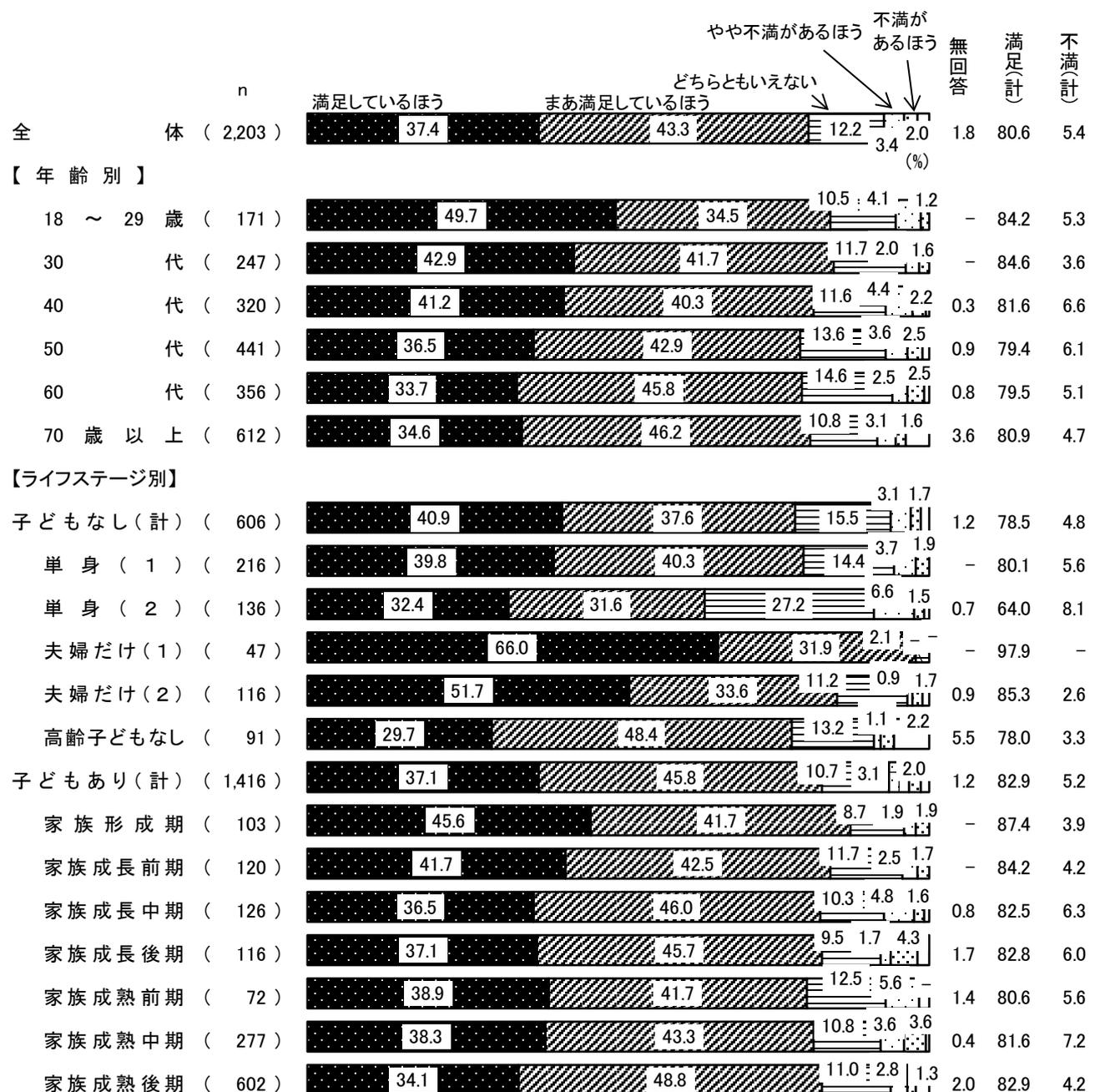
年齢別にみると、『満足（計）』は18～29歳（84.2%）、30代（84.6%）で8割半ばとなっている。一方、『不満（計）』は全ての年齢で1割以下となっている。

⑫ 項目別生活満足度（カ） 家族との関係 [ライフステージ別]

『満足（計）』は夫婦だけ（1）で9割半ば

ライフステージ別にみると、『満足（計）』は夫婦だけ（1）（97.9%）で9割半ばと最も多くなっている。一方、『不満（計）』は全てのライフステージで1割以下となっている。

図4-2-7 項目別生活満足度（カ） 家族との関係 [年齢別、ライフステージ別]



⑬ 項目別生活満足度（キ）友人や近隣とのつき合い〔年齢別〕

『満足（計）』は18～29歳で7割半ば

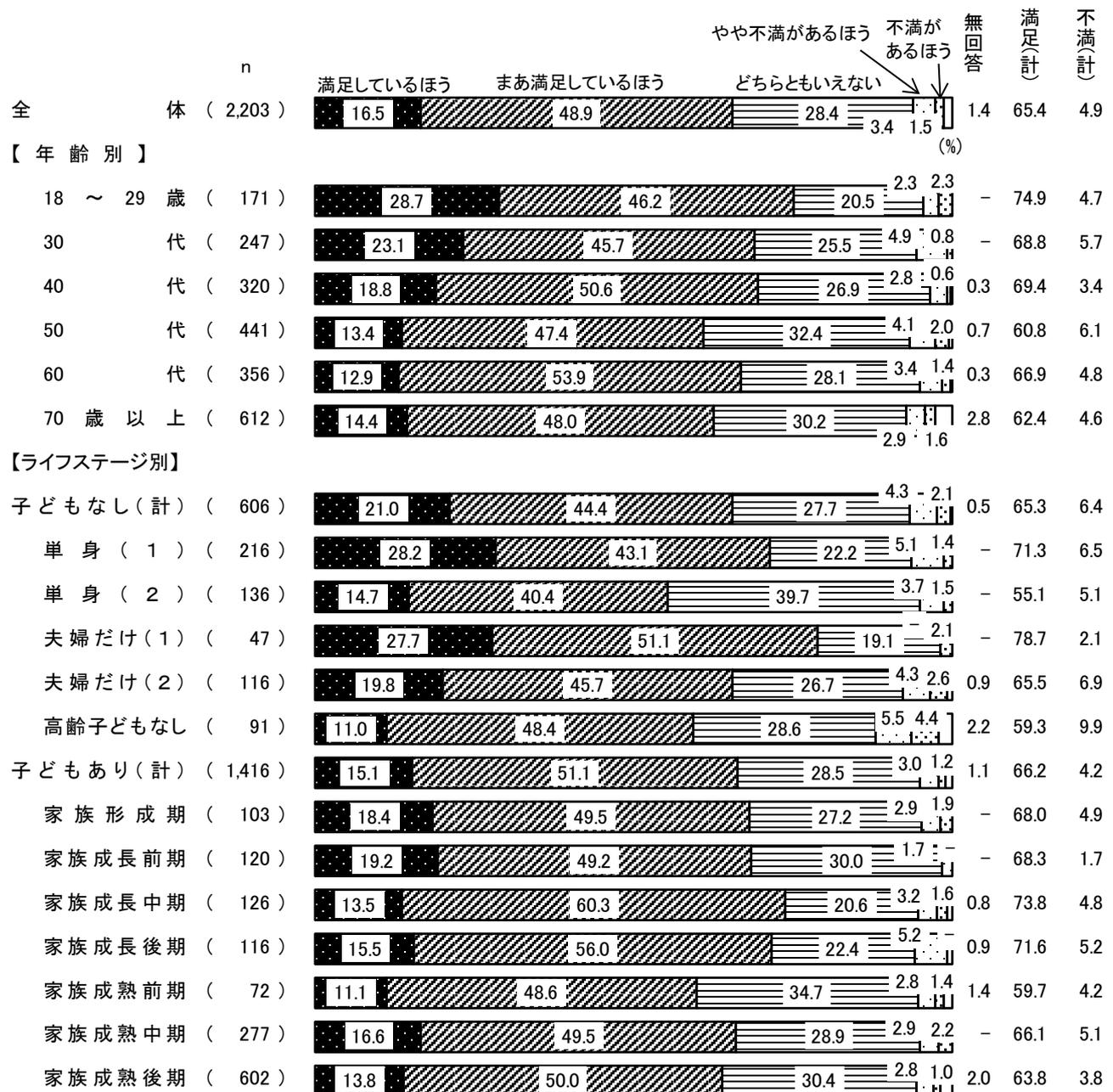
年齢別にみると、『満足（計）』は18～29歳（74.9%）で7割半ばと最も多くなっている。一方、『不満（計）』は50代（6.1%）で最も多くなっている。

⑭ 項目別生活満足度（キ）友人や近隣とのつき合い〔ライフステージ別〕

『満足（計）』は夫婦だけ（1）で8割近く

ライフステージ別にみると、『満足（計）』は夫婦だけ（1）（78.7%）で8割近くと最も多く、単身（2）（55.1%）で5割半ばと最も少なくなっている。一方、『不満（計）』は高齢子どもなし（9.9%）で1割近くと最も多くなっている。

図4-2-8 項目別生活満足度（キ）友人や近隣とのつき合い〔年齢別、ライフステージ別〕



(3) 生活満足度のまとめ

(ア)「住まい」から(キ)「友人や近隣とのつき合い」までのそれぞれの項目別生活満足度について、「満足しているほう」又は「まあ満足しているほう」（あわせて『満足（計）』）と回答した人と、「不満があるほう」又は「やや不満があるほう」（あわせて『不満（計）』）と回答した人に分けて、生活満足度をみる。

【「満足」と回答した人の生活満足度】

「収入」で『満足（計）』は9割を超える

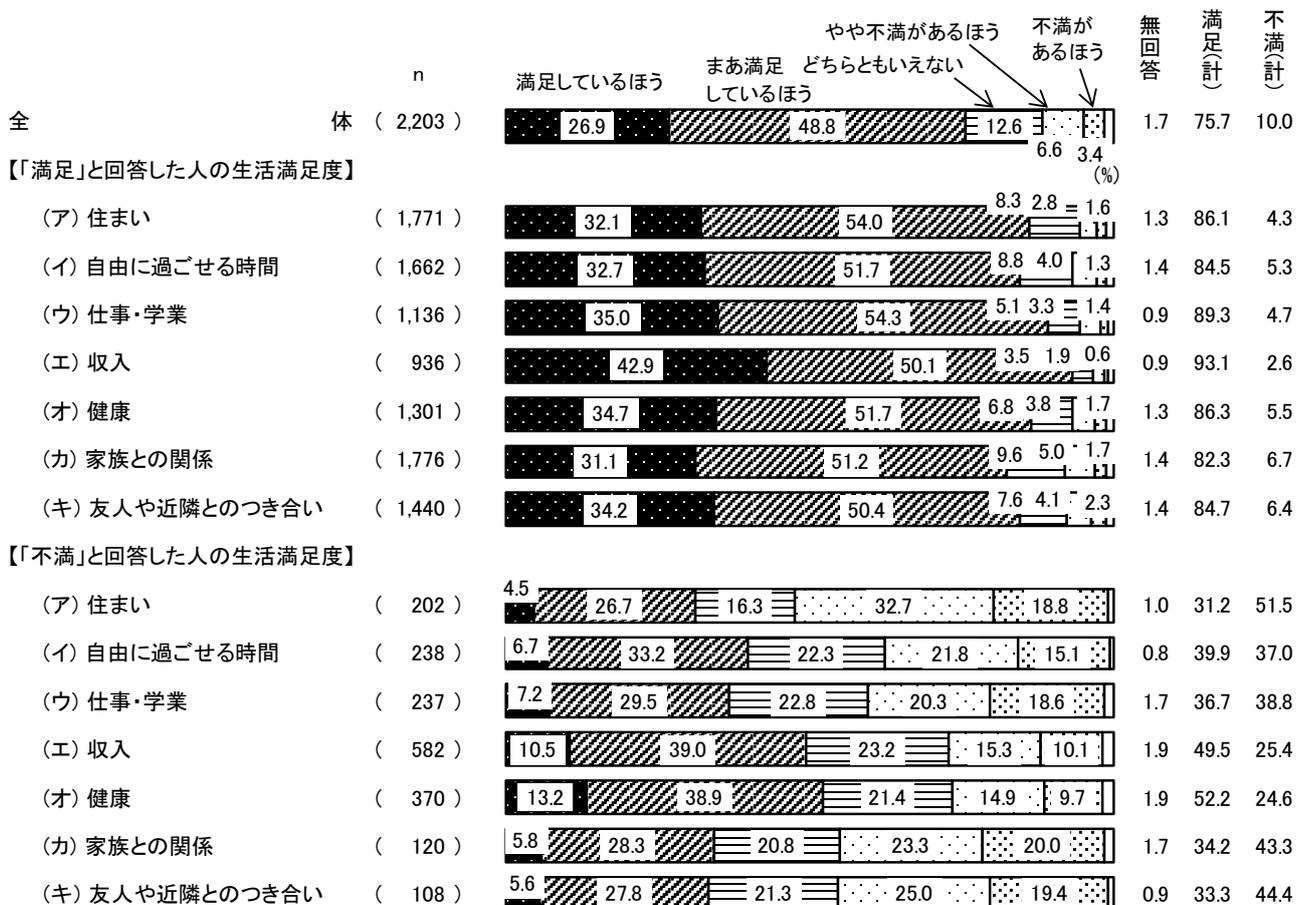
「収入」に『満足』と回答した人では、生活満足度『満足（計）』（93.1%）が9割を超えている。その他の項目についても、『満足（計）』は全体（75.7%）と比べて多くなっている。

【「不満」と回答した人の生活満足度】

「住まい」で『不満（計）』は5割を超える

「健康」に『不満』と回答した人では、生活満足度『満足（計）』（52.2%）が5割を超えている。一方、「住まい」に『不満』と回答した人では、生活満足度『不満（計）』（51.5%）が5割を超えている。

図4-3-1 項目別生活満足度の『満足』・『不満』別生活満足度



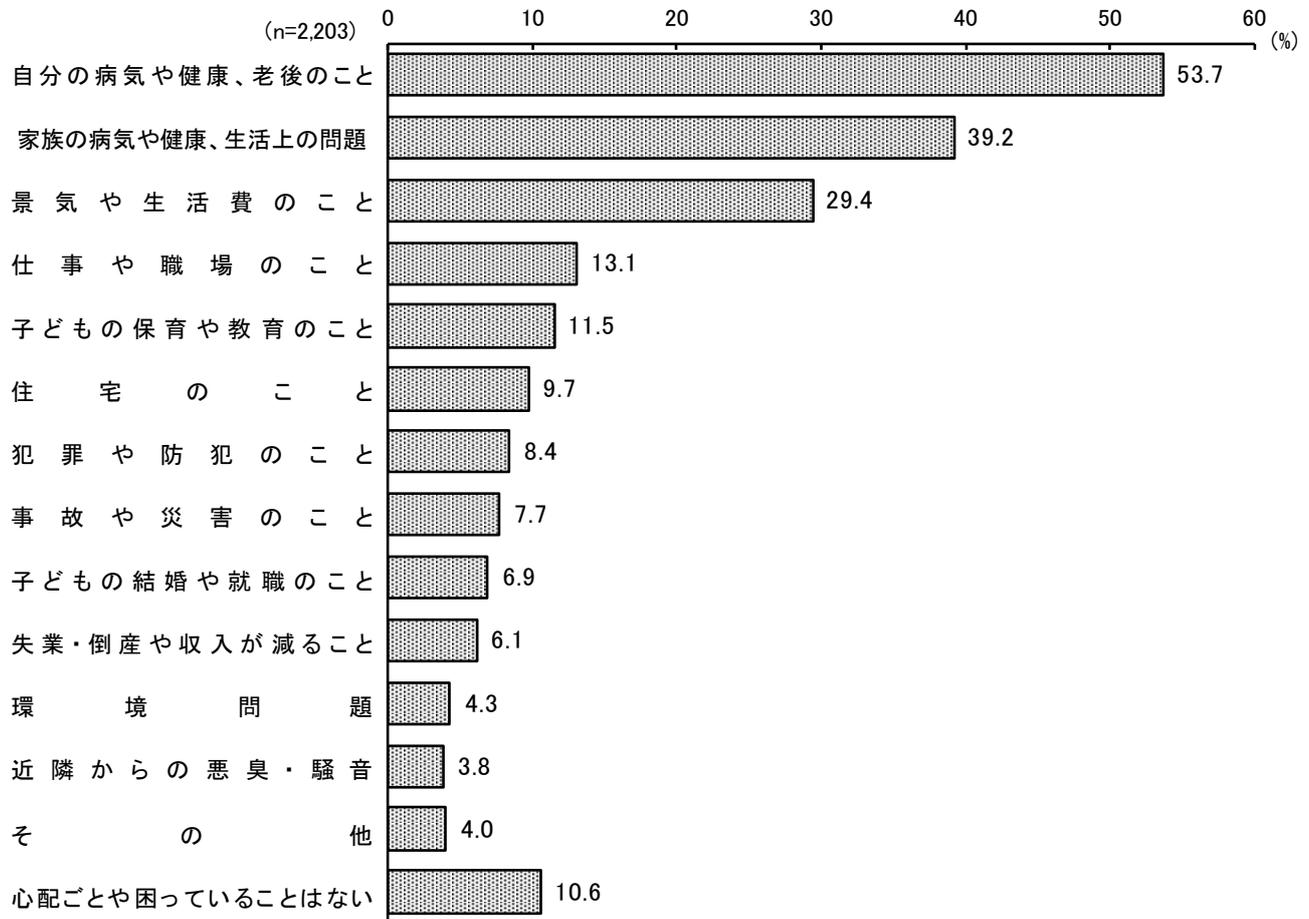
(4) 心配ごとや困っていること

問9 あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。
(〇は3つまで)

「自分の病気や健康、老後のこと」が5割を超える

心配ごとや困っていることについては、「自分の病気や健康、老後のこと」(53.7%)が5割を超えて最も多く、次いで「家族の病気や健康、生活上の問題」(39.2%)、「景気や生活費のこと」(29.4%)となっている。

図4-4-1 心配ごとや困っていること [全体] (3つまでの複数回答)



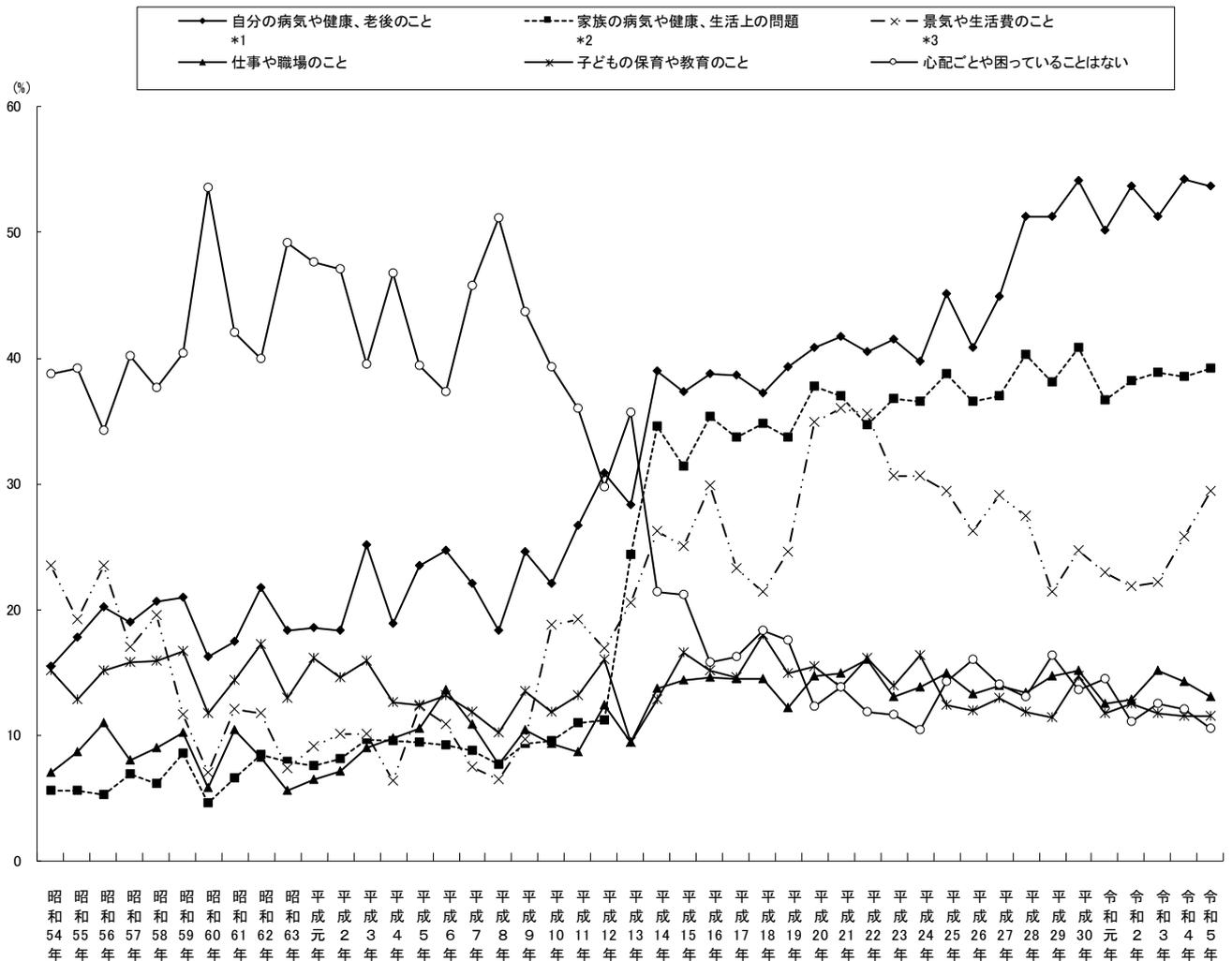
① 心配ごとや困っていること〔経年変化〕

「自分の病気や健康、老後のこと」は増加傾向

経年変化をみると、「自分の病気や健康、老後のこと」は、平成28年以降、5割を超えている。「心配ごとや困っていることはない」は、平成16年以降、1割台で推移している。

図4-4-2 心配ごとや困っていること〔経年変化〕

(3つまでの複数回答、上位5項目と「心配ごとや困っていることはない」の割合)



※1 平成27年までは「自分の病気や老後のこと」としていた。

※2 平成12年までは「家族の問題や親せきとの関係」、平成27年までは「家族の健康や生活上の問題」としていた。

※3 平成9年までは「インフレや物価高のこと」としていた。

表 4-4-1 心配ごとや困っていること [経年変化] (3つまでの複数回答)

調査時期	心配ごと 自分の病気や健康、老後のこと*1	家族の病気や健康、生活上の問題*2	景気や生活費のこと*3	事故や災害のこと*4	環境問題*4	子どもの保育や教育のこと	仕事や職場のこと	失業・倒産や収入が減ること	住宅のこと	犯罪や防犯のこと	近隣からの悪臭・騒音	子どもの結婚や就職のこと	心配ごとや困っていることはない
昭和54年	15.5	5.6	23.5		8.7	15.2	7.1	3.0	16.5	-	-	-	38.7
55年	17.8	5.6	19.2		6.5	12.9	8.7	3.4	15.2	-	-	-	39.2
56年	20.2	5.3	23.5		8.7	15.2	11.0	2.3	19.0	-	-	-	34.3
57年	19.0	6.9	17.0		7.7	15.8	8.0	3.1	14.1	-	-	-	40.2
58年	20.6	6.2	19.5		11.0	15.9	9.0	4.0	12.4	-	-	-	37.6
59年	21.0	8.6	11.7		8.1	16.7	10.2	4.6	11.7	-	-	-	40.4
60年	16.3	4.6	7.1		4.4	11.8	5.9	2.5	6.3	-	-	-	53.6
61年	17.5	6.6	12.1		5.9	14.4	10.5	4.2	11.6	-	-	-	42.0
62年	21.7	8.5	11.8		5.8	17.3	8.3	4.7	13.7	-	-	-	40.0
63年	18.3	7.9	7.4		4.8	13.0	5.6	3.1	12.5	-	-	-	49.2
平成元年	18.6	7.6	9.1		6.3	16.2	6.5	2.2	11.6	-	-	-	47.6
2年	18.4	8.2	10.1		6.1	14.6	7.2	1.1	14.2	-	-	-	47.1
3年	25.1	9.7	10.1		8.9	15.9	9.0	2.0	12.0	-	-	-	39.5
4年	18.9	9.6	6.4		5.7	12.7	9.8	3.0	12.7	-	-	-	46.7
5年	23.5	9.5	12.3		8.7	12.4	10.6	5.3	6.0	-	-	-	39.4
6年	24.7	9.3	10.9		6.0	13.2	13.6	7.6	14.7	-	-	-	37.3
7年	22.1	8.8	7.5		6.8	11.9	10.9	4.0	9.6	-	-	-	45.8
8年	18.4	7.7	6.5		4.9	10.2	7.7	3.2	9.4	-	-	-	51.1
9年	24.6	9.4	9.7		7.6	13.5	10.4	4.6	7.8	-	-	-	43.7
10年	22.1	9.6	18.8		7.7	11.9	9.4	6.8	8.3	-	-	-	39.3
11年	26.7	11.0	19.2		11.5	13.2	8.7	7.2	6.9	-	-	-	36.0
12年	30.8	11.2	16.9		11.8	16.1	12.4	6.5	9.0	-	-	-	29.7
13年	28.3	24.4	20.5	11.6	12.4	9.5	9.5	12.6	6.9	-	-	-	35.7
14年	39.0	34.6	26.2	6.8	12.7	12.9	13.7	16.3	6.2	-	3.0	-	21.4
15年	37.3	31.4	25.0	9.0	9.5	16.6	14.4	12.5		-	4.7	-	21.2
16年	38.8	35.3	29.9	7.6	10.0	15.2	14.6	13.3	13.5	-	4.4	-	15.8
17年	38.6	33.7	23.3	14.9	13.4	14.6	14.5	8.5	10.7	25.6	3.7	-	16.3
18年	37.2	34.8	21.4	11.5	10.7	18.0	14.5	7.9	9.7	25.0	3.3	-	18.3
19年	39.3	33.7	24.6	11.0	14.8	15.0	12.2	8.7	9.0	24.6	3.8	-	17.6
20年	40.8	37.8	34.9	3.8	12.3	15.5	14.7	8.8	11.5	16.6	3.5	-	12.3
21年	41.7	37.0	36.0	4.6	5.3	13.8	15.0	15.1	10.1	11.4	3.5	-	13.9
22年	40.5	34.7	35.6	6.3	4.5	16.2	16.0	13.5	10.5	10.9	4.1	-	11.9
23年	41.5	36.8	30.6	16.0	11.5	14.0	13.1	10.7	10.7	7.4	3.6	-	11.7
24年	39.7	36.6	30.6	20.7	7.7	16.4	13.9	11.2	8.8	8.0	3.2	-	10.5
25年	45.1	38.7	29.4	13.0	4.8	12.4	15.0	10.0	10.1	7.9	3.9	-	14.3
26年	40.8	36.5	26.2	8.9	3.8	12.0	13.3	8.4	9.0	7.6	3.5	-	16.1
27年	44.9	37.0	29.1	10.4	4.3	13.0	14.0	8.5	10.1	8.9	4.1	-	14.1
28年	51.3	40.3	27.5	13.4	2.8	11.9	13.4	8.0	10.5	7.6	4.3	-	13.1
29年	51.2	38.1	21.4	8.6	3.7	11.4	14.7	6.5	10.9	6.7	3.3	-	16.4
30年	54.1	40.8	24.7	7.5	3.0	14.7	15.2	6.5	11.6	7.8	4.8	-	13.6
令和元年	50.2	36.7	23.0	10.9	3.5	11.8	12.5	7.4	8.7	8.7	4.1	6.8	14.5
2年	53.7	38.2	21.8	9.8	4.5	12.5	12.9	10.0	10.0	7.0	4.2	8.0	11.1
3年	51.3	38.8	22.2	7.9	5.0	11.7	15.1	8.7	10.0	4.7	4.0	7.4	12.6
4年	54.2	38.5	25.8	9.1	4.0	11.5	14.3	6.0	10.4	4.3	3.1	6.2	12.1
5年	53.7	39.2	29.4	7.7	4.3	11.5	13.1	6.1	9.7	8.4	3.8	6.9	10.6

* 1 平成 27 年までは「自分の病気や老後のこと」としていた。

* 2 平成 12 年までは「家族の問題や親せきとの関係」、平成 27 年までは「家族の健康や生活上の問題」としていた。

* 3 平成 9 年までは「インフレや物価高のこと」としていた。

* 4 平成 9 年までは「公害や交通事故のこと」、平成 10 年から平成 12 年までは「環境問題や事故・災害のこと」としていた。

② 心配ごとや困っていること 上位5位 [ブロック別]

上位3位までは全てのブロックで同じ順位

ブロック別にみると、上位1位から3位は全てのブロックで同じ順位となっている。また、東部と南部で「仕事や職場のこと」、西部と北部で「子どもの保育や教育のこと」がそれぞれ4位となっている。

③ 心配ごとや困っていること 上位5位 [区別]

上位3位までは全ての区で同じ順位

区別でみると、上位1位から3位は全ての区で同じ順位となっている。

表4-4-2 心配ごとや困っていること 上位5位 [ブロック別、区別] (3つまでの複数回答)

属性		順位 (%)				
		1位	2位	3位	4位	5位
ブロック別	全体 (n=2,203)	自分の病気や健康、老後のこと 53.7	家族の病気や健康、生活上的問題 39.2	景気や生活費のこと 29.4	仕事や職場のこと 13.1	子どもの保育や教育のこと 11.5
	東部 (n=556)	自分の病気や健康、老後のこと 51.6	家族の病気や健康、生活上的問題 39.7	景気や生活費のこと 31.8	仕事や職場のこと 16.9	子どもの保育や教育のこと 10.4
	西部 (n=594)	自分の病気や健康、老後のこと 53.5	家族の病気や健康、生活上的問題 39.9	景気や生活費のこと 29.5	子どもの保育や教育のこと 12.1	仕事や職場のこと/住宅のこと 11.4
	南部 (n=429)	自分の病気や健康、老後のこと 57.6	家族の病気や健康、生活上的問題 41.5	景気や生活費のこと 26.8	仕事や職場のこと 12.1	心配ごとや困っていることはない 11.0
	北部 (n=570)	自分の病気や健康、老後のこと 51.4	家族の病気や健康、生活上的問題 36.8	景気や生活費のこと 28.9	子どもの保育や教育のこと 13.0	仕事や職場のこと 12.6
区別	鶴見区 (n=176)	自分の病気や健康、老後のこと 51.7	家族の病気や健康、生活上的問題 38.1	景気や生活費のこと 32.4	仕事や職場のこと 15.3	子どもの保育や教育のこと 11.9
	神奈川区 (n=134)	自分の病気や健康、老後のこと 47.8	家族の病気や健康、生活上的問題 39.6	景気や生活費のこと 36.6	仕事や職場のこと 19.4	心配ごとや困っていることはない 11.9
	西区 (n=58)	自分の病気や健康、老後のこと 56.9	家族の病気や健康、生活上的問題 34.5	景気や生活費のこと 27.6	仕事や職場のこと 19.0	子どもの保育や教育のこと 12.1
	中区 (n=83)	自分の病気や健康、老後のこと 56.6	家族の病気や健康、生活上的問題 41.0	景気や生活費のこと 26.5	住宅のこと 18.1	事故や災害のこと/心配ごとや困っていることはない 10.8
	南区 (n=105)	自分の病気や健康、老後のこと 49.5	家族の病気や健康、生活上的問題 44.8	景気や生活費のこと 31.4	仕事や職場のこと 23.8	事故や災害のこと 13.3
	港南区 (n=131)	自分の病気や健康、老後のこと 58.0	家族の病気や健康、生活上的問題 37.4	景気や生活費のこと 29.0	心配ごとや困っていることはない 13.0	仕事や職場のこと/子どもの保育や教育のこと 11.5
	保土ヶ谷区 (n=109)	自分の病気や健康、老後のこと 59.6	家族の病気や健康、生活上的問題 45.9	景気や生活費のこと 26.6	仕事や職場のこと/子どもの保育や教育のこと/心配ごとや困っていることはない 13.0	10.1
	旭区 (n=124)	自分の病気や健康、老後のこと 49.2	家族の病気や健康、生活上的問題 40.3	景気や生活費のこと 28.2	住宅のこと 15.3	子どもの保育や教育のこと 14.5
	磯子区 (n=91)	自分の病気や健康、老後のこと 58.2	家族の病気や健康、生活上的問題 38.5	景気や生活費のこと 26.4	仕事や職場のこと 12.1	子どもの保育や教育のこと/心配ごとや困っていることはない 11.0
	金沢区 (n=130)	自分の病気や健康、老後のこと 58.5	家族の病気や健康、生活上的問題 48.5	景気や生活費のこと 28.5	仕事や職場のこと 13.1	子どもの保育や教育のこと/事故や災害のこと 10.0
	港北区 (n=184)	自分の病気や健康、老後のこと 51.6	家族の病気や健康、生活上的問題 37.5	景気や生活費のこと 26.1	子どもの保育や教育のこと 14.7	仕事や職場のこと/心配ごとや困っていることはない 13.0
	緑区 (n=110)	自分の病気や健康、老後のこと 50.9	家族の病気や健康、生活上的問題 38.2	景気や生活費のこと 34.5	仕事や職場のこと 14.5	心配ごとや困っていることはない 13.6
	青葉区 (n=170)	自分の病気や健康、老後のこと 52.4	家族の病気や健康、生活上的問題 36.5	景気や生活費のこと 24.7	住宅のこと 14.1	仕事や職場のこと 12.9
	都筑区 (n=106)	自分の病気や健康、老後のこと 50.0	家族の病気や健康、生活上的問題 34.9	景気や生活費のこと 34.9	子どもの保育や教育のこと/心配ごとや困っていることはない 34.9	12.3
	戸塚区 (n=183)	自分の病気や健康、老後のこと 54.1	家族の病気や健康、生活上的問題 38.3	景気や生活費のこと 33.9	子どもの保育や教育のこと 15.3	住宅のこと 12.6
	栄区 (n=77)	自分の病気や健康、老後のこと 54.5	家族の病気や健康、生活上的問題 40.3	景気や生活費のこと 20.8	子どもの結婚や就職のこと/事故や災害のこと/犯罪や防犯のこと 20.8	13.0
	泉区 (n=95)	自分の病気や健康、老後のこと 60.0	家族の病気や健康、生活上的問題 42.1	景気や生活費のこと 28.4	仕事や職場のこと/犯罪や防犯のこと 28.4	13.7
	瀬谷区 (n=83)	自分の病気や健康、老後のこと 43.4	家族の病気や健康、生活上的問題 32.5	景気や生活費のこと 26.5	心配ごとや困っていることはない 19.3	仕事や職場のこと 12.0

④ 心配ごとや困っていること 上位5位 [年齢別]

18～29歳で「景気や生活費のこと」が1位

年齢別にみると、18～29歳で「景気や生活費のこと」、それ以外の年齢では「自分の病気や健康、老後のこと」がそれぞれ1位となっている。

⑤ 心配ごとや困っていること 上位5位 [性・年齢別]

女性30代で「子どもの保育や教育のこと」が1位

性・年齢別にみると、男女ともに18～29歳で「景気や生活費のこと」、女性30代で「子どもの保育や教育のこと」がそれぞれ1位となっている。

表4-4-3 心配ごとや困っていること 上位5位 [年齢別、性・年齢別] (3つまでの複数回答)

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
年齢別	全体 (n=2,203)	自分の病気や健康、老後のこと 53.7	家族の病気や健康、生活上の問題 39.2	景気や生活費のこと 29.4	仕事や職場のこと 13.1	子どもの保育や教育のこと 11.5
	18～29歳 (n=171)	景気や生活費のこと 39.2	自分の病気や健康、老後のこと 31.0	仕事や職場のこと 29.2	家族の病気や健康、生活上の問題 26.9	心配ごとや困っていること はない 19.9
	30代 (n=247)	自分の病気や健康、老後のこと 35.6	景気や生活費のこと 35.2	子どもの保育や教育のこと 33.6	家族の病気や健康、生活上の問題 33.2	仕事や職場のこと 23.5
	40代 (n=320)	自分の病気や健康、老後のこと 40.6	家族の病気や健康、生活上の問題 37.8	子どもの保育や教育のこと 30.9	景気や生活費のこと 30.0	仕事や職場のこと 20.9
	50代 (n=441)	自分の病気や健康、老後のこと 51.5	家族の病気や健康、生活上の問題 41.0	景気や生活費のこと 28.6	仕事や職場のこと 16.8	子どもの結婚や就職のこと 11.1
	60代 (n=356)	自分の病気や健康、老後のこと 63.2	家族の病気や健康、生活上の問題 42.4	景気や生活費のこと 30.3	住宅のこと 15.2	子どもの結婚や就職のこと 11.5
	70歳以上 (n=612)	自分の病気や健康、老後のこと 68.6	家族の病気や健康、生活上の問題 43.1	景気や生活費のこと 23.9	事故や災害のこと 9.8	犯罪や防犯のこと 9.5
性・年齢別	男性計 (n=977)	自分の病気や健康、老後のこと 54.9	家族の病気や健康、生活上の問題 40.1	景気や生活費のこと 29.9	仕事や職場のこと 14.9	子どもの保育や教育のこと 10.8
	18～29歳 (n=83)	景気や生活費のこと 41.0	自分の病気や健康、老後のこと 34.9	仕事や職場のこと 27.7	家族の病気や健康、生活上の問題 25.3	心配ごとや困っていること はない 20.5
	30代 (n=129)	景気や生活費のこと 40.3	自分の病気や健康、老後のこと 38.0	家族の病気や健康、生活上の問題 32.6	子どもの保育や教育のこと 31.0	仕事や職場のこと 26.4
	40代 (n=129)	自分の病気や健康、老後のこと 41.1	家族の病気や健康、生活上の問題 38.8	仕事や職場のこと 31.0	子どもの保育や教育のこと 25.6	景気や生活費のこと 20.9
	50代 (n=181)	自分の病気や健康、老後のこと 51.9	家族の病気や健康、生活上の問題 37.0	景気や生活費のこと 25.4	仕事や職場のこと 16.0	子どもの保育や教育のこと ／心配ごとや困っていること はない 10.5
	60代 (n=168)	自分の病気や健康、老後のこと 64.3	家族の病気や健康、生活上の問題 45.8	景気や生活費のこと 31.0	住宅のこと 16.1	子どもの結婚や就職のこと 14.3
	70歳以上 (n=285)	自分の病気や健康、老後のこと 70.5	家族の病気や健康、生活上の問題 46.7	景気や生活費のこと 27.7	事故や災害のこと 9.5	住宅のこと 8.1
	女性計 (n=1,143)	自分の病気や健康、老後のこと 52.0	家族の病気や健康、生活上の問題 38.5	景気や生活費のこと 29.0	子どもの保育や教育のこと 12.5	仕事や職場のこと 12.0
	18～29歳 (n=85)	景気や生活費のこと 37.6	仕事や職場のこと 30.6	家族の病気や健康、生活上の問題 27.1	自分の病気や健康、老後のこと 25.9	心配ごとや困っていること はない 20.0
	30代 (n=117)	子どもの保育や教育のこと 36.8	自分の病気や健康、老後のこと／家族の病気や健康、生活上の問題 33.3	景気や生活費のこと 29.9	仕事や職場のこと 20.5	仕事や職場のこと 20.5
	40代 (n=186)	自分の病気や健康、老後のこと 41.4	家族の病気や健康、生活上の問題 37.6	景気や生活費のこと 36.0	子どもの保育や教育のこと 34.9	仕事や職場のこと 14.5
	50代 (n=253)	自分の病気や健康、老後のこと 50.2	家族の病気や健康、生活上の問題 43.1	景気や生活費のこと 31.6	仕事や職場のこと 17.0	子どもの結婚や就職のこと 12.3
	60代 (n=185)	自分の病気や健康、老後のこと 63.2	家族の病気や健康、生活上の問題 39.5	景気や生活費のこと 29.7	住宅のこと 13.5	事故や災害のこと 11.9
	70歳以上 (n=316)	自分の病気や健康、老後のこと 66.8	家族の病気や健康、生活上の問題 39.9	景気や生活費のこと 19.9	犯罪や防犯のこと 12.0	心配ごとや困っていること はない 10.8

⑥ 心配ごとや困っていること 上位5位 [ライフステージ別]

家族形成期、家族成長前期、家族成長中期で「子どもの保育や教育のこと」が1位

ライフステージ別にみると、家族成熟前期で「家族の病気や健康、生活上の問題」、家族形成期、家族成長前期、家族成長中期で「子どもの保育や教育のこと」がそれぞれ1位となっている。

表4-4-4 心配ごとや困っていること 上位5位 [ライフステージ別] (3つまでの複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,203)		自分の病気や健康、老後のこと 53.7	家族の病気や健康、生活上の問題 39.2	景気や生活費のこと 29.4	仕事や職場のこと 13.1	子どもの保育や教育のこと 11.5
子どもなし計 (n=606)		自分の病気や健康、老後のこと 53.3	家族の病気や健康、生活上の問題 40.3	景気や生活費のこと 31.8	仕事や職場のこと 22.6	心配ごとや困っていることはない 12.5
単身(1) 40歳未満 (n=216)		自分の病気や健康、老後のこと 38.0	景気や生活費のこと 37.5	家族の病気や健康、生活上の問題 35.6	仕事や職場のこと 28.7	心配ごとや困っていることはない 19.0
単身(2) 40~64歳 (n=136)		自分の病気や健康、老後のこと 66.9	家族の病気や健康、生活上の問題 46.3	仕事や職場のこと 26.5	景気や生活費のこと 25.0	住宅のこと 12.5
夫婦だけ(1) 40歳未満 (n=47)		自分の病気や健康、老後のこと 44.7	景気や生活費のこと 42.6	家族の病気や健康、生活上の問題 38.3	仕事や職場のこと 23.4	子どもの保育や教育のこと 21.3
夫婦だけ(2) 40~64歳 (n=116)		自分の病気や健康、老後のこと 49.1	家族の病気や健康、生活上の問題 45.7	景気や生活費のこと 29.3	仕事や職場のこと 23.3	事故や災害のこと/住宅のこと/心配ごとや困っていることはない 11.2
高齢子どもなし (n=91)		自分の病気や健康、老後のこと 79.1	家族の病気や健康、生活上の問題 36.3	景気や生活費のこと 26.4	犯罪や防犯のこと 16.5	住宅のこと 9.9
子どもあり計 (n=1,416)		自分の病気や健康、老後のこと 51.9	家族の病気や健康、生活上の問題 38.7	景気や生活費のこと 28.5	子どもの保育や教育のこと 16.1	心配ごとや困っていることはない 10.4
家族形成期 第一子が小学校入学前 (n=103)		子どもの保育や教育のこと 64.1	景気や生活費のこと 35.0	自分の病気や健康、老後のこと 24.3	家族の病気や健康、生活上の問題 21.4	仕事や職場のこと 19.4
家族成長前期 第一子が小学生 (n=120)		子どもの保育や教育のこと 53.3	家族の病気や健康、生活上の問題 33.3	自分の病気や健康、老後のこと 30.0	景気や生活費のこと 28.3	仕事や職場のこと 16.7
家族成長中期 第一子が中・高生 (n=126)		子どもの保育や教育のこと 49.2	自分の病気や健康、老後のこと 38.1	景気や生活費のこと 32.5	家族の病気や健康、生活上の問題 27.8	仕事や職場のこと 15.9
家族成長後期 第一子が大学生等 (n=116)		自分の病気や健康、老後のこと 38.8	家族の病気や健康、生活上の問題 32.8	景気や生活費のこと 25.0	子どもの結婚や就職のこと 18.1	子どもの保育や教育のこと/心配ごとや困っていることはない 17.2
家族成熟前期 第一子が学校教育終了 (n=72)		家族の病気や健康、生活上の問題 40.3	景気や生活費のこと 37.5	自分の病気や健康、老後のこと 36.1	子どもの結婚や就職のこと 20.8	仕事や職場のこと 13.9
家族成熟中期 子が全員独立・65歳未満 (n=277)		自分の病気や健康、老後のこと 56.3	家族の病気や健康、生活上の問題 39.0	景気や生活費のこと 29.2	住宅のこと 13.4	子どもの結婚や就職のこと 12.6
家族成熟後期 子が全員独立・65歳以上 (n=602)		自分の病気や健康、老後のこと 66.3	家族の病気や健康、生活上の問題 45.8	景気や生活費のこと 25.9	事故や災害のこと 10.1	心配ごとや困っていることはない 9.5

⑦ 心配ごとや困っていること 上位5位 [世帯類型別]

子と同居(1)で「子どもの保育や教育のこと」が1位

世帯類型別にみると、子と同居(1)で「子どもの保育や教育のこと」、親と同居(1)で「景気や生活費のこと」、祖父母と親と子で「家族の病気や健康、生活上の問題」がそれぞれ1位となっている。

表4-4-5 心配ごとや困っていること 上位5位 [世帯類型別] (3つまでの複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,203)		自分の病気や健康、老後のこと 53.7	家族の病気や健康、生活上の問題 39.2	景気や生活費のこと 29.4	仕事や職場のこと 13.1	子どもの保育や教育のこと 11.5
ひとり暮らし(1) 40歳未満 (n=62)		自分の病気や健康、老後のこと 37.1	仕事や職場のこと 35.5	家族の病気や健康、生活上の問題 33.9	景気や生活費のこと 32.3	心配ごとや困っていることはない 17.7
ひとり暮らし(2) 40～64歳 (n=90)		自分の病気や健康、老後のこと 66.7	家族の病気や健康、生活上の問題/仕事や職場のこと/景気や生活費のこと		25.6	住宅のこと 12.2
ひとり暮らし(3) 65歳以上 (n=117)		自分の病気や健康、老後のこと 74.4	景気や生活費のこと 34.2	家族の病気や健康、生活上の問題 18.8	犯罪や防犯のこと 16.2	住宅のこと 13.7
夫婦のみ(1) 子なし (n=194)		自分の病気や健康、老後のこと 57.7	家族の病気や健康、生活上の問題 46.4	景気や生活費のこと 32.0	仕事や職場のこと 18.6	住宅のこと 12.9
夫婦のみ(2) 子あり (n=389)		自分の病気や健康、老後のこと 59.6	家族の病気や健康、生活上の問題 48.6	景気や生活費のこと 22.4	心配ごとや困っていることはない 11.8	住宅のこと 9.8
子と同居(1) 2世代/教育期の子あり (n=467)		子どもの保育や教育のこと 42.2	自分の病気や健康、老後のこと 34.5	景気や生活費のこと 31.9	家族の病気や健康、生活上の問題 29.1	仕事や職場のこと 15.8
子と同居(2) 2世代/教育終了後の子のみ (n=285)		自分の病気や健康、老後のこと 64.9	家族の病気や健康、生活上の問題 42.1	景気や生活費のこと 31.2	子どもの結婚や就職のこと 20.0	住宅のこと 12.6
親と同居(1) 2世代/子なし・40歳未満 (n=134)		景気や生活費のこと 40.3	自分の病気や健康、老後のこと 39.6	家族の病気や健康、生活上の問題 38.1	仕事や職場のこと 25.4	心配ごとや困っていることはない 20.1
親と同居(2) 2世代/子なし・40歳以上 (n=65)		自分の病気や健康、老後のこと 67.7	家族の病気や健康、生活上の問題 63.1	景気や生活費のこと 32.3	仕事や職場のこと 24.6	失業・倒産や収入が減ること/環境問題/住宅のこと 12.3
祖父母と親と子 3世代 (n=77)		家族の病気や健康、生活上の問題 46.8	自分の病気や健康、老後のこと 42.9	景気や生活費のこと 24.7	子どもの保育や教育のこと 20.8	犯罪や防犯のこと/心配ごとや困っていることはない 11.7

5. 新型コロナウイルス感染症の暮らしへの影響

(1) 新型コロナウイルス感染症の影響

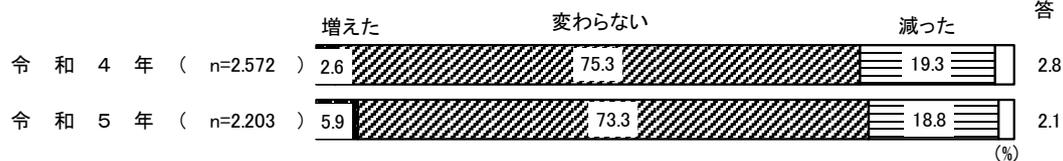
問 12 新型コロナウイルス感染症の取扱いが変更されましたが、一年前の今ごろとくらべて、あなたの生活で次のことが増えましたか。それとも減りましたか。なお、ご自身に関連しない項目については「変わらない」に○をしてください。(○はそれぞれ1つ)

① 新型コロナウイルス感染症の影響 (ア) 世帯の収入 [経年変化]

「増えた」は3.3ポイント増加

経年比較をみると、前回調査(令和4年)から、「増えた」は3.3ポイント増加した。

図5-1-1 新型コロナウイルス感染症の影響(ア)世帯の収入[経年変化]



② 新型コロナウイルス感染症の影響(ア)世帯の収入[年齢別]

「減った」は50代、60代で2割を超える

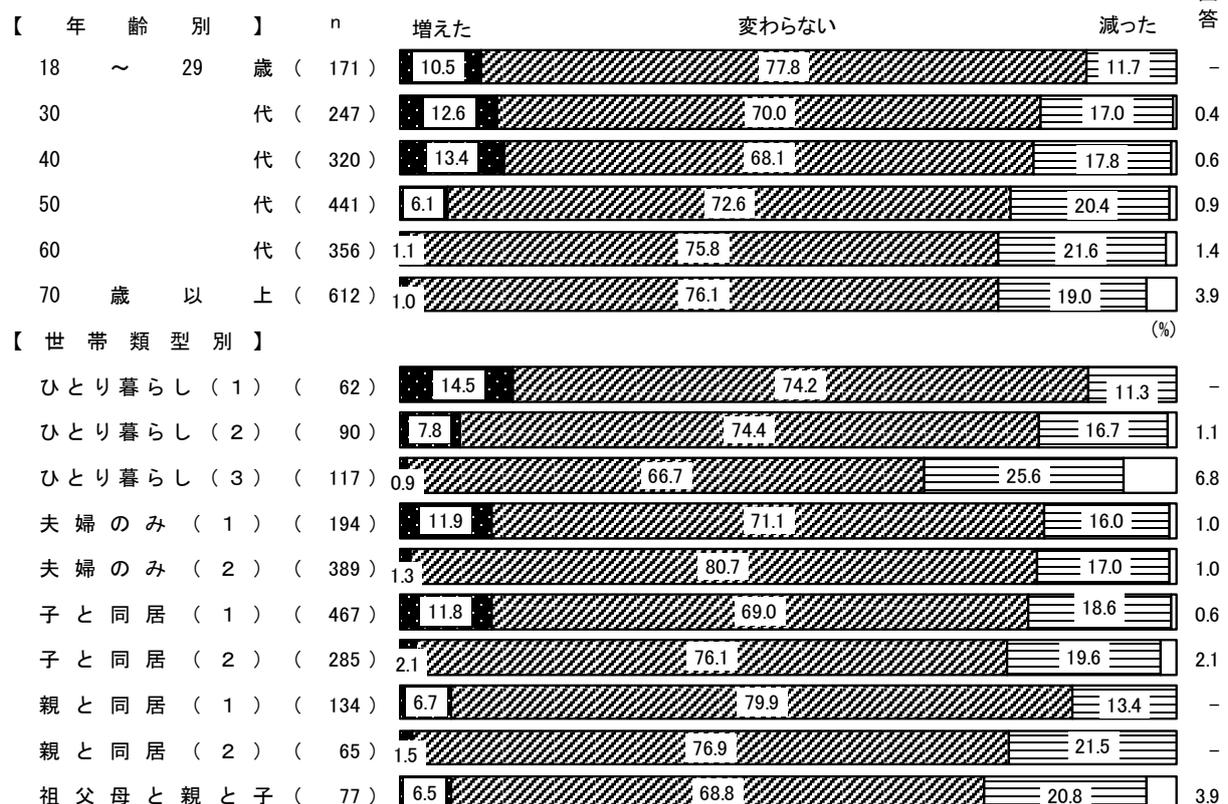
年齢別にみると、「減った」は50代(20.4%)、60代(21.6%)で2割を超えている。

③ 新型コロナウイルス感染症の影響(ア)世帯の収入[世帯類型別]

「減った」ひとり暮らし(3)で2割半ば

世帯類型別にみると、「減った」はひとり暮らし(3)(25.6%)で2割半ばと最も多くなっている。また、親と同居(2)(21.5%)、祖父母と親と子(20.8%)で2割を超えている。

図5-1-2 新型コロナウイルス感染症の影響(ア)世帯の収入[年齢別、世帯類型別]

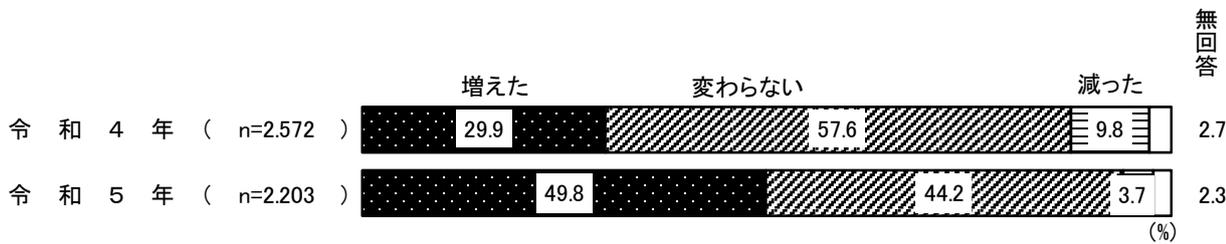


④ 新型コロナウイルス感染症の影響（イ）世帯の支出〔経年変化〕

「増えた」は19.9ポイント増加

経年比較をみると、前回調査（令和4年）から、「増えた」は19.9ポイント増加した。

図5-1-3 新型コロナウイルス感染症の影響（イ）世帯の支出〔経年変化〕



⑤ 新型コロナウイルス感染症の影響（イ）世帯の支出〔年齢別〕

「増えた」は40代で6割を超える

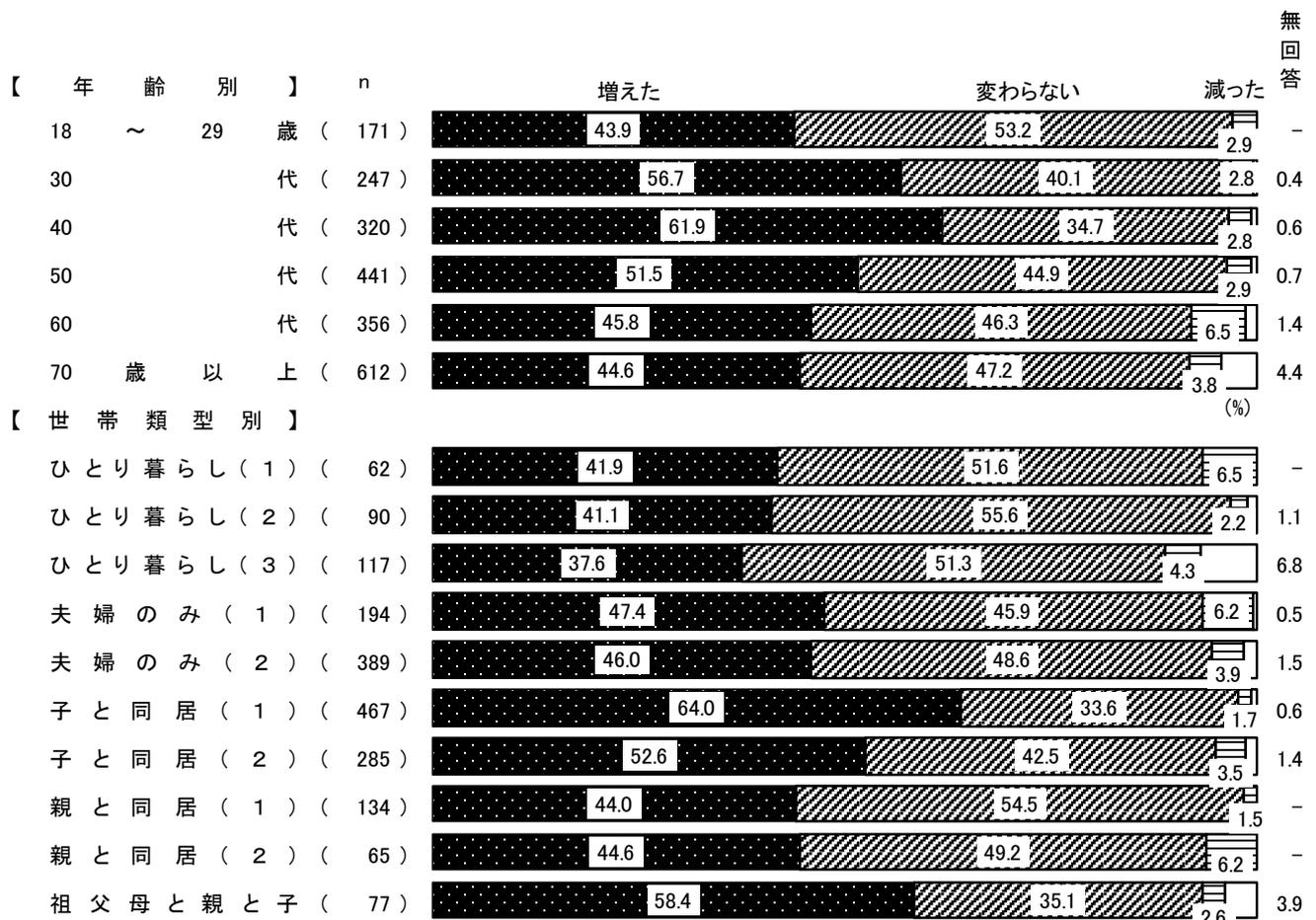
年齢別にみると、「増えた」は40代（61.9%）で6割を超えて最も多くなっている。

⑥ 新型コロナウイルス感染症の影響（イ）世帯の支出〔世帯類型別〕

「増えた」は子と同居（1）で6割半ば

世帯類型別にみると、「増えた」は子と同居（1）（64.0%）で6割半ばと最も多く、祖父母と親と子（58.4%）で6割近くとなっている。

図5-1-4 新型コロナウイルス感染症の影響（イ）世帯の支出〔年齢別、世帯類型別〕

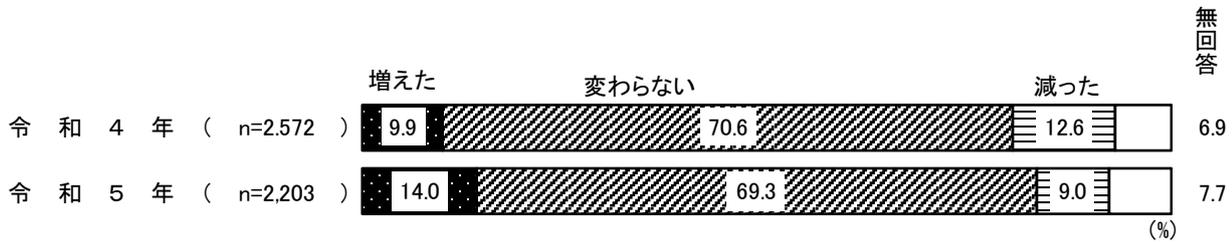


⑦ 新型コロナウイルス感染症の影響（ウ）しごと・労働時間（学業を含む）【経年変化】

「増えた」は4.1ポイント増加

経年比較をみると、前回調査（令和4年）から、「増えた」は4.1ポイント増加した。

図5-1-5 新型コロナウイルス感染症の影響（ウ）しごと・労働時間（学業を含む）【経年変化】



⑧ 新型コロナウイルス感染症の影響（ウ）しごと・労働時間（学業を含む）【年齢別】

「増えた」は18～29歳で3割を超える

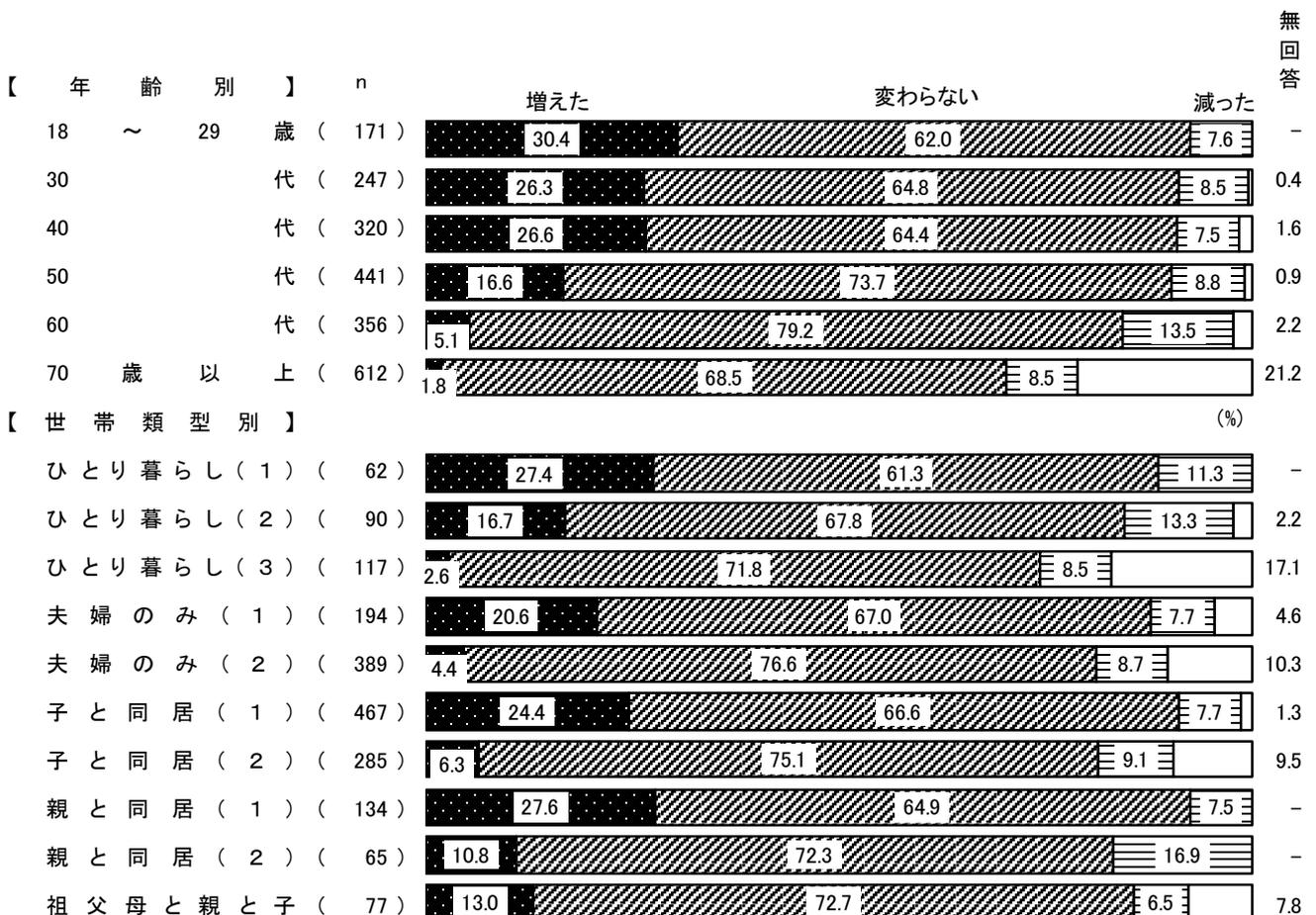
年齢別にみると、「増えた」は18～29歳（30.4%）で3割を超えて最も多く、年齢が高くなるほど割合が少ない傾向にある。一方、「減った」は60代（13.5%）で1割半ばと最も多くなっている。

⑨ 新型コロナウイルス感染症の影響（ウ）しごと・労働時間（学業を含む）【世帯類型別】

「増えた」はひとり暮らし（1）、親と同居（1）で2割半ば

世帯類型別にみると、「増えた」はひとり暮らし（1）（27.4%）、親と同居（1）（27.6%）で2割半ばとなっている。

図5-1-6 新型コロナウイルス感染症の影響（ウ）しごと・労働時間（学業を含む）【年齢別、世帯類型別】

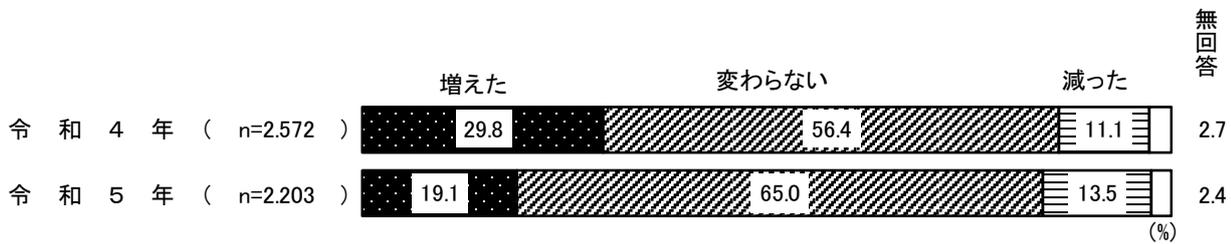


⑩ 新型コロナウイルス感染症の影響（エ）一人で過ごす時間〔経年変化〕

「増えた」は10.7ポイント減少

経年比較をみると、前回調査（令和4年）から、「増えた」は10.7ポイント減少した。

図5-1-7 新型コロナウイルス感染症の影響（エ）一人で過ごす時間〔経年変化〕



⑪ 新型コロナウイルス感染症の影響（エ）一人で過ごす時間〔年齢別〕

「増えた」は18～29歳で3割を超える

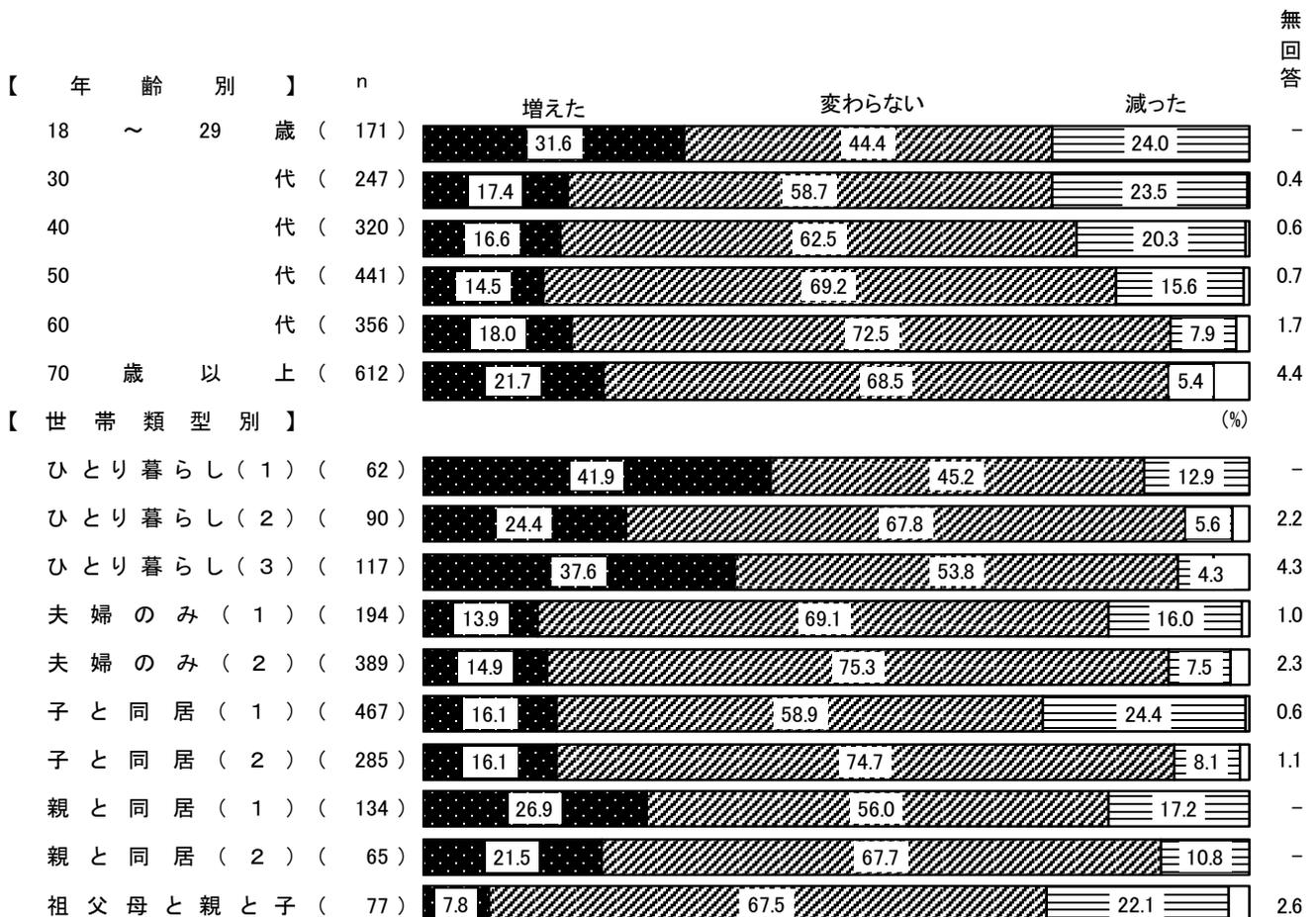
年齢別にみると、「増えた」は18～29歳（31.6%）で3割を超えて最も多く、次いで70歳以上（21.7%）となっている。

⑫ 新型コロナウイルス感染症の影響（エ）一人で過ごす時間〔世帯類型別〕

「増えた」はひとり暮らし（1）で4割を超える

世帯類型別にみると、「増えた」はひとり暮らし（1）（41.9%）で4割を超えて最も多くなっている。

図5-1-8 新型コロナウイルス感染症の影響（エ）一人で過ごす時間〔年齢別、世帯類型別〕

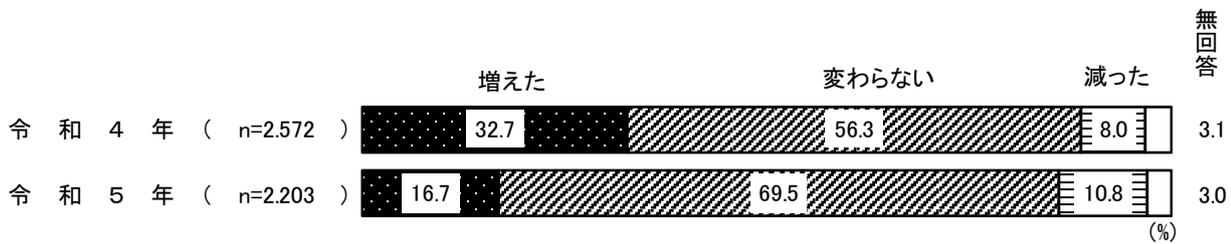


⑬ 新型コロナウイルス感染症の影響（オ）家族と過ごす時間 [経年変化]

「増えた」は16ポイント減少

経年比較をみると、前回調査（令和4年）から、「増えた」は16ポイント減少した。

図5-1-9 新型コロナウイルス感染症の影響（オ）家族と過ごす時間 [経年変化]



⑭ 新型コロナウイルス感染症の影響（オ）家族と過ごす時間 [年齢別]

「増えた」は40代以下で2割を超える

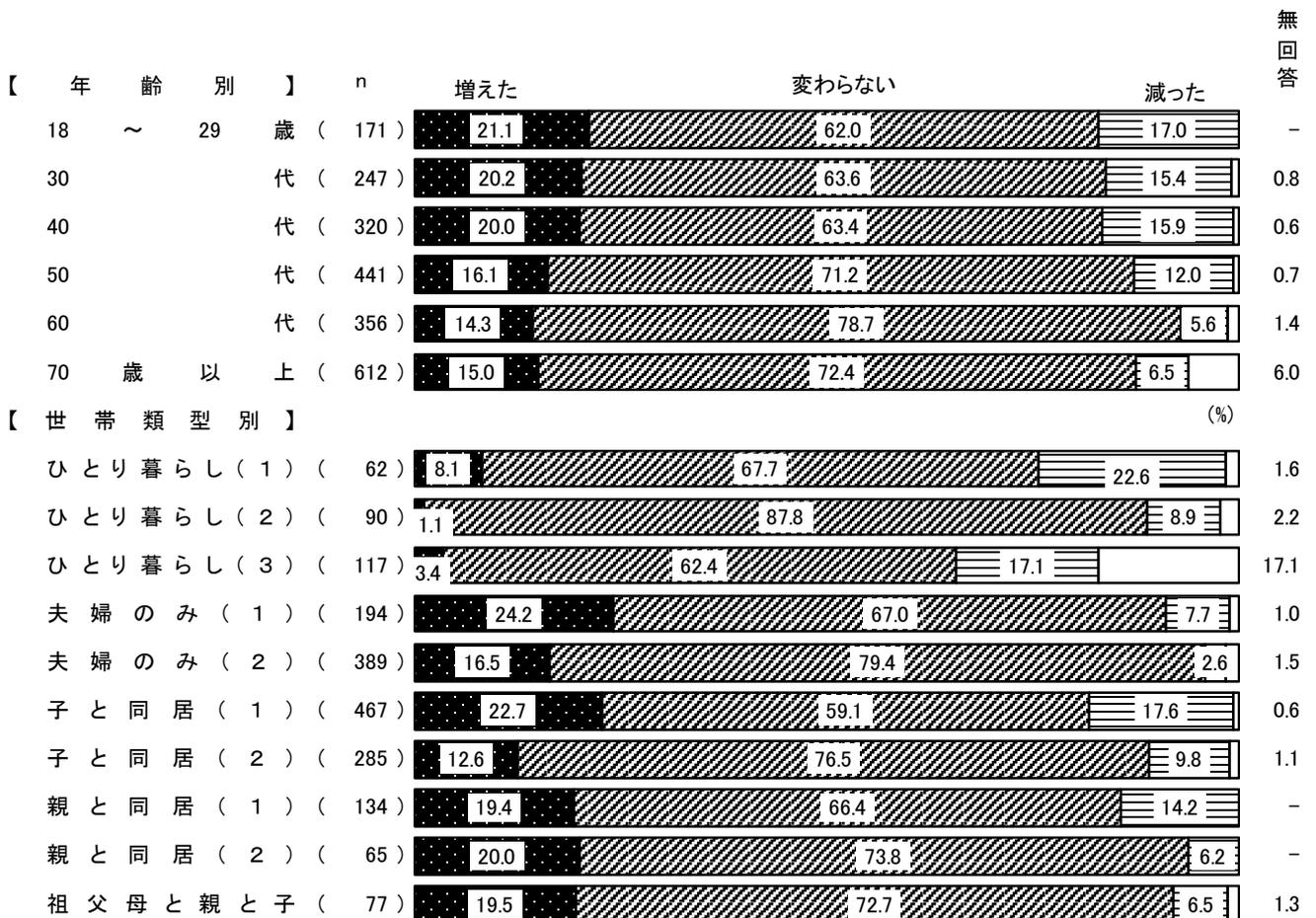
年齢別にみると、「増えた」は18～29歳（21.1%）、30代（20.2%）、40代（20.0%）で2割を超えている。

⑮ 新型コロナウイルス感染症の影響（オ）家族と過ごす時間 [世帯類型別]

「増えた」は夫婦のみ（1）で2割半ば

世帯類型別にみると、「増えた」は夫婦のみ（1）（24.2%）で2割半ばと最も多くなっている。

図5-1-10 新型コロナウイルス感染症の影響（オ）家族と過ごす時間 [年齢別、世帯類型別]

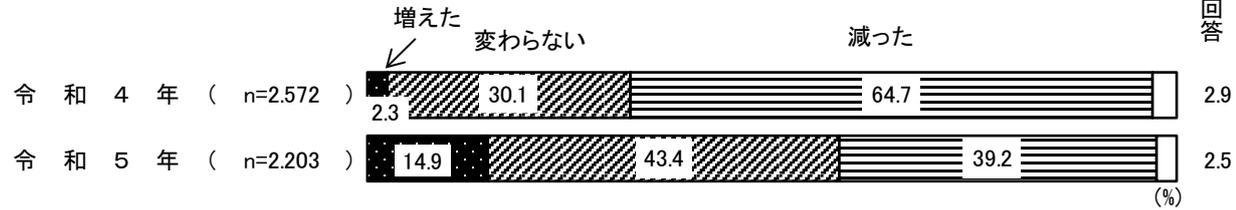


⑩ 新型コロナウイルス感染症の影響（カ）友人・知人と過ごす時間 [経年変化]

「減った」は25.5ポイント減少

経年比較をみると、前回調査（令和4年）から、「減った」は25.5ポイント減少した。

図5-1-11 新型コロナウイルス感染症の影響（カ）友人・知人と過ごす時間 [経年変化]

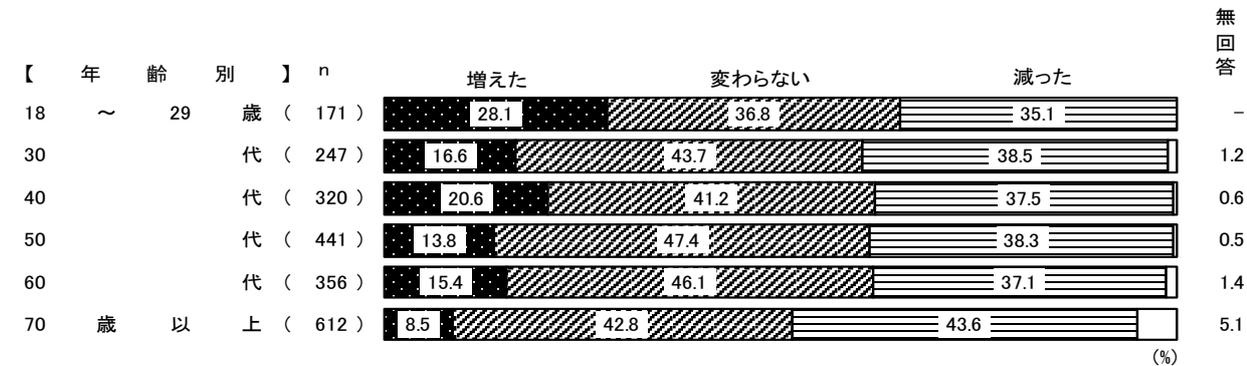


⑪ 新型コロナウイルス感染症の影響（カ）友人・知人と過ごす時間 [年齢別]

「減った」は70歳以上で4割半ば

年齢別にみると、「減った」は70歳以上（43.6%）で4割を超えて最も多くなっている。

図5-1-12 新型コロナウイルス感染症の影響（カ）友人・知人と過ごす時間 [年齢別]

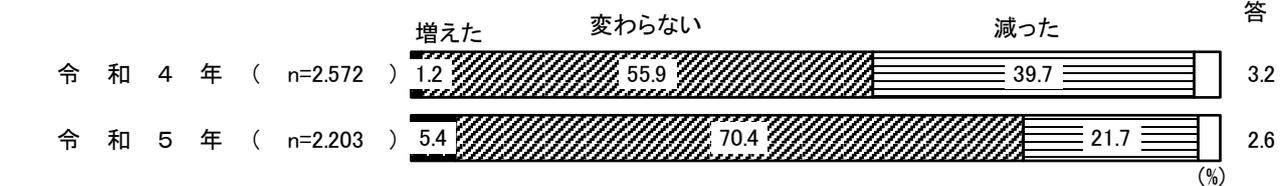


⑫ 新型コロナウイルス感染症の影響（キ）地域の人とのつながり [経年変化]

「減った」は18ポイント減少

経年比較をみると、前回調査（令和4年）から、「減った」は18ポイント減少した。

図5-1-13 新型コロナウイルス感染症の影響（キ）地域の人とのつながり [経年変化]

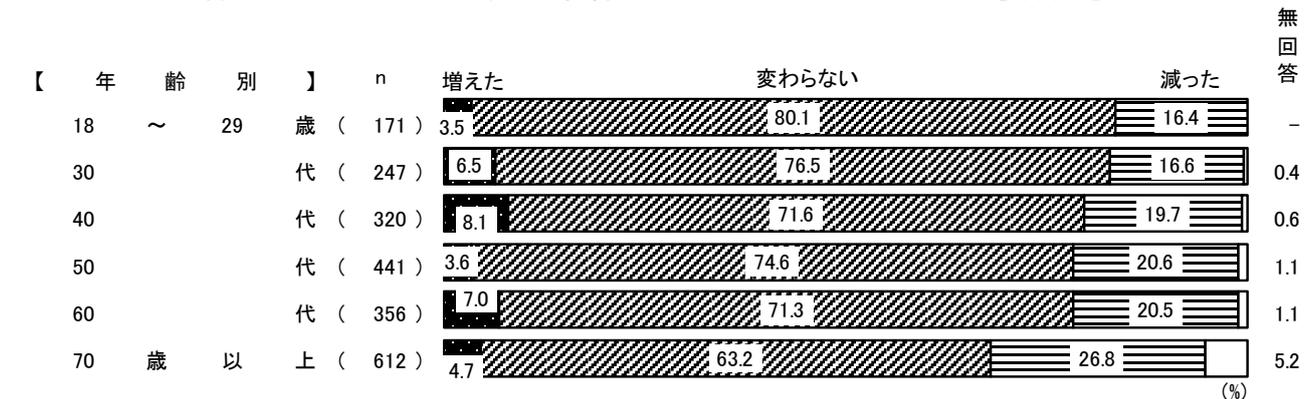


⑬ 新型コロナウイルス感染症の影響（キ）地域の人とのつながり [年齢別]

「減った」は70歳以上で2割半ば

年齢別にみると、「減った」は70歳以上（26.8%）で2割半ばと最も多くなっている。

図5-1-14 新型コロナウイルス感染症の影響（キ）地域の人とのつながり [年齢別]

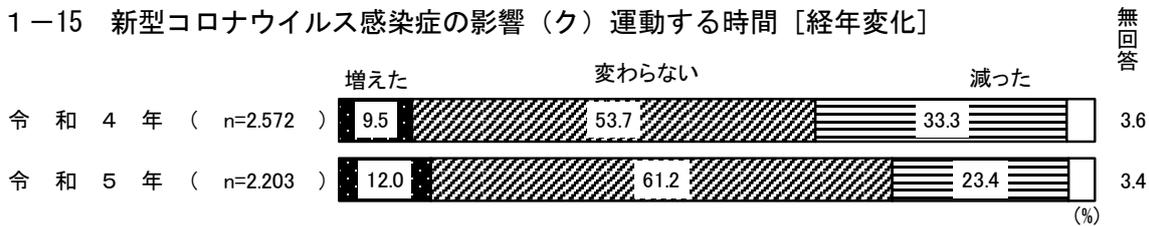


⑳ 新型コロナウイルス感染症の影響（ク）運動する時間【経年変化】

「減った」は9.9ポイント減少

経年比較をみると、前回調査（令和4年）から、「減った」は9.9ポイント減少した。

図5-1-15 新型コロナウイルス感染症の影響（ク）運動する時間【経年変化】

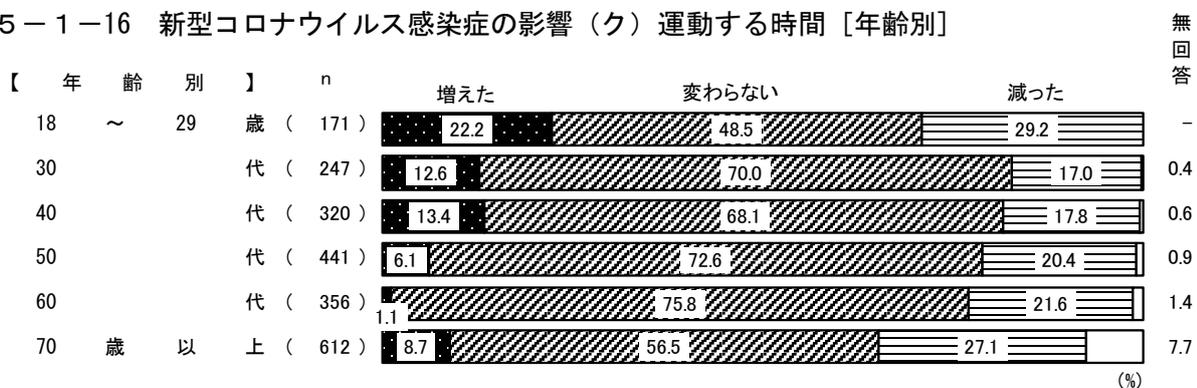


㉑ 新型コロナウイルス感染症の影響（ク）運動する時間【年齢別】

「減った」は18～29歳で3割近く

年齢別にみると、「減った」は18～29歳（29.2%）で3割近くと最も多く、次いで70歳以上（27.1%）で2割半ばとなっている。

図5-1-16 新型コロナウイルス感染症の影響（ク）運動する時間【年齢別】

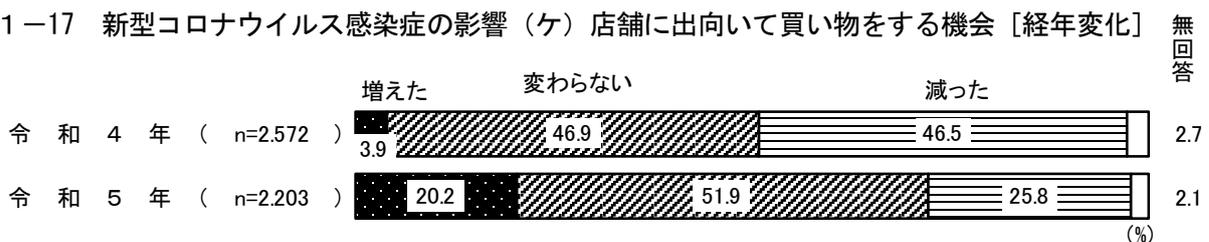


㉒ 新型コロナウイルス感染症の影響（ケ）店舗に出向いて買い物をする機会【経年変化】

「減った」は20.7ポイント減少

経年比較をみると、前回調査（令和4年）から、「減った」は20.7ポイント減少した。

図5-1-17 新型コロナウイルス感染症の影響（ケ）店舗に出向いて買い物をする機会【経年変化】

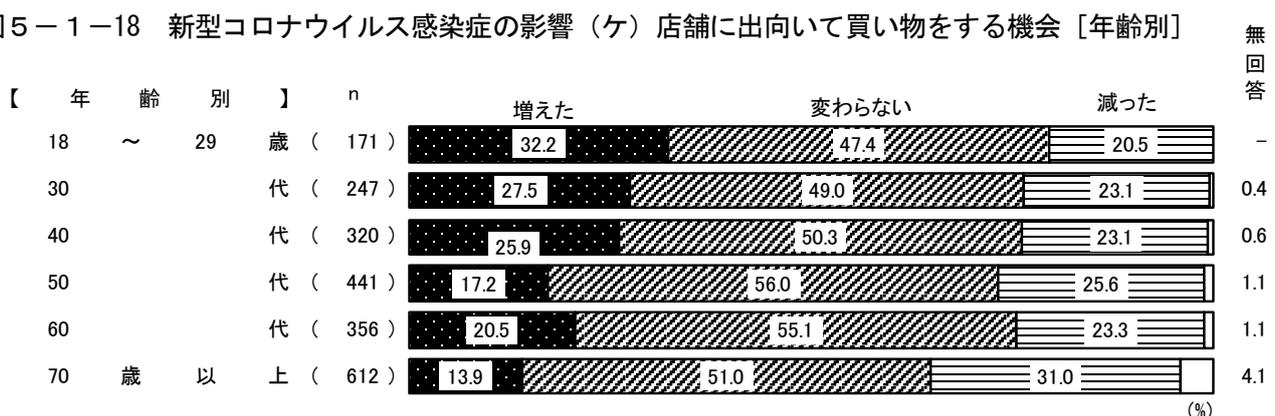


㉓ 新型コロナウイルス感染症の影響（ケ）店舗に出向いて買い物をする機会【年齢別】

「減った」は70歳以上で3割を超える

年齢別にみると、「減った」は70歳以上（31.0%）で3割を超えて最も多くなっている。

図5-1-18 新型コロナウイルス感染症の影響（ケ）店舗に出向いて買い物をする機会【年齢別】



②④ 新型コロナウイルス感染症の影響（コ）インターネットショッピングや通販の利用 [経年変化]

「増えた」は13.3ポイント減少

経年比較をみると、前回調査（令和4年）から、「増えた」は13.3ポイント減少した。

図5-1-19 新型コロナウイルス感染症の影響（コ）インターネットショッピングや通販の利用 [経年変化]

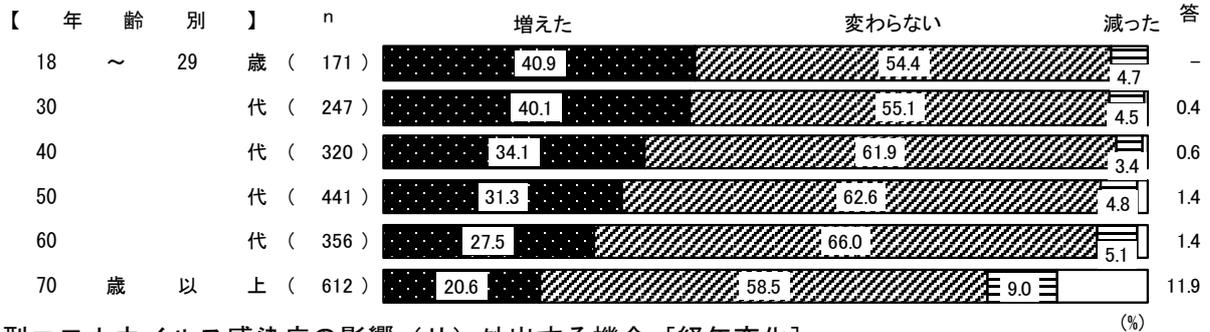


②⑤ 新型コロナウイルス感染症の影響（コ）インターネットショッピングや通販の利用 [年齢別]

「増えた」は30代以下で4割を超える

年齢別にみると、「増えた」は18～29歳（40.9%）、30代（40.1%）で4割を超えている。一方、70歳以上（20.6%）で約2割と最も少なくなっている。

図5-1-20 新型コロナウイルス感染症の影響（コ）インターネットショッピングや通販の利用 [年齢別]

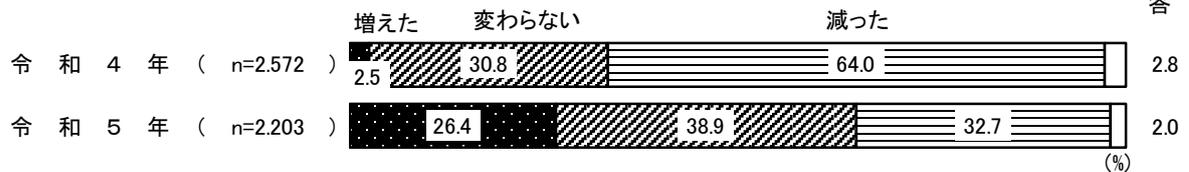


②⑥ 新型コロナウイルス感染症の影響（サ）外出する機会 [経年変化]

「減った」は31.3ポイント減少

経年比較をみると、前回調査（令和4年）から、「減った」は31.3ポイント減少した。

図5-1-21 新型コロナウイルス感染症の影響（サ）外出する機会 [経年変化]

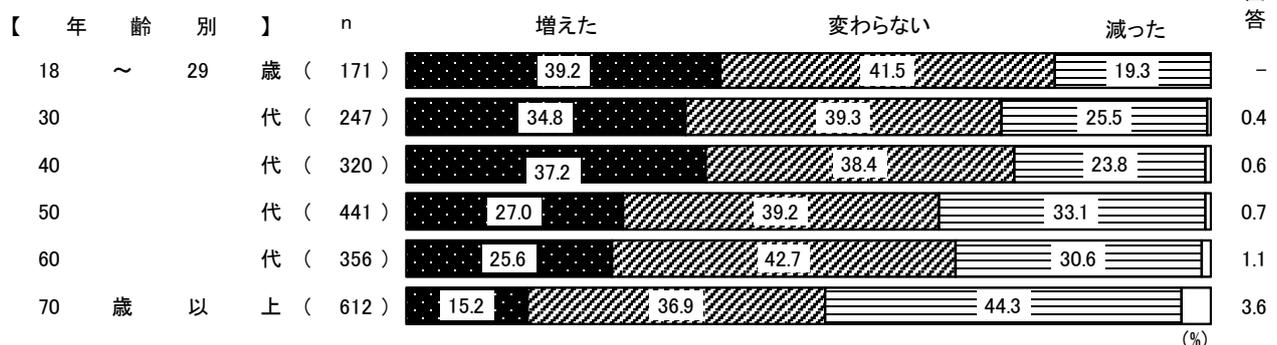


②⑦ 新型コロナウイルス感染症の影響（サ）外出する機会 [年齢別]

「減った」は70歳以上で4割半ば

年齢別にみると、「減った」は70歳以上（44.3%）で4割半ばと最も多くなっている。

図5-1-22 新型コロナウイルス感染症の影響（サ）外出する機会 [年齢別]

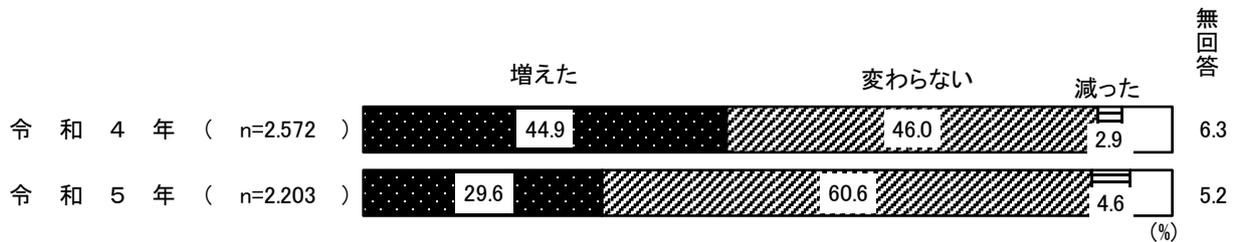


⑳ 新型コロナウイルス感染症の影響（シ）インターネットの利用〔経年変化〕

「増えた」は15.3ポイント減少

経年比較をみると、前回調査（令和4年）から、「増えた」は15.3ポイント減少した。

図5-1-23 新型コロナウイルス感染症の影響（シ）インターネットの利用〔経年変化〕

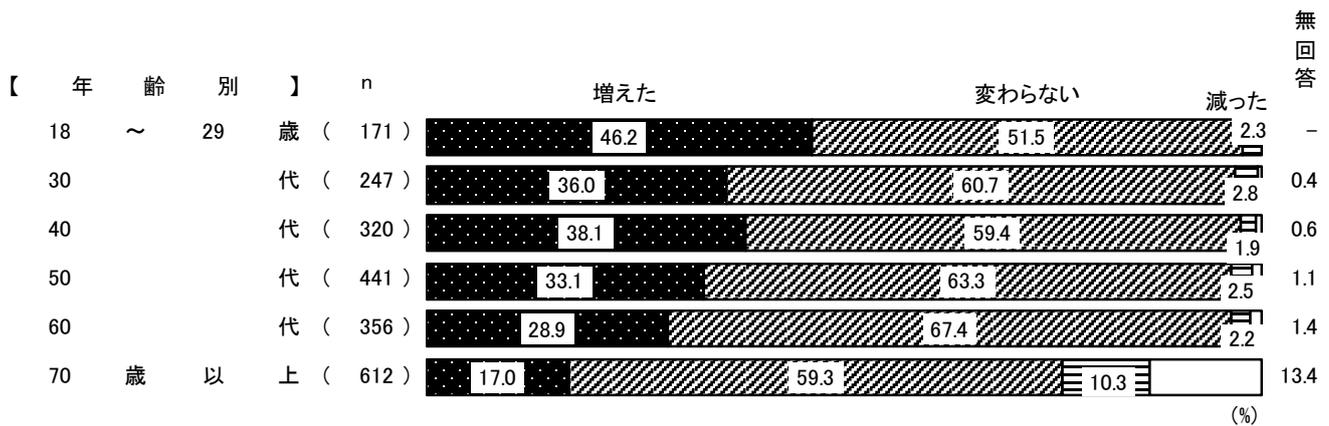


㉑ 新型コロナウイルス感染症の影響（シ）インターネットの利用〔年齢別〕

「増えた」は18～29歳で4割半ば

年齢別にみると、「増えた」は18～29歳（46.2%）で4割半ばと最も多く、70歳以上（17.0%）で2割を下回り最も少なくなっている。

図5-1-24 新型コロナウイルス感染症の影響（シ）インターネットの利用〔年齢別〕



6. 横浜の魅力

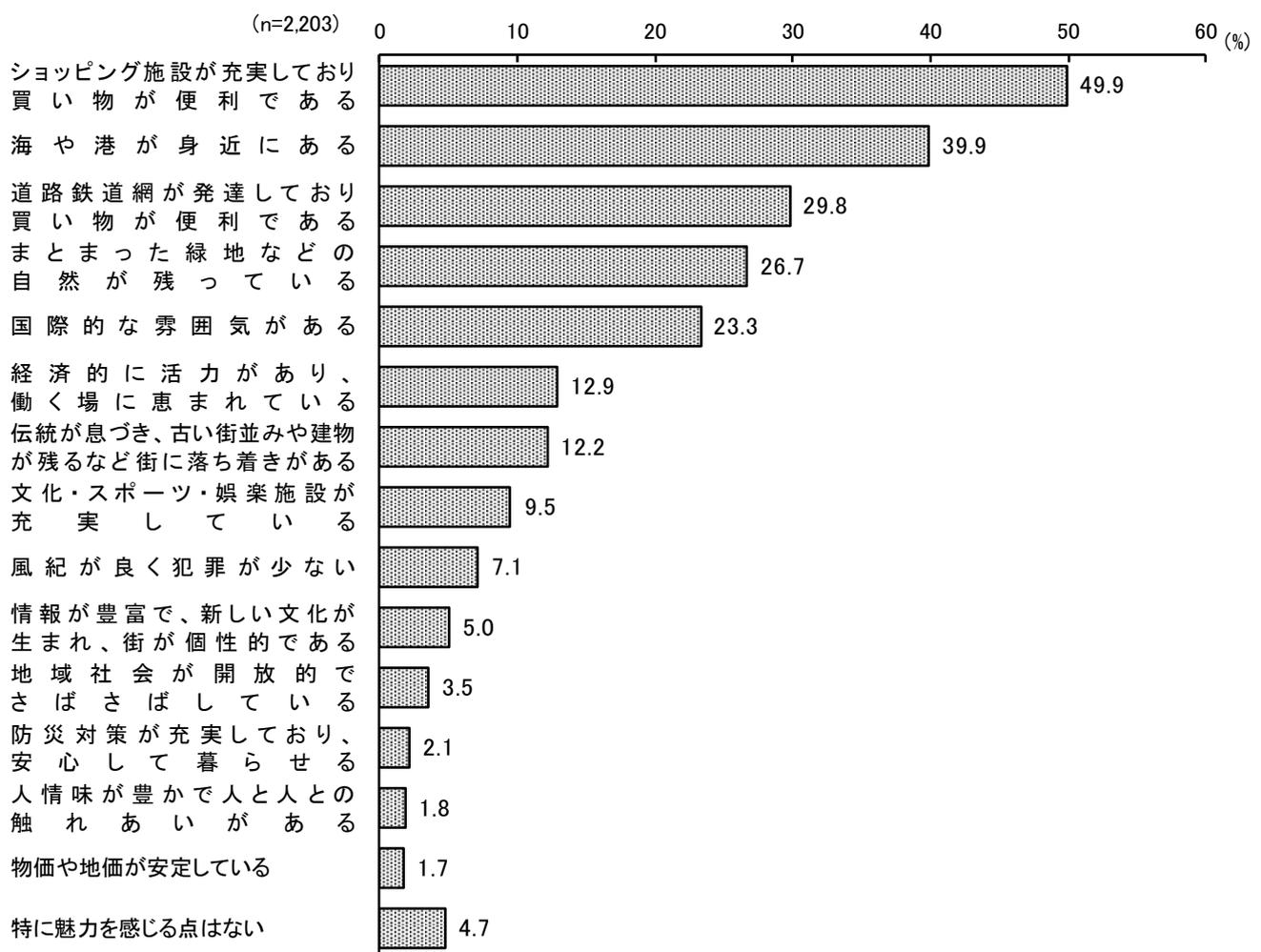
(1) 横浜の魅力

問13 「横浜」について魅力を感じる点はどんなところですか。(〇は3つまで)

「ショッピング施設が充実しており買い物が便利である」が5割近く

横浜の魅力については、「ショッピング施設が充実しており買い物が便利である」(49.9%)が5割近くと最も多く、次いで「海や港が身近にある」(39.9%)、「道路鉄道網が発達しており買い物が便利である」(29.8%)となっている。

図6-1-1 横浜の魅力[全体] (3つまでの複数回答)

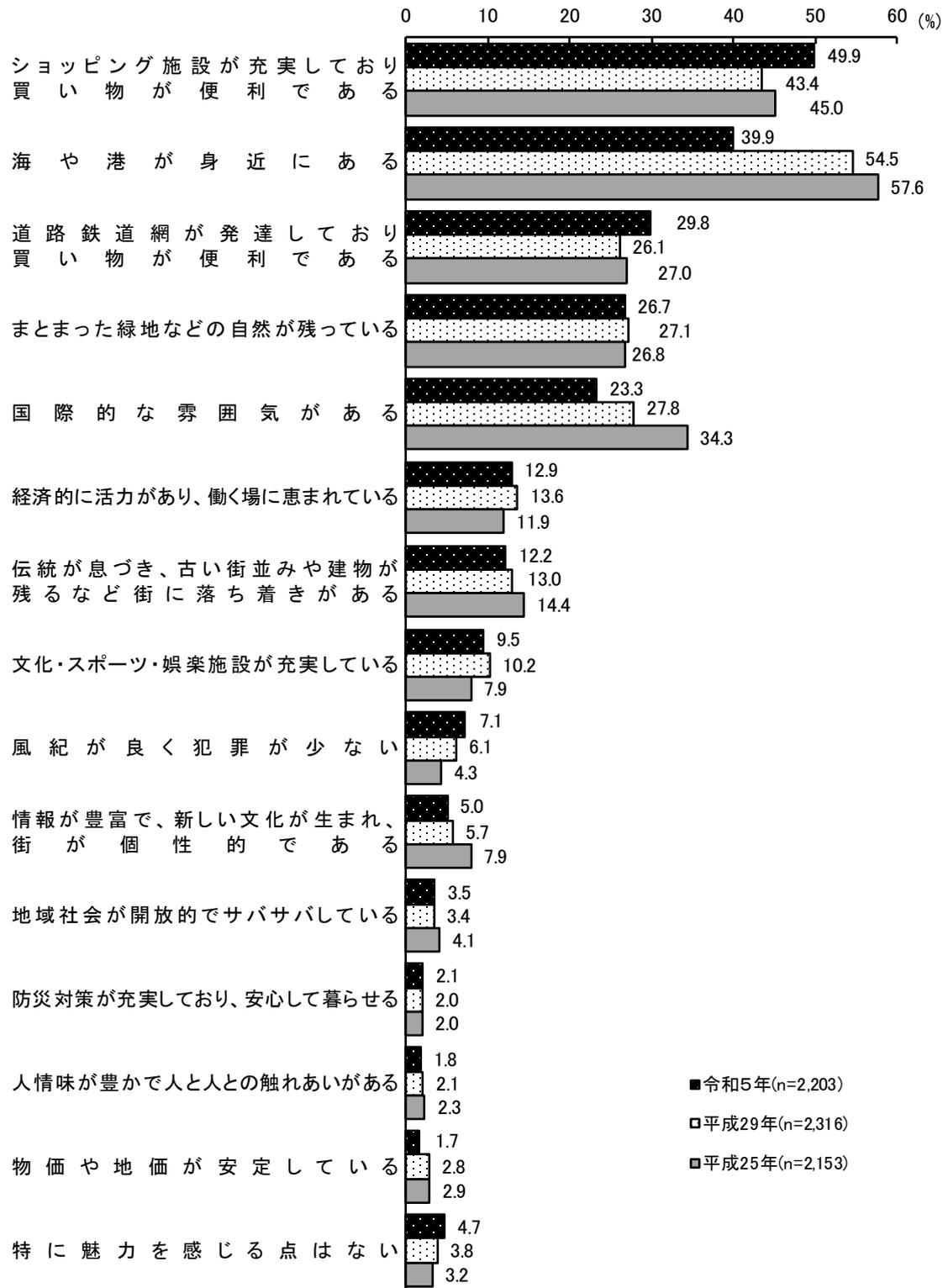


① 横浜の魅力 [経年変化]

「ショッピング施設が充実しており買い物が便利である」が1位

経年変化をみると、「ショッピング施設が充実しており買い物が便利である」は増加傾向となっている。一方、「海や港が身近にある」は減少傾向にある。

図6-1-2 横浜の魅力 [経年変化]



② 横浜の魅力 上位5位 [ブロック別]

4ブロック中3ブロックで「ショッピング施設が充実しており買い物が便利である」が1位

ブロック別にみると、南部では「海や港が身近にある」が1位、それ以外のブロックで「ショッピング施設が充実しており買い物が便利である」がそれぞれ1位となっている。

③ 横浜の魅力 上位5位 [性・年齢別]

全ての年齢で「ショッピング施設が充実しており買い物が便利である」が1位

性・年齢別でみると、全ての年齢で「ショッピング施設が充実しており買い物が便利である」が1位となっている。

表6-1-1 横浜の魅力 上位5位 [ブロック別、性・年齢別] (3つまでの複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体	(n=2,203)	ショッピング施設が充実しており買い物が便利である 49.9	海や港が身近にある 39.9	道路鉄道網が発達しており買い物が便利である 29.8	まとまった緑地などの自然が残っている 26.7	国際的な雰囲気がある 23.3
ブロック別	東部 (n=556)	ショッピング施設が充実しており買い物が便利である 52.7	海や港が身近にある 49.8	道路鉄道網が発達しており買い物が便利である 32.2	国際的な雰囲気がある 25.7	まとまった緑地などの自然が残っている 14.4
	西部 (n=594)	ショッピング施設が充実しており買い物が便利である 51.0	海や港が身近にある 37.5	まとまった緑地などの自然が残っている 30.1	道路鉄道網が発達しており買い物が便利である 27.3	国際的な雰囲気がある 23.7
	南部 (n=429)	海や港が身近にある 46.9	ショッピング施設が充実しており買い物が便利である 44.8	道路鉄道網が発達しており買い物が便利である 29.8	まとまった緑地などの自然が残っている 29.1	国際的な雰囲気がある 22.6
	北部 (n=570)	ショッピング施設が充実しており買い物が便利である 52.1	まとまった緑地などの自然が残っている 33.9	道路鉄道網が発達しており買い物が便利である 31.4	海や港が身近にある 26.8	国際的な雰囲気がある 20.5
性・年齢別	男性計 (n=977)	ショッピング施設が充実しており買い物が便利である 49.1	海や港が身近にある 40.5	道路鉄道網が発達しており買い物が便利である 29.9	まとまった緑地などの自然が残っている 25.6	国際的な雰囲気がある 24.6
	18～29歳 (n=83)	ショッピング施設が充実しており買い物が便利である 59.0	海や港が身近にある 34.9	経済的に活力があり、働く場に恵まれている／文化・スポーツ・娯楽施設が充実している 27.7	道路鉄道網が発達しており買い物が便利である 25.3	
	30代 (n=129)	ショッピング施設が充実しており買い物が便利である 62.8	海や港が身近にある 38.0	道路鉄道網が発達しており買い物が便利である 37.2	まとまった緑地などの自然が残っている 17.1	国際的な雰囲気がある 16.3
	40代 (n=129)	ショッピング施設が充実しており買い物が便利である 57.4	海や港が身近にある 42.6	道路鉄道網が発達しており買い物が便利である 31.0	まとまった緑地などの自然が残っている 22.5	国際的な雰囲気がある 21.7
	50代 (n=181)	ショッピング施設が充実しており買い物が便利である／海や港が身近にある 50.3		道路鉄道網が発達しており買い物が便利である 29.3	国際的な雰囲気がある 28.7	まとまった緑地などの自然が残っている 26.0
	60代 (n=168)	ショッピング施設が充実しており買い物が便利である 45.2	海や港が身近にある 38.1	国際的な雰囲気がある 32.7	まとまった緑地などの自然が残っている 28.0	道路鉄道網が発達しており買い物が便利である 25.0
	70歳以上 (n=285)	ショッピング施設が充実しており買い物が便利である 37.9	海や港が身近にある 37.5	まとまった緑地などの自然が残っている 32.6	道路鉄道網が発達しており買い物が便利である 30.9	国際的な雰囲気がある 26.0
	女性計 (n=1,143)	ショッピング施設が充実しており買い物が便利である 51.6	海や港が身近にある 39.0	道路鉄道網が発達しており買い物が便利である 30.4	まとまった緑地などの自然が残っている 27.8	国際的な雰囲気がある 22.3
	18～29歳 (n=85)	ショッピング施設が充実しており買い物が便利である 58.8	道路鉄道網が発達しており買い物が便利である 43.5	海や港が身近にある 35.3	まとまった緑地などの自然が残っている 17.6	経済的に活力があり、働く場に恵まれている 16.5
	30代 (n=117)	ショッピング施設が充実しており買い物が便利である 66.7	海や港が身近にある 34.2	道路鉄道網が発達しており買い物が便利である 33.3	まとまった緑地などの自然が残っている 27.4	国際的な雰囲気がある 17.1
	40代 (n=186)	ショッピング施設が充実しており買い物が便利である 51.6	海や港が身近にある 44.1	道路鉄道網が発達しており買い物が便利である 29.6	まとまった緑地などの自然が残っている 23.7	国際的な雰囲気がある 18.8
	50代 (n=253)	ショッピング施設が充実しており買い物が便利である 56.5	海や港が身近にある 43.9	道路鉄道網が発達しており買い物が便利である 27.7	国際的な雰囲気がある 26.1	まとまった緑地などの自然が残っている 20.2
	60代 (n=185)	ショッピング施設が充実しており買い物が便利である 50.8	海や港が身近にある 38.9	道路鉄道網が発達しており買い物が便利である 29.7	国際的な雰囲気がある 27.6	まとまった緑地などの自然が残っている 26.5
	70歳以上 (n=316)	ショッピング施設が充実しており買い物が便利である 40.8	まとまった緑地などの自然が残っている 40.2	海や港が身近にある 35.1	道路鉄道網が発達しており買い物が便利である 28.8	国際的な雰囲気がある 23.4

④ 横浜の魅力 上位5位 [ライフステージ別]

全てのライフステージで「ショッピング施設が充実しており買い物が便利である」が1位

ライフステージ別にみると、全てのライフステージで「ショッピング施設が充実しており買い物が便利である」が1位となっている。単身(1)と夫婦だけ(1)で「道路鉄道網が発達しており買い物が便利である」が2位、他のステージでは「海や港が身近にある」がそれぞれ2位となっている。

表6-1-2 横浜の魅力 上位5位 [ライフステージ別] (3つまでの複数回答)

(%)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体	(n=2,203)	ショッピング施設が充実しており買い物が便利である 49.9	海や港が身近にある 39.9	道路鉄道網が発達しており買い物が便利である 29.8	まとまった緑地などの自然が残っている 26.7	国際的な雰囲気がある 23.3
子どもなし計	(n=606)	ショッピング施設が充実しており買い物が便利である 51.7	海や港が身近にある 37.5	道路鉄道網が発達しており買い物が便利である 34.5	まとまった緑地などの自然が残っている 20.8	国際的な雰囲気がある 19.3
単身(1) 40歳未満	(n=216)	ショッピング施設が充実しており買い物が便利である 56.5	道路鉄道網が発達しており買い物が便利である 36.6	海や港が身近にある 35.2	経済的に活力があり、働く場に恵まれている 18.1	文化・スポーツ・娯楽施設が充実している 17.1
単身(2) 40~64歳	(n=136)	ショッピング施設が充実しており買い物が便利である 52.2	海や港が身近にある 39.7	道路鉄道網が発達しており買い物が便利である 28.7	国際的な雰囲気がある 24.3	まとまった緑地などの自然が残っている 20.6
夫婦だけ(1) 40歳未満	(n=47)	ショッピング施設が充実しており買い物が便利である 66.0	道路鉄道網が発達しており買い物が便利である 42.6	海や港が身近にある 31.9	経済的に活力があり、働く場に恵まれている 23.4	まとまった緑地などの自然が残っている 21.3
夫婦だけ(2) 40~64歳	(n=116)	ショッピング施設が充実しており買い物が便利である 50.0	海や港が身近にある 44.8	道路鉄道網が発達しており買い物が便利である 36.2	国際的な雰囲気がある/まとまった緑地などの自然が残っている 24.1	24.1
高齢子どもなし	(n=91)	ショッピング施設が充実しており買い物が便利である 34.1	海や港が身近にある 33.0	道路鉄道網が発達しており買い物が便利である 31.9	まとまった緑地などの自然が残っている 26.4	国際的な雰囲気がある 25.3
子どもあり計	(n=1,416)	ショッピング施設が充実しており買い物が便利である 50.2	海や港が身近にある 41.0	まとまった緑地などの自然が残っている 29.7	道路鉄道網が発達しており買い物が便利である 28.2	国際的な雰囲気がある 25.7
家族形成期 第一子が小学校入学前	(n=103)	ショッピング施設が充実しており買い物が便利である 67.0	海や港が身近にある 40.8	道路鉄道網が発達しており買い物が便利である/まとまった緑地などの自然が残っている 26.2	26.2	国際的な雰囲気がある 18.4
家族成長前期 第一子が小学生	(n=120)	ショッピング施設が充実しており買い物が便利である 54.2	海や港が身近にある 48.3	道路鉄道網が発達しており買い物が便利である 28.3	まとまった緑地などの自然が残っている 25.0	国際的な雰囲気がある 24.2
家族成長中期 第一子が中・高生	(n=126)	ショッピング施設が充実しており買い物が便利である 51.6	海や港が身近にある 41.3	国際的な雰囲気がある 25.4	道路鉄道網が発達しており買い物が便利である 23.0	まとまった緑地などの自然が残っている 20.6
家族成長後期 第一子が大学生等	(n=116)	ショッピング施設が充実しており買い物が便利である 59.5	海や港が身近にある 50.0	道路鉄道網が発達しており買い物が便利である 31.0	国際的な雰囲気がある 19.8	まとまった緑地などの自然が残っている 18.1
家族成熟前期 第一子が学校教育終了	(n=72)	ショッピング施設が充実しており買い物が便利である 66.7	海や港が身近にある 48.6	国際的な雰囲気がある 30.6	道路鉄道網が発達しており買い物が便利である/まとまった緑地などの自然が残っている 25.0	25.0
家族成熟中期 子が全員独立・65歳未満	(n=277)	ショッピング施設が充実しており買い物が便利である 50.9	海や港が身近にある 37.5	道路鉄道網が発達しており買い物が便利である 29.2	国際的な雰囲気がある 27.8	まとまった緑地などの自然が残っている 24.5
家族成熟後期 子が全員独立・65歳以上	(n=602)	ショッピング施設が充実しており買い物が便利である 42.2	海や港が身近にある 38.4	まとまった緑地などの自然が残っている 38.2	道路鉄道網が発達しており買い物が便利である 29.1	国際的な雰囲気がある 26.9

7. 地域への愛着

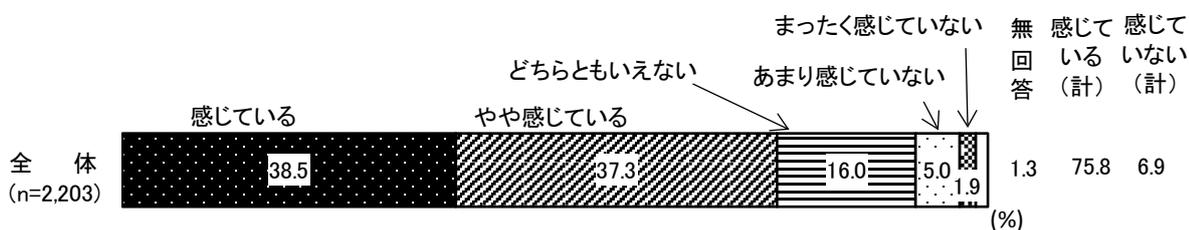
問14 あなたは、横浜やお住まいの区、周辺地域に対して、愛着や誇りを感じていますか。（〇はそれぞれ1つ）

（1）横浜に対して

『感じている（計）』が7割半ば

横浜に対しての愛着は、「感じている」（38.5%）と「やや感じている」（37.3%）を合わせた『感じている（計）』（75.8%）は7割半ばとなっている。一方、「あまり感じていない」（5.0%）と「まったく感じていない」（1.9%）を合わせた『感じていない（計）』（6.9%）は1割以下となっている。

図7-1-1 地域への愛着（ア）横浜に対して〔全体〕

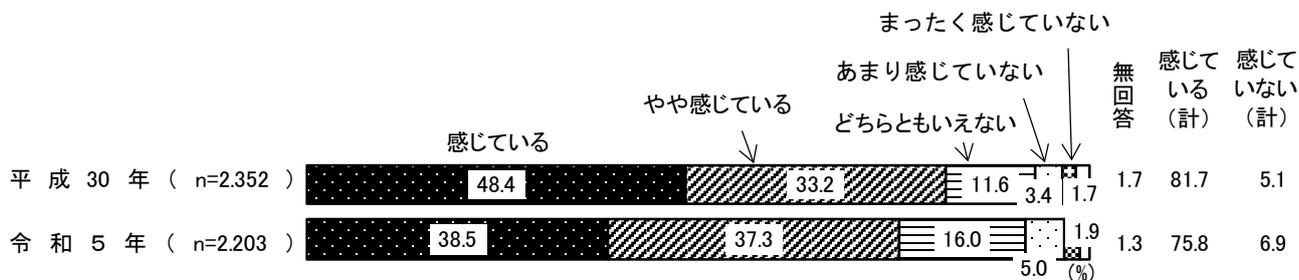


① 地域への愛着（ア）横浜に対して〔経年変化〕

『感じている（計）』は5.9ポイント減少

経年変化をみると、『感じている（計）』は前回調査（平成30年）から5.9ポイント減少した。

図7-1-2 地域への愛着（ア）横浜に対して〔経年変化〕



② 地域への愛着（ア）横浜に対して〔区別〕

『感じている（計）』は西区で9割を超える

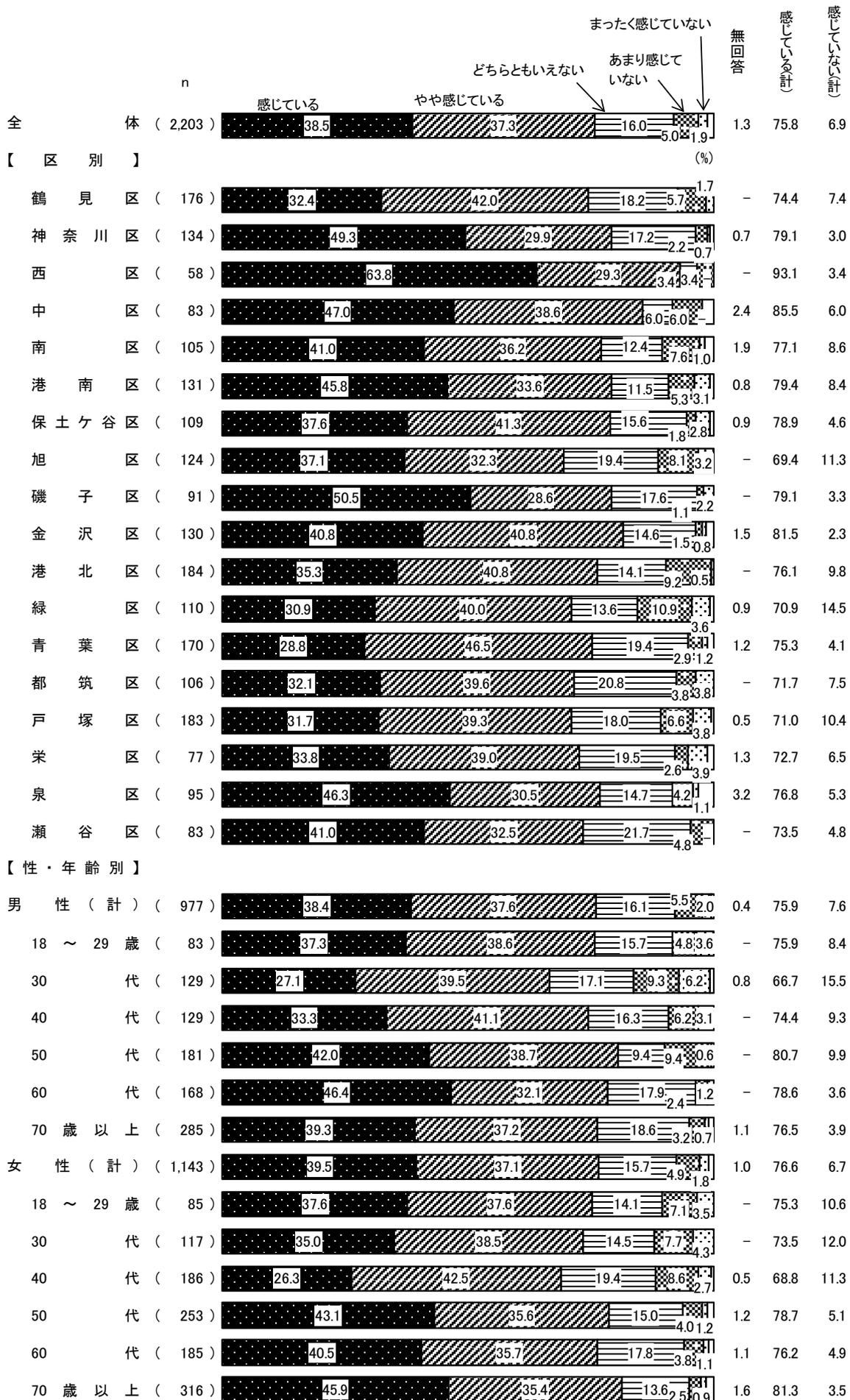
区別にみると、『感じている（計）』は西区（93.1%）で9割を超えて最も多くなっている。

③ 地域への愛着（ア）横浜に対して〔性・年齢別〕

『感じている（計）』は男性50代と女性70歳以上で8割を超える

性・年齢別にみると、『感じている（計）』は男性50代（80.7%）と女性70歳以上（81.3%）で8割を超えている。一方、『感じていない（計）』は男性30代（15.5%）で1割半ばと最も多くなっている。

図7-1-3 地域への愛着（ア）横浜に対して〔区別、性・年齢別〕

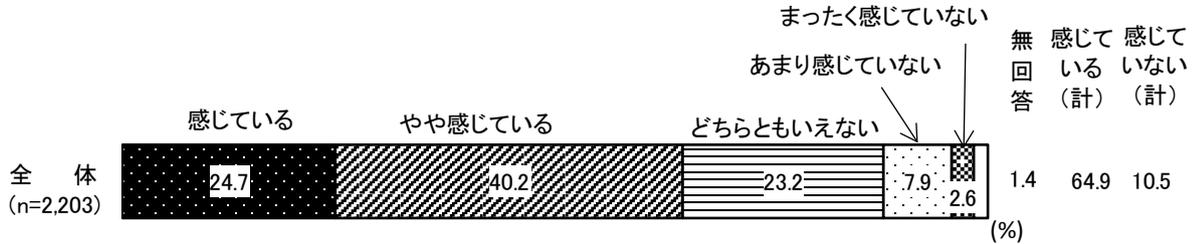


(2) 区に対して

『感じている(計)』が6割半ば

区に対しての愛着は、『感じている(計)』(64.9%)は6割半ばとなっている。一方、『感じていない(計)』(10.5%)は約1割となっている。

図7-2-1 地域への愛着(イ)区に対して[全体]

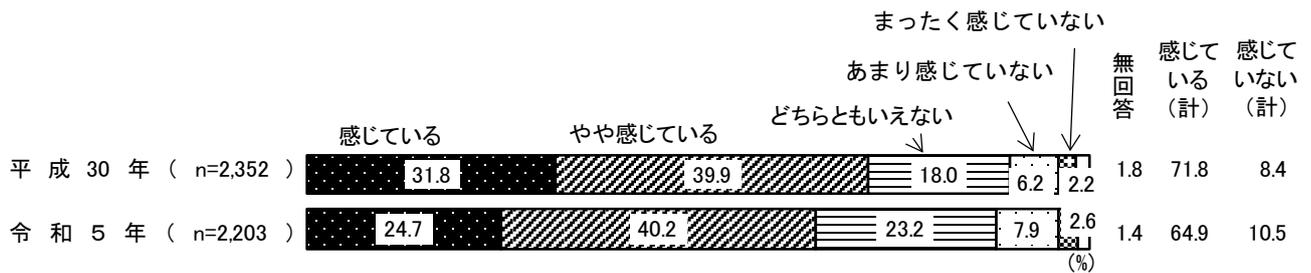


① 地域への愛着(イ)区に対して[経年変化]

『感じている(計)』は6.9ポイント減少

経年変化をみると、『感じている(計)』は前回調査(平成30年)から6.9ポイント減少した。

図7-2-2 地域への愛着(イ)区に対して[経年変化]



② 地域への愛着(イ)区に対して[区別]

『感じている(計)』は中区で8割を超える

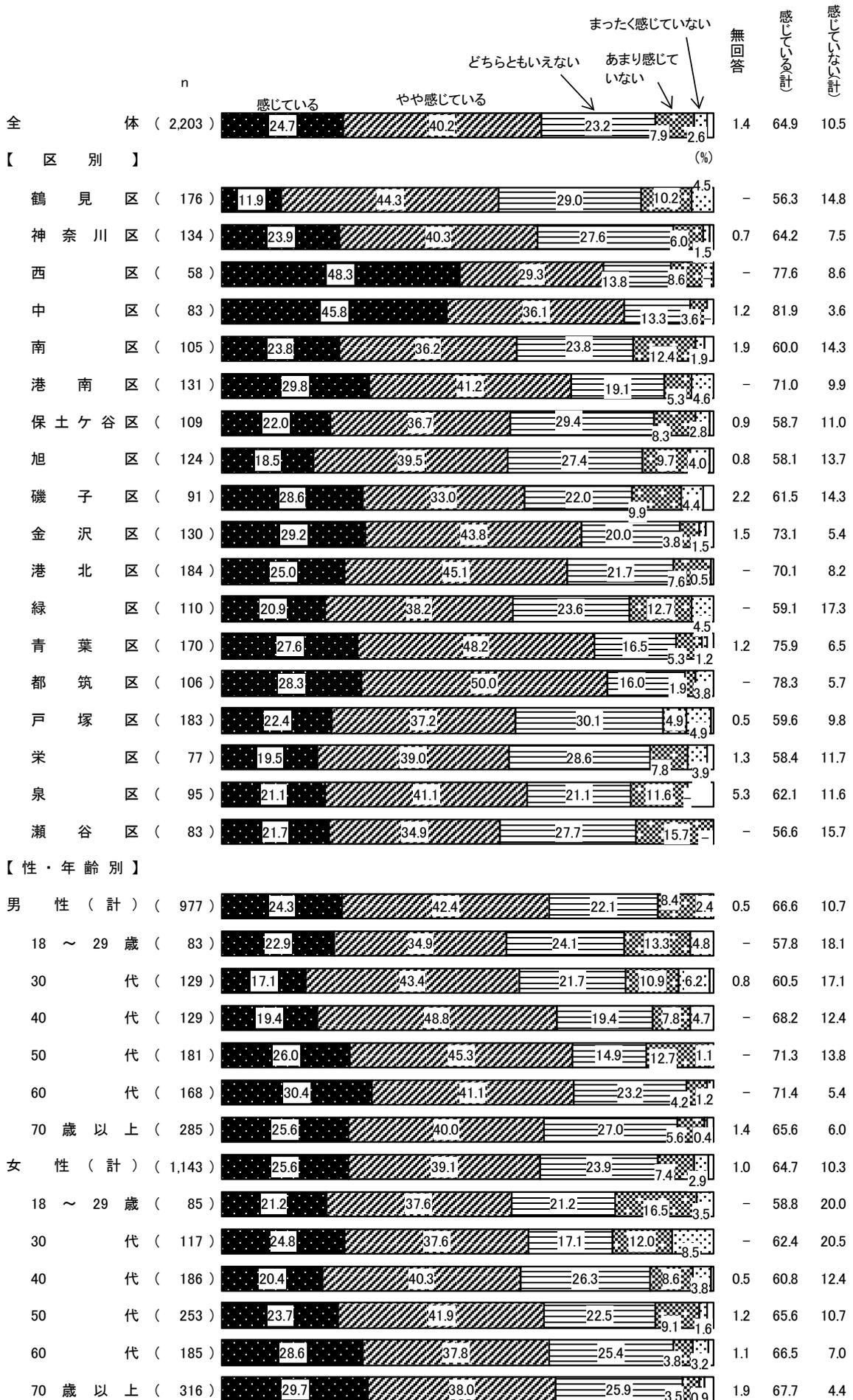
区別にみると、『感じている(計)』は中区(81.9%)で8割を超えて最も多くなっている。

③ 地域への愛着(イ)区に対して[性・年齢別]

『感じている(計)』は男性50代、60代で7割を超える

性・年齢別にみると、『感じている(計)』は男性50代(71.3%)、60代(71.4%)で7割を超えている。一方、『感じていない(計)』は女性18~29歳(20.0%)、30代(20.5%)で約2割となっている。

図7-2-3 地域への愛着（イ）区に対して〔区別、性・年齢別〕

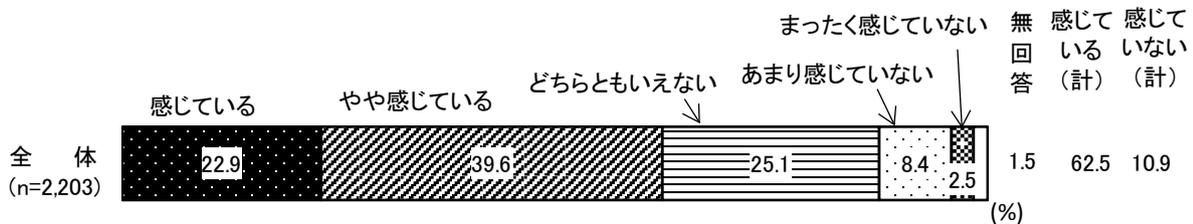


(3) 周辺の地域に対して

『感じている（計）』が6割を超える

周辺の地域に対しての愛着は、『感じている（計）』（62.5%）は6割を超えている。一方、『感じていない（計）』（10.9%）は約1割となっている。

図7-3-1 地域への愛着（ウ）周辺の地域に対して [全体]

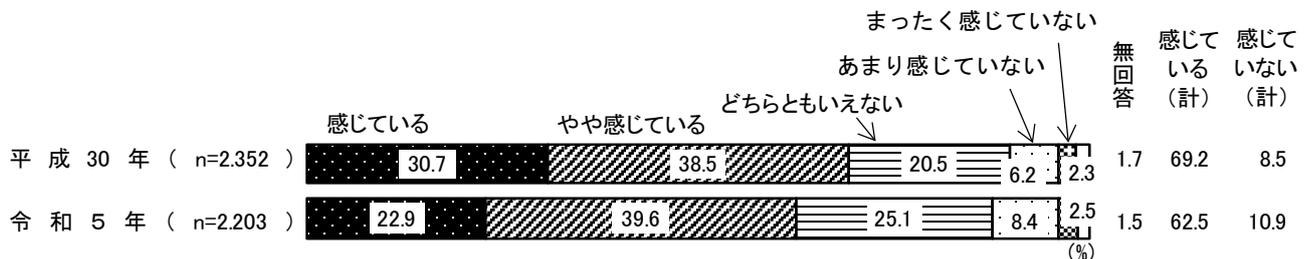


① 地域への愛着（ウ）周辺の地域に対して [経年変化]

『感じている（計）』は6.7ポイント減少

経年変化をみると、『感じている（計）』は前回調査（平成30年）から6.7ポイント減少した。

図7-3-2 地域への愛着（ウ）周辺の地域に対して [経年変化]



② 地域への愛着（ウ）周辺の地域に対して [区別]

『感じている（計）』は西区、港北区、都筑区で7割半ば

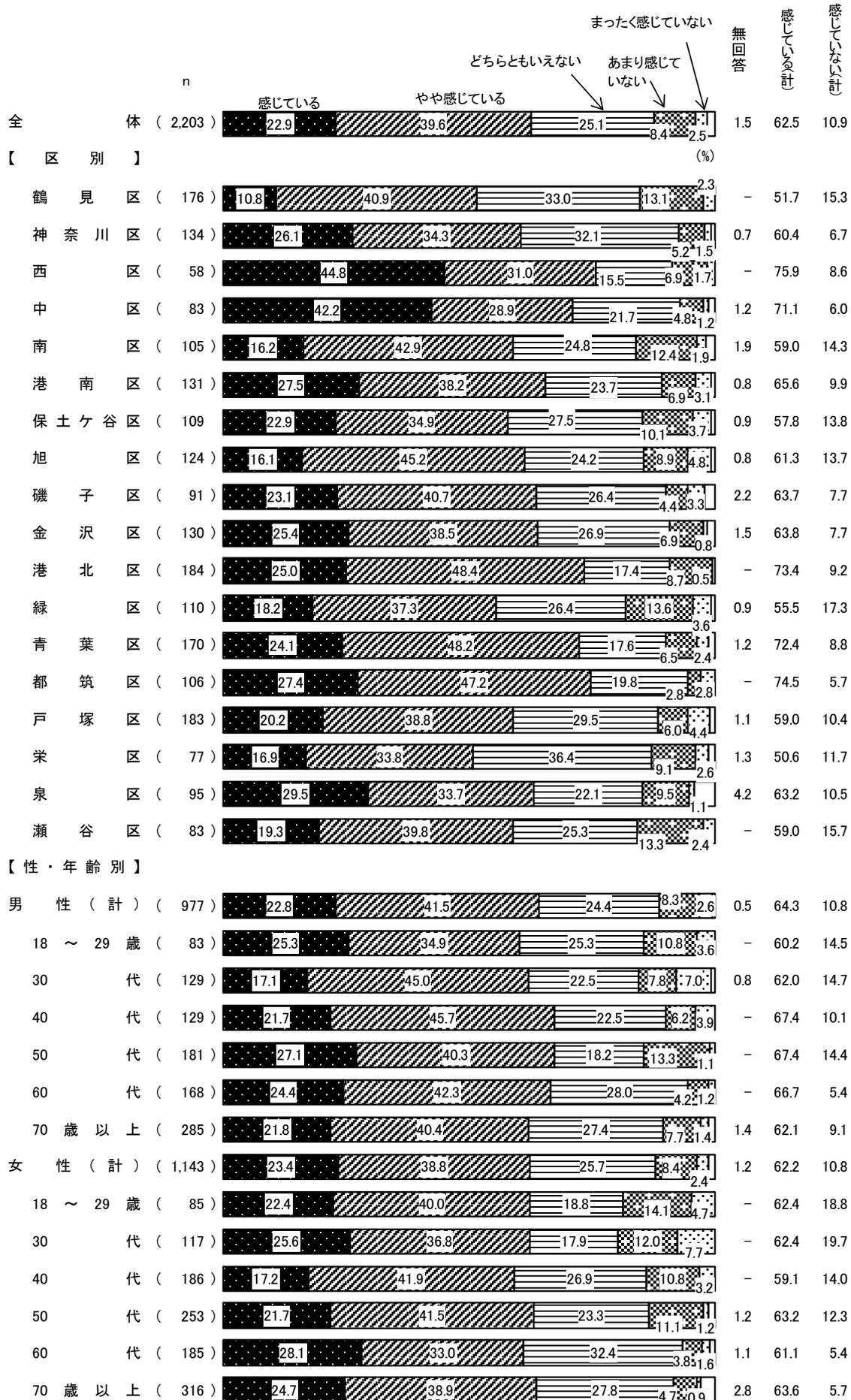
区別にみると、『感じている（計）』は西区（75.9%）、港北区（73.4%）、都筑区（74.5%）で7割半ばとなっている。

③ 地域への愛着（ウ）周辺の地域に対して [性・年齢別]

『感じている（計）』は男性40代から60代で6割半ば

性・年齢別にみると、『感じている（計）』は男性40代・50代（67.4%）、60代（66.7%）の順で多くなっている。一方、『感じていない（計）』は女性18～29歳（18.8%）、30代（19.7%）で2割近くとなっている。

図7-3-3 地域への愛着（ウ）周辺の地域に対して〔区別、性・年齢別〕



8. 今後の横浜のまち

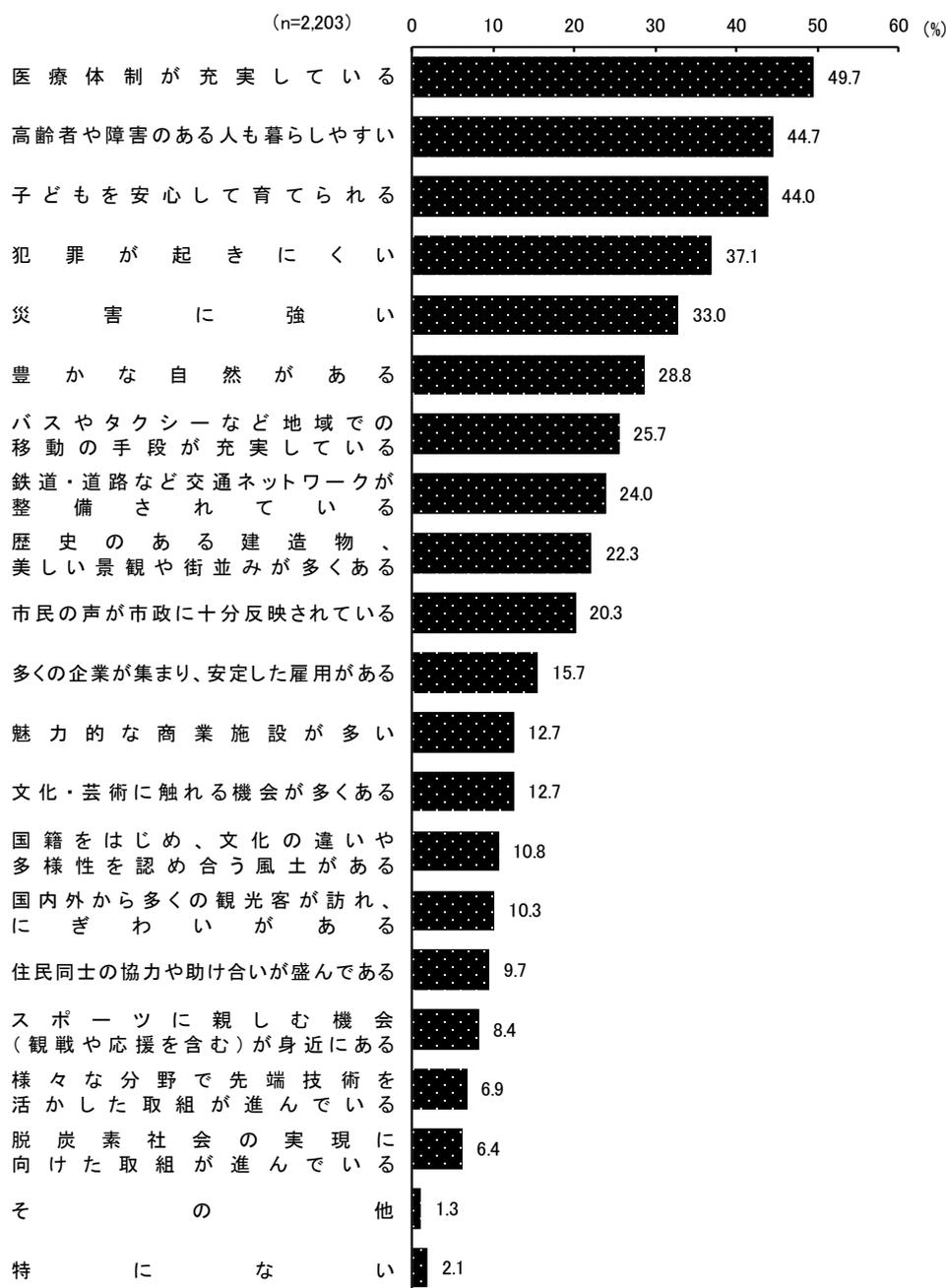
(1) 今後の横浜のまち

問 15 横浜市では横浜市中期計画 2022～2025 において、「2040 年頃の横浜のありたい姿」として共にめざす都市像「明日をひらく都市 OPEN×PIONEER 2040 YOKOHAMA」を掲げています。今後の横浜のまちについて、あなたはどのようなまちになるとよいと思いますか。最も優先したいものを5つまでお選びください。(〇は5つまで)

「医療体制が充実している」で5割近く

今後の横浜のまちについては、「医療体制が充実している」(49.7%)で5割近くと最も多く、次いで「高齢者や障害のある人も暮らしやすい」(44.7%)、「子どもを安心して育てられる」(44.0%)となっている。

図8-1-1 今後の横浜のまち [全体] (5つまでの複数回答)

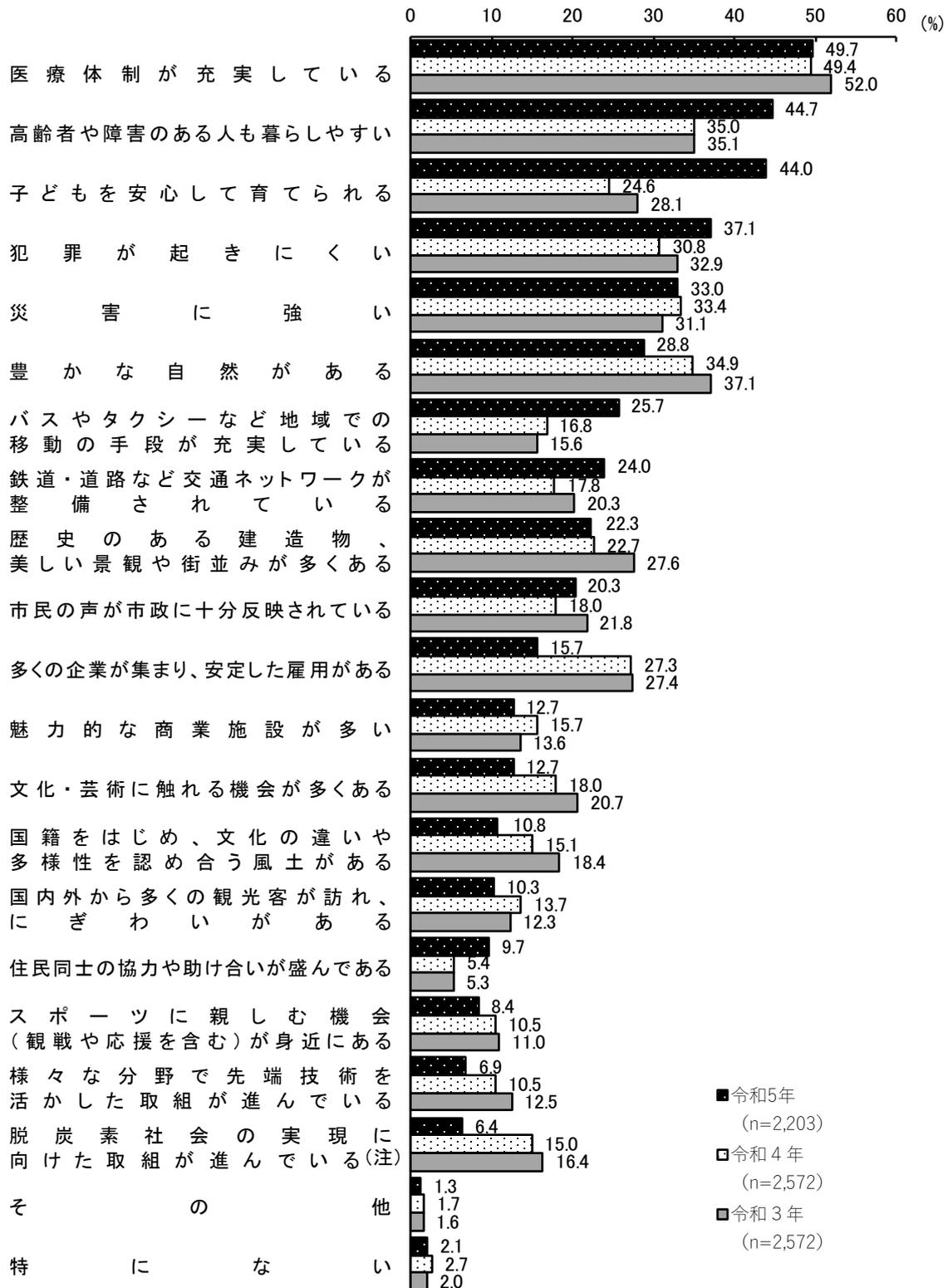


① 今後の横浜のまち [経年変化]

「医療体制が充実している」が3年連続1位

経年比較をみると、「医療体制が充実している」が3年連続1位となっている。また、前回調査（令和4年）から、「子どもを安心して育てられる」が19.4ポイント増加した。

図8-1-2 今後の横浜のまち [経年変化]



(注) 令和3、4年度は「地球温暖化対策など環境に配慮した取組が進んでいる」としていた。

② 今後の横浜のまち [区別]

「医療体制が充実している」が18区中14区で1位

区別にみると、西区で「子どもを安心して育てられる」、南区と都筑区で「犯罪が起きにくい」、旭区で「高齢者や障害のある人も暮らしやすい」がそれぞれ1位となっている。

表8-1-1 今後の横浜のまち [区別] (5つまでの複数回答)

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
全体	(n=2,203)	医療体制が充実している 49.7	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 44.7	子どもを安心して育てられる 44.0	犯罪が起きにくい 37.1	災害に強い 33.0
鶴見区	(n=176)	医療体制が充実している 46.6	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 45.5	子どもを安心して育てられる 43.8	犯罪が起きにくい 39.2	災害に強い 33.5
神奈川区	(n=134)	医療体制が充実している 55.2	子どもを安心して育てられる 44.0	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 43.3	犯罪が起きにくい 31.3	災害に強い 30.6
西区	(n=58)	子どもを安心して育てられる 48.3	災害に強い 39.7	医療体制が充実している 36.2	高齢者や障害のある人も暮らしやすい/歴史のある建造物、美しい景観や街並みが多くある/犯罪が起きにくい 34.5	
中区	(n=83)	医療体制が充実している 54.2	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 47.0	歴史のある建造物、美しい景観や街並みが多くある 43.4	災害に強い/犯罪が起きにくい 34.9	
南区	(n=105)	犯罪が起きにくい 50.5	医療体制が充実している 47.6	子どもを安心して育てられる 41.0	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 40.0	災害に強い 39.0
港南区	(n=131)	医療体制が充実している 55.0	子どもを安心して育てられる 51.1	犯罪が起きにくい 48.1	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 44.3	災害に強い 37.4
保土ヶ谷区	(n=109)	医療体制が充実している 46.8	子どもを安心して育てられる 45.9	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 44.0	犯罪が起きにくい 38.5	バスやタクシーなど地域での移動の手段が充実している 30.3
旭区	(n=124)	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 48.4	医療体制が充実している 46.8	子どもを安心して育てられる 45.2	災害に強い 36.3	バスやタクシーなど地域での移動の手段が充実している 32.3
磯子区	(n=91)	医療体制が充実している 57.1	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 46.2	子どもを安心して育てられる 39.6	災害に強い/犯罪が起きにくい 30.8	
金沢区	(n=130)	医療体制が充実している 52.3	子どもを安心して育てられる/高齢者や障害のある人も暮らしやすい 43.1	豊かな自然がある 40.0	災害に強い 36.2	
港北区	(n=184)	医療体制が充実している 52.7	子どもを安心して育てられる 48.4	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 41.3	犯罪が起きにくい 34.8	災害に強い 33.2
緑区	(n=110)	医療体制が充実している 43.6	子どもを安心して育てられる 38.2	犯罪が起きにくい 35.5	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 34.5	豊かな自然がある 32.7
青葉区	(n=170)	医療体制が充実している 50.6	子どもを安心して育てられる 45.9	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 43.5	犯罪が起きにくい 38.8	豊かな自然がある 36.5
都筑区	(n=106)	犯罪が起きにくい 48.1	医療体制が充実している 46.2	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 44.3	子どもを安心して育てられる 42.5	豊かな自然がある 40.6
戸塚区	(n=183)	医療体制が充実している 49.2	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 47.0	子どもを安心して育てられる 43.7	犯罪が起きにくい 37.7	災害に強い 32.8
栄区	(n=77)	医療体制が充実している 50.6	子どもを安心して育てられる/高齢者や障害のある人も暮らしやすい 48.1	犯罪が起きにくい 39.0	豊かな自然がある 32.5	
泉区	(n=95)	医療体制が充実している 57.9	子どもを安心して育てられる 56.8	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 55.8	犯罪が起きにくい 34.7	災害に強い 31.6
瀬谷区	(n=83)	医療体制が充実している 49.4	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 45.8	子どもを安心して育てられる/犯罪が起きにくい 41.0	豊かな支援がある/災害に強い 39.8	

③ 今後の横浜のまち [年齢別]

40代以下で「子どもを安心して育てられる」が1位

年齢別にみると、40代以下で「子どもを安心して育てられる」、60代以上で「高齢者や障害のある人も暮らしやすい」がそれぞれ1位となっている。

④ 今後の横浜のまち [性・年齢別]

男女ともに50代で「医療体制が充実している」が1位

性・年齢別にみると、男女ともに40代以下で「子どもを安心して育てられる」、50代で「医療体制が充実している」、60代以上で「高齢者や障害のある人も暮らしやすい」がそれぞれ1位となっている。

表8-1-2 今後の横浜のまち [年齢別、性・年齢別] (5つまでの複数回答)

属性		順位	1位	2位	3位	4位	5位
年齢別	全体 (n=2,203)		医療体制が充実している 49.7	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 44.7	子どもを安心して育てられる 44.0	犯罪が起きにくい 37.1	災害に強い 33.0
	18~29歳 (n=171)		子どもを安心して育てられる 57.3	犯罪が起きにくい 40.9	医療体制が充実している 36.8	鉄道・道路など交通ネットワークが整備されている 29.2	災害に強い 28.7
	30代 (n=247)		子どもを安心して育てられる 69.6	医療体制が充実している 47.8	犯罪が起きにくい 42.9	災害に強い 30.8	鉄道・道路など交通ネットワークが整備されている 30.0
	40代 (n=320)		子どもを安心して育てられる 56.2	犯罪が起きにくい 45.3	医療体制が充実している 45.0	災害に強い 35.9	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 32.2
	50代 (n=441)		医療体制が充実している 54.2	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 47.6	犯罪が起きにくい 40.8	災害に強い 39.2	子どもを安心して育てられる 35.1
	60代 (n=356)		高齢者や障害のある人も暮らしやすい 56.2	医療体制が充実している 53.9	子どもを安心して育てられる 40.4	犯罪が起きにくい 37.6	災害に強い 37.4
	70歳以上 (n=612)		高齢者や障害のある人も暮らしやすい 57.4	医療体制が充実している 52.5	豊かな自然がある 35.9	子どもを安心して育てられる 34.2	バスやタクシーなど地域での移動の手段が充実している 31.9
	男性計 (n=977)		医療体制が充実している 49.2	子どもを安心して育てられる 46.4	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 41.7	犯罪が起きにくい 35.6	災害に強い 32.1
性・年齢別	18~29歳 (n=83)		子どもを安心して育てられる 54.2	医療体制が充実している 34.9	犯罪が起きにくい 33.7	鉄道・道路など交通ネットワークが整備されている 31.3	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 27.7
	30代 (n=129)		子どもを安心して育てられる 70.5	医療体制が充実している 44.2	犯罪が起きにくい 38.8	災害に強い 33.3	鉄道・道路など交通ネットワークが整備されている 32.6
	40代 (n=129)		子どもを安心して育てられる 54.3	犯罪が起きにくい 41.1	医療体制が充実している／災害に強い 39.5	鉄道・道路など交通ネットワークが整備されている 31.0	
	50代 (n=181)		医療体制が充実している 51.4	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 39.8	子どもを安心して育てられる／犯罪が起きにくい 38.7	鉄道・道路など交通ネットワークが整備されている 38.7	35.9
	60代 (n=168)		高齢者や障害のある人も暮らしやすい 56.0	医療体制が充実している 52.4	子どもを安心して育てられる 42.3	犯罪が起きにくい 39.3	災害に強い 36.9
	70歳以上 (n=285)		高齢者や障害のある人も暮らしやすい 60.0	医療体制が充実している 56.5	子どもを安心して育てられる 36.8	豊かな自然がある 36.1	バスやタクシーなど地域での移動の手段が充実している 29.5
	女性計 (n=1,143)		医療体制が充実している 51.0	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 46.5	子どもを安心して育てられる 43.3	犯罪が起きにくい 39.1	災害に強い 34.1
	18~29歳 (n=85)		子どもを安心して育てられる 62.4	犯罪が起きにくい 47.1	医療体制が充実している 37.6	災害に強い 31.8	鉄道・道路など交通ネットワークが整備されている 27.1
	30代 (n=117)		子どもを安心して育てられる 68.4	医療体制が充実している 52.1	犯罪が起きにくい 47.0	高齢者や障害のある人も暮らしやすい／災害に強い 28.2	
	40代 (n=186)		子どもを安心して育てられる 57.0	医療体制が充実している 48.9	犯罪が起きにくい 47.8	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 34.9	災害に強い 33.9
	50代 (n=253)		医療体制が充実している 55.7	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 53.4	災害に強い 43.9	犯罪が起きにくい 42.7	子どもを安心して育てられる 33.2
	60代 (n=185)		高齢者や障害のある人も暮らしやすい 56.2	医療体制が充実している 55.7	子どもを安心して育てられる 38.9	災害に強い 37.3	犯罪が起きにくい 36.2
	70歳以上 (n=316)		高齢者や障害のある人も暮らしやすい 55.1	医療体制が充実している 49.1	豊かな自然がある 35.4	バスやタクシーなど地域での移動の手段が充実している 34.5	子どもを安心して育てられる 31.6

⑤ 今後の横浜のまち [ライフステージ別]

単身(1)、夫婦だけ(1)、家族形成期から家族成長中期で「子どもを安心して育てられる」が1位
 ライフステージ別にみると、単身(1)、夫婦だけ(1)、家族形成期、家族成長前期、家族成長中期
 で「子どもを安心して育てられる」が1位となっている。

表8-1-3 今後の横浜のまち [ライフステージ別] (5つまでの複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,203)		医療体制が充実している 49.7	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 44.7	子どもを安心して育てられる 44.0	犯罪が起きにくい 37.1	災害に強い 33.0
子どもなし計 (n=606)		医療体制が充実している 45.4	犯罪が起きにくい 41.3	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 36.0	災害に強い 34.7	子どもを安心して育てられる 33.0
単身(1) 40歳未満 (n=216)		子どもを安心して育てられる 47.7	医療体制が充実している／犯罪が起きにくい	40.7	鉄道・道路など交通ネットワークが整備されている 31.9	災害に強い 30.6
単身(2) 40～64歳 (n=136)		犯罪が起きにくい 50.0	医療体制が充実している 48.5	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 46.3	災害に強い 44.1	鉄道・道路など交通ネットワークが整備されている 35.3
夫婦だけ(1) 40歳未満 (n=47)		子どもを安心して育てられる 74.5	犯罪が起きにくい 46.8	医療体制が充実している 42.6	鉄道・道路など交通ネットワークが整備されている 40.4	災害に強い 29.8
夫婦だけ(2) 40～64歳 (n=116)		医療体制が充実している 44.8	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 42.2	災害に強い 39.7	犯罪が起きにくい 37.9	バスやタクシーなど地域での移動の手段が充実している 34.5
高齢子どもなし (n=91)		高齢者や障害のある人も暮らしやすい 57.1	医療体制が充実している 53.8	豊かな自然がある 34.1	犯罪が起きにくい 30.8	バスやタクシーなど地域での移動の手段が充実している 28.6
子どもあり計 (n=1,416)		医療体制が充実している 51.6	子どもを安心して育てられる 50.1	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 46.9	犯罪が起きにくい 36.1	災害に強い 32.8
家族形成期 第一子が小学校入学前 (n=103)		子どもを安心して育てられる 93.2	医療体制が充実している 50.5	犯罪が起きにくい 41.7	豊かな自然がある 36.9	災害に強い 28.2
家族成長前期 第一子が小学生 (n=120)		子どもを安心して育てられる 90.0	医療体制が充実している 44.2	犯罪が起きにくい 40.8	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 30.0	災害に強い 26.7
家族成長中期 第一子が中・高生 (n=126)		子どもを安心して育てられる 63.5	医療体制が充実している 47.6	犯罪が起きにくい 46.0	高齢者や障害のある人も暮らしやすい／災害に強い	36.5
家族成長後期 第一子が大学生等 (n=116)		医療体制が充実している 56.0	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 45.7	子どもを安心して育てられる 41.4	災害に強い 37.9	犯罪が起きにくい 35.3
家族成熟前期 第一子が学校教育終了 (n=72)		医療体制が充実している 48.6	犯罪が起きにくい 45.8	子どもを安心して育てられる／高齢者や障害のある人も暮らしやすい	38.9	鉄道・道路など交通ネットワークが整備されている 31.9
家族成熟中期 子が全員独立・65歳未満 (n=277)		医療体制が充実している 53.1	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 50.2	子どもを安心して育てられる 43.7	災害に強い 42.2	犯罪が起きにくい 40.1
家族成熟後期 子が全員独立・65歳以上 (n=602)		高齢者や障害のある人も暮らしやすい 56.6	医療体制が充実している 53.0	子どもを安心して育てられる 38.0	豊かな自然がある 34.4	バスやタクシーなど地域での移動の手段が充実している 30.6

⑥ 今後の横浜のまち [市政全体への満足度別]

全項目で「医療体制が充実している」が1位

市政全体への満足度別にみると、全項目で「医療体制が充実している」が1位となっている。

表8-1-4 今後の横浜のまち [市政全体への満足度別] (5つまでの複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,203)		医療体制が充実している 49.7	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 44.7	子どもを安心して育てられる 44.0	犯罪が起きにくい 37.1	災害に強い 33.0
満足しているほう (n=147)		医療体制が充実している 43.5	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 40.8	子どもを安心して育てられる 37.4	豊かな自然がある 34.7	犯罪が起きにくい 32.7
まあ満足しているほう (n=821)		医療体制が充実している 51.5	子どもを安心して育てられる 46.4	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 45.6	犯罪が起きにくい 36.8	災害に強い 33.4
どちらともいえない (n=701)		医療体制が充実している 49.8	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 46.1	子どもを安心して育てられる 42.1	犯罪が起きにくい 37.5	災害に強い 32.5
やや不満があるほう (n=218)		医療体制が充実している 55.0	子どもを安心して育てられる 47.7	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 46.8	犯罪が起きにくい 43.6	災害に強い 33.5
不満があるほう (n=146)		医療体制が充実している 48.6	子どもを安心して育てられる 47.9	高齢者や障害のある人も暮らしやすい／犯罪が起きにくい	35.6	バスやタクシーなど地域での移動の手段が充実している 31.5

9. グローバルな人材の育成

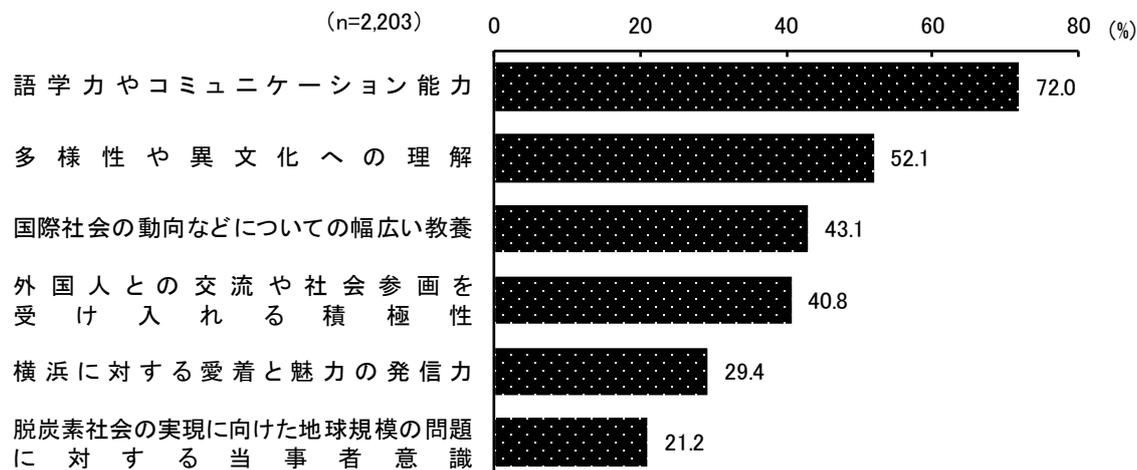
(1) 必要な能力

問 16 横浜市ではグローバルな視点をもって活躍できる人材の育成を進めています。グローバルに活躍するために必要だと考える能力は何ですか。(〇はいくつでも)

「語学力やコミュニケーション能力」が7割を超える

グローバルに活躍するために必要だと考える能力については、「語学力やコミュニケーション能力」(72.0%)が7割を超えて最も多くなっている。次いで「多様性や異文化への理解」(52.1%)、「国際社会の動向などについての幅広い教養」(43.1%)、「外国人との交流や社会参画を受け入れる積極性」(40.8%)となっている。

図9-1-1 グローバルな人材の育成 [全体]



① グローバルな人材の育成 [年齢別]

全ての年齢で「語学力やコミュニケーション能力」が1位

年齢別にみると、全ての年齢で「語学力やコミュニケーション能力」が1位となっている。

表9-1-1 グローバルな人材の育成 [年齢別]

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位
全体	(n=2,203)	語学力やコミュニケーション能力 72.0	多様性や異文化への理解 52.1	国際社会の動向などについての幅広い教養 43.1	外国人との交流や社会参画を受け入れる積極性 40.8	横浜に対する愛着と魅力の発信力 29.4	脱炭素社会の実現に向けた地球規模の問題に対する当事者意識 21.2
年齢別	18~29歳	(n=171) 語学力やコミュニケーション能力 74.3	多様性や異文化への理解 54.4	外国人との交流や社会参画を受け入れる積極性 46.2	国際社会の動向などについての幅広い教養 35.1	横浜に対する愛着と魅力の発信力 18.1	脱炭素社会の実現に向けた地球規模の問題に対する当事者意識 9.9
	30代	(n=247) 語学力やコミュニケーション能力 82.6	多様性や異文化への理解 61.5	外国人との交流や社会参画を受け入れる積極性 49.0	国際社会の動向などについての幅広い教養 44.5	横浜に対する愛着と魅力の発信力 19.0	脱炭素社会の実現に向けた地球規模の問題に対する当事者意識 14.6
	40代	(n=320) 語学力やコミュニケーション能力 81.2	多様性や異文化への理解 54.7	国際社会の動向などについての幅広い教養 41.6	外国人との交流や社会参画を受け入れる積極性 40.3	横浜に対する愛着と魅力の発信力 24.1	脱炭素社会の実現に向けた地球規模の問題に対する当事者意識 14.4
	50代	(n=441) 語学力やコミュニケーション能力 74.4	多様性や異文化への理解 55.8	外国人との交流や社会参画を受け入れる積極性 42.2	国際社会の動向などについての幅広い教養 40.1	横浜に対する愛着と魅力の発信力 28.8	脱炭素社会の実現に向けた地球規模の問題に対する当事者意識 18.8
	60代	(n=356) 語学力やコミュニケーション能力 69.7	多様性や異文化への理解 54.2	国際社会の動向などについての幅広い教養 45.5	外国人との交流や社会参画を受け入れる積極性 41.6	横浜に対する愛着と魅力の発信力 30.3	脱炭素社会の実現に向けた地球規模の問題に対する当事者意識 23.6
	70歳以上	(n=612) 語学力やコミュニケーション能力 64.2	国際社会の動向などについての幅広い教養 46.7	多様性や異文化への理解 44.0	横浜に対する愛着と魅力の発信力 38.4	外国人との交流や社会参画を受け入れる積極性 35.8	脱炭素社会の実現に向けた地球規模の問題に対する当事者意識 30.9

10. 国際園芸博覧会

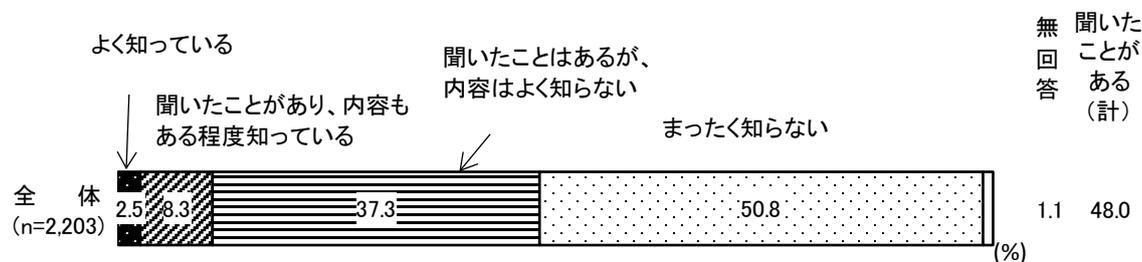
(1) 認知度

問17 あなたは、本市で開催される予定の2027年国際園芸博覧会（正式略称「GREEN×EXPO 2027」）について、どの程度知っていますか。（○は一つ）

『聞いたことがある（計）』が5割近く

2027年国際園芸博覧会（正式略称「GREEN×EXPO 2027」）については、「よく知っている」（2.5%）、「聞いたことがあります、内容もある程度知っている」（8.3%）、「聞いたことがあるが、内容はよく知らない」（37.3%）を合わせた『聞いたことがある（計）』は5割近くとなっている。一方、「まったく知らない」（50.8%）は5割近くとなっている。

図10-1-1 国際園芸博覧会 [全体]

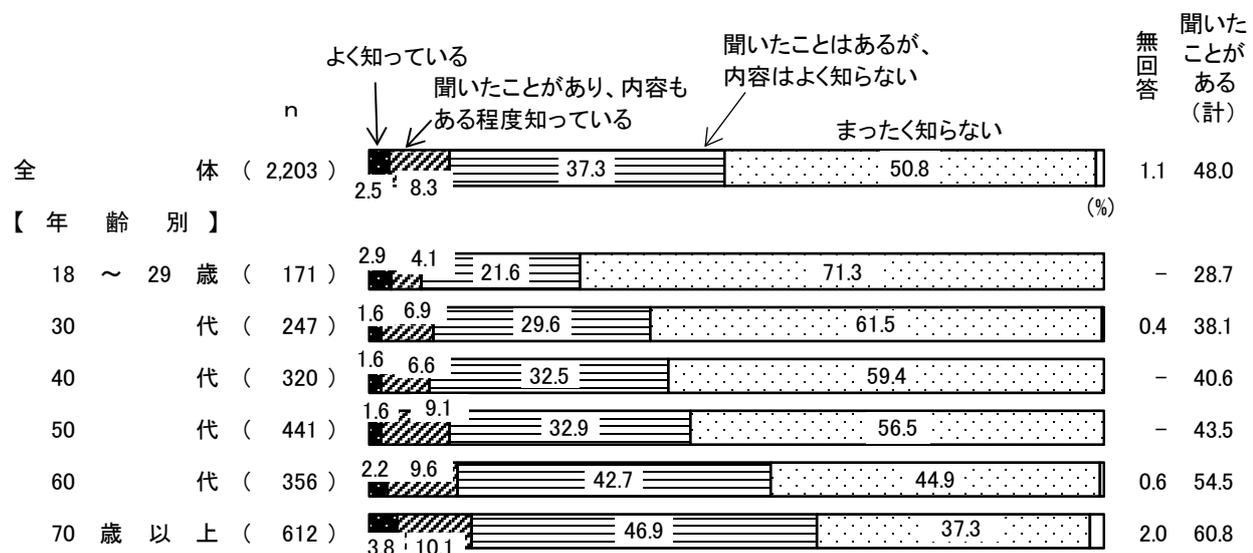


① 国際園芸博覧会 [年齢別]

70歳以上で『聞いたことがある（計）』が6割を超える

年齢別にみると、70歳以上では『聞いたことがある（計）』（60.8%）が6割を超えて最も多く、年齢が高くなるほど多い傾向にある。

図10-1-2 国際園芸博覧会 [年齢別]



11. 大都市制度

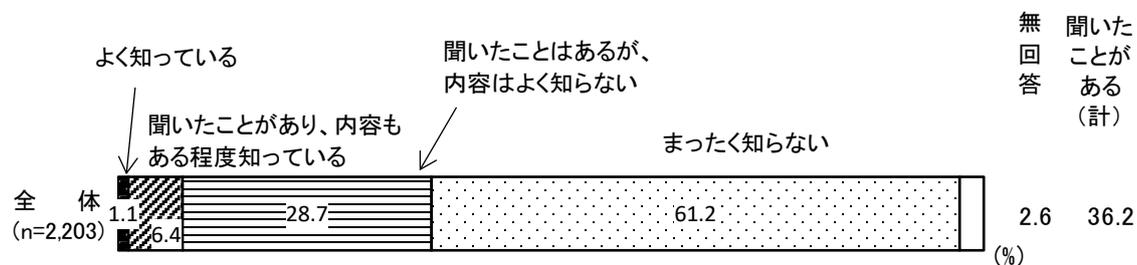
(1) 認知度

問 18 あなたは、横浜市が目指す「特別市（以前使用していた名称の「特別自治市」を含む）」について、どの程度知っていますか。（〇は1つ）

『聞いたことがある（計）』が3割半ば

横浜市が目指す「特別市（以前使用していた名称の「特別自治市」を含む）」については、「よく知っている」（1.1%）、「聞いたことがあり、内容もある程度知っている」（6.4%）、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」（28.7%）を合わせた『聞いたことがある（計）』は3割半ばとなっている。一方、「まったく知らない」（61.2%）は6割を超えている。

図 11-1-1 大都市制度 [全体] (複数回答)

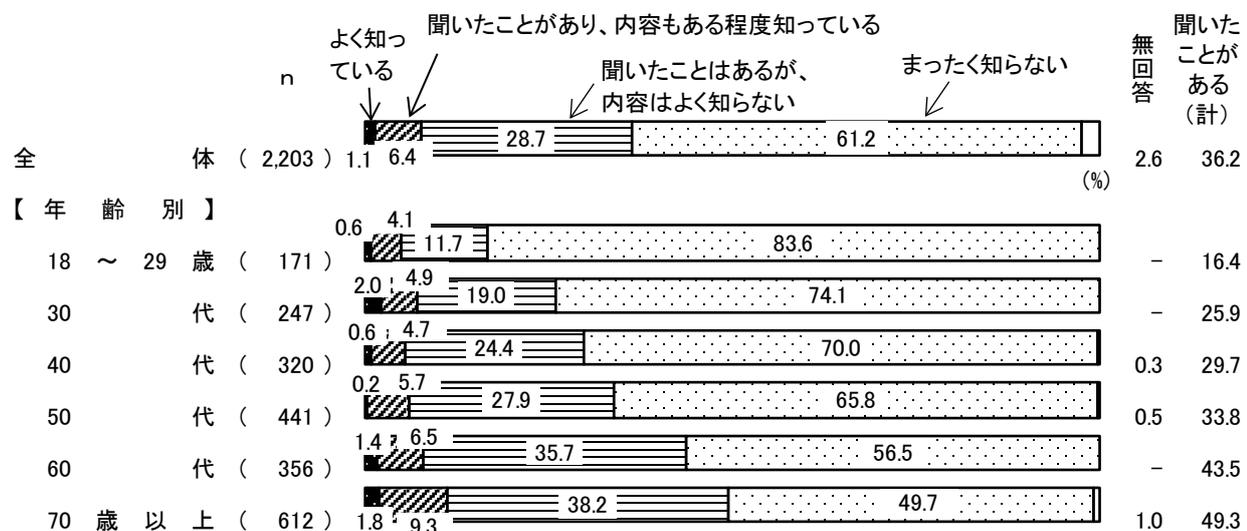


① 大都市制度 [年齢別]

70歳以上で『聞いたことがある（計）』が5割近く

年齢別にみると、70歳以上では『聞いたことがある（計）』（49.3%）が5割近くで最も多く、年齢が高くなるほど多い傾向にある。

図 11-1-2 大都市制度 [年齢別] (複数回答)



令和5年度 横浜市民意識調査
令和6年3月発行

横浜市 政策局 政策部 政策課

〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10

TEL 045 (671) 3477

FAX 045 (663) 4613

mail ss-ishiki@city.yokohama.jp

この報告書を引用する場合、出典を明記してください。